

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について

章/項番号: 39条 地震による損傷の防止

39-1 重大事故等対処設備の設備分類, 39-2設計用地震力, 39-3重大事故等対処施設の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針について

39-4 重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由												
1	39-1	39-1-1~14	・SA設備を工認別表第二分類で並び変え。	—	⑤												
2	39-1	39-1-5	<table border="1"> <tr> <td>・復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> </table>	・復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)	重大事故等対処施設	・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備		(記載なし)	② (SA設備追加)								
・復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)	重大事故等対処施設	・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備															
3	39-1	39-1-6	<table border="1"> <tr> <td>・高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力</td> <td>設計基準対象施設 重大事故等対処施設</td> <td>・Bクラス ・常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> <td>設計基準対象施設 重大事故等対処施設</td> <td>・Bクラス ・常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・復水移送ポンプ吐出圧力</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> </table>	・高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Bクラス ・常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)		・残留熱除去系ポンプ吐出圧力	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Bクラス ・常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)		・復水移送ポンプ吐出圧力	重大事故等対処施設	・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備		(記載なし)	② (SA設備追加)
・高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Bクラス ・常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)															
・残留熱除去系ポンプ吐出圧力	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Bクラス ・常設重大事故防止設備 (設計基準拡張)															
・復水移送ポンプ吐出圧力	重大事故等対処施設	・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備															
4	39-1	39-1-7	<table border="1"> <tr> <td>・5号炉屋外緊急連絡用インターフォン</td> <td>設計基準対象施設 重大事故等対処施設</td> <td>・Cクラス ・常設重大事故等対処設備 (防止でも緩和でもない設備)</td> <td></td> </tr> </table>	・5号炉屋外緊急連絡用インターフォン	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Cクラス ・常設重大事故等対処設備 (防止でも緩和でもない設備)		(記載なし)	② (SA設備追加)								
・5号炉屋外緊急連絡用インターフォン	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Cクラス ・常設重大事故等対処設備 (防止でも緩和でもない設備)															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
5	39-1	39-1-9	<table border="1"> <tr> <td>・差圧計</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・可搬型重大事故等対処設備 (防止でも緩和でもない設備)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト[流路]</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・可搬型重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト[流路]</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・可搬型重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> </table>	・差圧計	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故等対処設備 (防止でも緩和でもない設備)		・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト[流路]	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故緩和設備		・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽	重大事故等対処施設	・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備		・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト[流路]	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故緩和設備		(記載なし)	② (SA設備追加)
・差圧計	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故等対処設備 (防止でも緩和でもない設備)																			
・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト[流路]	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故緩和設備																			
・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽	重大事故等対処施設	・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備																			
・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト[流路]	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故緩和設備																			
6	39-1	39-1-10	<table border="1"> <tr> <td>・原子炉建屋原子炉区域</td> <td>設計基準対象施設 重大事故等対処施設</td> <td>・Sクラス ・常設重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・格納容器スプレイ・ヘッド[流路]</td> <td>設計基準対象施設 重大事故等対処施設</td> <td>・Sクラス ・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> </table>	・原子炉建屋原子炉区域	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Sクラス ・常設重大事故緩和設備		・格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Sクラス ・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備		(記載なし)	② (SA設備追加)								
・原子炉建屋原子炉区域	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Sクラス ・常設重大事故緩和設備																			
・格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	設計基準対象施設 重大事故等対処施設	・Sクラス ・常設耐震重要重大事故防止設備 ・常設重大事故緩和設備																			
7	39-1	39-1-13	<table border="1"> <tr> <td>・号炉間電力融通ケーブル(可搬型)</td> <td>重大事故等対処施設</td> <td>・可搬型重大事故防止設備 ・可搬型重大事故緩和設備</td> <td></td> </tr> </table>	・号炉間電力融通ケーブル(可搬型)	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故防止設備 ・可搬型重大事故緩和設備		(記載なし)	② (SA設備追加)												
・号炉間電力融通ケーブル(可搬型)	重大事故等対処施設	・可搬型重大事故防止設備 ・可搬型重大事故緩和設備																			
8	39-3	39-3-3	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>原子炉建屋</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>新規設備であり 既工認実績なし</td> </tr> </table>	-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有	新規設備であり 既工認実績なし	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>原子炉建屋</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </table>	-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有		⑤
-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有	新規設備であり 既工認実績なし														
-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由															
9	39-3	39-3-8	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室</td> <td>5号炉原子炉建屋</td> <td>鋼板(設計中につき予定)</td> <td>サポート固定</td> <td>設計中</td> <td>無</td> </tr> </table>	建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室	5号炉原子炉建屋	鋼板(設計中につき予定)	サポート固定	設計中	無	(記載なし)	② (SA設備追加)								
建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室	5号炉原子炉建屋	鋼板(設計中につき予定)	サポート固定	設計中	無														
10	39-3	39-3-8	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽</td> <td>5号炉原子炉建屋</td> <td>コンクリート(設計中につき予定)</td> <td>岩盤支持ボルト固定(設計中につき予定)</td> <td>設計中</td> <td>設計中</td> </tr> </table>	建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽	5号炉原子炉建屋	コンクリート(設計中につき予定)	岩盤支持ボルト固定(設計中につき予定)	設計中	設計中	(記載なし)	② (SA設備追加)								
建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽	5号炉原子炉建屋	コンクリート(設計中につき予定)	岩盤支持ボルト固定(設計中につき予定)	設計中	設計中														
11	39-3	39-3-11	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>コリウムシールド</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>許認可実績なし</td> </tr> </table>	-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有	許認可実績なし	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>コリウムシールド</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> </tr> </table>	-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有	⑤
-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有	許認可実績なし													
-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有														
12	39-3	39-3-16	<table border="1"> <tr> <td>電気・電源設備</td> <td>直流 125V 蓄電池 B</td> <td>S</td> <td>コントロール建屋</td> <td>ボルト固定</td> </tr> </table>	電気・電源設備	直流 125V 蓄電池 B	S	コントロール建屋	ボルト固定	(記載なし)	② (SA設備追加)										
電気・電源設備	直流 125V 蓄電池 B	S	コントロール建屋	ボルト固定																
13	39-3	39-3-16	<table border="1"> <tr> <td>電気・電源設備</td> <td>直流 125V 充電器 B</td> <td>S</td> <td>コントロール建屋</td> <td>ボルト固定</td> </tr> </table>	電気・電源設備	直流 125V 充電器 B	S	コントロール建屋	ボルト固定	(記載なし)	② (SA設備追加)										
電気・電源設備	直流 125V 充電器 B	S	コントロール建屋	ボルト固定																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
14	39-3	39-3-21	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>原子炉建屋原子炉区域</td> <td>S</td> <td>原子炉建屋</td> <td>岩盤支持</td> <td></td> </tr> </table>	建物・構築物	原子炉建屋原子炉区域	S	原子炉建屋	岩盤支持		(記載なし)	② (SA設備追加)										
建物・構築物	原子炉建屋原子炉区域	S	原子炉建屋	岩盤支持																	
15	39-3	39-3-23	<table border="1"> <tr> <td>計測器・検出器</td> <td>高压炉心注水系ポンプ吐出圧力</td> <td>B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>ボルト固定</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測器・検出器</td> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> <td>B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>ボルト固定</td> <td></td> </tr> </table>	計測器・検出器	高压炉心注水系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定		計測器・検出器	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定		(記載なし)	② (SA設備追加)				
計測器・検出器	高压炉心注水系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定																	
計測器・検出器	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定																	
16	39-3	39-3-25	<table border="1"> <tr> <td>SAクラス2ポンプ</td> <td>高压代替注水系ポンプ</td> <td>原子炉建屋</td> <td>横形多段遠心式ポンプ</td> <td>ボルト固定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td>新規ポンプであり原子炉隔離時冷却系ポンプと構造が相違</td> </tr> </table>	SAクラス2ポンプ	高压代替注水系ポンプ	原子炉建屋	横形多段遠心式ポンプ	ボルト固定	有	無	新規ポンプであり原子炉隔離時冷却系ポンプと構造が相違	<table border="1"> <tr> <td>SAクラス2ポンプ</td> <td>高压代替注水系ポンプ</td> <td>原子炉建屋</td> <td>横形多段遠心式ポンプ</td> <td>ボルト固定</td> <td>有</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </table>	SAクラス2ポンプ	高压代替注水系ポンプ	原子炉建屋	横形多段遠心式ポンプ	ボルト固定	有	無		⑤
SAクラス2ポンプ	高压代替注水系ポンプ	原子炉建屋	横形多段遠心式ポンプ	ボルト固定	有	無	新規ポンプであり原子炉隔離時冷却系ポンプと構造が相違														
SAクラス2ポンプ	高压代替注水系ポンプ	原子炉建屋	横形多段遠心式ポンプ	ボルト固定	有	無															
17	39-3	39-3-26	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>原子炉建屋</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>新規設備であり既工認実績なし</td> </tr> </table>	-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有	新規設備であり既工認実績なし	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>遠隔手動弁操作設備</td> <td>原子炉建屋</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </table>	-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有		⑤
-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有	新規設備であり既工認実績なし														
-	遠隔手動弁操作設備	原子炉建屋	-	ボルト固定	-	有															
18	39-3	39-3-32	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室</td> <td>5号炉原子炉建屋</td> <td>鋼板(設計につき予定)</td> <td>サポート固定</td> <td>設計中</td> <td>無</td> <td></td> </tr> </table>	建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室	5号炉原子炉建屋	鋼板(設計につき予定)	サポート固定	設計中	無		(記載なし)	② (SA設備追加)								
建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)高気密室	5号炉原子炉建屋	鋼板(設計につき予定)	サポート固定	設計中	無															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
19	39-3	39-3-32	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽</td> <td>5号炉原子炉建屋</td> <td>コンクリート(設計中につき予定)</td> <td>岩盤支持ボルト固定(設計中につき予定)</td> <td>設計中</td> <td>設計中</td> </tr> </table>	建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽	5号炉原子炉建屋	コンクリート(設計中につき予定)	岩盤支持ボルト固定(設計中につき予定)	設計中	設計中	(記載なし)	② (SA設備追加)									
建物・構築物	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽	5号炉原子炉建屋	コンクリート(設計中につき予定)	岩盤支持ボルト固定(設計中につき予定)	設計中	設計中															
20	39-3	39-3-34	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>コリウムシールド</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td>許認可実績なし</td> </tr> </table>	-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有	許認可実績なし	<table border="1"> <tr> <td>-</td> <td>コリウムシールド</td> <td>原子炉格納容器</td> <td>-</td> <td>ボルト固定</td> <td>-</td> <td>有</td> <td></td> </tr> </table>	-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有		⑤
-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有	許認可実績なし														
-	コリウムシールド	原子炉格納容器	-	ボルト固定	-	有															
21	39-3	39-3-39	<table border="1"> <tr> <td>電気・電源設備</td> <td>直流125V蓄電池B</td> <td>S</td> <td>コントロール建屋</td> <td>ボルト固定</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	電気・電源設備	直流125V蓄電池B	S	コントロール建屋	ボルト固定			(記載なし)	② (SA設備追加)									
電気・電源設備	直流125V蓄電池B	S	コントロール建屋	ボルト固定																	
22	39-3	39-3-39	<table border="1"> <tr> <td>電気・電源設備</td> <td>直流125V充電器B</td> <td>S</td> <td>コントロール建屋</td> <td>ボルト固定</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	電気・電源設備	直流125V充電器B	S	コントロール建屋	ボルト固定			(記載なし)	② (SA設備追加)									
電気・電源設備	直流125V充電器B	S	コントロール建屋	ボルト固定																	
23	39-3	39-3-44	<table border="1"> <tr> <td>建物・構築物</td> <td>原子炉建屋原子炉区域</td> <td>S</td> <td>原子炉建屋</td> <td>岩盤支持</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	建物・構築物	原子炉建屋原子炉区域	S	原子炉建屋	岩盤支持			(記載なし)	② (SA設備追加)									
建物・構築物	原子炉建屋原子炉区域	S	原子炉建屋	岩盤支持																	
24	39-3	39-3-47	<table border="1"> <tr> <td>計測器・検出器</td> <td>高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力</td> <td>B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>ボルト固定</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計測器・検出器</td> <td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力</td> <td>B</td> <td>原子炉建屋</td> <td>ボルト固定</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	計測器・検出器	高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定			計測器・検出器	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定			(記載なし)	② (SA設備追加)		
計測器・検出器	高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定																	
計測器・検出器	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	B	原子炉建屋	ボルト固定																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
25	39-4	39-4-9	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th colspan="2">重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td> コリウムシールド サプレッション・チェンバ 格納容器内水素濃度 (S A) </td> <td> 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラブチャージャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 残留熱除去系熱交換器 海水貯留堰 スクリーン室 取水路 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置水素濃度 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度 </td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉格納容器	コリウムシールド サプレッション・チェンバ 格納容器内水素濃度 (S A)	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラブチャージャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 残留熱除去系熱交換器 海水貯留堰 スクリーン室 取水路 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置水素濃度 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th colspan="2">重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>コリウムシールド</td> <td> 熱交換器ユニット 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラブチャージャーディスク 原子炉補機冷却系中間ループ循環ポンプ 原子炉補機冷却系海水ポンプ 原子炉補機冷却系熱交換器 復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 格納容器内水素濃度 (S A) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度 </td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉格納容器	コリウムシールド	熱交換器ユニット 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラブチャージャーディスク 原子炉補機冷却系中間ループ循環ポンプ 原子炉補機冷却系海水ポンプ 原子炉補機冷却系熱交換器 復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 格納容器内水素濃度 (S A) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度	② (43条補足説明資料共-1の変更に伴う修正)
防護対象	重大事故等対処施設																				
	原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																			
原子炉格納容器	コリウムシールド サプレッション・チェンバ 格納容器内水素濃度 (S A)	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラブチャージャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 残留熱除去系熱交換器 海水貯留堰 スクリーン室 取水路 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置水素濃度 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度																			
防護対象	重大事故等対処施設																				
	原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																			
原子炉格納容器	コリウムシールド	熱交換器ユニット 大容量送水車 (熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラブチャージャーディスク 原子炉補機冷却系中間ループ循環ポンプ 原子炉補機冷却系海水ポンプ 原子炉補機冷却系熱交換器 復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 格納容器内水素濃度 (S A) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
26	39-4	39-4-10	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th colspan="2">重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器</td> <td> 制御棒 制御棒駆動機構（水圧駆動） 逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ </td> <td> 制御棒駆動系水圧制御ユニット ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧代替注水系ポンプ 原子炉建屋ブローアウトパネル 復水移送ポンプ 遠隔手動弁操作設備 フィルタ装置 よう素フィルタ ドレン移送ポンプ ドレンタンク フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 海水貯留堰 スクリーン室 取水路 ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能） ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能） 代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能） 自動減圧系の起動阻止スイッチ AM 用代替装置（SRV） AM 用直流 125V 充電器 軽油タンク </td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	制御棒 制御棒駆動機構（水圧駆動） 逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	制御棒駆動系水圧制御ユニット ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧代替注水系ポンプ 原子炉建屋ブローアウトパネル 復水移送ポンプ 遠隔手動弁操作設備 フィルタ装置 よう素フィルタ ドレン移送ポンプ ドレンタンク フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 海水貯留堰 スクリーン室 取水路 ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能） ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能） 代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能） 自動減圧系の起動阻止スイッチ AM 用代替装置（SRV） AM 用直流 125V 充電器 軽油タンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th colspan="2">重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器</td> <td> 逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ </td> <td> ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能） 制御棒 制御棒駆動機構（水圧駆動） 制御棒駆動系水圧制御ユニット ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能） ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧代替注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 高圧炉心注水系ポンプ 代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能） 自動減圧系の起動阻止スイッチ AM 用代替装置（SRV） 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 高圧炉心注水系注入隔離弁 高圧窒素ガスポンプ 復水移送ポンプ 可搬型代替注水ポンプ（A-2級） 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 </td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能） 制御棒 制御棒駆動機構（水圧駆動） 制御棒駆動系水圧制御ユニット ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能） ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧代替注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 高圧炉心注水系ポンプ 代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能） 自動減圧系の起動阻止スイッチ AM 用代替装置（SRV） 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 高圧炉心注水系注入隔離弁 高圧窒素ガスポンプ 復水移送ポンプ 可搬型代替注水ポンプ（A-2級） 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器	<p>② (43条補足説明資料共-1の変更に伴う修正)</p>
防護対象	重大事故等対処施設																				
	原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																			
原子炉圧力容器	制御棒 制御棒駆動機構（水圧駆動） 逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	制御棒駆動系水圧制御ユニット ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧代替注水系ポンプ 原子炉建屋ブローアウトパネル 復水移送ポンプ 遠隔手動弁操作設備 フィルタ装置 よう素フィルタ ドレン移送ポンプ ドレンタンク フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 海水貯留堰 スクリーン室 取水路 ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能） ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能） 代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能） 自動減圧系の起動阻止スイッチ AM 用代替装置（SRV） AM 用直流 125V 充電器 軽油タンク																			
防護対象	重大事故等対処施設																				
	原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																			
原子炉圧力容器	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能） 制御棒 制御棒駆動機構（水圧駆動） 制御棒駆動系水圧制御ユニット ATWS 緩和設備（代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能） ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧代替注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 高圧炉心注水系ポンプ 代替自動減圧ロジック（代替自動減圧機能） 自動減圧系の起動阻止スイッチ AM 用代替装置（SRV） 逃がし安全弁用可搬型蓄電池 高圧炉心注水系注入隔離弁 高圧窒素ガスポンプ 復水移送ポンプ 可搬型代替注水ポンプ（A-2級） 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																		
27	39-4	39-4-46	<p>補足1.6表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">運転状態</th> <th rowspan="2">許容応力 状態</th> <th rowspan="2">圧力条件 [MPa (gage)]</th> <th colspan="2">DB施設</th> <th colspan="2">SA施設</th> </tr> <tr> <th>S d</th> <th>S s</th> <th>S d</th> <th>S s</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td>I_A</td> <td rowspan="3">通常運転圧力</td> <td>III_AS</td> <td>IV_AS</td> <td>—</td> <td>IV_AS</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>II_A</td> <td>III_AS</td> <td>IV_AS</td> <td>—</td> <td>IV_AS</td> </tr> <tr> <td>III</td> <td>III_A</td> <td>III_AS</td> <td>IV_AS</td> <td>—</td> <td>IV_AS</td> </tr> <tr> <td>IV (L)</td> <td>I*_A</td> <td>LOCA後 10⁻¹年後</td> <td>III_AS</td> <td>—</td> <td>III_AS</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IV (S)</td> <td>IV_A</td> <td>約 0.25^{*1}</td> <td>IV_AS^{*4}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V (LL)</td> <td>V_A</td> <td>約 0.15^{*2}</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>V_AS^{*5}</td> </tr> <tr> <td>V (L)</td> <td>V_A</td> <td>約 0.62^{*3}</td> <td></td> <td></td> <td>V_AS^{*5}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V (S)</td> <td>V_A</td> <td>約 0.62</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	運転状態	許容応力 状態	圧力条件 [MPa (gage)]	DB施設		SA施設		S d	S s	S d	S s	I	I _A	通常運転圧力	III _A S	IV _A S	—	IV _A S	II	II _A	III _A S	IV _A S	—	IV _A S	III	III _A	III _A S	IV _A S	—	IV _A S	IV (L)	I* _A	LOCA後 10 ⁻¹ 年後	III _A S	—	III _A S	—	IV (S)	IV _A	約 0.25 ^{*1}	IV _A S ^{*4}	—	—	—	V (LL)	V _A	約 0.15 ^{*2}			—	V _A S ^{*5}	V (L)	V _A	約 0.62 ^{*3}			V _A S ^{*5}	—	V (S)	V _A	約 0.62			—	—	<p>補足1.6表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">運転状態</th> <th rowspan="2">許容応力 状態</th> <th rowspan="2">圧力条件 [MPa (gage)]</th> <th colspan="2">DB施設</th> <th colspan="2">SA施設</th> </tr> <tr> <th>S d</th> <th>S s</th> <th>S d</th> <th>S s</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>I</td> <td>I_A</td> <td rowspan="3">通常運転圧力</td> <td>III_AS</td> <td>IV_AS</td> <td>—</td> <td>IV_AS</td> </tr> <tr> <td>II</td> <td>II_A</td> <td>III_AS</td> <td>IV_AS</td> <td>—</td> <td>IV_AS</td> </tr> <tr> <td>III</td> <td>III_A</td> <td>III_AS</td> <td>IV_AS</td> <td>—</td> <td>IV_AS</td> </tr> <tr> <td>IV (L)</td> <td>I*_A</td> <td>LOCA後 10⁻¹年後</td> <td>III_AS</td> <td>—</td> <td>III_AS</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IV (S)</td> <td>IV_A</td> <td>約 0.25^{*1}</td> <td>IV_AS^{*4}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V (LL)</td> <td>V_A</td> <td>約 0.15^{*2}</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>V_AS^{*5}</td> </tr> <tr> <td>V (L)</td> <td>V_A</td> <td>約 0.36^{*3}</td> <td></td> <td></td> <td>V_AS^{*5}</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>V (S)</td> <td>V_A</td> <td>0.62</td> <td></td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	運転状態	許容応力 状態	圧力条件 [MPa (gage)]	DB施設		SA施設		S d	S s	S d	S s	I	I _A	通常運転圧力	III _A S	IV _A S	—	IV _A S	II	II _A	III _A S	IV _A S	—	IV _A S	III	III _A	III _A S	IV _A S	—	IV _A S	IV (L)	I* _A	LOCA後 10 ⁻¹ 年後	III _A S	—	III _A S	—	IV (S)	IV _A	約 0.25 ^{*1}	IV _A S ^{*4}	—	—	—	V (LL)	V _A	約 0.15 ^{*2}			—	V _A S ^{*5}	V (L)	V _A	約 0.36 ^{*3}			V _A S ^{*5}	—	V (S)	V _A	0.62			—	—	⑤
運転状態	許容応力 状態	圧力条件 [MPa (gage)]	DB施設				SA施設																																																																																																																																
			S d	S s	S d	S s																																																																																																																																	
I	I _A	通常運転圧力	III _A S	IV _A S	—	IV _A S																																																																																																																																	
II	II _A		III _A S	IV _A S	—	IV _A S																																																																																																																																	
III	III _A		III _A S	IV _A S	—	IV _A S																																																																																																																																	
IV (L)	I* _A	LOCA後 10 ⁻¹ 年後	III _A S	—	III _A S	—																																																																																																																																	
IV (S)	IV _A	約 0.25 ^{*1}	IV _A S ^{*4}	—	—	—																																																																																																																																	
V (LL)	V _A	約 0.15 ^{*2}			—	V _A S ^{*5}																																																																																																																																	
V (L)	V _A	約 0.62 ^{*3}			V _A S ^{*5}	—																																																																																																																																	
V (S)	V _A	約 0.62			—	—																																																																																																																																	
運転状態	許容応力 状態	圧力条件 [MPa (gage)]	DB施設		SA施設																																																																																																																																		
			S d	S s	S d	S s																																																																																																																																	
I	I _A	通常運転圧力	III _A S	IV _A S	—	IV _A S																																																																																																																																	
II	II _A		III _A S	IV _A S	—	IV _A S																																																																																																																																	
III	III _A		III _A S	IV _A S	—	IV _A S																																																																																																																																	
IV (L)	I* _A	LOCA後 10 ⁻¹ 年後	III _A S	—	III _A S	—																																																																																																																																	
IV (S)	IV _A	約 0.25 ^{*1}	IV _A S ^{*4}	—	—	—																																																																																																																																	
V (LL)	V _A	約 0.15 ^{*2}			—	V _A S ^{*5}																																																																																																																																	
V (L)	V _A	約 0.36 ^{*3}			V _A S ^{*5}	—																																																																																																																																	
V (S)	V _A	0.62			—	—																																																																																																																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																			
28	39-4	39-4-70	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器</td> <td>雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 代替循環冷却系を使用する場合 水素燃焼</td> <td>—</td> <td>復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 代替循環冷却系を使用しない場合</td> <td>—</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタバント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱 原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用 溶融炉心・コンクリート相互作用</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉格納容器	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 代替循環冷却系を使用する場合 水素燃焼	—	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 代替循環冷却系を使用しない場合	—	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタバント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱 原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用 溶融炉心・コンクリート相互作用	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">原子炉格納容器</td> <td>雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 水素燃焼</td> <td>—</td> <td>復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用</td> <td>—</td> <td>復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>溶融炉心・コンクリート相互作用</td> <td>コリウムシールド</td> <td>復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉格納容器	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 水素燃焼	—	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ	高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ	原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用	—	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ	溶融炉心・コンクリート相互作用	コリウムシールド	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ	<p>③ (有効性評価 各シーケンスで期待するSA設備の変更)</p>
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																						
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																					
原子炉格納容器	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 代替循環冷却系を使用する場合 水素燃焼	—	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																					
	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 代替循環冷却系を使用しない場合	—	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタバント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																					
	高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱 原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用 溶融炉心・コンクリート相互作用	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク																																					
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																						
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																					
原子炉格納容器	雰囲気圧力・温度による静的負荷（格納容器過圧・過温破損） 水素燃焼	—	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																					
	高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																					
	原子炉圧力容器外の溶融燃料－冷却材相互作用	—	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																					
	溶融炉心・コンクリート相互作用	コリウムシールド	復水移送ポンプ 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																							
29	39-4	39-4-71	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉圧力容器</td> <td>高圧・低圧注水機能喪失</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽</td> </tr> <tr> <td>高圧注水・減圧機能喪失</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失)</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失) + RCIC 失敗</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>高圧代替注水系ポンプ 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	高圧・低圧注水機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽	高圧注水・減圧機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失) + RCIC 失敗	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	高圧代替注水系ポンプ 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉圧力容器</td> <td>高圧・低圧注水機能喪失</td> <td>-</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>高圧注水・減圧機能喪失</td> <td>-</td> <td>残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失))</td> <td>-</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失) + 直流電源喪失)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	高圧・低圧注水機能喪失	-	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ	高圧注水・減圧機能喪失	-	残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器	全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失))	-	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ		全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失) + 直流電源喪失)			<p>③ (有効性評価 各シーケンスで期待するSA設備の変更)</p>
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																										
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																									
原子炉圧力容器	高圧・低圧注水機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽																																									
	高圧注水・減圧機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)																																									
	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																									
全交流動力電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失) + RCIC 失敗	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	高圧代替注水系ポンプ 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遮断手動弁操作設備 フィルタベント遮断壁 配管遮断 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																										
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																										
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																									
原子炉圧力容器	高圧・低圧注水機能喪失	-	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																									
	高圧注水・減圧機能喪失	-	残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器																																									
	全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失))	-	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ																																									
	全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失 + DG 喪失) + 直流電源喪失)																																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																	
30	39-4	39-4-9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シナシス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器</td> <td style="vertical-align: top;">全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+直流電源 喪失)</td> <td style="vertical-align: top;">逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td style="vertical-align: top;">高圧代替注水系ポンプ 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽 軽油タンク AM用直流 125V 蓄電池 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+SRV再 閉失敗</td> <td style="vertical-align: top;">逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td style="vertical-align: top;">フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">崩壊熱除去機能喪失 (取水機能が喪失し た場合)</td> <td style="vertical-align: top;">逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td style="vertical-align: top;">復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 軽油タンク 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シナシス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+直流電源 喪失)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	高圧代替注水系ポンプ 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽 軽油タンク AM用直流 125V 蓄電池 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+SRV再 閉失敗	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ	崩壊熱除去機能喪失 (取水機能が喪失し た場合)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 軽油タンク 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シナシス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3"></td> <td style="vertical-align: top;">全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)) 全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+RCIC失 敗) 全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+直流電源 喪失)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="vertical-align: top;">復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失+ SRV再閉失敗)(24 時間以内の交流動力 電源復旧に期待する 場合)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="vertical-align: top;">復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">崩壊熱除去機能喪失 (取水機能喪失)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="vertical-align: top;">復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シナシス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外		全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)) 全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+RCIC失 敗) 全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+直流電源 喪失)	-	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ	全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失+ SRV再閉失敗)(24 時間以内の交流動力 電源復旧に期待する 場合)	-	復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ	崩壊熱除去機能喪失 (取水機能喪失)	-	復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ	<p>③ (有効性評価 各 シナシスで期待 するSA設備の変 更)</p>
			防護対象			重大事故シナシス	主要な重大事故等対処施設																															
				原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																	
原子炉圧力容器	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+直流電源 喪失)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	高圧代替注水系ポンプ 復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽 軽油タンク AM用直流 125V 蓄電池 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ																																			
	全交流動力電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+SRV再 閉失敗	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ																																			
崩壊熱除去機能喪失 (取水機能が喪失し た場合)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 軽油タンク 第一ガスタービン発電機用燃料タ ンク 第一ガスタービン発電機用燃料移 送ポンプ																																				
防護対象	重大事故シナシス	主要な重大事故等対処施設																																				
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																			
	全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)) 全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+RCIC失 敗) 全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失 (外部電源喪失+ DG喪失)+直流電源 喪失)	-	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ																																			
	全交流動力電源喪失 (全交流電源喪失+ SRV再閉失敗)(24 時間以内の交流動力 電源復旧に期待する 場合)	-	復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ																																			
	崩壊熱除去機能喪失 (取水機能喪失)	-	復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ																																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																				
31	39-4	39-4-73	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器</td> <td>崩壊熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉停止機能喪失</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 復水貯蔵槽 ATWS緩和設備(代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) 自動減圧系の起動阻止スイッチ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>LOCA時注水機能喪失</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器バイパス (インターフェイス システムLOCA)</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水貯蔵槽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料プール</td> <td>想定事故1</td> <td>常設スプレイヘッダ 軽油タンク</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>想定事故2</td> <td>常設スプレイヘッダ 軽油タンク</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	崩壊熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽		原子炉停止機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 復水貯蔵槽 ATWS緩和設備(代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) 自動減圧系の起動阻止スイッチ		LOCA時注水機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽		格納容器バイパス (インターフェイス システムLOCA)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水貯蔵槽		使用済燃料プール	想定事故1	常設スプレイヘッダ 軽油タンク			想定事故2	常設スプレイヘッダ 軽油タンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器</td> <td>崩壊熱除去機能喪失 (残留熱除去系故障)</td> <td>—</td> <td>高圧炉心注水系ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉停止機能喪失</td> <td>—</td> <td>ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧炉心注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>LOCA時注水機能 喪失</td> <td>—</td> <td>復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器バイパス (インターフェイス システムLOCA)</td> <td>—</td> <td>高圧炉心注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 高圧炉心注水系注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	崩壊熱除去機能喪失 (残留熱除去系故障)	—	高圧炉心注水系ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ		原子炉停止機能喪失	—	ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧炉心注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器		LOCA時注水機能 喪失	—	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ		格納容器バイパス (インターフェイス システムLOCA)	—	高圧炉心注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 高圧炉心注水系注入隔離弁	<p>③ (有効性評価 各 シーケンスで期待 するSA設備の変 更)</p>
			防護対象			重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																																		
原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																																								
原子炉圧力容器	崩壊熱除去機能喪失 (残留熱除去系が故障した場合)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽																																																						
	原子炉停止機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 復水貯蔵槽 ATWS緩和設備(代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能) 自動減圧系の起動阻止スイッチ																																																						
	LOCA時注水機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ ラプチャーディスク ドレン移送ポンプ ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遮蔽壁 配管遮蔽 復水貯蔵槽																																																						
	格納容器バイパス (インターフェイス システムLOCA)	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水貯蔵槽																																																						
	使用済燃料プール	想定事故1	常設スプレイヘッダ 軽油タンク																																																						
		想定事故2	常設スプレイヘッダ 軽油タンク																																																						
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																																							
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																																						
原子炉圧力容器	崩壊熱除去機能喪失 (残留熱除去系故障)	—	高圧炉心注水系ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																																						
	原子炉停止機能喪失	—	ほう酸水注入系ポンプ ほう酸水注入系貯蔵タンク 高圧炉心注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器																																																						
	LOCA時注水機能 喪失	—	復水移送ポンプ フィルタ装置 よう素フィルタ																																																						
	格納容器バイパス (インターフェイス システムLOCA)	—	高圧炉心注水系ポンプ 原子炉隔離時冷却系ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 高圧炉心注水系注入隔離弁																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																							
32	39-4	39-4-74	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器</td> <td>崩壊熱除去機能喪失</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>全交流動力電源喪失</td> <td>逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉冷却材の流出</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>反応度の誤投入</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外	原子炉圧力容器	崩壊熱除去機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	—	全交流動力電源喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ		原子炉冷却材の流出	—	—		反応度の誤投入	—	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">防護対象</th> <th rowspan="2">重大事故シーケンス</th> <th colspan="2">主要な重大事故等対処施設</th> </tr> <tr> <th>原子炉格納容器内</th> <th>原子炉格納容器外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>運転停止中の原子炉における崩壊熱除去機能喪失 運転停止中の原子炉における原子炉冷却材の流出</td> <td>—</td> <td>残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運転停止中の原子炉における全交流動力電源喪失</td> <td>—</td> <td>復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運転停止中の原子炉における反応度の誤投入</td> <td>—</td> <td>ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能）</td> </tr> </tbody> </table>	防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外		運転停止中の原子炉における崩壊熱除去機能喪失 運転停止中の原子炉における原子炉冷却材の流出	—	残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器		運転停止中の原子炉における全交流動力電源喪失	—	復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ		運転停止中の原子炉における反応度の誤投入	—	ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能）	<p>③ (有効性評価 各シーケンスで期待するSA設備の変更)</p>
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																										
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																									
原子炉圧力容器	崩壊熱除去機能喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	—																																									
	全交流動力電源喪失	逃がし安全弁 逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ	復水移送ポンプ 復水貯蔵槽 軽油タンク 直流 125V 蓄電池 A 直流 125V 蓄電池 A-2 AM 用直流 125V 蓄電池 直流 125V 充電器 A 直流 125V 充電器 A-2 AM 用直流 125V 充電器 第一ガスタービン発電機 第一ガスタービン発電機用燃料タンク 第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																									
	原子炉冷却材の流出	—	—																																									
	反応度の誤投入	—	—																																									
防護対象	重大事故シーケンス	主要な重大事故等対処施設																																										
		原子炉格納容器内	原子炉格納容器外																																									
	運転停止中の原子炉における崩壊熱除去機能喪失 運転停止中の原子炉における原子炉冷却材の流出	—	残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器																																									
	運転停止中の原子炉における全交流動力電源喪失	—	復水移送ポンプ 残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ																																									
	運転停止中の原子炉における反応度の誤投入	—	ATWS 緩和設備（代替制御棒挿入機能）																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由						
33	39-4	39-4-80	表1 SA施設(建物・構築物)の施設分類				② (ブローアウトパ ネルのSA設備化)				
			SA 施設 (建物・構築物)	常設耐震重要 重大事故防止設備	常設耐震重要重大事故 防止設備以外の常設重 重大事故防止設備	常設重大事故 緩和設備		SA 施設 (建物・構築物)	常設耐震重要 重大事故防止設備	常設耐震重要重大事故 防止設備以外の常設重 重大事故防止設備	常設重大事故 緩和設備
			復水貯蔵槽	○	-	○		復水貯蔵槽	○	-	○
			フィルタベント遮蔽壁	○	-	○		フィルタベント遮蔽壁	○	-	○
			使用済燃料プール	○	-	○		使用済燃料貯蔵プール	○	-	○
			中央制御室遮蔽	○	-	○		中央制御室遮蔽	○	-	○
			中央制御室待避室遮蔽	-	-	○		中央制御室待避室遮蔽	-	-	○
			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽	○	-	○		5号炉原子炉建屋内緊急時 対策所(対策本部) 遮蔽	○	-	○
			5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 遮蔽	○	-	○		5号炉原子炉建屋内緊急時 対策所(待機場所) 遮蔽	○	-	○
			海水貯留堰	○	-	○		海水貯留堰	○	-	○
			スクリーン室	-	○	○		スクリーン室	-	○	○
			取水路	-	○	○		取水路	-	○	○
			補機冷却用海水取水路	-	-	-		補機冷却用海水取水路	-	○	-
			補機冷却用海水取水槽	-	-	-		補機冷却用海水取水槽	-	○	-
			主排気筒(内筒)	○	-	○		主排気筒(内筒)	○	-	○
原子炉建屋原子炉区域	-	-	○								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後			変更前			変更理由
34	39-4	39-4-84	SA 施設 (建物・構築物)	5.2.1 継続時間 設定の分類*	分類の根拠	SA 施設 (建物・構築物)	5.2.1(2)b. 継続時間 設定の分類*	分類の根拠	② (ブローアウトパ ネルのSA設備化)
			復水貯蔵槽	b	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 水圧) 及び運転時の温度荷重を考慮している。SA 時においても、荷重条件は変わらないため、DB 条件を上回る荷重はない。	復水貯蔵槽	b	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 水圧) 及び運転時の温度荷重を考慮している。SA 時においても、荷重条件は変わらないため、DB 条件を上回る荷重はない。	
			使用済燃料プール	a(b)	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 水圧), 通常時においては運転時荷重(圧力, 温度荷重, 機器・配管系から作用する荷重), 異常時荷重 (圧力, 温度荷重, 機器・配管系から作用する荷重) を考慮している。SA 時には、DB 条件とは異なる異常時荷重が作用する。	使用済燃料プール	a(b)	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 水圧), 通常時においては運転時荷重(圧力, 温度荷重, 機器・配管系から作用する荷重), 異常時荷重 (圧力, 温度荷重, 機器・配管系から作用する荷重) を考慮している。SA 時には、DB 条件とは異なる異常時荷重が作用する。	
			原子炉建屋原子炉区域 中央制御室遮蔽	b	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重) を考慮している。SA 時においても、荷重条件は変わらないため、DB 条件を上回る荷重はない。	中央制御室遮蔽	b	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重) を考慮している。SA 時においても、荷重条件は変わらないため、DB 条件を上回る荷重はない。	
			中央制御室待避室遮蔽 フィルタベント遮蔽壁 5号炉原子炉建屋内緊急時 対策所(対策本部)遮蔽 5号炉原子炉建屋内緊急時 対策所(待機場所)遮蔽	c	中央制御室待避室遮蔽, フィルタベント遮蔽壁, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)遮蔽, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)遮蔽についてはDB施設ではない。	中央制御室待避室遮蔽 フィルタベント遮蔽壁 5号炉原子炉建屋内緊急時 対策所(対策本部)遮蔽 5号炉原子炉建屋内緊急時 対策所(待機場所)遮蔽	c	中央制御室待避室遮蔽, フィルタベント遮蔽壁, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)遮蔽, 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)遮蔽, についてはDB施設ではない。	
			海水貯留堰 スクリーン室 取水路 補機冷却用海水取水路	b	DB 設計では、地盤内に埋設されている構造物として、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 土圧, 水圧) を考慮している。SA 時においても、地盤内で、DB 条件を上回るような事象は発生しないため、DB 条件を上回る荷重はない。	海水貯留堰 スクリーン室 取水路 補機冷却用海水取水路	b	DB 設計では、地盤内に埋設されている構造物として、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 土圧, 水圧) を考慮している。SA 時においても、地盤内で、DB 条件を上回るような事象は発生しないため、DB 条件を上回る荷重はない。	
			補機冷却用海水取水槽	b	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 水圧) を考慮している。SA 時においても、荷重条件は変わらないため、DB 条件を上回る荷重はない。	補機冷却用海水取水槽	b	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重, 積載荷重, 水圧) を考慮している。SA 時においても、荷重条件は変わらないため、DB 条件を上回る荷重はない。	
			主排気筒 (内筒)	a(b)	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重) を考慮している。SA 時においては、SA 時温度荷重を考慮するため、DB 条件を上回る荷重が作用する。	排気筒 (内筒)	a(b)	DB 設計では、常時作用している荷重 (固定荷重) を考慮している。SA 時においては、SA 時温度荷重を考慮するため、DB 条件を上回る荷重が作用する。	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																
35	39-4	39-4-86	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運転時</th> <th>DB 事故 (長期)</th> <th>SA 事故時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組み合わせる地震力</td> <td>Ss</td> <td>Sd</td> <td>Ss</td> </tr> <tr> <td>許容限界</td> <td>終局</td> <td>終局</td> <td>終局</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">復水貯蔵槽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> <tr> <td>水圧</td> <td>水圧</td> <td>水圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通常時温度荷重</td> <td>DB 長期温度荷重</td> <td>SA 時温度荷重</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">使用済燃料プール</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> <tr> <td>水圧</td> <td>水圧</td> <td>水圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運転時荷重</td> <td>DB 長期荷重</td> <td>SA 時荷重</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉区域 中央制御室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>フィルタベント遮蔽壁</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>SA 時温度荷重</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(対策本部)遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(待機場所)遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> </tbody> </table>		運転時	DB 事故 (長期)	SA 事故時	組み合わせる地震力	Ss	Sd	Ss	許容限界	終局	終局	終局	復水貯蔵槽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	積載荷重	積載荷重	積載荷重	水圧	水圧	水圧		通常時温度荷重	DB 長期温度荷重	SA 時温度荷重	使用済燃料プール	固定荷重	固定荷重	固定荷重	積載荷重	積載荷重	積載荷重	水圧	水圧	水圧		運転時荷重	DB 長期荷重	SA 時荷重	原子炉建屋原子炉区域 中央制御室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	フィルタベント遮蔽壁	固定荷重	固定荷重	固定荷重		積載荷重	積載荷重	積載荷重				SA 時温度荷重	5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(対策本部)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(待機場所)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重		積載荷重	積載荷重	積載荷重	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>運転時</th> <th>DB 事故 (長期)</th> <th>SA 事故時</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組み合わせる地震力</td> <td>Ss</td> <td>Sd</td> <td>Ss</td> </tr> <tr> <td>許容限界</td> <td>終局</td> <td>終局</td> <td>終局</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">復水貯蔵槽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> <tr> <td>水圧</td> <td>水圧</td> <td>水圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>通常時温度荷重</td> <td>DB 長期温度荷重</td> <td>SA 時温度荷重</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">使用済燃料プール</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> <tr> <td>水圧</td> <td>水圧</td> <td>水圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>運転時荷重</td> <td>DB 長期荷重</td> <td>SA 時荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>フィルタベント遮蔽壁</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>SA 時温度荷重</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(対策本部)遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(待機場所)遮蔽</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> <td>固定荷重</td> </tr> <tr> <td></td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> <td>積載荷重</td> </tr> </tbody> </table>		運転時	DB 事故 (長期)	SA 事故時	組み合わせる地震力	Ss	Sd	Ss	許容限界	終局	終局	終局	復水貯蔵槽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	積載荷重	積載荷重	積載荷重	水圧	水圧	水圧		通常時温度荷重	DB 長期温度荷重	SA 時温度荷重	使用済燃料プール	固定荷重	固定荷重	固定荷重	積載荷重	積載荷重	積載荷重	水圧	水圧	水圧		運転時荷重	DB 長期荷重	SA 時荷重	中央制御室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	フィルタベント遮蔽壁	固定荷重	固定荷重	固定荷重		積載荷重	積載荷重	積載荷重				SA 時温度荷重	5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(対策本部)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重	5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(待機場所)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重		積載荷重	積載荷重	積載荷重	<p>② (ブローアウトパ ネルのSA設備化)</p>
				運転時	DB 事故 (長期)	SA 事故時																																																																																																																																																															
			組み合わせる地震力	Ss	Sd	Ss																																																																																																																																																															
			許容限界	終局	終局	終局																																																																																																																																																															
			復水貯蔵槽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																															
				積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																															
				水圧	水圧	水圧																																																																																																																																																															
				通常時温度荷重	DB 長期温度荷重	SA 時温度荷重																																																																																																																																																															
			使用済燃料プール	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																															
				積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																															
水圧	水圧	水圧																																																																																																																																																																			
	運転時荷重	DB 長期荷重	SA 時荷重																																																																																																																																																																		
原子炉建屋原子炉区域 中央制御室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
フィルタベント遮蔽壁	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
	積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																																		
			SA 時温度荷重																																																																																																																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(対策本部)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(待機場所)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
	積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																																		
	運転時	DB 事故 (長期)	SA 事故時																																																																																																																																																																		
組み合わせる地震力	Ss	Sd	Ss																																																																																																																																																																		
許容限界	終局	終局	終局																																																																																																																																																																		
復水貯蔵槽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
	積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																																		
	水圧	水圧	水圧																																																																																																																																																																		
	通常時温度荷重	DB 長期温度荷重	SA 時温度荷重																																																																																																																																																																		
使用済燃料プール	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
	積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																																		
	水圧	水圧	水圧																																																																																																																																																																		
	運転時荷重	DB 長期荷重	SA 時荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
中央制御室待避室遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
フィルタベント遮蔽壁	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
	積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																																		
			SA 時温度荷重																																																																																																																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(対策本部)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
5号炉原子炉建屋内緊急 時対策所(待機場所)遮蔽	固定荷重	固定荷重	固定荷重																																																																																																																																																																		
	積載荷重	積載荷重	積載荷重																																																																																																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																														
36	39-4	39-4-160	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名称</th> <th colspan="2">DB条件</th> <th colspan="2">SA条件</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>圧力 (MPa)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>圧力 (MPa)</th> <th>温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器</td> <td>S d : 8.37</td> <td>S d : 299</td> <td>S d : 8.37</td> <td>S d : 299</td> <td rowspan="2">DB条件がSA条件を包絡</td> </tr> <tr> <td>S s : 8.37</td> <td>S s : 299</td> <td>S s : 8.37</td> <td>S s : 299</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器支持スカート</td> <td>—</td> <td>S d : 171 (雰囲気温度)</td> <td>—</td> <td>S d : 168 (雰囲気温度)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : 57 (雰囲気温度)</td> <td>—</td> <td>S s : 78 (雰囲気温度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器基礎ボルト</td> <td>—</td> <td>S d : 171 (雰囲気温度)</td> <td>—</td> <td>S d : 168 (雰囲気温度)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : 57 (雰囲気温度)</td> <td>—</td> <td>S s : 78 (雰囲気温度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器スタビライザ</td> <td>—</td> <td>S d : 171 (雰囲気温度)</td> <td>—</td> <td>S d : 168 (雰囲気温度)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : 57 (雰囲気温度)</td> <td>—</td> <td>S s : 78 (雰囲気温度)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器</td> <td>S d : 0.250 (ドライウエル), 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)</td> <td>S d : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)</td> <td>S d : 0.62</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>S s : -0.014 (通常運転)</td> <td>S s : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)</td> <td>S s : 0.15</td> <td>S s : 78</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器配管貫通部</td> <td>S d : 0.250 (ドライウエル), 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)</td> <td>S d : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)</td> <td>S d : 0.62</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>S s : -0.014 (通常運転)</td> <td>S s : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)</td> <td>S s : 0.15</td> <td>S s : 78</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	DB条件		SA条件		備考	圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)	温度 (°C)	原子炉圧力容器	S d : 8.37	S d : 299	S d : 8.37	S d : 299	DB条件がSA条件を包絡	S s : 8.37	S s : 299	S s : 8.37	S s : 299	原子炉圧力容器支持スカート	—	S d : 171 (雰囲気温度)	—	S d : 168 (雰囲気温度)		—	S s : 57 (雰囲気温度)	—	S s : 78 (雰囲気温度)	原子炉圧力容器基礎ボルト	—	S d : 171 (雰囲気温度)	—	S d : 168 (雰囲気温度)		—	S s : 57 (雰囲気温度)	—	S s : 78 (雰囲気温度)	原子炉圧力容器スタビライザ	—	S d : 171 (雰囲気温度)	—	S d : 168 (雰囲気温度)		—	S s : 57 (雰囲気温度)	—	S s : 78 (雰囲気温度)	原子炉格納容器	S d : 0.250 (ドライウエル), 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168		S s : -0.014 (通常運転)	S s : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78	原子炉格納容器配管貫通部	S d : 0.250 (ドライウエル), 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168		S s : -0.014 (通常運転)	S s : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名称</th> <th colspan="2">DB条件</th> <th colspan="2">SA条件</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>圧力 (MPa)</th> <th>温度 (°C)</th> <th>圧力 (MPa)</th> <th>温度 (°C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器</td> <td>S d : 8.37MPa</td> <td>S d : 299</td> <td>S d : 0.93 以下</td> <td>S d : 182 以下</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>S s : 8.37MPa</td> <td>S s : 299</td> <td>S s : 0.93 以下</td> <td>S s : 182 以下</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器支持スカート</td> <td>—</td> <td>S d : 171</td> <td>S d : —</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : 57</td> <td>S s : —</td> <td>S s : 78</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器基礎ボルト</td> <td>—</td> <td>S d : 171</td> <td>S d : —</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : 57</td> <td>S s : —</td> <td>S s : 78</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器スタビライザ</td> <td>—</td> <td>S d : 171</td> <td>S d : —</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器内雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : 57</td> <td>S s : —</td> <td>S s : 78</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器</td> <td>S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)</td> <td>S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)</td> <td>S d : 0.62</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : -0.014MPa (通常運転)</td> <td>S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)</td> <td>S s : 0.15</td> <td>S s : 78</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器配管貫通部</td> <td>S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)</td> <td>S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)</td> <td>S d : 0.62</td> <td>S d : 168</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>S s : -0.014MPa (通常運転)</td> <td>S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)</td> <td>S s : 0.15</td> <td>S s : 78</td> </tr> </tbody> </table>	施設名称	DB条件		SA条件		備考	圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)	温度 (°C)	原子炉圧力容器	S d : 8.37MPa	S d : 299	S d : 0.93 以下	S d : 182 以下		S s : 8.37MPa	S s : 299	S s : 0.93 以下	S s : 182 以下	原子炉圧力容器支持スカート	—	S d : 171	S d : —	S d : 168	原子炉格納容器内雰囲気温度	—	S s : 57	S s : —	S s : 78	原子炉圧力容器基礎ボルト	—	S d : 171	S d : —	S d : 168	原子炉格納容器内雰囲気温度	—	S s : 57	S s : —	S s : 78	原子炉圧力容器スタビライザ	—	S d : 171	S d : —	S d : 168	原子炉格納容器内雰囲気温度	—	S s : 57	S s : —	S s : 78	原子炉格納容器	S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)	S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168		—	S s : -0.014MPa (通常運転)	S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78	原子炉格納容器配管貫通部	S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)	S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168		—	S s : -0.014MPa (通常運転)	S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78	⑤
			施設名称		DB条件		SA条件			備考																																																																																																																																									
				圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)	温度 (°C)																																																																																																																																												
			原子炉圧力容器	S d : 8.37	S d : 299	S d : 8.37	S d : 299	DB条件がSA条件を包絡																																																																																																																																											
				S s : 8.37	S s : 299	S s : 8.37	S s : 299																																																																																																																																												
			原子炉圧力容器支持スカート	—	S d : 171 (雰囲気温度)	—	S d : 168 (雰囲気温度)																																																																																																																																												
				—	S s : 57 (雰囲気温度)	—	S s : 78 (雰囲気温度)																																																																																																																																												
			原子炉圧力容器基礎ボルト	—	S d : 171 (雰囲気温度)	—	S d : 168 (雰囲気温度)																																																																																																																																												
				—	S s : 57 (雰囲気温度)	—	S s : 78 (雰囲気温度)																																																																																																																																												
			原子炉圧力容器スタビライザ	—	S d : 171 (雰囲気温度)	—	S d : 168 (雰囲気温度)																																																																																																																																												
				—	S s : 57 (雰囲気温度)	—	S s : 78 (雰囲気温度)																																																																																																																																												
			原子炉格納容器	S d : 0.250 (ドライウエル), 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168																																																																																																																																												
S s : -0.014 (通常運転)	S s : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)	S s : 0.15		S s : 78																																																																																																																																															
原子炉格納容器配管貫通部	S d : 0.250 (ドライウエル), 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168																																																																																																																																															
	S s : -0.014 (通常運転)	S s : 171 (ドライウエル), 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78																																																																																																																																															
施設名称	DB条件		SA条件		備考																																																																																																																																														
	圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)	温度 (°C)																																																																																																																																															
原子炉圧力容器	S d : 8.37MPa	S d : 299	S d : 0.93 以下	S d : 182 以下																																																																																																																																															
	S s : 8.37MPa	S s : 299	S s : 0.93 以下	S s : 182 以下																																																																																																																																															
原子炉圧力容器支持スカート	—	S d : 171	S d : —	S d : 168	原子炉格納容器内雰囲気温度																																																																																																																																														
—	S s : 57	S s : —	S s : 78																																																																																																																																																
原子炉圧力容器基礎ボルト	—	S d : 171	S d : —	S d : 168	原子炉格納容器内雰囲気温度																																																																																																																																														
—	S s : 57	S s : —	S s : 78																																																																																																																																																
原子炉圧力容器スタビライザ	—	S d : 171	S d : —	S d : 168	原子炉格納容器内雰囲気温度																																																																																																																																														
—	S s : 57	S s : —	S s : 78																																																																																																																																																
原子炉格納容器	S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)	S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168																																																																																																																																															
—	S s : -0.014MPa (通常運転)	S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78																																																																																																																																															
原子炉格納容器配管貫通部	S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)	S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168																																																																																																																																															
—	S s : -0.014MPa (通常運転)	S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78																																																																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後					変更前					変更理由		
			施設名称	DB条件		SA条件		備考	施設名称	DB条件		SA条件		備考	
			圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)	温度 (°C)		圧力 (MPa)	温度 (°C)	圧力 (MPa)	温度 (°C)				
37	39-4	39-4-161	原子炉格納容器電気配線貫通部	S d : 0.250 (ドライウエル) 0.180 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 171 (ドライウエル) 104 (サブプレッション・チェンバ) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168		S d : 0.250MPa (D/W) 0.180MPa (S/C) (LOCA条件)	S d : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (LOCA条件)	S d : 0.62	S d : 168		③ (SA条件の評価進捗)	
				S s : -0.014 (通常運転)	S s : 171 (ドライウエル) 104 (サブプレッション・チェンバ) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78		S s : -0.014MPa (通常運転)	S s : 171°C (D/W) 104°C (S/C) (通常運転)	S s : 0.15	S s : 78			
			高圧炉心注水系ポンプ	-	S d : 100 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト), 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	-	-		S d : -	S d : 100 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	S d : -	S d : -			
				-	S s : 100 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト), 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	-	S s : 120 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト), 100 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)		S s : -	S s : 100 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	S s : -	S s : 113 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)			
			残留熱除去系ポンプ	-	S d : 182 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	-	-		S d : -	S d : 182 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	S d : -	S d : -			
				-	S s : 182 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	-	S s : 182 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 100 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)		S s : -	S s : 182 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	S s : -	S s : -			
			原子炉補機冷却水系ポンプ	-	S d : 70 (ポンプ取付ボルト) 50 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	-	-		S s : -	S s : 182 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	S s : -	S s : 137 (ポンプ取付ボルト, 原動機取付ボルト) 66 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)			
				-	S s : 70 (ポンプ取付ボルト) 50 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)	-	S s : 70 (ポンプ取付ボルト) 50 (基礎ボルト, 原動機取付ボルト)								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
38	39-4	39-4-166 ~201	「重大事故等時の長期安定冷却手段について」を新規追加	-	① (長期安定冷却の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について

章/項番号: 39条 地震による損傷の防止 添付資料-1 重大事故等対処施設の網羅的な整理について

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																					
1	添付資料1	39-添1-3	<p>代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入</p> <table border="1"> <tr> <td>【主要設備】</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御棒</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御棒駆動機構 (水圧駆動)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>制御棒駆動系水圧制御ユニット</td> </tr> <tr> <td>【管路】</td> <td>制御棒駆動系 配管</td> </tr> <tr> <td>【電源設備】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク</td> </tr> </table>	【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)		制御棒		制御棒駆動機構 (水圧駆動)		制御棒駆動系水圧制御ユニット	【管路】	制御棒駆動系 配管	【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク	<table border="1"> <tr> <td>ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)</td> <td>【主要設備】</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・制御棒 ・制御棒駆動機構 (水圧駆動) ・制御棒駆動系水圧制御ユニット</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【管路】</td> <td>制御棒駆動系配管</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【電源設備】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)</td> </tr> </table>	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・制御棒 ・制御棒駆動機構 (水圧駆動) ・制御棒駆動系水圧制御ユニット		【管路】	制御棒駆動系配管		【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)	② (SA設備追加)
【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)																									
	制御棒																									
	制御棒駆動機構 (水圧駆動)																									
	制御棒駆動系水圧制御ユニット																									
【管路】	制御棒駆動系 配管																									
【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク																									
ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能) ・制御棒 ・制御棒駆動機構 (水圧駆動) ・制御棒駆動系水圧制御ユニット																								
	【管路】	制御棒駆動系配管																								
	【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)																								
2	添付資料1	39-添1-3	<p>原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制</p> <table border="1"> <tr> <td>【主要設備】</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)</td> </tr> <tr> <td>【電源設備】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク</td> </tr> </table>	【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク	<table border="1"> <tr> <td>ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)</td> <td>【主要設備】</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【電源設備】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)</td> </tr> </table>	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)		【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)	② (SA設備追加)											
【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)																									
【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク																									
ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	【主要設備】	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)																								
	【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)																								
3	添付資料1	39-添1-7	<p>原子炉減圧の自動化</p> <table border="1"> <tr> <td>【主要設備】</td> <td>代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自動減圧系の起動阻止スイッチ</td> </tr> <tr> <td>【電源設備】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク</td> </tr> </table>	【主要設備】	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)		自動減圧系の起動阻止スイッチ	【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>【電源設備】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)</td> </tr> </table>		【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)	② (SA設備追加)												
【主要設備】	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)																									
	自動減圧系の起動阻止スイッチ																									
【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク																									
	【電源設備】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張)																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																		
4	添付資料1	39-添1-7	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">可搬型直流電源設備による減圧</td> <td>備【主要設</td> <td>可搬型直流電源設備 AM 用切替装置 (SRV)</td> </tr> <tr> <td>路【燃料流</td> <td>軽油タンク予備ノズル・弁 ホース</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設【附属</td> <td>常設代替直流電源設備 ・AM 用直流 125V 蓄電池</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">【電路</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM 用直流 125V 充電器 ～AM 用切替装置 (SRV) 電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源車～AM 用動力変圧器電路 ～AM 用直流 125V 充電器 ～AM 用切替装置 (SRV) 電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池～駆動回路電源</td> </tr> </table>	可搬型直流電源設備による減圧	備【主要設	可搬型直流電源設備 AM 用切替装置 (SRV)	路【燃料流	軽油タンク予備ノズル・弁 ホース		設【附属	常設代替直流電源設備 ・AM 用直流 125V 蓄電池		【電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM 用直流 125V 充電器 ～AM 用切替装置 (SRV) 電路		電源車～AM 用動力変圧器電路 ～AM 用直流 125V 充電器 ～AM 用切替装置 (SRV) 電路			逃がし安全弁用可搬型蓄電池～駆動回路電源	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)</td> <td rowspan="2">備【主要設</td> <td>電源車 AM 用直流 125V 充電器 AM 用切替装置 (SRV)</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池 軽油タンク タンクローリ (4kL)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>流【燃料</td> <td>軽油タンク予備ノズル・弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設【附属</td> <td>常設代替直流電源設備 ・AM 用直流 125V 蓄電池</td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">【交流電路</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路 緊急用電源切替箱接続装置～AM 用直流 125V 充電器電路 電源車～AM 用動力変圧器電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>AM 用動力変圧器～AM 用直流 125V 充電器電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電【直流</td> <td>AM 用直流 125V 充電器～AM 用切替装置 (SRV) 電路 逃がし安全弁用可搬型蓄電池～駆動回路電路</td> </tr> </table>	逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	備【主要設	電源車 AM 用直流 125V 充電器 AM 用切替装置 (SRV)	逃がし安全弁用可搬型蓄電池 軽油タンク タンクローリ (4kL)		流【燃料	軽油タンク予備ノズル・弁		設【附属	常設代替直流電源設備 ・AM 用直流 125V 蓄電池		【交流電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路 緊急用電源切替箱接続装置～AM 用直流 125V 充電器電路 電源車～AM 用動力変圧器電路		AM 用動力変圧器～AM 用直流 125V 充電器電路		電【直流	AM 用直流 125V 充電器～AM 用切替装置 (SRV) 電路 逃がし安全弁用可搬型蓄電池～駆動回路電路	② (SA設備追加変更)
可搬型直流電源設備による減圧	備【主要設	可搬型直流電源設備 AM 用切替装置 (SRV)																																					
	路【燃料流	軽油タンク予備ノズル・弁 ホース																																					
	設【附属	常設代替直流電源設備 ・AM 用直流 125V 蓄電池																																					
	【電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 ～AM 用直流 125V 充電器 ～AM 用切替装置 (SRV) 電路																																					
		電源車～AM 用動力変圧器電路 ～AM 用直流 125V 充電器 ～AM 用切替装置 (SRV) 電路																																					
		逃がし安全弁用可搬型蓄電池～駆動回路電源																																					
逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	備【主要設	電源車 AM 用直流 125V 充電器 AM 用切替装置 (SRV)																																					
		逃がし安全弁用可搬型蓄電池 軽油タンク タンクローリ (4kL)																																					
	流【燃料	軽油タンク予備ノズル・弁																																					
	設【附属	常設代替直流電源設備 ・AM 用直流 125V 蓄電池																																					
	【交流電路	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路 緊急用電源切替箱接続装置～AM 用直流 125V 充電器電路 電源車～AM 用動力変圧器電路																																					
		AM 用動力変圧器～AM 用直流 125V 充電器電路																																					
	電【直流	AM 用直流 125V 充電器～AM 用切替装置 (SRV) 電路 逃がし安全弁用可搬型蓄電池～駆動回路電路																																					
5	添付資料1	39-添1-7	<table border="1"> <tr> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池による減圧</td> <td>備【主要設</td> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池</td> </tr> </table>	逃がし安全弁用可搬型蓄電池による減圧	備【主要設	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	(記載なし)	② (SA設備追加)																															
逃がし安全弁用可搬型蓄電池による減圧	備【主要設	逃がし安全弁用可搬型蓄電池																																					
6	添付資料1	39-添1-9	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">【流路</td> <td>復水補給水系 配管・弁</td> <td>常</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁・スパージャ</td> <td>常</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパージャ</td> <td>常</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口</td> <td>可</td> </tr> </table>	【流路	復水補給水系 配管・弁	常	残留熱除去系 配管・弁・スパージャ	常	給水系 配管・弁・スパージャ	常	ホース・接続口	可	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">【流路</td> <td>復水補給水系 配管・弁</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパージャ</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口</td> </tr> </table>	【流路	復水補給水系 配管・弁	残留熱除去系 配管・弁	給水系 配管・弁・スパージャ	ホース・接続口	② (SA設備追加)																				
【流路	復水補給水系 配管・弁	常																																					
	残留熱除去系 配管・弁・スパージャ	常																																					
	給水系 配管・弁・スパージャ	常																																					
	ホース・接続口	可																																					
【流路	復水補給水系 配管・弁																																						
	残留熱除去系 配管・弁																																						
	給水系 配管・弁・スパージャ																																						
	ホース・接続口																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																		
7	添付資料1	39-添1-12	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[排出元]</td> <td>原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)</td> </tr> </table>	[排出元]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)	(記載なし)	② (SA設備追加)																
[排出元]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)																						
8	添付資料1	39-添1-13	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td style="text-align: center;">設備 [附属]</td> <td>遠隔手動弁操作設備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設備 [附属]</td> <td>遠隔空気駆動弁操作ポンペ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">元 [排出]</td> <td>原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)</td> </tr> </table>	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	設備 [附属]	遠隔手動弁操作設備	設備 [附属]	遠隔空気駆動弁操作ポンペ	元 [排出]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)	(記載なし)	② (SA設備追加)											
耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	設備 [附属]	遠隔手動弁操作設備																					
	設備 [附属]	遠隔空気駆動弁操作ポンペ																					
	元 [排出]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)																					
9	添付資料1	39-添1-14	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">原子炉停止時冷却</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">設備 [主要]</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">路 [流]</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・スパージャ</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパージャ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">[注水先]</td> <td>原子炉压力容器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">[電源設備 (電路含む)]</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">[計装設備]</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> </table>	原子炉停止時冷却	設備 [主要]	残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系熱交換器	路 [流]	残留熱除去系 配管・弁・スパージャ	給水系 配管・弁・スパージャ	[注水先]	原子炉压力容器	[電源設備 (電路含む)]	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機	残留熱除去系系統流量	[計装設備]	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">原子炉停止時冷却</td> <td style="text-align: center;">設備 [主要]</td> <td>残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)</td> </tr> </table>	原子炉停止時冷却	設備 [主要]	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)	② (SA設備追加)
原子炉停止時冷却	設備 [主要]	残留熱除去系ポンプ																					
		残留熱除去系熱交換器																					
	路 [流]	残留熱除去系 配管・弁・スパージャ																					
		給水系 配管・弁・スパージャ																					
	[注水先]	原子炉压力容器																					
	[電源設備 (電路含む)]	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機																					
		残留熱除去系系統流量																					
	[計装設備]	残留熱除去系熱交換器入口温度																					
		残留熱除去系熱交換器出口温度																					
	原子炉停止時冷却	設備 [主要]	残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由															
10	添付資料1	39-添1-14	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">格納容器スプレイ冷却</td> <td rowspan="2">設 備 【主要】</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【水源】</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> </tr> </table>	格納容器スプレイ冷却	設 備 【主要】	残留熱除去系ポンプ	残留熱除去系熱交換器		【水源】	サブプレッション・チェンバ	<table border="1"> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却</td> <td>備 【主要設</td> <td>残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)</td> </tr> </table>	格納容器スプレイ冷却	備 【主要設	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	② (SA設備追加)					
格納容器スプレイ冷却	設 備 【主要】	残留熱除去系ポンプ																		
		残留熱除去系熱交換器																		
	【水源】	サブプレッション・チェンバ																		
格納容器スプレイ冷却	備 【主要設	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)																		
11	添付資料1	39-添1-15	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">【流 路】</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレナ</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ・ヘッダ</td> </tr> <tr> <td>【注 水先】</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>【電 源 含 む】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">【計 表 設 備】</td> <td>残留熱除去系系統流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> </table>	【流 路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレナ	格納容器スプレイ・ヘッダ	【注 水先】	原子炉格納容器	【電 源 含 む】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機	【計 表 設 備】	残留熱除去系系統流量	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	ドライウェル雰囲気温度	サブプレッション・チェンバ気体温度	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)	同上	② (SA設備追加)
【流 路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレナ																			
	格納容器スプレイ・ヘッダ																			
【注 水先】	原子炉格納容器																			
【電 源 含 む】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機																			
【計 表 設 備】	残留熱除去系系統流量																			
	残留熱除去系熱交換器入口温度																			
	残留熱除去系熱交換器出口温度																			
	ドライウェル雰囲気温度																			
	サブプレッション・チェンバ気体温度																			
	格納容器内圧力 (D/W)																			
格納容器内圧力 (S/C)																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																		
12	添付資料1	39-添1-15	<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">サブプレッション・チェンバ・プール水冷却</td> <td>設【主要】</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td>【水源】</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> </tr> <tr> <td>【流路】</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ</td> </tr> <tr> <td>【注水先】</td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td>【電源設備】 (電路含む)</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機</td> </tr> <tr> <td>【計装設備】</td> <td>残留熱除去系系統流量 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> </table>	サブプレッション・チェンバ・プール水冷却	設【主要】	残留熱除去系ポンプ		残留熱除去系熱交換器	【水源】	サブプレッション・チェンバ	【流路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ	【注水先】	原子炉格納容器	【電源設備】 (電路含む)	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機	【計装設備】	残留熱除去系系統流量 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度	<table border="1"> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水冷却</td> <td>【主要設備】</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)</td> </tr> </table>	サブプレッション・チェンバ・プール水冷却	【主要設備】	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)	② (SA設備追加)
サブプレッション・チェンバ・プール水冷却	設【主要】	残留熱除去系ポンプ																					
		残留熱除去系熱交換器																					
	【水源】	サブプレッション・チェンバ																					
	【流路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ																					
	【注水先】	原子炉格納容器																					
	【電源設備】 (電路含む)	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機																					
	【計装設備】	残留熱除去系系統流量 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度																					
サブプレッション・チェンバ・プール水冷却	【主要設備】	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)																					
13	添付資料1	39-添1-16	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>ドライウェル雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> </table>		ドライウェル雰囲気温度		サブプレッション・チェンバ気体温度		サブプレッション・チェンバ・プール水温度		格納容器内圧力 (D/W)		格納容器内圧力 (S/C)	同上	② (SA設備追加)								
	ドライウェル雰囲気温度																						
	サブプレッション・チェンバ気体温度																						
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度																						
	格納容器内圧力 (D/W)																						
	格納容器内圧力 (S/C)																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由										
14	添付資料1	39-添1-16	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">〔流路〕</td> <td>残留熱除去系 配管・弁</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ・ヘッダ</td> </tr> </table>	〔流路〕	残留熱除去系 配管・弁	格納容器スプレイ・ヘッダ	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">〔流路〕</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・スプレイ ヘッダ</td> </tr> </table>	〔流路〕	残留熱除去系 配管・弁・スプレイ ヘッダ	⑤					
〔流路〕	残留熱除去系 配管・弁														
	格納容器スプレイ・ヘッダ														
〔流路〕	残留熱除去系 配管・弁・スプレイ ヘッダ														
	15	添付資料1	39-添1-17	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器内の冷却</td> <td rowspan="2">〔主要設備〕</td> <td>可搬型代替注入ポンプ (A-2 級)</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">〔水源〕</td> <td rowspan="2">淡水貯水池</td> <td>復水補給水系配管・弁</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系配管・弁</td> </tr> <tr> <td>〔流路〕</td> <td>格納容器スプレイ・ヘッダ</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器内の冷却	〔主要設備〕	可搬型代替注入ポンプ (A-2 級)	防火水槽	〔水源〕	淡水貯水池	復水補給水系配管・弁	残留熱除去系配管・弁	〔流路〕	格納容器スプレイ・ヘッダ	(記載なし)
代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器内の冷却	〔主要設備〕	可搬型代替注入ポンプ (A-2 級)													
		防火水槽													
〔水源〕	淡水貯水池	復水補給水系配管・弁													
		残留熱除去系配管・弁													
	〔流路〕	格納容器スプレイ・ヘッダ													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																				
16	添付資料1	39-添1-18	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>ホース・接続口</td> <td>付 付</td> </tr> <tr> <td>【注水先】</td> <td>原子炉格納容器</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【電源設備 (電路含む)】</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機</td> <td></td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 ・電源車 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替所内電気設備 ・緊急用高圧母線 ・緊急用断路器 ・緊急用電源切替箱断路器 ・緊急用電源切替箱接続装置 ・AM 用動力変圧器 ・AM 用 MCC ・AM 用切替盤 ・AM 用操作盤 ・非常用高圧母線 C 系 ・非常用高圧母線 D 系</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)</td> <td></td> </tr> </table>		ホース・接続口	付 付	【注水先】	原子炉格納容器		【電源設備 (電路含む)】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機		常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ		可搬型代替交流電源設備 ・電源車 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)		代替所内電気設備 ・緊急用高圧母線 ・緊急用断路器 ・緊急用電源切替箱断路器 ・緊急用電源切替箱接続装置 ・AM 用動力変圧器 ・AM 用 MCC ・AM 用切替盤 ・AM 用操作盤 ・非常用高圧母線 C 系 ・非常用高圧母線 D 系			燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)		(記載なし)	② (SA設備追加)																		
	ホース・接続口	付 付																																							
【注水先】	原子炉格納容器																																								
【電源設備 (電路含む)】	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機																																								
	常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																								
	可搬型代替交流電源設備 ・電源車 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)																																								
	代替所内電気設備 ・緊急用高圧母線 ・緊急用断路器 ・緊急用電源切替箱断路器 ・緊急用電源切替箱接続装置 ・AM 用動力変圧器 ・AM 用 MCC ・AM 用切替盤 ・AM 用操作盤 ・非常用高圧母線 C 系 ・非常用高圧母線 D 系																																								
	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)																																								
17	添付資料1	39-添1-18	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">格納容器スプレイ冷却系による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>【主要設備】</td> <td>残留熱除去系ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>【水源】</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">【流路】</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレートナ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器スプレイ・ヘッド</td> <td></td> </tr> </table>	格納容器スプレイ冷却系による原子炉格納容器内の冷却	【主要設備】	残留熱除去系ポンプ			残留熱除去系熱交換器			【水源】	サブプレッション・チェンバ			【流路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレートナ			格納容器スプレイ・ヘッド		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)</td> <td>【主要設備】</td> <td>残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) 熱交換器</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>【水源】</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td rowspan="2">【流路】</td> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレートナ・スプレイヘッド</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器</td> <td></td> </tr> </table>	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	【主要設備】	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ			残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) 熱交換器			【水源】	サブプレッション・チェンバ			【流路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレートナ・スプレイヘッド			原子炉格納容器		⑤
格納容器スプレイ冷却系による原子炉格納容器内の冷却	【主要設備】	残留熱除去系ポンプ																																							
		残留熱除去系熱交換器																																							
	【水源】	サブプレッション・チェンバ																																							
	【流路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレートナ																																							
		格納容器スプレイ・ヘッド																																							
残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	【主要設備】	残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) ポンプ																																							
		残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード) 熱交換器																																							
	【水源】	サブプレッション・チェンバ																																							
	【流路】	残留熱除去系 配管・弁・ストレートナ・スプレイヘッド																																							
		原子炉格納容器																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由											
18	添付資料1	39-添1-20	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[排出元]</td> <td>原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)</td> </tr> </table>	[排出元]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)	(記載なし)	② (SA設備追加)									
[排出元]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)															
19	添付資料1	39-添1-22	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[管路]</td> <td>格納容器スプレィ・ヘッド</td> </tr> </table>	[管路]	格納容器スプレィ・ヘッド	<table border="1"> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スプレィヘッド</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系 配管・弁</td> </tr> </table>	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スプレィヘッド	高圧炉心注水系 配管・弁	⑤							
[管路]	格納容器スプレィ・ヘッド															
残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スプレィヘッド																
高圧炉心注水系 配管・弁																
20	添付資料1	39-添1-22	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[計装設備]</td> <td>復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復水移送ポンプ吐出圧力</td> </tr> </table>	[計装設備]	復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量)		復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)		復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)		復水移送ポンプ吐出圧力	<table border="1"> <tr> <td>復水補給系流量 (原子炉圧力容器)</td> </tr> <tr> <td>復水補給系流量 (原子炉格納容器)</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ吐出圧力</td> </tr> </table>	復水補給系流量 (原子炉圧力容器)	復水補給系流量 (原子炉格納容器)	復水移送ポンプ吐出圧力	② (SA設備追加)
[計装設備]	復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量)															
	復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量)															
	復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量)															
	復水移送ポンプ吐出圧力															
復水補給系流量 (原子炉圧力容器)																
復水補給系流量 (原子炉格納容器)																
復水移送ポンプ吐出圧力																
21	添付資料1	39-添1-26	<p>第52条 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">[主要設備]</td> <td>フィルタ装置</td> </tr> <tr> <td>よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>ラプチャーディスク</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> </tr> </table> <p>格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出)</p>	[主要設備]	フィルタ装置	よう素フィルタ	ラプチャーディスク	フィルタ装置出口放射線モニタ	フィルタ装置水素濃度	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">[主要設備]</td> <td>フィルタ装置</td> </tr> <tr> <td>よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>ラプチャーディスク</td> </tr> </table> <p>格納容器圧力逃がし装置</p>	[主要設備]	フィルタ装置	よう素フィルタ	ラプチャーディスク	② (SA設備追加)	
[主要設備]	フィルタ装置															
	よう素フィルタ															
	ラプチャーディスク															
	フィルタ装置出口放射線モニタ															
	フィルタ装置水素濃度															
[主要設備]	フィルタ装置															
	よう素フィルタ															
	ラプチャーディスク															
22	添付資料1	39-添1-26	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[排出元]</td> <td>原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)</td> </tr> </table>	[排出元]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)	(記載なし)	② (SA設備追加)									
[排出元]	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由														
23	添付資料1	39-添1-28	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出(代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出)</td> <td rowspan="4">【主要設備】</td> <td>可搬型窒素供給装置</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設</td> <td>遠隔手動弁操作設備</td> </tr> </table>	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出(代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出)	【主要設備】	可搬型窒素供給装置	サブプレッション・チェンバ	耐圧強化ベント系放射線モニタ	フィルタ装置水素濃度		設	遠隔手動弁操作設備	<table border="1"> <tr> <td>耐圧強化ベント系</td> <td rowspan="2">【主要設備】</td> <td>可搬型窒素供給装置</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	耐圧強化ベント系	【主要設備】	可搬型窒素供給装置			② (SA設備追加)
耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出(代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出)	【主要設備】	可搬型窒素供給装置																	
		サブプレッション・チェンバ																	
		耐圧強化ベント系放射線モニタ																	
		フィルタ装置水素濃度																	
	設	遠隔手動弁操作設備																	
耐圧強化ベント系	【主要設備】	可搬型窒素供給装置																	
24	添付資料1	39-添1-28	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>【排出元】</td> <td>原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)</td> </tr> </table>		【排出元】	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)	(記載なし)	② (SA設備追加)											
	【排出元】	原子炉格納容器 (真空破壊弁を含む)																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																						
25	添付資料1	39-添1-34	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">海洋への放射性物質の拡散抑制</td> <td rowspan="3">【主要設備】</td> <td>放射性物質吸着材</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止膜</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（汚濁防止膜設置用）</td> </tr> <tr> <td>【電源設備】</td> <td>燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ（4kL）</td> </tr> </table>	海洋への放射性物質の拡散抑制	【主要設備】	放射性物質吸着材	汚濁防止膜	小型船舶（汚濁防止膜設置用）	【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ（4kL）	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10">工場等外への放射性物質の拡散抑制のための設備</td> <td rowspan="6">【主要設備】</td> <td>大容量送水車 （原子炉建屋放水設備用）</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> </tr> <tr> <td>放射性物質吸着材</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止膜</td> </tr> <tr> <td>泡原液混合装置</td> </tr> <tr> <td>泡原液搬送車</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【水源】</td> <td>小型船舶（汚濁防止膜設置用）</td> </tr> <tr> <td>海</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">【流路】</td> <td>ホース</td> </tr> <tr> <td rowspan="1">【電源設備】</td> <td>燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ（4kL）</td> </tr> </table>	工場等外への放射性物質の拡散抑制のための設備	【主要設備】	大容量送水車 （原子炉建屋放水設備用）	放水砲	放射性物質吸着材	汚濁防止膜	泡原液混合装置	泡原液搬送車	【水源】	小型船舶（汚濁防止膜設置用）	海	【流路】	ホース	【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ（4kL）	② (SA設備追加変更)
海洋への放射性物質の拡散抑制	【主要設備】	放射性物質吸着材																									
		汚濁防止膜																									
		小型船舶（汚濁防止膜設置用）																									
	【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ（4kL）																									
工場等外への放射性物質の拡散抑制のための設備	【主要設備】	大容量送水車 （原子炉建屋放水設備用）																									
		放水砲																									
		放射性物質吸着材																									
		汚濁防止膜																									
		泡原液混合装置																									
		泡原液搬送車																									
	【水源】	小型船舶（汚濁防止膜設置用）																									
		海																									
	【流路】	ホース																									
	【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ（4kL）																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																				
26	添付資料1	39-添1-34	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">航空機燃料 火災消火</td> <td rowspan="4">【主要設備】</td> <td>大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)</td> <td>i</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> <td>i</td> </tr> <tr> <td>泡原液搬送車</td> <td>i</td> </tr> <tr> <td>泡原液混合装置</td> <td>i</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【流路】</td> <td>ホース</td> <td>i</td> </tr> <tr> <td></td> <td>【電源設備】</td> <td>燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)</td> <td></td> </tr> </table>	航空機燃料 火災消火	【主要設備】	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	i	放水砲	i	泡原液搬送車	i	泡原液混合装置	i		【流路】	ホース	i		【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">工場等外 への放射 性物質の 拡散を抑 制するた めの設備</td> <td rowspan="4">【主要設備】</td> <td>大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> <td></td> </tr> <tr> <td>放射性物質吸着材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>汚濁防止膜</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>泡原液混合装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>泡原液搬送車</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>小型船舶 (汚濁防止膜設置用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>【水源】</td> <td>海</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>【流路】</td> <td>ホース</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>【電源設備】</td> <td>燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)</td> <td></td> </tr> </table>	工場等外 への放射 性物質の 拡散を抑 制するた めの設備	【主要設備】	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)		放水砲		放射性物質吸着材		汚濁防止膜				泡原液混合装置				泡原液搬送車				小型船舶 (汚濁防止膜設置用)			【水源】	海			【流路】	ホース			【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)		② (SA設備追加変更)
航空機燃料 火災消火	【主要設備】	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	i																																																						
		放水砲	i																																																						
		泡原液搬送車	i																																																						
		泡原液混合装置	i																																																						
	【流路】	ホース	i																																																						
	【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)																																																							
工場等外 への放射 性物質の 拡散を抑 制するた めの設備	【主要設備】	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)																																																							
		放水砲																																																							
		放射性物質吸着材																																																							
		汚濁防止膜																																																							
		泡原液混合装置																																																							
		泡原液搬送車																																																							
		小型船舶 (汚濁防止膜設置用)																																																							
	【水源】	海																																																							
	【流路】	ホース																																																							
	【電源設備】	燃料補給設備 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)																																																							
27	添付資料1	39-添1-35	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">【電路】</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路</td> <td>併 併</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路</td> <td>併 併</td> </tr> <tr> <td>電源車～動力変圧器 C 系電路</td> <td>併 併</td> </tr> <tr> <td>動力変圧器 C 系～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路</td> <td>併 併</td> </tr> </table>	【電路】	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路	併 併	緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路	併 併	電源車～動力変圧器 C 系電路	併 併	動力変圧器 C 系～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路	併 併	<table border="1"> <tr> <td>【電路】</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路</td> <td>併 併 併 併</td> </tr> </table>	【電路】	電源車～緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路	併 併 併 併	② (SA設備追加変更)																																								
【電路】	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路	併 併																																																							
	緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路	併 併																																																							
	電源車～動力変圧器 C 系電路	併 併																																																							
	動力変圧器 C 系～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路	併 併																																																							
【電路】	電源車～緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路	併 併 併 併																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																					
28	添付資料1	39-添1-36	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電源車～AM用動力変圧器電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>AM用動力変圧器～AM用MCC電路</td> </tr> </table>			緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路			電源車～AM用動力変圧器電路			AM用動力変圧器～AM用MCC電路	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>電源車～動力変圧器C系～非常用高圧母線C系及びD系電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[電路]</td> <td>電源車～AM用動力変圧器～AM用MCC電路</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電源車～代替原子炉補機冷却系電路</td> </tr> </table>			電源車～動力変圧器C系～非常用高圧母線C系及びD系電路			電源車～緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路		[電路]	電源車～AM用動力変圧器～AM用MCC電路			電源車～代替原子炉補機冷却系電路	② (SA設備追加変更)
		緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路																								
		電源車～AM用動力変圧器電路																								
		AM用動力変圧器～AM用MCC電路																								
		電源車～動力変圧器C系～非常用高圧母線C系及びD系電路																								
		電源車～緊急用電源切替箱接続装置～AM用MCC電路																								
	[電路]	電源車～AM用動力変圧器～AM用MCC電路																								
		電源車～代替原子炉補機冷却系電路																								
29	添付資料1	39-添1-36	<table border="1"> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備による代替原子炉補機冷却系の給電</td> <td>[主要設備]</td> <td>電源車</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[電路]</td> <td>電源車～代替原子炉補機冷却系電路</td> </tr> </table>	可搬型代替交流電源設備による代替原子炉補機冷却系の給電	[主要設備]	電源車		[電路]	電源車～代替原子炉補機冷却系電路	(記載なし)	② (SA設備追加)															
可搬型代替交流電源設備による代替原子炉補機冷却系の給電	[主要設備]	電源車																								
	[電路]	電源車～代替原子炉補機冷却系電路																								
30	添付資料1	39-添1-36	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[燃料流路]</td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>ホース</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁</td> </tr> </table>		[燃料流路]	軽油タンク出口ノズル・弁			ホース			第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>[燃料流路]</td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁</td> </tr> </table>		[燃料流路]	軽油タンク出口ノズル・弁			第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁	② (SA設備追加)						
	[燃料流路]	軽油タンク出口ノズル・弁																								
		ホース																								
		第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁																								
	[燃料流路]	軽油タンク出口ノズル・弁																								
		第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由										
31	添付資料1	39-添1-37	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">[電路]</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路</td> </tr> <tr> <td>電源車～AM用動力変圧器電路</td> </tr> <tr> <td>AM用動力変圧器～直流母線電路</td> </tr> </table>	[電路]	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路	緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路	電源車～AM用動力変圧器電路	AM用動力変圧器～直流母線電路	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">[電路]</td> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置～AM用直流125V充電器電路</td> </tr> <tr> <td>電源車～AM用動力変圧器～AM用直流125V充電器～直流母線電路</td> </tr> </table>	[電路]	電源車～緊急用電源切替箱接続装置～AM用直流125V充電器電路	電源車～AM用動力変圧器～AM用直流125V充電器～直流母線電路	② (SA設備追加)		
[電路]	電源車～緊急用電源切替箱接続装置電路														
	緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路														
	電源車～AM用動力変圧器電路														
	AM用動力変圧器～直流母線電路														
[電路]	電源車～緊急用電源切替箱接続装置～AM用直流125V充電器電路														
	電源車～AM用動力変圧器～AM用直流125V充電器～直流母線電路														
32	添付資料1	39-添1-41	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)</td> <td rowspan="5">[主要設備]</td> <td>サプレッション・チェンバ・プール水温度</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系温度(代替循環冷却)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量(RHRA系代替注水流量)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量(RHRB系代替注水流量)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)</td> </tr> </table>	最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)	[主要設備]	サプレッション・チェンバ・プール水温度	復水補給水系温度(代替循環冷却)	復水補給水系流量(RHRA系代替注水流量)	復水補給水系流量(RHRB系代替注水流量)	復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)	<table border="1"> <tr> <td>復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量), 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量(設計基準拡張)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量), 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)</td> </tr> </table>	復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量), 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量)	残留熱除去系系統流量(設計基準拡張)	復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量), 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)	② (SA設備変更)
最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)	[主要設備]	サプレッション・チェンバ・プール水温度													
		復水補給水系温度(代替循環冷却)													
		復水補給水系流量(RHRA系代替注水流量)													
		復水補給水系流量(RHRB系代替注水流量)													
		復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)													
復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量), 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量)															
残留熱除去系系統流量(設計基準拡張)															
復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量), 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)															
33	添付資料1	39-添1-42	<table border="1"> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力</td> </tr> </table>	高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力	(記載なし)	② (SA設備追加)									
高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
34	添付資料1	39-添1-42			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
35	添付資料1	39-添1-43	<p>[電源設備]</p> <p>可搬型直流電源設備 ・電源車 ・AM用直流125V充電器 ・軽油タンク ・タンクローリ(4kL)</p> <p>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク</p> <p>非常用直流電源設備 ・直流125V蓄電池A ・直流125V蓄電池A2 ・直流125V蓄電池B ・直流125V蓄電池C ・直流125V蓄電池D ・直流125V充電器A ・直流125V充電器A2 ・直流125V充電器B ・直流125V充電器C ・直流125V充電器D</p> <p>所内蓄電式直流電源設備への給電のための設備 ・常設代替交流電源設備 ・可搬型代替交流電源設備</p> <p>非常用直流電源設備への給電のための設備 ・非常用交流電源設備</p>	<p>可搬型直流電源設備 ・電源車 ・AM用直流125V充電器</p> <p>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機(設計基準拡張)</p> <p>非常用直流電源設備 ・直流125V蓄電池B(設計基準拡張) ・直流125V蓄電池C(設計基準拡張) ・直流125V蓄電池D(設計基準拡張) ・直流125V充電器B(設計基準拡張) ・直流125V充電器C(設計基準拡張) ・直流125V充電器D(設計基準拡張)</p>	<p>② (SA設備追加変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由						
36	添付資料1	39-添1-44	<table border="1"> <tr> <td>照明の確保</td> <td> 【主要設備】 可搬型蓄電池内蔵型照明 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> 【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 可搬型代替交流電源設備 ・電源車 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL) </td> </tr> </table>	照明の確保	【主要設備】 可搬型蓄電池内蔵型照明		【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 可搬型代替交流電源設備 ・電源車 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td> 【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ </td> </tr> </table>		【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	② (SA設備追加変更)
照明の確保	【主要設備】 可搬型蓄電池内蔵型照明										
	【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ 可搬型代替交流電源設備 ・電源車 ・軽油タンク ・タンクローリ (4kL)										
	【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ										
37	添付資料1	39-添1-45	<table border="1"> <tr> <td></td> <td> 【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL) </td> </tr> </table>		【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td> 【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ </td> </tr> </table>		【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	② (SA設備追加)		
	【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・タンクローリ (16kL)										
	【電源設備】 常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																						
38	添付資料1	39-添1-45	<p>被ばく線量の低減</p> <table border="1"> <tr> <td>【主要設備】</td> <td>非常用ガス処理系排風機</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">【流路】</td> <td>非常用ガス処理系フィルタ装置</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系湿分除去装置</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系配管・弁</td> </tr> <tr> <td>主排気筒（内筒）</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉区域</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【電源設備】 （電路含む）</td> <td>非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・タンクローリ（16kL）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【計装設備】</td> <td>非常用ガス処理系排気流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋外気差圧</td> </tr> </table>	【主要設備】	非常用ガス処理系排風機	【流路】	非常用ガス処理系フィルタ装置	非常用ガス処理系湿分除去装置	非常用ガス処理系配管・弁	主排気筒（内筒）	原子炉建屋原子炉区域	【電源設備】 （電路含む）	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク	常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・タンクローリ（16kL）	【計装設備】	非常用ガス処理系排気流量	原子炉建屋外気差圧	<p>被ばく線量の低減</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">【主要設備】</td> <td>非常用ガス処理系排風機</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋ブローアウトパネル</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">【流路】</td> <td>非常用ガス処理系フィルタ装置</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系湿分除去装置</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系配管・弁</td> </tr> <tr> <td>主排気筒（内筒）</td> </tr> </table>	【主要設備】	非常用ガス処理系排風機	原子炉建屋ブローアウトパネル	【流路】	非常用ガス処理系フィルタ装置	非常用ガス処理系湿分除去装置	非常用ガス処理系配管・弁	主排気筒（内筒）	② (SA設備追加)
【主要設備】	非常用ガス処理系排風機																										
【流路】	非常用ガス処理系フィルタ装置																										
	非常用ガス処理系湿分除去装置																										
	非常用ガス処理系配管・弁																										
	主排気筒（内筒）																										
	原子炉建屋原子炉区域																										
【電源設備】 （電路含む）	非常用交流電源設備 ・非常用ディーゼル発電機 ・燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・燃料ディタンク																										
	常設代替交流電源設備 ・第一ガスタービン発電機 ・第一ガスタービン発電機用燃料タンク ・第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ ・軽油タンク ・タンクローリ（16kL）																										
【計装設備】	非常用ガス処理系排気流量																										
	原子炉建屋外気差圧																										
【主要設備】	非常用ガス処理系排風機																										
	原子炉建屋ブローアウトパネル																										
【流路】	非常用ガス処理系フィルタ装置																										
	非常用ガス処理系湿分除去装置																										
	非常用ガス処理系配管・弁																										
	主排気筒（内筒）																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由												
39	添付資料1	39-添1-45	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">放射能観測車の代替測定装置</td> <td rowspan="3">【主要設備】</td> <td>可搬型ダスト・よう素サンブラ</td> </tr> <tr> <td>GM 汚染サーベイメータ</td> </tr> <tr> <td>NaI シンチレーションサーベイメータ</td> </tr> </table>	放射能観測車の代替測定装置	【主要設備】	可搬型ダスト・よう素サンブラ	GM 汚染サーベイメータ	NaI シンチレーションサーベイメータ	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">【主要】</td> <td>可搬型放射線計測器</td> <td>記 可 備</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>記 可 備</td> </tr> </table>	【主要】	可搬型放射線計測器	記 可 備	小型船舶（海上モニタリング用）	記 可 備	② (SA設備追加)		
放射能観測車の代替測定装置	【主要設備】	可搬型ダスト・よう素サンブラ															
		GM 汚染サーベイメータ															
		NaI シンチレーションサーベイメータ															
【主要】	可搬型放射線計測器	記 可 備															
	小型船舶（海上モニタリング用）	記 可 備															
	40	添付資料1	39-添1-46	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">放射線量の測定</td> <td rowspan="2">【主要設備】</td> <td>電離箱サーベイメータ</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> </tr> </table>	放射線量の測定	【主要設備】	電離箱サーベイメータ	小型船舶（海上モニタリング用）	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">【主要】</td> <td>可搬型放射線計測器</td> <td>記 可 備</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>記 可 備</td> </tr> </table>	【主要】	可搬型放射線計測器	記 可 備	小型船舶（海上モニタリング用）	記 可 備	② (SA設備追加)		
放射線量の測定	【主要設備】	電離箱サーベイメータ															
		小型船舶（海上モニタリング用）															
【主要】	可搬型放射線計測器	記 可 備															
	小型船舶（海上モニタリング用）	記 可 備															
41	添付資料1	39-添1-46	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5">放射性物質濃度（空气中・水中・土壌）及び海上モニタリング</td> <td rowspan="5">【主要設備】</td> <td>可搬型ダスト・よう素サンブラ</td> </tr> <tr> <td>GM 汚染サーベイメータ</td> </tr> <tr> <td>NaI シンチレーションサーベイメータ</td> </tr> <tr> <td>ZnS シンチレーションサーベイメータ</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> </tr> </table>	放射性物質濃度（空气中・水中・土壌）及び海上モニタリング	【主要設備】	可搬型ダスト・よう素サンブラ	GM 汚染サーベイメータ	NaI シンチレーションサーベイメータ	ZnS シンチレーションサーベイメータ	小型船舶（海上モニタリング用）	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">【主要】</td> <td>可搬型放射線計測器</td> <td>記 可 備</td> </tr> <tr> <td>小型船舶（海上モニタリング用）</td> <td>記 可 備</td> </tr> </table>	【主要】	可搬型放射線計測器	記 可 備	小型船舶（海上モニタリング用）	記 可 備	② (SA設備追加)
放射性物質濃度（空气中・水中・土壌）及び海上モニタリング	【主要設備】	可搬型ダスト・よう素サンブラ															
		GM 汚染サーベイメータ															
		NaI シンチレーションサーベイメータ															
		ZnS シンチレーションサーベイメータ															
		小型船舶（海上モニタリング用）															
【主要】	可搬型放射線計測器	記 可 備															
	小型船舶（海上モニタリング用）	記 可 備															
	42	添付資料1	39-添1-46	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">【流路（伝送路）】</td> <td>データ処理装置</td> </tr> </table>	【流路（伝送路）】	データ処理装置	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">【流路（伝送路）】</td> <td>通信機器</td> <td>記 可 備</td> </tr> </table>	【流路（伝送路）】	通信機器	記 可 備	⑤						
【流路（伝送路）】	データ処理装置																
	【流路（伝送路）】	通信機器	記 可 備														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																	
43	添付資料1	39-添1-47	<table border="1"> <tr> <td rowspan="5"></td> <td>酸素濃度計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>差圧計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>可搬型エアモニタ (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【流路】</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (配管・弁)</td> </tr> </table>		酸素濃度計 (対策本部)	二酸化炭素濃度計 (対策本部)	差圧計 (対策本部)	可搬型エアモニタ (対策本部)	可搬型モニタリングポスト	【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (配管・弁)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">【主要設備】</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【流路】</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</td> </tr> </table>	【主要設備】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型エアモニタ	酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 (対策本部)	酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計		【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所	② (SA設備追加)
	酸素濃度計 (対策本部)																					
	二酸化炭素濃度計 (対策本部)																					
	差圧計 (対策本部)																					
	可搬型エアモニタ (対策本部)																					
	可搬型モニタリングポスト																					
【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト																					
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (配管・弁)																					
【主要設備】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型エアモニタ																					
	酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計 (対策本部)																					
	酸素濃度計, 二酸化炭素濃度計																					
【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト																					
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由				
44	添付資料1	39-添1-48	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 遮蔽</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 室内遮蔽</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型建内化空調機</td> </tr> </table>	居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 遮蔽	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 室内遮蔽	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型建内化空調機	(記載なし)	② (SA設備追加)
居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 遮蔽								
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 室内遮蔽								
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型建内化空調機								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
45	添付資料1	39-添1-48	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">要設備</td> <td>酸素濃度計（待機場所）</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計（待機場所）</td> </tr> <tr> <td>差圧計（待機場所）</td> </tr> <tr> <td>可搬型エアモニタ（待機場所）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【流路】</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 陽圧化装置（配管・弁）</td> </tr> </table>	要設備	酸素濃度計（待機場所）	二酸化炭素濃度計（待機場所）	差圧計（待機場所）	可搬型エアモニタ（待機場所）	【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 陽圧化装置（配管・弁）	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">【主要設備】</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 可搬型エアモニタ</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計、二酸化炭素濃度計（対策本部）</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計、二酸化炭素濃度計（待機場所）</td> </tr> <tr> <td>差圧計（対策本部）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【流路】</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所</td> </tr> </table>	【主要設備】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 可搬型エアモニタ	酸素濃度計、二酸化炭素濃度計（対策本部）	酸素濃度計、二酸化炭素濃度計（待機場所）	差圧計（対策本部）	【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所	② (SA設備追加変更)
要設備	酸素濃度計（待機場所）																				
	二酸化炭素濃度計（待機場所）																				
	差圧計（待機場所）																				
	可搬型エアモニタ（待機場所）																				
【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト																				
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 陽圧化装置（配管・弁）																				
【主要設備】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所（待機場所） 可搬型エアモニタ																				
	酸素濃度計、二酸化炭素濃度計（対策本部）																				
	酸素濃度計、二酸化炭素濃度計（待機場所）																				
	差圧計（対策本部）																				
【流路】	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型陽圧化空調機用仮設ダクト																				
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所																				
46	添付資料1	39-添1-48	<table border="1"> <tr> <td>必要な情報の把握</td> <td>【主要設備】</td> <td>安全パラメータ表示システム（SPDS）</td> </tr> </table>	必要な情報の把握	【主要設備】	安全パラメータ表示システム（SPDS）	<table border="1"> <tr> <td>必要な情報を把握できる設備（安全パラメータ表示システム（SPDS））</td> </tr> </table>	必要な情報を把握できる設備（安全パラメータ表示システム（SPDS））	⑤												
必要な情報の把握	【主要設備】	安全パラメータ表示システム（SPDS）																			
必要な情報を把握できる設備（安全パラメータ表示システム（SPDS））																					
47	添付資料1	39-添1-48	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>5号炉屋外緊急連絡用インターフォン</td> </tr> </table>			5号炉屋外緊急連絡用インターフォン	(記載なし)	② (SA設備追加)													
		5号炉屋外緊急連絡用インターフォン																			

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																				
48	添付資料1	39-添1-49	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[流路]</td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁</td> </tr> </table>	[流路]	軽油タンク出口ノズル・弁	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">[燃料添]</td> <td>軽油タンク予備ノズル・弁</td> </tr> </table>	[燃料添]	軽油タンク予備ノズル・弁	⑤																
[流路]	軽油タンク出口ノズル・弁																								
[燃料添]	軽油タンク予備ノズル・弁																								
49	添付資料1	39-添1-50	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> </tr> </table>		安全パラメータ表示システム (SPDS)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS)) <small>無線連続設備 (屋外アンテナ)</small></td> </tr> </table>		必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS)) <small>無線連続設備 (屋外アンテナ)</small>	⑤																
	安全パラメータ表示システム (SPDS)																								
	必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS)) <small>無線連続設備 (屋外アンテナ)</small>																								
50	添付資料1	39-添1-51	<table border="1"> <tr> <td>その他の設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>重大事故等 時に対処する ための流路, 注水先, 注入先, 排出 元等</td> <td>原子炉圧力容器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料プール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉建屋原子炉区域</td> </tr> <tr> <td>非常用取水 設備</td> <td>海水貯留堰</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スクリーン室</td> </tr> <tr> <td></td> <td>取水路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機冷却用海水取水路</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機冷却用海水取水槽</td> </tr> </table>	その他の設備		重大事故等 時に対処する ための流路, 注水先, 注入先, 排出 元等	原子炉圧力容器		原子炉格納容器		使用済燃料プール		原子炉建屋原子炉区域	非常用取水 設備	海水貯留堰		スクリーン室		取水路		補機冷却用海水取水路		補機冷却用海水取水槽	(記載なし)	② (SA設備追加)
その他の設備																									
重大事故等 時に対処する ための流路, 注水先, 注入先, 排出 元等	原子炉圧力容器																								
	原子炉格納容器																								
	使用済燃料プール																								
	原子炉建屋原子炉区域																								
非常用取水 設備	海水貯留堰																								
	スクリーン室																								
	取水路																								
	補機冷却用海水取水路																								
	補機冷却用海水取水槽																								

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	—	—	「エリア」の表現について「区域」又は「区画」に見直し	—	⑤
2	—	—	「火災区域」について一部「火災区域又は火災区画」に変更	—	⑤(対策の単位として区画の概念を導入するため)
3	—	—	「及び」と「又は」の変更 「潤滑油及び燃料油」→「潤滑油又は燃料油」 「煙の充満及び放射線の影響」→「煙の充満又は放射線の影響」	—	⑤(いずれか一方を指しているものを修正)
4	2.1	41-1-4	<p>(2) 火災区域及び火災区画の設定 原子炉建屋、タービン建屋、廃棄物処理建屋、コントロール建屋及び緊急時対策所の建屋内と屋外の重大事故等対処施設を設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮して、火災区域及び火災区画を設定する。 建屋内の火災区域は、設計基準対象施設の火災防護に関する基本方針に基づき設定した火災区域を適用し、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設を設置する区域を、「(1) 火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブル」において選定する構築物、系統及び機器と設計基準事故対処設備の配置も考慮して火災区域として設定する。 屋外については、非常用ディーゼル発電機軽油タンク及び燃料移送系ポンプを設置する火災区域は、設計基準対象施設の火災防護に関する基本方針に基づき設定した火災区域を適用する。また、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処施設を設置する区域を、「(1) 火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブル」において選定する構築物、系統及び機器と設計基準事故対処設備の配置も考慮して火災区域として設定する。 屋外の火災区域の設定に当たっては、火災区域外への延焼防止を考慮して、資機材管理、火気作業管理、危険物管理、可燃物管理、巡視を行う。本管理については、火災防護計画に定める。 また、火災区画は、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故対処設備の配置も考慮し、分割して設定する。 (補足41-3) (3) 火災防護計画 設計基準対象施設の火災防護に関する基本方針を適用する。 (8条-別添1-資料1)</p>	<p>(2) 火災区域及び火災区画の設定 建屋内と屋外の重大事故等対処設備を設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準対象施設の配置も考慮して、火災区域又は火災区画を設定する。 原子炉建屋、タービン建屋、コントロール建屋、廃棄物処理建屋の建屋内の重大事故等対処設備を設置する火災区域は、3時間耐火に設計上必要なコンクリート壁厚である123mmより厚い140mm以上の壁厚を有するコンクリート壁又は火災耐久試験により3時間以上の耐火能力を有することを確認した耐火壁(強化石膏ボード、貫通部シール、防火扉、防火ダンパ)により他の区域と分離する設計とする。 原子炉建屋、タービン建屋、コントロール建屋、廃棄物処理建屋の火災区域は、設計基準対象施設の火災防護に関する基本方針に基づき設定した火災区域を適用する。 屋外については、他の区域と分離して火災防護対策を実施するために、重大事故等対処設備を設置する区域を、「(1) 火災防護対象機器及び火災防護対象ケーブル」において選定する構築物、系統及び機器と設計基準事故対処設備の配置も考慮して火災区域として設定する。 屋外の火災区域の設定に当たっては、火災区域外への延焼防止を考慮して、資機材管理、火気作業管理、危険物管理、可燃物管理、巡視を行う。本管理については、火災防護計画に定める。 (補足41-3) (3) 火災防護計画 設計基準対象施設の火災防護に関する基本方針を適用する。 (8条-1)</p>	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
5	第41-1-1表	41-1-8	軽油タンク区域、側溝	軽油タンクエリア、堰	⑤
6	2.1.1.1	41-1-12	添付資料1において、重大事故等対処施設(詳細は補足41-2参照)の発火性又は引火性物質である潤滑油又は燃料油を内包する設備は、耐震クラス又は基準地震動によっても機能を維持(以下、「Ss機能維持」という。)する設計とし、かつ2.1.1.1(1)①「漏えいの防止、拡大防止」に示すように漏えい防止対策を実施するため基準地震動によっても油が漏えいするおそれはないこと、潤滑油を内包する設備については万一、機器故障によって油が漏えいしても、重大事故発生時の原子炉建屋内の最高温度(潤滑油を内包する機器が設置された管理区域ではIS-LOCA発生時に約100℃、燃料油を内包する機器が設置された非管理区域では約40℃)と比べても引火点が十分高く(参考資料1参照)火災が発生するおそれは小さいことから、これらの機器を設置する場所の換気設備の耐震性は、Ss機能維持とする設計とはしない。	添付資料1において、重大事故等対処施設(詳細は補足41-2参照)の発火性又は引火性物質である潤滑油及び燃料油を内包する設備は、耐震クラス又は基準地震動によっても機能を維持(以下、「Ss機能維持」という。)する設計とし、かつ2.1.1.1(1)①「漏えいの防止、拡大防止」に示すように漏えい防止対策を実施するため基準地震動によっても油が漏えいするおそれはないこと、潤滑油を内包する設備については万一機器故障によって油が漏えいしても、重大事故発生時の原子炉建屋内の最高温度(約100℃、IS-LOCA発生時)と比べても引火点が十分高く(参考資料1参照)火災が発生するおそれは小さいことから、これらの機器を設置する場所の換気設備の耐震性は、Ss機能維持とする設計とはしない。	⑤
7	2.1.1.1	41-1-14	なお、校正に伴う水素ガスの使用は必要最小限である約30分とし、フィルタ装置水素濃度校正作業については作業性、火災防護対象機器の有無を考慮し6号及び7号炉とも原子炉建屋3階で行う設計とする。	なお、校正に伴い水素ガスの使用は約30分、校正作業についてフィルタ装置水素濃度は6号及び7号炉とも原子炉建屋3階で行う設計とする。	⑤(作業内容に関する補足を追記)
8	2.1.1.1	41-1-15	以上より、火災区域内に設置する発火性又は引火性物質である水素ガスを内包する設備については、機械換気ができる設計としていること、蓄電池室の換気設備については非常用電源より給電するとともに防護対象機器と同等の耐震性を確保していること、その他の発火性又は引火性物質である水素ガスを内包する設備については、設備の原子炉建屋内への持ち込みを管理し、使用状態を監視すること、換気設備の機能が喪失しても安全機能に影響を及ぼすおそれは小さいことから、火災防護に係る審査基準に適合しているものとする。	以上より、火災区域内に設置する発火性又は引火性物質である水素を内包する設備については、機械換気ができる設計としていること、蓄電池室の換気設備については非常用電源より給電するとともに防護対象機器と同等の耐震性を確保していること、その他の発火性又は引火性物質である水素を内包する設備の換気設備については機能が喪失しても安全機能に影響を及ぼすおそれは小さいことから、火災防護に係る審査基準に適合しているものとする。	⑤
9	2.1.1.1	41-1-15	なお、潤滑油又は燃料油が設備の外部へ漏えいしても、これらの引火点は設備が設置された火災区域又は火災区画の重大事故発生時の原子炉建屋内の最高温度(潤滑油を内包する機器が設置された管理区域ではIS-LOCA発生時に約100℃、燃料油を内包する機器が設置された非管理区域では約40℃)よりも十分高く、機器運転時の温度よりも高いため、可燃性の蒸気となることはない。	なお、潤滑油が設備の外部へ漏えいしても、これらの引火点は重大事故発生時の原子炉建屋内の最高温度(約100℃、IS-LOCA発生時)よりも十分高く(参考資料1参照)、機器運転時の温度よりも高いため、可燃性蒸気となることはない。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

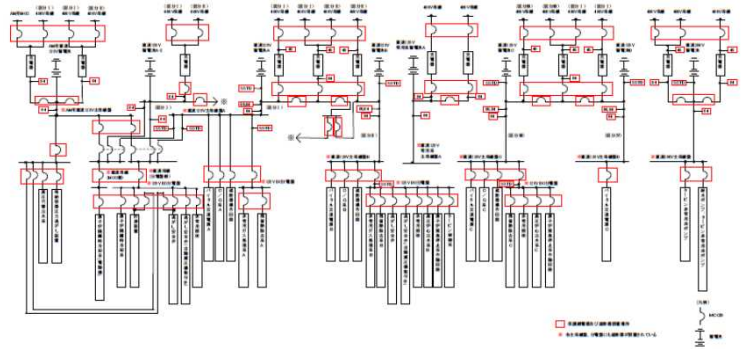
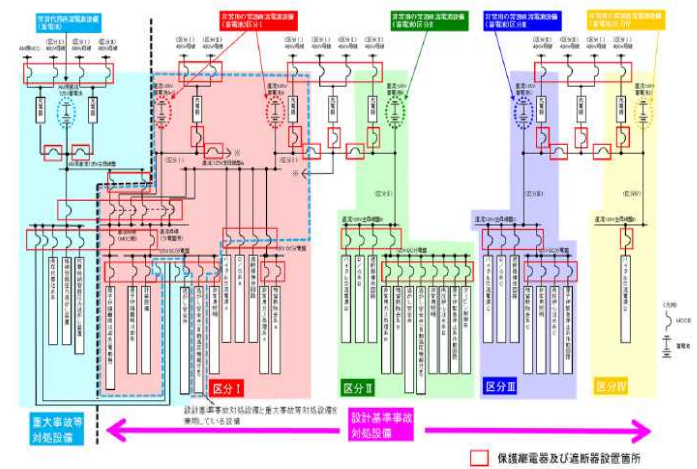
【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
10	2.1.1.1	41-1-15	また、重大事故等対処施設で軽油を内包する軽油タンク、常設代替交流電源設備、常設代替交流電源設備の地下燃料タンクは屋外に設置されており、可燃性の蒸気が滞留することはない。 したがって、潤滑油又は燃料油が爆発性の雰囲気を形成するおそれはない。	したがって、潤滑油及び燃料油が爆発性の雰囲気を形成するおそれはない。	⑤
11	2.1.1.1	41-1-16	貯蔵機器とは、供給設備へ補給するために設置する機器のことであり、重大事故等対処施設を設置する火災区域内の発火性又は引火性物質である潤滑油又は燃料油の貯蔵容器としては、常設代替交流電源設備及び地下燃料タンク、非常用ディーゼル発電機(3台)の燃料ディタンク(3基)及び軽油タンク(2基)がある。 常設代替交流電源設備及び地下燃料タンクは、タンクの容量(約50m ³)に対して、常設代替交流電源設備を12時間以上連続運転するために必要な量(約21m ³)を考慮し、貯蔵量を管理している。 燃料ディタンクについては、非常用ディーゼル発電機を8時間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。軽油タンクについては、1基あたり非常用ディーゼル発電機2台、又は常設代替交流電源設備等の重大事故時に必要となる設備を7日間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。	貯蔵機器とは供給設備へ補給するために設置する機器のことであり、重大事故等対処施設を設置する火災区域内の発火性又は引火性物質である潤滑油及び燃料油の貯蔵容器としては、常設代替交流電源設備、常設代替交流電源設備の地下燃料タンク、非常用ディーゼル発電機(3台)の燃料ディタンク(3基)及び軽油タンク(2基)がある。 常設代替交流電源設備、常設代替交流電源設備の地下燃料タンクは、タンクの容量(約50 m ³)に対して、常設代替交流電源設備を3日間連続運転するために必要な量(約47m ³)を考慮し、貯蔵量が約47~50 m ³ となるよう管理している。 燃料ディタンクについては、非常用ディーゼル発電機を8時間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。軽油タンクについては、1基あたり非常用ディーゼル発電機2台を7日間連続運転するために必要な量を貯蔵することを考慮した設計とする。	⑤(軽油タンクのSA時の要求を追加)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

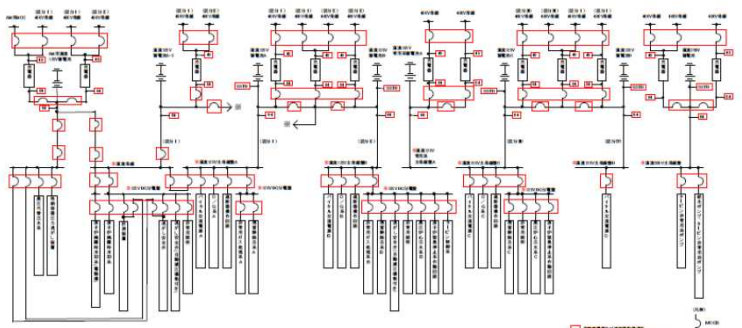
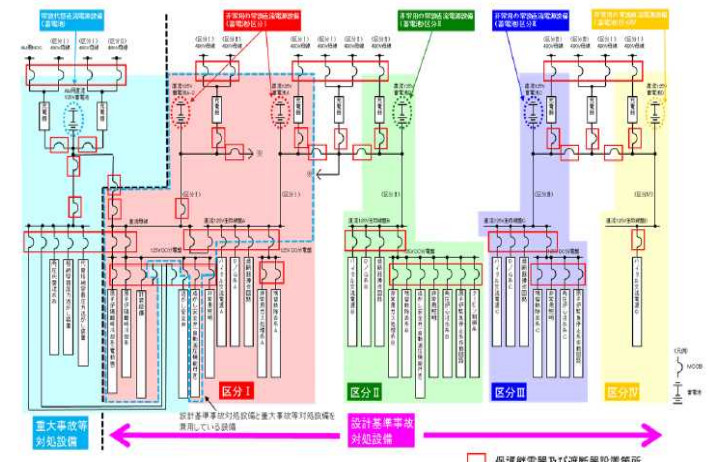
【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
12	2.1.1.1	41-1-28	 <p>第41-1-8図 6号炉 重大事故等対処施設の直流電源系統における保護継電器及び遮断器の設置箇所</p>	 <p>図41-1-8 6号炉 重大事故等対処施設の電気系統における保護継電器及び遮断器の設置箇所</p>	②(SA設備の変更に伴う修正)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
13	2.1.1.1	41-1-29	 <p>第41-1-9図 7号炉 重大事故等対処施設の直流電源系統における保護継電器及び遮断器の設置箇所</p>	 <p>図41-1-9 7号炉 重大事故等対処施設の電気系統における保護継電器及び遮断器の設置箇所</p>	②(SA設備の変更に伴う修正)
14	2.1.1.2	41-1-38	一部の非管理区域の床には防塵性を確保するため、	ケーブル処理室・計算機用無停電電源室の床には防塵性を確保するため、	⑤
15	2.1.1.2	41-1-38	第2試験, ASTM規格 E84, 建築基準法施行令第一条の六又は消防法施行令第四条の三に基づく	ASTM E84 に基づく	⑤
16	2.1.1.3	41-1-39	したがって、落雷、地震、竜巻(風(台風)含む)について、これらの現象によって火災が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講じる設計とする。	したがって、落雷、地震についてこれらの現象によって火災が発生しないように、以下のとおり火災防護対策を講じる設計とする。	⑤(先行との記載合わせ)
17	2.1.1.3	41-1-40	避雷設備(避雷針, 接地網, 棟上導体)を設置する設計とする。	避雷設備を設置する設計とする	⑤(避雷設備の種類を具体的に明記)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
18	2.1.1.3	41-1-42	<p>避雷設備設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉建屋(棟上導体) ・タービン建屋(棟上導体) ・廃棄物処理建屋(棟上導体) ・主排気筒 ・5号炉原子炉建屋(棟上導体) ・5号炉主排気筒 	<p>避雷設備設置箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6.7号炉原子炉建屋 ・6.7号炉タービン建屋 ・6/7号炉廃棄物処理建屋 ・6.7号炉排気筒 ・5号炉原子炉建屋 ・5号炉排気筒 	⑤(避雷設備の種類を具体的に明記)
19	2.1.1.3	41-1-43	<p>(2)地震による火災の発生防止</p> <p>重大事故等対処施設は、施設の区分に応じて十分な支持性能をもつ地盤に設置するとともに、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則第三十九条」に示す要求を満足するよう、「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」に従い耐震設計を行う設計する。</p>	<p>(2)地震による火災の発生防止</p> <p>重大事故等対処施設は、施設の区分に応じて十分な支持性能をもつ地盤に設置するとともに、自らが破壊又は倒壊することによる火災の発生を防止する設計とする。</p> <p>なお、耐震については「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」に従い設計する。</p>	⑤(補正書との記載合わせ)
20	2.1.1.3	41-1-43	<p>(3)竜巻(風(台風)含む)による火災の発生防止</p> <p>屋外の重大事故等対処施設は、重大事故時の竜巻(風(台風)を含む)発生を考慮し、竜巻防護対策設備の設置や固縛等により、火災の発生防止を講じる設計とする。</p> <p>以上より、屋外の重大事故等対処施設は、竜巻(風(台風)含む)による火災の発生を防止する設計としていることから、火災防護に係る審査基準に適合しているものとする。</p>	(記載なし)	⑤(補正書との記載合わせ)
21	2.1.1.3	41-1-43	<p>屋外の火災区域又は火災区画の一部は防火帯に近接しているが、当該箇所における森林火災発生時の放射強度は最大でも2.1kw/m2程度※であり、常設代替交流電源設備や可搬型重大事故等対処施設である車両に影響を及ぼすような放射強度ではないことを確認している。</p> <p>なお、中央交差点近傍における森林火災の燃焼継続時間(約14時間)のうち、中央交差点において、人が長時間さらされても苦痛を感じない放射熱強度(放射強度)である1.6kW/m2を超えている時間は数十秒程度である。</p> <p>※石油コンビナートの防災アセスメント指針(平成25年3月 消防庁特殊災害室)では、人が長時間さらされても苦痛を感じない放射強度を1.6 kw/m2、1分間以内で痛みを感じる強度を2.3kw/m2としている。</p> <p>また、防火帯と、6号及び7号炉の燃料設備(D/G軽油タンク)、常設代替交流電源設備の燃料地下タンクを設置する火災区域又は火災区画は、重ならない配置設計とする。(第41-1-15図)</p>	<p>屋外の重大事故等対処施設は、外部火災影響評価(発電所敷地外で発生する森林火災の影響評価)を行い、森林火災による原子炉施設への延焼防止対策として発電所敷地内に設置した防火帯(幅20m)で囲んだ内側に配置することで、火災の発生を防止する設計とする。</p> <p>屋外の火災区域の一部は防火帯に近接しているが、当該箇所における森林火災時の放射強度は最大でも1.3kw/m2 程度※であり、常設代替交流電源設備や可搬型重大事故等対処施設である車両に影響を及ぼすような放射強度ではないことを確認している。</p> <p>※石油コンビナートの防災アセスメント指針(平成25年3月 消防庁特殊災害室)では、人が長時間さらされても苦痛を感じない放射強度を1.6 kw/m2としている。</p> <p>なお、防火帯と、6号及び7号炉の燃料設備(D/G軽油タンク)、常設代替交流電源設備の燃料地下タンクを設置する火災区域は、重ならない配置設計とする。(図41-1-15)</p>	③(防火帯変更に伴う評価の反映)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
22	2.1.2.1.	41-1-46	屋外にある火災区域又は火災区画の一部については、炎感知器、赤外線感知機能を備えた熱感知カメラ又は煙吸引式検出設備を設置する設計としており、これらは火災を感知した個々の感知器を特定せず火災区域又は火災区画ごとの警報を発報するが、監視対象区域は屋外であり、警報確認後の現場確認において火災源の特定が可能であることから適用可能とする。また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備ケーブルを敷設する屋外の電線管については、光ファイバケーブル式熱感知器を設置する。光ファイバケーブル式熱感知器は火災区域又は火災区画ごとの警報を発報するが、	屋外エリアの一部については、炎感知器、赤外線感知機能を備えた熱感知カメラ又は煙吸引式検出設備を設置する設計としており、これらは火災を感知した個々の感知器を特定せずエリア毎の警報を発報するが、監視対象エリアは屋外であり、警報確認後の現場確認において火災源の特定が可能であることから適用可能とする。また、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備ケーブルを布設する洞道については、光ファイバケーブル式熱感知器を設置する。光ファイバケーブル式熱感知器はエリア毎の警報を発報するが、	⑤(第二GTGに関する記載の修正並びに補正書との記載合わせ)
23	2.1.2.1.	41-1-50	屋外であるため、ケーブル敷設区域全体の火災を感知する必要があるが、	屋外であるため、エリア全体の火災を感知する必要があるが、	⑤(補正書との記載合わせ)
24	2.1.2.1.	41-1-53	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備	(記載なし)	②(SA設備の変更に伴う修正)
25	2.1.2.1.	41-1-58	また、以下に示す火災区域又は火災区画は、火災による重大事故等対処施設への影響が考えにくく、消防法又は建築基準法に基づく対策により火災の影響を限定することが可能であることから、消防法又は建築基準法に基づく火災感知設備を設ける設計とする。 ○ 不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された火災防護対象機器のみを設けた火災区域又は火災区画 火災防護対象機器のうち、不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された配管、容器、タンク、手動弁、コンクリート構築物については流路、バウンダリとしての機能が火災により影響を受けることは考えにくいと、消防法又は建築基準法に基づく火災感知器を設ける設計とする。	(当該記載なし)	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
26	2.1.2.1.	41-1-65	火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となる火災区域又は火災区画であるかを考慮して設計する。また、消火設備については、火災による重大事故等対処施設の機能への影響を限定することを目的とすることから、重大事故等対処施設の機能に対する火災の影響の有無を考慮して設計する。	火災発生時の煙の充満及び放射線の影響により消火活動が困難となる火災区域又は火災区画であるかを考慮して設計する。	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
27	2.1.2.1.	41-1-65	建屋内の重大事故等対処施設のうち、火災により機能が影響を受ける設備を設置する火災区域又は火災区画は、「(b) 火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画の選定」に示した火災区域又は火災区画を除き、	建屋内の重大事故等対処設備を設置する火災区域又は火災区画は、基本的に	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
28	2.1.2.1.	41-1-65	建屋内の重大事故等対処施設のうち、火災により機能が影響を受ける設備を設置する火災区域又は火災区画において、消火活動が困難とならないところを以下に示す。	建屋内の重大事故等対処設備を設置する火災区域又は火災区画のうち、消火活動が困難とならないところを以下に示す。	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
29	2.1.2.1.	41-1-68	c. 火災により重大事故等対処施設の機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくい火災区域又は火災区画の選定 以下に示す火災区域又は火災区画は、火災により重大事故等対処施設の機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくく、消防法又は建築基準法に基づく対策により火災の影響を限定することが可能であることから、消防法又は建築基準法に基づく消火を行う設計とする。 ○ 不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された火災防護対象機器のみを設置する火災区域又は火災区画 火災防護対象機器のうち、不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された配管、容器、タンク、手動弁、コンクリート構築物については流路、バウンダリとしての機能が火災により影響を受けることは考えにくいため、消防法又は建築基準法に基づく対策を行う設計とする。	c. 火災発生時の煙の充満及び放射線の影響により消火活動が困難となる場所に設置する消火設備 火災発生時の煙の充満及び放射線の影響により消火活動が困難となる火災区域又は火災区画は、自動又は中央制御室からの手動操作による固定式消火設備である全域ガス消火設備を設置し消火を行う設計とする。なお、これらの固定式消火設備に使用するガスは、消防法施行規則を踏まえハロゲン化物消火剤とする。ハロゲン化物消火剤の種類については、施工性等によって使い分ける。図41-1-24 に全域ガス消火設備の概要を示す。本消火設備を自動起動とする場合は、単一の感知器の誤作動によって消火設備が誤作動することのないよう、2つ以上の煙感知器又は2つ以上の熱感知器の動作をもって消火する設計とする。さらに、中央制御室からの遠隔手動起動又は現場での手動起動による消火を行うことができる設計とする。なお、全域ガス消火設備の自動起動用の煙感知器と熱感知器は、火災防護に係る審査基準「2.2.1 (1)②」に基づき設置が要求される「固有の信号を発する異なる種類の感知器」とする。	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
30	2.1.2.1.	41-1-71	火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならない中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)には、全域ガス消火設備等は設置せず、消火器で消火を行う設計とする。	火災発生時の煙の充満及び放射線の影響により消火活動が困難とならない中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部、待機場所)には、全域ガス消火設備等は設置せず、消火器で消火を行う設計とする。	⑤
31	2.1.2.1.	41-1-72	火災発生時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画のうち、中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)以外で可燃物が少ない火災区域又は火災区画については、消火器で消火を行う設計とする。	火災発生時の煙の充満及び放射線の影響により消火活動が困難とならない火災区域又は火災区画のうち、中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部、待機場所)以外で可燃物が少ない火災区域又は火災区画については、消火器で消火を行う設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
32	2.1.2.1.	41-1-72	f. 火災により重大事故等対処施設へ影響を及ぼすおそれが考えにくい火災区域又は火災区画に設置する消火設備 火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくい火災防護対象機器のみを設置する火災区域又は火災区画については、消防法又は建築基準法に基づく消火設備を設置する設計とする。	当該記載なし	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
33	2.1.2.1.	41-1-77	また、中央制御室フリーアクセスフロアに設置する固定式ガス消火設備についても電気絶縁性が高く、人体への影響が小さいハロン1301を採用するとともに、消火対象となる機器が設置されている火災区域又は火災区画とは別の火災区域又は火災区画に設置し、火災による熱の影響を受けても破損及び爆発が発生しないよう、ボンベに接続する安全弁によりボンベの過圧を防止する設計とする。	(当該記載なし)	⑤
34	2.1.2.1.	41-1-80	(第41-1-27図) アクセスルート図の反映	—	⑤
35	2.1.2.1.	41-1-83	(第41-1-8表) CO2消火設備に関する記載の追加 「全域ガス消火設備」「局所ガス消火設備」への変更	—	⑤
36	2.1.2.1.	41-1-87	万一、流出した場合であっても建屋内排水系から系外に放出する前にサンプリングを実施し、検出が可能な設計とする。	(当該記載なし)	⑤(9条側と記載合わせ)
37	2.1.2.2	41-1-93	第41-1-36図 図中に説明文を追記	(記載なし)	⑤
38	2.1.2.2	41-1-94	電動機駆動消火ポンプ及びディーゼル駆動消火ポンプ等の機器は、	ポンプ等の機器は、	⑤
39	2.1.2.2	41-1-94	壁及び扉に対して浸水対策を実施した建屋内に	火災区域外の防潮壁が設置された建屋内に	⑤
40	2.1.2.2	41-1-94	屋外仕様とした上で火災感知器の	火災感知器の	⑤
41	2.1.2.2	41-1-94	屋外消火栓は風水害に対してその性能が著しく阻害されることがないように、風水害の影響を受ける電動式ではなく機械式を用いる設計とする。	(当該記載なし)	⑤
42	2.2	41-1-101	最も分離距離を確保しなければならない蓋なしの動力ケーブルトレイ間では、互いに相違する系列の間で水平方向0.9m、垂直方向1.5mを最小分離距離として設計する。	安全機能を有する蓋なしの動力ケーブルトレイ間の最小分離距離は、水平方向0.9m、垂直方向1.5mとして設計する。	⑤
43	2.2	41-1-101	非安全系ケーブルも含めて1時間以上	1時間以上	⑤
44	2.2	41-1-101	固定式消火設備又は床板を外して	床板を外して	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																													
45	2.2	41-1-106	中央制御室と他の火災区域又は火災区画の換気空調系の貫通部には、防火ダンパを設置する設計とする。	中央制御室を含む火災区域の境界には、防火ダンパを設置する設計とする。	⑤																																																																																																																																													
46	補足41-1-添付資料1	41-1-112	※1 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器・放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計の機器	※1 原子炉の安全停止に必要な機器・放射性物質貯蔵等の機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)																																																																																																																																													
47	補足41-1-添付資料1	41-1-119	※1 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器・放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計の機器	※1 原子炉の安全停止に必要な機器・放射性物質貯蔵等の機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計	⑤(補正書との記載合わせ並びに火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)																																																																																																																																													
48	補足41-1-添付資料2	41-1-136	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">絶縁体</th> <th rowspan="2">シース</th> <th colspan="2">耐延焼性試験</th> <th rowspan="2">試験日</th> </tr> <tr> <th>シース損傷距離(mm)</th> <th>(参考) 残炎時間(秒)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">低圧ケーブル</td> <td>19</td> <td>架橋ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>1400</td> <td>1065</td> <td>1997.2.22</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>ビニル</td> <td>難燃ビニル</td> <td>950</td> <td>0</td> <td>1997.3.7</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>難燃ビニル</td> <td>難燃特殊耐熱ビニル</td> <td>750</td> <td>0</td> <td>1986.3.27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">同軸ケーブル</td> <td>22</td> <td>高発泡ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>580</td> <td>21</td> <td>2014.10.27</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>発泡ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>740</td> <td>59</td> <td>2014.10.27</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ツイストペアケーブル</td> <td>24</td> <td>ポリエチレン</td> <td>ノンハロゲン難燃ポリエチレン</td> <td>1,430</td> <td>0</td> <td>2012.2.23</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>ポリエチレン</td> <td>難燃特殊耐熱ビニル</td> <td>900</td> <td>19</td> <td>2015.11.13</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>ポリエチレン</td> <td>ポリオレフィン</td> <td>1000</td> <td>0</td> <td>2015.12.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">41-1-138 第5表も同様に変更</p>	区分	No.	絶縁体	シース	耐延焼性試験		試験日	シース損傷距離(mm)	(参考) 残炎時間(秒)	低圧ケーブル	19	架橋ポリエチレン	難燃ビニル	1400	1065	1997.2.22	20	ビニル	難燃ビニル	950	0	1997.3.7	21	難燃ビニル	難燃特殊耐熱ビニル	750	0	1986.3.27	同軸ケーブル	22	高発泡ポリエチレン	難燃ビニル	580	21	2014.10.27	23	発泡ポリエチレン	難燃ビニル	740	59	2014.10.27	ツイストペアケーブル	24	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃ポリエチレン	1,430	0	2012.2.23	25	ポリエチレン	難燃特殊耐熱ビニル	900	19	2015.11.13	26	ポリエチレン	ポリオレフィン	1000	0	2015.12.3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">絶縁体</th> <th rowspan="2">シース</th> <th colspan="4">U1.垂直燃焼試験</th> <th rowspan="2">試験日</th> </tr> <tr> <th>最大残炎時間(秒)</th> <th>表示線の損傷(%)</th> <th>縮の損傷</th> <th>合否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">低圧ケーブル</td> <td>19</td> <td>架橋ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.6.26</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>ビニル</td> <td>難燃ビニル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.6.26</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>難燃ビニル</td> <td>難燃特殊耐熱ビニル</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.11.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">同軸ケーブル</td> <td>22</td> <td>ポリエチレン</td> <td>難燃 ポリエチレン</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.6.26</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>高発泡ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.10.27</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ツイストペアケーブル</td> <td>24</td> <td>発泡ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.10.27</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>銅線^{※1}</td> <td>難燃 ポリエチレン</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.12.11</td> </tr> <tr> <td>ツイストペアケーブル</td> <td>26</td> <td>ポリエチレン</td> <td>ノンハロゲン難燃 ポリエチレン</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>無</td> <td>合格</td> <td>2014.2.26</td> </tr> </tbody> </table>	区分	No.	絶縁体	シース	U1.垂直燃焼試験				試験日	最大残炎時間(秒)	表示線の損傷(%)	縮の損傷	合否	低圧ケーブル	19	架橋ポリエチレン	難燃ビニル	1	0	無	合格	2014.6.26	20	ビニル	難燃ビニル	1	0	無	合格	2014.6.26	21	難燃ビニル	難燃特殊耐熱ビニル	5	0	無	合格	2014.11.5	同軸ケーブル	22	ポリエチレン	難燃 ポリエチレン	1	0	無	合格	2014.6.26	23	高発泡ポリエチレン	難燃ビニル	1	0	無	合格	2014.10.27	ツイストペアケーブル	24	発泡ポリエチレン	難燃ビニル	0	0	無	合格	2014.10.27	25	銅線 ^{※1}	難燃 ポリエチレン	1	0	無	合格	2014.12.11	ツイストペアケーブル	26	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃 ポリエチレン	1	0	無	合格	2014.2.26	②(設備追加に伴う修正)
区分	No.	絶縁体	シース					耐延焼性試験			試験日																																																																																																																																							
				シース損傷距離(mm)	(参考) 残炎時間(秒)																																																																																																																																													
低圧ケーブル	19	架橋ポリエチレン	難燃ビニル	1400	1065	1997.2.22																																																																																																																																												
	20	ビニル	難燃ビニル	950	0	1997.3.7																																																																																																																																												
	21	難燃ビニル	難燃特殊耐熱ビニル	750	0	1986.3.27																																																																																																																																												
同軸ケーブル	22	高発泡ポリエチレン	難燃ビニル	580	21	2014.10.27																																																																																																																																												
	23	発泡ポリエチレン	難燃ビニル	740	59	2014.10.27																																																																																																																																												
ツイストペアケーブル	24	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃ポリエチレン	1,430	0	2012.2.23																																																																																																																																												
	25	ポリエチレン	難燃特殊耐熱ビニル	900	19	2015.11.13																																																																																																																																												
	26	ポリエチレン	ポリオレフィン	1000	0	2015.12.3																																																																																																																																												
区分	No.	絶縁体	シース	U1.垂直燃焼試験				試験日																																																																																																																																										
				最大残炎時間(秒)	表示線の損傷(%)	縮の損傷	合否																																																																																																																																											
低圧ケーブル	19	架橋ポリエチレン	難燃ビニル	1	0	無	合格	2014.6.26																																																																																																																																										
	20	ビニル	難燃ビニル	1	0	無	合格	2014.6.26																																																																																																																																										
	21	難燃ビニル	難燃特殊耐熱ビニル	5	0	無	合格	2014.11.5																																																																																																																																										
同軸ケーブル	22	ポリエチレン	難燃 ポリエチレン	1	0	無	合格	2014.6.26																																																																																																																																										
	23	高発泡ポリエチレン	難燃ビニル	1	0	無	合格	2014.10.27																																																																																																																																										
ツイストペアケーブル	24	発泡ポリエチレン	難燃ビニル	0	0	無	合格	2014.10.27																																																																																																																																										
	25	銅線 ^{※1}	難燃 ポリエチレン	1	0	無	合格	2014.12.11																																																																																																																																										
ツイストペアケーブル	26	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃 ポリエチレン	1	0	無	合格	2014.2.26																																																																																																																																										

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																
49	補足41-1-添付資料2	41-1-142	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>No.</th> <th>絶縁体</th> <th>シース</th> <th>UL 垂直 燃焼試験</th> <th>IEEE383 OF IEEE1202</th> <th>フロー 結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">低圧 ケーブル</td> <td>19</td> <td>架橋 ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>ビニル</td> <td>難燃ビニル</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>難燃ビニル</td> <td>難燃特殊 耐熱ビニル</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">同軸 ケーブル</td> <td>22</td> <td>高発泡 ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>発泡 ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>ポリエチレン</td> <td>ノンハロゲン難燃 ポリエチレン</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">ツイストペア ケーブル</td> <td>25</td> <td>ポリエチレン</td> <td>難燃特殊 耐熱ビニル</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>26</td> <td>ポリエチレン</td> <td>ポリオレフィン</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> </tbody> </table>	区分	No.	絶縁体	シース	UL 垂直 燃焼試験	IEEE383 OF IEEE1202	フロー 結果	低圧 ケーブル	19	架橋 ポリエチレン	難燃ビニル	○	○	①	20	ビニル	難燃ビニル	○	○	①	21	難燃ビニル	難燃特殊 耐熱ビニル	○	○	①	同軸 ケーブル	22	高発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	○	○	①	23	発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	○	○	①	24	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃 ポリエチレン	○	○	①	ツイストペア ケーブル	25	ポリエチレン	難燃特殊 耐熱ビニル	○	○	①	26	ポリエチレン	ポリオレフィン	○	○	①	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">絶縁体</th> <th rowspan="2">シース</th> <th colspan="2">耐延焼性試験</th> <th rowspan="2">試験日</th> </tr> <tr> <th>シース 損傷距離 (mm)</th> <th>(参考) 残炭時間 (秒)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">低圧 ケーブル</td> <td>19</td> <td>架橋 ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>1400</td> <td>1065</td> <td>1997.2.22</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>ビニル</td> <td>難燃ビニル</td> <td>950</td> <td>0</td> <td>1997.3.7</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>難燃ビニル</td> <td>難燃特殊 耐熱ビニル</td> <td>750</td> <td>0</td> <td>1986.3.27</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>ポリエチレン</td> <td>難燃 ポリエチレン</td> <td>1050</td> <td>44</td> <td>2015.4.21</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">同軸 ケーブル</td> <td>23</td> <td>高発泡 ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>580</td> <td>21</td> <td>2014.10.27</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>発泡 ポリエチレン</td> <td>難燃ビニル</td> <td>740</td> <td>59</td> <td>2014.10.27</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ツイストペア ケーブル</td> <td>26</td> <td>ポリエチレン</td> <td>ノンハロゲン難燃 ポリエチレン</td> <td>1,430</td> <td>0</td> <td>2012.2.23</td> </tr> </tbody> </table>	区分	No.	絶縁体	シース	耐延焼性試験		試験日	シース 損傷距離 (mm)	(参考) 残炭時間 (秒)	低圧 ケーブル	19	架橋 ポリエチレン	難燃ビニル	1400	1065	1997.2.22	20	ビニル	難燃ビニル	950	0	1997.3.7	21	難燃ビニル	難燃特殊 耐熱ビニル	750	0	1986.3.27	22	ポリエチレン	難燃 ポリエチレン	1050	44	2015.4.21	同軸 ケーブル	23	高発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	580	21	2014.10.27	24	発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	740	59	2014.10.27	ツイストペア ケーブル	26	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃 ポリエチレン	1,430	0	2012.2.23	②(設備追加に伴う修正)
区分	No.	絶縁体	シース	UL 垂直 燃焼試験	IEEE383 OF IEEE1202	フロー 結果																																																																																																															
低圧 ケーブル	19	架橋 ポリエチレン	難燃ビニル	○	○	①																																																																																																															
	20	ビニル	難燃ビニル	○	○	①																																																																																																															
	21	難燃ビニル	難燃特殊 耐熱ビニル	○	○	①																																																																																																															
同軸 ケーブル	22	高発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	○	○	①																																																																																																															
	23	発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	○	○	①																																																																																																															
	24	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃 ポリエチレン	○	○	①																																																																																																															
ツイストペア ケーブル	25	ポリエチレン	難燃特殊 耐熱ビニル	○	○	①																																																																																																															
	26	ポリエチレン	ポリオレフィン	○	○	①																																																																																																															
区分	No.	絶縁体	シース	耐延焼性試験		試験日																																																																																																															
				シース 損傷距離 (mm)	(参考) 残炭時間 (秒)																																																																																																																
低圧 ケーブル	19	架橋 ポリエチレン	難燃ビニル	1400	1065	1997.2.22																																																																																																															
	20	ビニル	難燃ビニル	950	0	1997.3.7																																																																																																															
	21	難燃ビニル	難燃特殊 耐熱ビニル	750	0	1986.3.27																																																																																																															
	22	ポリエチレン	難燃 ポリエチレン	1050	44	2015.4.21																																																																																																															
同軸 ケーブル	23	高発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	580	21	2014.10.27																																																																																																															
	24	発泡 ポリエチレン	難燃ビニル	740	59	2014.10.27																																																																																																															
ツイストペア ケーブル	26	ポリエチレン	ノンハロゲン難燃 ポリエチレン	1,430	0	2012.2.23																																																																																																															
50	補足41-1-添付資料5	41-1-162	<p>「3. 建屋内装材における国内規制内容」を踏まえ、建築基準法における不燃材料、準不燃材料及び消防法における防災物品として防火性能を確認できた材料を「火災防護に係る審査基準」に適合する「不燃性材料」とする。 また、国内規定に定められる防火要求において、試験により確認できた材料を「代替材料」と位置付ける(火災防護に係る審査基準2.1.2ただし書きの適用)。 なお、耐放射線性等の機能要求があり、代替材料の使用が技術上困難な場合で、不燃材料の表面に塗布されたコーティング剤については、不燃性材料の適用外とする(火災防護に係る審査基準2.1.2ただし書き及び(参考)の適用)。 以上より、内装材の不燃性を第1図のフローに基づき確認する</p>	<p>「3. 建屋内装材における国内規制内容」を踏まえ、建築基準法における不燃材料、準不燃材料及び消防法における防災物品として防火性能を確認できた材料を「不燃性材料」とする。 なお、耐放射線性等の機能要求があり、代替材料の使用が技術上困難な場合で、不燃材料の表面に塗布されたコーティング剤については、不燃性材料の適用外とする。(審査基準2.1.2(参考)を参照)</p>	⑤(先行との記載合わせ)																																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
51	補足41-1-添付資料5	41-1-163	<p>第1図：内装材の適合性判定フロー</p>	<p>図1：内装材の不燃性判定フロー</p>	⑤(先行との記載合わせ)
52	補足41-1-添付資料5	41-1-163	<p>6. 試験による内装材の適合性判定(ルートII) 内装材のうち防火規制上の認定及び仕様規定への適合が確認できない材料については、建築基準法施行令第一条の六又は消防法施行令第四条の三に基づく試験により、不燃性材料の防火性能と同等以上(「代替材料」)であることを確認する。</p>	該当無し	⑤(先行との記載合わせ)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	補足41-1-添付資料5	41-1-163 ～4	7. 不燃基材の仕様確認(ルートⅢ) 管理区域の床、壁には耐放射線性及び除染性を確保すること、非管理区域の一部の床には防塵性を確保すること、原子炉格納容器内の床、壁には耐放射線性、除染性及び耐腐食性を確保することを目的として、コーティング剤を塗布する設計としている。このコーティング剤は、旧建設省告示第1231号第2試験又は米国ASTM規格E84、建築基準法施行令第一条の六に基づく難燃性塗料であること、不燃性材料に塗布されていることを確認することで、火災防護に係る審査基準2.1.2の(参考)に基づく「不燃材料表面のコーティング剤は、他の構築物、系統又は機器において火災が生じるおそれが小さい」に該当することから、不燃性材料と同等である。	6. 不燃基材の仕様確認(ルートⅡ) 管理区域の床、ケーブル処理室・計算機用無停電電源室の床、原子炉格納容器内の床、壁のコーティング剤については、旧建設省告示第1231号第2試験又はASTM E84 に基づく難燃性が確認された塗料であること、不燃性材料であるコンクリート表面に塗布すること、加熱源を除去した場合はその燃焼部が広がらないこと、原子炉格納容器内を含む建屋内に設置する安全機能を有する機器等は不燃性又は難燃性の材料を使用し周辺には可燃物がないことから、審査基準2.1.2(参考)の「不燃材料の表面に塗布されるコーティング剤等、当該材料が発火した場合においても、他の構築物、系統又は機器において火災を生じさせるおそれが小さい」とされていることより、不燃性材料と同等である。	⑤(先行との記載合わせ)
54	補足41-1-添付資料5	41-1-164	8. 内装材の適合性判定結果 「5.内装材の認定、仕様規定の確認」より、塗装材を除く建屋内装材について不燃性材料であることを確認した。(第2表) また、第2表に示す以外の内装材を設ける場合については「6.試験による内装材の適合性判定」、「7. 不燃基材の仕様確認」に基づき、不燃性材料と同等であることを確認する設計とする。	7. 内装材の不燃性判定結果 「5.内装材の認定、仕様規定の確認」、「6.不燃基材の仕様確認」より、免震重要棟の一部を除き、建屋内装材は不燃性材料であることを確認した。(表2)	⑤(先行との記載合わせ)
55	補足41-1-添付資料6	41-1-166	重大事故等対処施設である6号及び7号炉中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に以下のとおり排煙設備を配備する。	重大事故等対処施設である6号及び7号炉中央制御室、3号炉原子炉建屋内緊急時対策所に以下のとおり排煙設備を配備する。	②(K5TSCIに伴う変更)
56	補足41-1-添付資料6	41-1-166	一方、重大事故等対処施設である6号及び7号炉中央制御室、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所については、	一方、重大事故等対処施設である6号及び7号炉中央制御室、3号炉原子炉建屋内緊急時対策所については、	②(K5TSCIに伴う変更)
57	補足41-1-参考資料1	—	(削除)	(参考)免震重要棟自家発電設備 (1)潤滑油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度 油内包機器に使用している潤滑油の引火点は約240℃であり、各場所の室内温度(空調設計上の上限値である室内設計温度:約30℃)及び機器運転時の潤滑油温度(運転時の最高使用温度:約75℃)に対し大きいことを確認した。 表2に、主要な潤滑油内包機器に使用している潤滑油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度を示す。	②(K5TSCIに伴う変更)
58	補足41-1-参考資料1	—	(削除)	表2: 主要な潤滑油の引火点、室内温度及び機器運転時の温度	②(K5TSCIに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
59	補足41-1- 参考資料1	—	(削除)	(2)免震重要棟自家発電設備における燃料油の引火点及び室内温度使用する燃料油である軽油の引火点は約45℃であり、通常運転時の発電機室の室内設計温度である30℃に対し大きいことを確認した。なお、設計温度近くまで温度上昇した際には、非常用空調の予備機が起動し、45℃を超えないよう設計されている。	②(K5TSCIに伴う変更)
60	補足41-2 添付資料1	—	SA設備追加に伴う対象リストへの反映	—	②
61	補足41-3	41-3-1	重大事故等対処施設の火災防護対策を講じるために、原子炉建屋、タービン建屋、廃棄物処理建屋、コントロール建屋及び緊急時対策所の建屋内と屋外の重大事故等対処施設を設置するエリアについて、重大事故等対処施設と設計基準事故等対処設備の配置も考慮して、火災区域又は火災区画を設定する。	重大事故等対処施設の火災防護対策を講じるために、原子炉建屋、コントロール建屋、廃棄物処理建屋及び5号炉原子炉建屋と、屋外の重大事故等対処施設を設置するエリアについて、火災区域又は火災区画を以下のとおり設定する。火災区域又は火災区画の設定に当たっては、重大事故等対処施設と設計基準対象施設の配置も考慮して、火災区域又は火災区画を設定する。	⑤(火災防護対象機器の再整理ならびに補正書の記載合わせ)
62	補足41-3	41-3-2	(追記)また、建屋内及び屋外で設定した火災区域を重大事故等対処施設と設計基準事故等対処設備の配置も考慮し、分割して設定する。	—	⑤(補正書との記載合わせ)
63	補足41-3	41-3-3	③ 屋外の重大事故等対処施設を設置するエリアについて、附属設備を含めて火災区域を設定する。重大事故等対処施設を設置するエリアのうち、壁やフェンス等で明確に区域が設定できない場合の火災区域の設定にあたっては、「危険物の規制に関する政令」に基づき必要な空地を確保して火災区域を設定する。また、同令において空地の要求がない設備については重大事故等対処施設自体が可燃物を内包することを踏まえ「屋外タンク貯蔵所」とみなし、同令第十一条第二項で要求される空地の幅を参考にして、附属設備を含め3m以上の幅を考慮した範囲とする。(第41-3-1図)	③ 屋外の重大事故等対処施設を設置するエリアについて、附属設備を含めて火災区域を設定する。ただし、壁やフェンス等で明確に区域が設定できない重大事故等対処施設を設置するエリアについては、重大事故等対処施設自体に可燃物を含むことから、火災区域の設定にあたっては「危険物の規制に関する政令」第九条第一項第二号で要求される「製造所」の指定数量の倍数が十以下の空地の幅を参考にして、附属設備を含め3m以上の幅の空地を確保した範囲を含め重大事故等対処施設が設置されるエリアを火災区域として設定する。(図41-3-1)	②(危険物法令の空地要求があるものは、それに準じる旨、設備実態としては「製造所」より「貯蔵所」に近い見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
64	補足41-3	41-3-3	④ 常設代替交流電源設備設置エリアについては、附属設備を含めて火災区域を設定する。火災区域の設定にあたり、ガスタービン発電機は「一般取扱所」として空地が要求されることから、同令第十九条第一項で要求される空地の幅5m以上を確保した範囲とする。また、附属設備の主要機器である地下タンクは「危険物の規制に関する政令」において空地が要求されない設備であるため、同令の「屋外タンク貯蔵所」とみなし、同令第十一条第二項で要求される空地の幅を参考にして附属設備を含め3m以上の幅を確保した範囲とする。(第41-3-2図) なお、ガスタービン発電機間においては同令における空地の要求がないことから、設備として発電機間の火災影響並びに消火活動への影響を考慮し、適切に空地を設ける設計とする。(補足説明資料57-9)	④ 常設代替交流電源設備設置エリアについては、附属設備を含めて火災区域を設定する。常設代替交流電源設備を構成する主要機器であるガスタービン発電機、地下タンクに対して消防法等から空地の確保は要求されないが、火災区域の設定にあたって、当該設備を「危険物の規制に関する政令」で示される「地下タンクを有する一般取扱所」とみなし、同令第十九条の規定から同令第九条第一項第二号で要求される「製造所」の空地の幅を参考にして、常設代替交流電源設備が保有する軽油(1,000L)が指定数量(1,000L)の10倍以下であることから、ガスタービン発電機は3m以上、燃料タンクから3m以上の幅の空地を確保した範囲を含め常設代替交流電源設備が設置されるエリアを火災区域として設定する。	②(代替交流電源設備の設計進捗並びに危険物法令の適用状況を踏まえ、見直し)
65	補足41-3	41-3-3	第41-3-2図 上記の趣旨を反映	—	②
66	補足41-3 添付資料1	—	SA設備追加に伴う機器配置図への反映	—	②
67	補足41-3 添付資料1	—	放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能に関する火災防護対象機器(クラス3等)の追加	—	⑤(火災防護対象設備の位置づけ見直しに伴う追記)
68	補足41-4	41-4-5	○蓄電池室 蓄電池室は、蓄電池充電中に少量の水素ガスを発生することから、換気空調設備を設置しており、安定した室内環境を維持しているが、万が一の水素濃度の上昇※1を考慮し、防爆型煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。 防爆型の煙感知器及び熱感知器は非アナログ式しか製造されていないが、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型煙感知器はアナログ式煙感知器と同様に、炎が生じる前の発煙段階から煙の早期感知が可能である。また、蓄電池室に設置する非アナログ式の防爆型熱感知器については、蓄電池室は換気空調設備により安定した室内環境(最大室温40℃)を維持していることから、通常の熱感知器と同様、周囲温度を考慮した作動温度(70℃)を設定することによって、早期の火災感知及び誤作動の防止を図る。 ※1 蓄電池室は、換気空調設備の機械換気により水素濃度の上昇を防止する設計である。	○蓄電池室 充電時に水素発生のおそれがある蓄電池室は、万が一の水素濃度の上昇を考慮し、火災を早期に感知できるよう、防爆型で、かつ固有の信号を発する異なる種類の防爆型の煙感知器・熱感知器を設置する設計とする。これらの防爆型感知器は非アナログ式である。しかしながら、蓄電池室内には蒸気を発生する設備等はなく、換気空調設備により安定した室内環境を維持していることから、蒸気等が充満するおそれはなく、非アナログ式の煙感知器であっても誤作動する可能性は低い。また、換気空調設備により安定した室温(最大40℃)を維持していることから、火災感知器の作動値を室温より高め70℃と一意に設定する非アナログ式の熱感知器であっても誤作動する可能性は低い。このため、水素による爆発のリスクを低減する観点から、防爆型の非アナログ式火災感知器を設置する設計とする。	⑤(防爆型煙感知器、熱感知器は非アナログ式しか製造されていないことを明記)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
69	補足41-4	41-4-6	<p>炎感知器：平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)を採用し誤作動防止を図る。さらに、降水等の浸入により火災感知器の故障が想定されるため屋外仕様を採用する設計とする。なお、太陽光の影響については、火災発生時の特有な波長帯のみを感知することで誤作動を防止する設計とする。</p> <p>・熱感知カメラ:アナログ式の熱感知カメラを使用することによって、誤作動防止を図る。また、熱サーモグラフィにより、火源の早期確認・判断誤り防止を図る。さらに、屋外に設置することから降水等の浸入により火災感知器の故障が想定されるため屋外仕様を採用する設計とする。なお、熱感知カメラの感知原理は赤外線による熱監視であるが、感知する対象が熱であることから炎感知器とは異なる種類の感知器と考える。</p>	<p>・炎感知器：平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)を採用し誤作動防止を図る。さらに、屋内に設置する場合は外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することとし、屋外に設置する場合は屋外仕様を採用する設計とする。</p> <p>・熱感知カメラ:外部環境温度を考慮した温度をカメラ設定温度とすることによる誤動作防止機能を有する。また、熱サーモグラフィによる映像監視から現場状況の早期確認・判断誤り防止を図る。なお、熱感知カメラの感知原理は赤外線による熱監視であり、感知する対象が熱であることから、炎感知器とは異なる種類の感知器と考える。</p>	⑤(補正書との記載合わせ)
70	補足41-4	41-4-9	<p>以上を踏まえ、異なる種類の感知器として炎感知器を監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p>	<p>以上を踏まえ、異なる種類の感知器として炎感知器を選定する。炎感知器は当該エリア全体をカバーできるよう配置する設計とする。</p>	⑤(監視範囲に関する表現を適正化)
71	補足41-4	41-4-10	<p>そのため、非アナログ式の炎感知器とアナログ式の光電分離型煙感知器を監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。炎感知器は非アナログ式であるが、平常時から炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、外光が当たらず、高温物体が近傍にない箇所に設置することにより、誤作動防止を図る設計とする。</p> <p>さらに、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)を採用し誤作動防止を図る設計とする。</p>	<p>このため、アナログ式の「光電分離型煙感知器」、及び非アナログ式の「炎感知器」を消防法に準じて監視範囲に死角が無いように設置する設計とする。なお、炎感知器は非アナログ式であるが、誤作動防止対策については「常設代替交流電源設備(ガスタービン発電機一式、燃料地下タンク含む)設置エリア・可搬型重大事故等対処施設設置エリア等」で使用する炎感知器と同様である。</p>	⑤(補正書との記載合わせ)
72	補足41-4	41-4-12	<p>このため、非アナログ式の炎感知器とアナログ式の光電分離型煙感知器を監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。</p>	<p>このため、アナログ式の「光電分離型煙感知器」、及び非アナログ式の「炎感知器」を消防法に準じて監視範囲に死角が無いように設置する設計とする。</p>	⑤(監視範囲に関する表現を適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
73	補足41-4	41-4-14	<p>○ 原子炉格納容器 起動中における原子炉格納容器内の火災感知器は、環境条件や予想される火災の性質を考慮し、原子炉格納容器内には異なる2種類の感知器としてアナログ式の煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。原子炉格納容器内は、通常運転中、窒素ガス封入により不活性化しており、火災が発生する可能性がない。しかしながら、運転中の原子炉格納容器は、閉鎖した状態で長期間高温かつ高線量環境となることから、火災感知器が故障する可能性がある。このため、原子炉格納容器内の火災感知器は、起動時の窒素ガス封入後に中央制御室内の受信機にて作動信号を除外する運用とし、プラント停止後に速やかに取り替える設計とする。 低温停止中における原子炉格納容器内の火災感知器は、起動中と同様にアナログ式の煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。</p>	<p>○ 原子炉格納容器の火災感知器について 原子炉格納容器内には、アナログ式の煙感知器及び熱感知器を設置する設計とする。 運転中の原子炉格納容器は、閉鎖した状態で長期間高温かつ高線量環境となることから、アナログ式の火災感知器が故障する可能性がある。このため、通常運転中、窒素封入により不活性化し火災が発生する可能性がない期間については、原子炉格納容器内の火災感知器は、起動時の窒素封入後に作動信号を除外する運用とする。</p>	⑤(補正書との記載合わせ)
74	補足41-4	41-4-14	<p>○ 非常用ディーゼル発電機軽油タンク区域 非常用ディーゼル発電機軽油タンク区域は屋外であるため、火災による煙が周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難である。 このため、非常用ディーゼル発電機軽油タンク区域には非アナログ式の炎感知器を監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置することに加え、タンク内部の空間部に防爆型の非アナログ式の熱感知器を設置する設計とする。炎感知器は非アナログ式であるが、平常時より炎の波長の有無を連続監視し、火災現象(急激な環境変化)を把握できることから、アナログ式と同等の機能を有する。また、感知原理に「赤外線3波長式」(物質の燃焼時に発生する特有な放射エネルギーの波長帯を3つ検知した場合にのみ発報する)を採用し誤作動防止を図る設計とする。なお、太陽光の影響については、火災発生時の特有な波長帯のみを感知することで誤作動を防止する設計とする。</p>	<p>○ 非常用ディーゼル発電機軽油タンクエリアの火災感知器について 非常用ディーゼル発電機軽油タンクエリアは屋外であるため、火災による煙は周囲に拡散し、煙感知器による火災感知は困難である。 このため、非常用ディーゼル発電機軽油タンクエリアには炎感知器の設置に加え、タンク内部の空間部に防爆型の熱感知器を設置する設計とする。炎感知器は非アナログ式であるが、誤作動防止対策については「常設代替交流電源設備(ガスタービン発電機一式、燃料地下タンク含む)設置エリア・可搬型重大事故等対処施設設置エリア等」で使用する炎感知器と同様である。また、防爆型の熱感知器については非アナログ式であるが、軽油タンク最高使用温度(約66℃)を考慮した温度を設定温度(約80℃)とすることで誤作動防止を図る設計とする。</p>	⑤(補正書との記載合わせ並びに監視範囲に関する表現を適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
75	補足41-4	41-4-14	<p>○ 主蒸気管トンネル室 主蒸気管トンネル室については、通常運転中は高線量環境となることから、放射線の影響により火災感知器の制御回路が故障する可能性がある。さらに、火災感知器が故障した場合の取替えも出来ない。このため、放射線の影響を受けにくい非アナログ式の熱感知器を設置する。加えて、放射線の影響を受けないよう検出器部位を当該区画外に配置するアナログ式の煙吸引式検出設備を設置する設計とする。 主蒸気管トンネル室に設置する非アナログ式の熱感知器については、主蒸気管トンネル室は換気空調設備により安定した室内環境を維持していることから、通常の熱感知器と同様、周囲温度を考慮した作動温度を設定することによって、早期の火災感知及び誤作動の防止を図る。</p>	<p>○ 主蒸気管トンネル室の火災感知器について 主蒸気管トンネル室については、通常運転中は高線量環境となることから、アナログ式の火災感知器を設置する場合、放射線の影響により火災感知器の故障が想定される。このため、放射線の影響を受けないよう検出器部位を当該エリア外に配置するアナログ式の煙吸引式感知器を設置する設計とする。加えて、放射線の影響を考慮した非アナログ式の熱感知器を設置する。熱感知器は非アナログ式であるが、作動温度を周囲温度より高い温度で作動するものを選定することで誤作動防止を図る設計とする。</p>	⑤(補正書との記載合わせ)
76	補足41-4	41-4-15	<p>○ 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備ケーブル敷設区域可搬型電源設備ケーブルの敷設区域のうち、電線管が屋外に露出する部分は、電線管にアナログ式の光ファイバケーブル式熱感知器を設置するとともに、炎感知器を監視範囲に火災の検知に影響を及ぼす死角がないように設置する設計とする。 炎感知器は非アナログ式であるが、誤作動防止対策については「常設代替交流電源設備(ガスタービン発電機一式、燃料地下タンク含む)設置エリア区域・可搬型重大事故等対処施設設置エリア区域等」で使用する炎感知器と同様である。</p>	<p>○ 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用可搬型電源設備ケーブル布設エリアの火災感知器について 可搬型電源設備ケーブルの布設エリアのうち、電線管が屋外に露出する部分は、電線管にアナログ式の光ファイバケーブル式熱感知器を設置するとともに、炎感知器を設置する。 炎感知器は非アナログ式であるが、誤作動防止対策については「常設代替交流電源設備(ガスタービン発電機一式、燃料地下タンク含む)設置エリア・可搬型重大事故等対処施設設置エリア等」で使用する炎感知器と同様である。</p>	⑤(補正書との記載合わせ並びに監視範囲に関する表現を適正化)
77	補足41-4	41-4-15	<p>また、以下に示す火災区域又は火災区画は、火災の影響を受けるおそれなく、可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とすることから、火災感知器を設置しない設計とする。</p>	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
78	補足41-4	41-4-15	<p>格納容器機器搬出入用ハッチ室 格納容器機器搬出入用ハッチ室は、発火源となるようなものが設置されておらず、可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とするうえ、通常コンクリートハッチにて閉鎖されていることから、火災の影響を受けない。また、ハッチ開放時は通路の火災感知器にて感知が可能である。 したがって、格納容器機器搬出入用ハッチ室には火災感知器を設置しない設計とする。</p>	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
79	補足41-4	41-4-16	○ 給気処理装置室、冷却器コイル室及び排気ルーバ室 給気処理装置室、冷却器コイル室及び排気ルーバ室は、発火源となるようなものが設置されておらず、可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とするうえ、コンクリートの壁で囲われていることから、火災の影響を受けない。 したがって、給気処理装置室、冷却器コイル室及び排気ルーバ室には火災感知器を設置しない設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
80	補足41-4	41-4-16	○ 排気管室 排気管室は、排気を屋外に通すための部屋であり、発火源となるようなものが設置されておらず、可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とするうえ、コンクリートの壁で囲われていることから、火災の影響を受けない。 したがって、排気管室には火災感知器を設置しない設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
81	補足41-4	41-4-16	○ フィルタ室 フィルタ室に設置されているフィルタは難燃性であり、発火源となるようなものが設置されておらず、可燃物管理により可燃物を持ち込まない運用とするうえ、コンクリートの壁で囲われていることから、火災の影響を受けない。 したがって、フィルタ室には火災感知器を設置しない設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
82	補足41-4	41-4-16	○ 使用済燃料プール、復水貯蔵槽、使用済樹脂槽 使用済燃料プール、復水貯蔵槽、使用済樹脂槽については内部が水で満たされており、火災が発生するおそれはない。 したがって、使用済燃料プール、復水貯蔵槽、使用済樹脂槽には火災感知器を設置しない設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
83	補足41-4	41-4-16	以下に示す火災区域又は火災区画は、火災による安全機能への影響が考えにくく、消防法又は建築基準法に基づく対策により火災の影響を限定することが可能であることから、消防法又は建築基準法に基づく火災感知設備を設ける設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

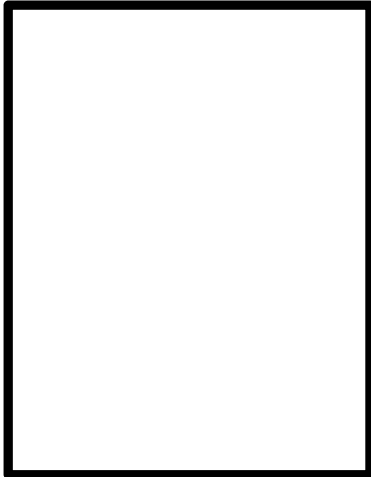
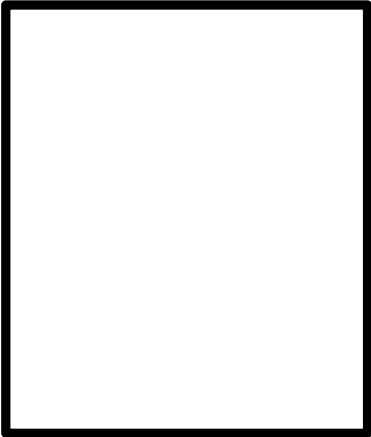
【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
84	補足41-4	41-4-17	○ 不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された火災防護対象機器のみを設けた火災区域又は火災区画 火災防護対象機器のうち、不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された配管、容器、タンク、手動弁、コンクリート構築物については流路、バウンダリとしての機能が火災により影響を受けることは考えにくいため、消防法又は建築基準法に基づく火災感知器を設ける設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
85	補足41-4	41-4-17	○ フェイルセーフ設計の設備のみが設置された火災区域又は火災区画 フェイルセーフ設計の設備については火災により動作機能を喪失した場合であっても、安全機能が影響を受けることは考えにくいため、消防法又は建築基準法に基づく火災感知器を設ける設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
86	補足41-4	41-4-17	○ 気体廃棄物処理系設備エリア排気放射線モニタ検出器設置区画 放射線モニタ検出器は隣接した検出器間をそれぞれ異なる火災区画に設置する設計とする。これにより火災発生時に同時に監視機能を喪失することは考えにくく、重要度クラス3の設備として火災に対して代替性を有することから、消防法又は建築基準法に基づく火災感知器を設ける設計とする。 なお、上記の監視を行う事故時放射線モニタ監視盤を設置する中央制御室については火災発生時の影響を考慮し、固有の信号を発するアナログ式の煙感知器、アナログ式の熱感知器、又は非アナログ式の炎感知器から異なる種類の感知器を組み合わせて設置する設計とする。	—	⑤(補正書への記載合わせと火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
87	補足41-4	41-4-21	これらにより、火災感知設備については十分な保安水準が確保されているものとする。	—	⑤(補正書との記載合わせ)
88	補足41-4-添付資料2	41-4-83	原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器・放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護に係る審査基準に基づく火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計	※1 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器・放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計	⑤(火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
89	補足41-4-添付資料2	41-4-83	(別紙1の表：火災防護対象機器の再整理結果等を反映。)	—	②(火災防護対象機器の再整理を踏まえた適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

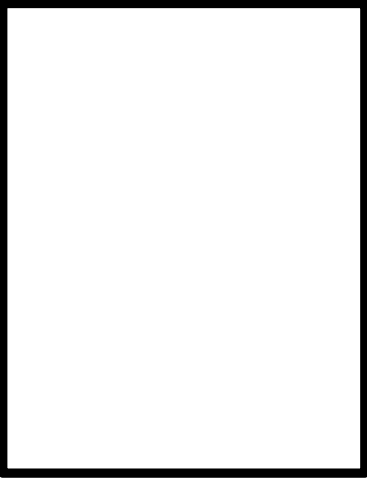
【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
90	補足41-4-添付資料2	41-4-104	原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器・放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、 火災防護に係る審査基準に基づく 火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計	※1 原子炉の高温停止及び低温停止を達成し、維持するために必要な機器・放射性物質の貯蔵又は閉じ込め機能を有する機器・重大事故等対処設備のうち、火災防護対策が必要な機器であり、耐震SクラスまたはSs機能維持設計	⑤(火災防護対象機器の再整理に伴う見直し)
91	補足41-4-添付資料3	41-4-131	 火災感知設備の感知範囲 (常設代替交流電源設備(第一GTG一式, 地下燃料タンク含む))	 火災感知設備の感知範囲 (常設代替交流電源設備(第二GTG一式※, 地下燃料タンク含む) ※第一GTGも基本的に同様な設計とする)	⑤(第二GTGの自主設備化に伴い図面を第一GTGに修正)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
92	補足41-4-添付資料3	41-4-134	 火災感知設備の感知範囲(5号炉東側保管場所, 第二保管場所)	—	②(5号炉東側保管場所, 第二保管場所の追記)
93	補足41-5	目次	5. 火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくい火災区域又は火災区画の考え方	—	⑤(補正書との記載合わせ)
94	補足41-5	41-5-3	火災防護に係る審査基準では、「2.2 火災の感知, 消火」において, 火災時の煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難となる場所に対する固定式消火設備の設置を要求している。	火災防護に係る審査基準では、「2.2 火災の感知, 消火」において, 火災時の煙の充満により消火活動が困難となる場所に対する固定式消火設備の設置及び「2.3 火災の影響軽減」に基づく系統分離が必要な場所に対する自動消火設備を要求している。	⑤(補正書との記載合わせ)
95	補足41-5	41-5-3	このことから, 消火活動が困難となる場所への消火設備の設置要否を検討することとする。	このことから, 消火活動が困難となる場所及び系統分離に必要な場所への消火設備の設置要否を検討することとする。	⑤
96	補足41-5	41-5-3	重大事故等対処施設のうち, 火災により機能が影響を受ける設備を設置する	重大事故等対処設備を設置する	⑤(補正書との記載合わせ)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
97	補足41-5	41-5-3	重大事故等対処施設のうち、火災により機能が影響を受ける設備を設置する火災区域又は火災区画については原則煙の充満により消火活動が困難となる場所として選定し、煙の影響が考えにくい火災区域又は火災区画については「4.消火活動が困難となる火災区域又は火災区画の考え方」にて個別に検討する。 ※以下同様	重大事故等対処設備を設置する区域(区画)については原則煙の充満により消火活動が困難となる場所として選定し、煙の影響が考えにくい火災区域については「4.消火活動が困難となる火災区域(区画)の考え方」にて個別に検討する	⑤
98	補足41-5	41-5-3	また、火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくく、消防法又は建築基準法に基づく対策により火災の影響を限定することが可能な火災区域又は火災区画については「5.火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくい火災区域又は火災区画の考え方」にて個別に検討する。	—	⑤(補正書との記載合わせ)
99	補足41-5	41-5-4	また、外部電源喪失時に代替交流電源設備による非常用電源の供給が開始されるまでの時間を考慮して70分以上	また、消防法に準拠するとともに、外部電源喪失時に代替交流電源設備による非常用電源の供給が開始されるまでの時間を考慮して70分※以上	⑤
100	補足41-5	41-5-6	また、消火ポンプについては電動機駆動消火ポンプ、ディーゼル駆動消火ポンプ(定格流量2,950 L/min)を各1台以上有し、多様性を備えている。	また、消火ポンプについては電動機駆動消火ポンプ、ディーゼル駆動消火ポンプ(定格流量2,950 l/min)を1台ずつ有し、多様性を備えている。	⑤
101	補足41-5	41-5-6	ポンプ容量については消防法施行規則にて要求される屋内消火栓ならびに屋外消火栓の必要流量(150 L/min×2台+400 L/min×2台=1,100 L/min)に対して十分な容量を有しており、風水害に対して性能を著しく阻害されないよう止水対策を施した建屋に設置する。	ポンプ容量については消防法施行令にて要求される屋内消火栓ならびに屋外消火栓の必要流量(120 l/min×2台+350 l/min×2台=940 l/min)に対して十分な容量を有しており、風水害に対して性能を著しく阻害されないよう止水対策を施した建屋に設置する。	⑤
102	補足41-5	41-5-7	なお、消火栓は、消防法施行令第十一条「屋内消火栓設備に関する基準」及び消防法施行令第十九条「屋外消火栓設備に関する基準」に基づき、すべての火災区域又は火災区画を消火できるように設置する。	なお、消火栓は、消防法施行令第十一条「屋内消火栓設備に関する基準」及び消防法施行令第十九条「屋外消火栓設備に関する基準」に基づき、すべての火災区域及び火災区画を消火できるように設置する。	⑤
103	補足41-5	41-5-9	移動式消火設備については、化学消防自動車2台を配備し、消火ホース等の資機材を備え付けている。加えて、大型化学高所放水車2台を配備している。	移動式消火設備については、化学消防自動車2台を配備し、消火ホース等の資機材を備え付けている。加えて、高圧放水車2台、コンクリートポンプ車3台を配備している。	⑤
104	補足41-5	41-5-9	なお、移動式消火設備の操作については、発電所構内の自衛消防隊詰めに24時間体制で待機している専属消防隊にて実施する。	なお、移動式消火設備の操作については、発電所構内の防護本部脇に24時間体制で配置している専属消防隊にて実施する。	⑤
105	補足41-5	41-5-11	可燃物が少ない火災区域又は火災区画は、火災源となる可燃物がほとんどないこと、持込み可燃物管理により火災荷重及び等価時間を低く抑えることから、煙の充満により消火活動が困難とならない場所として選定する。(添付資料13)	可燃物が少ないエリアは、火災源となる可燃物がほとんどないことから、消火活動が困難とならない場所として選定する。(添付資料13)	⑤(補正書との記載合わせ)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
106	補足41-5	41-5-13	重大事故等対処施設のうち、火災により機能が影響を受ける設備を設置する屋外の火災区域又は火災区画については、火災が発生しても煙は充満しないことから煙の充満又は放射線の影響により消火活動が困難とならない場所として選定する。	屋外に重大事故等対処施設を設置する火災区域については、煙が充満するおそれがないことから、消火活動が困難とならない場所として選定する。	⑤(補正書との記載合わせ)
107	補足41-5	41-5-15	5. 火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくい火災区域又は火災区画の考え方 以下に示す火災区域又は火災区画は、火災により安全機能へ影響を及ぼすおそれが考えにくく、消防法又は建築基準法に基づく対策により火災影響を限定することが可能であることから、消防法又は建築基準法に基づく消火を行う設計とする。 (1) 不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された火災防護対象機器を設置する火災区域 火災防護対象機器のうち、不燃性材料であるコンクリート又は金属により構成された配管、容器、タンク、手動弁、コンクリート構造物については流路、バウンダリとしての機能が火災により影響を受けることは考えにくいため、消防法又は建築基準法に基づく対策を行う設計とする。	—	⑤(補正書との記載合わせ)
108	補足41-5-添付資料2	41-5-21	自動起動又は手動起動	自動起動及び中央制御室からの手動起動	⑤
109	補足41-5-添付資料2	41-5-21	自動起動又は手動起動	自動起動	⑤
110	補足41-5-添付資料2	41-5-28	狭隘なケーブルトレイでも設置可能な	狭隘なケーブルトレイや盤内でも設置可能な	⑤
111	補足41-5-添付資料2	41-5-28	万一、誤動作が発生した場合であっても機器・人体に影響を及ぼさない。センサーチューブ式の局所ガス消火設備のケーブルトレイへの適用について、消火性能が確保されていることを別紙1に示す。	万一誤動作が発生した場合であっても機器・人体に影響を及ぼさない。	⑤
112	補足41-5-添付資料3	41-5-51	防護するために設置する全域ガス消火設備、局所ガス消火設備は、重大事故等対処施設の耐震クラスに応じて、	防護するために設置する全域ガス消火設備等は、重大事故等対処施設の耐震クラスに応じて、	⑤
113	補足41-5-添付資料4	41-5-55	局所ガス消火設備のハロン1301が誤動作した場合の濃度は、油内包機器設置区域周辺の通路部の容積に対して、	局所ガス消火設備のハロン1301が誤動作した場合の濃度は、設置フロアの通路部の容積に対して、	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
114	補足41-5-添付資料5	41-5-61	HFC-227eaのガスの最高濃度は9%以下とする必要がある※2ため、	HFC-227ea のガスの最高濃度は9%以下とする必要がある※1ため、	⑤
115	補足41-5-添付資料6	41-5-61	※2 H13.3.30 消防予第102号「消防法施行令の一部を改正する政令等の施行について」	記載なし	⑤
116	補足41-5-添付資料7	41-5-64	削除	(表)耐震性 Ss 機能維持	⑤
117	補足41-5-添付資料9	第1表	添付資料9について屋外の区域名称の適正化並びに消火設備の適正化を実施。	—	⑤
118	補足41-5-添付資料9	第1表			⑤
119	補足41-5-添付資料11	41-5-129	ポリタンク1,000L(備蓄※)	ポリタンク500 リットル(備蓄)	⑤
120	補足41-5-添付資料12	41-5-144	削除 図の統一	消火ガスにはハロン1301を使用し、消防法に準じた局所消火に必要なガス容量を配備する(GRDポンプ:49kg、SLCポンプ:55kg)。また、Ss機能維持とする。	⑤
121	補足41-5-添付資料12	41-5-147	自動起動	自動又は中央制御室からの遠隔手動	⑤
122	補足41-5-添付資料12	41-5-150	原子炉建屋通路部については、持込み可燃物管理を実施する。	原子炉建屋通路部を含め、火災発生防止及び火災発生時の規模の局限化、影響軽減を目的とした、持込み可燃物の運用管理手順を定め、その管理状況を定期的に確認することを火災防護計画に定める。持込み可燃物の運用管理手順には、発電所の通常運転に関する可燃物、保守や改造に使用するため	⑤
123	補足41-5-添付資料13	41-5-199	(8) 南西階段室 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
124	補足41-5-添付資料13	41-5-207	(16) サプレッションチェンバ室 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
125	補足41-5-添付資料13	41-5-212	(20) 北西階段室 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
126	補足41-5-添付資料13	41-5-213	(21) 南東階段室 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
127	補足41-5-添付資料13	41-5-214	(22) 階段室(R/B北) ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
128	補足41-5-添付資料13	41-5-215	(23) 階段室(R/B南) ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
129	補足41-5-添付資料13	41-5-260	(17) 階段室(R/B北) ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
130	補足41-5-添付資料13	41-5-261	(18) 階段室(R/B南) ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
131	補足41-5-添付資料13	41-5-262	(19) 階段室(R/B南東) ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
132	補足41-5-添付資料13	41-5-263	(20) 階段室(R/B北西) ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
133	補足41-5-添付資料13	41-5-278	(34) FPC弁室 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
134	補足41-5-添付資料13	41-5-285	(37) 南北連絡通路 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
135	補足41-5-添付資料13	41-5-288	(40) R4Fクリーン通路 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名： 重大事故等対処施設について
 章/項番号： 41条 火災による損傷の防止

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
136	補足41-5-添付資料13	41-5-290	(44) 階段室 ⇒追加	—	②(設備追加に伴う設計の反映)
137	補足41-6-添付資料1	—	(表) SA設備の追加に伴う対象区域又は区画の追加(別ファイル)	—	②(SA設備の追加に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 共-1

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	1.1	共1-1	第55条 工場等外(以下、「発電所外」という。)への放射性物質の拡散を抑制するための設備	第55条 工場等外への放射性物質の拡散を抑制するための設備	⑤
2	図2	共1-6	最上段の横長楕円の中の記載 ・・・又は [B]重大事故等発生時に設計基準対象施設としての機能を期待する設備([A]に該当しないもの)	・・・又は [B]重大事故等発生時に設計基準対象施設としての機能を期待する設備	⑤
3	図2	共1-6	最初の菱形選択肢内を「[A]に該当する設備とし, Yes/Noを反転させ, その後のフローを再配置	—	⑤
4	44条	共1-8	上から6行目, 左から3列目 原子炉緊急停止系	原子炉緊急停止系, 制御棒, 制御棒駆動系水圧制御ユニット	⑤
5	46条	共1-11	逃がし安全弁, 自動減圧機能用アキュムレータ, 主蒸気系配管・クエンチャの設備分類欄 常設耐震重要重大事故防止設備 常設重大事故緩和設備	逃がし安全弁, 自動減圧機能用アキュムレータ, 主蒸気系配管・クエンチャの設備分類欄 常設耐震重要重大事故防止設備	①DCH時の逃がし安全弁の使用を考慮し, 「緩和」を追加した。
6	46条	共1-11	一番下の行 「原子炉建屋ブローアウトパネル」の追加	—	②ISLOCA時に流路として期待するため, ブローアウトパネルを追加。
7	47条	共1-12	上から9行及び10行目, 左から3～7列目 ※水源としては海も使用可能	※水源としては海水も使用可能	⑤
8	47条	共1-13	上から11～15行目 原子炉補機冷却水ポンプ 原子炉補機海水ポンプ 原子炉補機冷却水系熱交換器 及び順番を変更	原子炉補機冷却系中間ループ循環ポンプ 原子炉補機冷却系海水ポンプ 原子炉補機冷却系熱交換器	⑤
9	47条	共1-14	上から1行目 その他の設備に記載	48条に記載	⑤
10	48条	共1-15	「※2 54条(燃料プール冷却浄化系)と兼用」を追加	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
11	48条	共1-16	上から9行目 原子炉格納容器(サブプレッションチェンバ, 真空破壊弁を含む)[排出元]	上から9行及び10行目 原子炉格納容器[流路] 真空破壊弁	⑤ ①サブプレッション・チェンバは, 炉心損傷前もW/Wライン耐圧強化ベントで経路するため, 原子炉格納容器の一部として明記した。
12	48条	共1-17	上から8行 可搬型窒素供給装置の引用先を52条に修正	—	⑤
13	48条	共1-17	削除	上から13行～15行目 可搬型代替注水ポンプ(A-2級) 防火水槽[水源] 淡水貯水池[水源]	②事故後7日間でスクラバ水の補給は不要という結果が出たため。
14	48条	共1-17	上から16行目 原子炉格納容器(サブプレッション・チェンバ, 真空破壊弁を含む)[排出元]	上から19行及び20行目 原子炉格納容器[流路] 真空破壊弁[流路]	⑤ ①No.11と同じ
15	49条	共1-19	上から4行及び5行目 残留熱除去系配管・弁[流路] 格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	上から4行目 残留熱除去系配管・弁・スプレイヘッド[流路]	⑤
16	49条	共1-19	上から12行及び13行目 残留熱除去系配管・弁[流路] 格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	上から11行目 残留熱除去系配管・弁・スプレイヘッド[流路]	⑤
17	49条	共1-20	上から4行及び5行目 残留熱除去系配管・弁[流路] 格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	上から4行目 残留熱除去系配管・弁・スプレイヘッド[流路]	⑤
18	50条	共1-22	ラブチャーディスクの設備分類 常設耐震重要重大事故防止設備 常設重大事故緩和設備	ラブチャーディスクの設備分類 常設重大事故緩和設備	①炉心損傷前であっても開放することで流路を形成するため, 「防止」を追加
19	50条	共1-22	上から8行目 「可搬型窒素供給装置」を52条で整理するよう修正	—	⑤
20	50条	共1-22	削除	上から13行～15行目 可搬型代替注水ポンプ(A-2級) 防火水槽[水源] 淡水貯水池[水源]	②事故後7日間でスクラバ水の補給は不要という結果が出たため。

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	50条	共1-23	上から4行目 原子炉格納容器(サブプレッションチェンバ, 真空破壊弁を含む)[排出元]	上から2行及び3行目 原子炉格納容器[流路] 真空破壊弁[流路]	⑤ ①No.11と同じ
22	50条	共1-24	削除	上から11行目 代替循環冷却系配管・弁[流路]	⑤
23	50条	共1-24	上から11行及び次ページ1行目 残留熱除去系配管・弁[流路] 格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	上から12行目 残留熱除去系配管・弁・スプレイヘッド[流路]	⑤
24	50条	共1-24	削除	下から1行目 格納容器下部注水系配管・弁[流路]	⑤
25	50条	共1-25	削除	表の下段 ※2圧力容器内部構造物を除く	⑤
26	52条	共1-27	上から2行から4行目, 左から3列から7列目 50条に記載(うち, 重大事故緩和設備) (なお, 重大事故緩和設備であるが, 代替する機能を有する設計基準対象施設として, 可燃性ガス濃度制御系がある(耐震重要度分類はS))	上から2行から4行目, 左から3列から7列目 50条に記載(うち, 重大事故緩和設備)	⑤
27	52条	共1-27	削除	下から1行～次ページ上から2行目 可搬型代替注水ポンプ(A-2級) 防火水槽[水源] 淡水貯水池[水源]	②事故後7日間でスクラバ水の補給は不要という結果が出たため。
28	52条	共1-28	上から6行目 原子炉格納容器(サブプレッション・チェンバ, 真空破壊弁を含む)[排出元]	上から6行及び7行目 原子炉格納容器[流路] 真空破壊弁[流路]	⑤ ①No.11と同じ
29	52条	共1-29	上から1行目 可搬型窒素供給装置に設備種別, 設備分類を記載	—	⑤
30	52条	共1-29	上から2行目 サブプレッション・チェンバを追加	—	⑤
31	52条	共1-29	上から5行から12行目, 左から3列から7列目 50条に記載(うち, 重大事故緩和設備) (なお, 重大事故緩和設備であるが, 代替する機能を有する設計基準対象施設として, 可燃性ガス濃度制御系がある(耐震重要度分類はS))	上から4行から13行目, 左から3列から7列目 50条に記載(うち, 重大事故緩和設備)	⑤
32	52条	共1-29	下から1行目 原子炉格納容器(真空破壊弁を含む)[排出元]	上から11行及び12行目 原子炉格納容器[流路] 真空破壊弁[流路]	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
33	54条	共1-35	上から4行目, 左から3列目 「※水源は海を使用」を追加	—	⑤
34	54条	共1-35	使用済燃料プール[注水先]	使用済燃料プール[水源][注水先]	⑤
35	54条	共1-35	「※2 48条(代替原子炉補機冷却系と兼用)」を追加	—	⑤
36	57条	共1-38	上から1行目, 左から3列目 非常用交流電源設備	上から1行目, 左から3列目 非常用ディーゼル発電機	⑤
37	57条	共1-38	上から9行目 [電路]	上から9行目 [交流電路]	⑤
38	57条	共1-39	上から1行目, 左から3列目 非常用交流電源設備	上から1行目, 左から3列目 非常用ディーゼル発電機	⑤
39	57条	共1-39	下から2行目, 左から3列目 非常用交流電源設備	下から2行目, 左から3列目 非常用ディーゼル発電機	⑤
40	57条	共1-40	上から6行目, 左から3列目 非常用直流電源設備(B系, C系及びD系)	上から6行目, 左から3列目 直流125V蓄電池B, 直流125V蓄電池C, 直流125V蓄電池D	⑤
41	57条	共1-41	上から1行目, 左から3列目 非常用直流電源設備	上から1行目, 左から3列目 直流125V蓄電池B, 直流125V蓄電池C, 直流125V蓄電池D	⑤
42	57条	共1-41	上から4行目, 左から3列目 非常用直流電源設備	上から4行目, 左から3列目 直流125V蓄電池A, 直流125V蓄電池A-2	⑤
43	57条	共1-41	上から11行目 緊急用電源切替箱接続装置～直流母線電路	上から11行及び12行目 緊急用電源切替箱接続装置電路～AM用直流125V充電器電路 AM用125V充電器～直流母線電路	⑤
44	57条	共1-41	下から1行目 AM用動力変圧器～直流母線電路	上から14行及び15行目 AM用動力変圧器電路～AM用直流125V充電器電路 AM用直流125V充電器～直流母線電路	⑤
45	57条	共1-42	上から1行目, 左から3行目 非常用所内電気設備	上から1行目, 左から3行目 非常用MCC(C,D,E)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
46	57条	共1-44	削除	上から3行目 タンクローリ(16kL)	②GTG用のタンクローリについては, 常設代替交流電源設備に記載。元々は免震重要棟内緊急時対策所用GTG用として記載していたが, 免震重要棟内緊急時対策所の位置づけ変更により, 削除した。
47	58条	共1-45 ~共1-53	代替監視パラメータを全て記載	代替監視パラメータは代表パラメータを記載	⑤
48	58条	共1-49	復水補給水系温度(代替循環冷却)の設備分類 常設重大事故緩和設備	常設耐震重要重大事故防止設備 常設重大事故緩和設備	⑤
49	58条	共1-53	下から2行 安全パラメータ表示システム(SPDS)	必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))	⑤
50	58条	共1-54 ~共1-	判断に用いる計器のうち, 主要パラメータ以外のものを追加	記載なし	①審査会合の結果を反映
51	59条	共1-57	上から4行~8行目に以下を追加 非常用ガス処理系排風機 非常用ガス処理系フィルタ装置[流路] 非常用ガス処理系乾燥装置[流路] 非常用ガス処理系配管・弁[流路] 主排気筒(内筒)[流路]	記載なし	②運転員の被ばく低減のため, SGTSを重大事故等対処設備として整備するため。
52	59条	共1-57	下から1行目 原子炉建屋原子炉区域を追加	記載なし	②SGTS起動時にバウンダリを確保するための設備として追加。
53	60条	共1-58	「データ処理装置[伝送路]」を追加	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
54	61条	共1-59	5号炉屋外緊急連絡用インターフォンの追加	記載なし	②緊急時対応要員の確実な移動の確保のため, 連絡手段を追加。
55	61条	共1-60	削除	共1-54ページの下から4行目 可搬型モニタリングポスト	⑤
56	61条	共1-62	上から1行目 安全パラメータ表示システム(SPDS)	共1-55ページの上から1行目 必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))	⑤
57	61条	共1-62	通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所) 伝送路を追加するとともに, 62条に整理。	記載なし	⑤
58	61条	共1-62	削除	通信連絡の欄 データ伝送装置	⑤
59	その他の設備	共1-66	上から1行目, 左から1列目 重大事故等時に対処するための流路, 注水先, 注入先, 排出元等	上から1行目, 左から1列目 重大事故等時に対処するための流路又は注水先	⑤
60	その他の設備	共1-66	上から4行目 原子炉建屋原子炉区域を追加	—	②SGTS起動時にバウンダリを確保するための設備として追加。
61	その他の設備	共1-66	スクリーン室, 取水路, 補機冷却用海水取水路, 補機冷却用海水取水槽の耐震重要度分類 C(Ss)	スクリーン室, 取水路, 補機冷却用海水取水路, 補機冷却用海水取水槽の耐震重要度分類 C	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
章/項番号: 共 - 2

【変更理由の類型化】
指摘事項対応による変更・修正 計画捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	43-1-1	共2-1	重大事故等時の環境条件については、重大事故等時における温度(環境温度、使用温度)、放射線、荷重に加えて、その他の使用条件として、環境圧力、湿度による影響、重大事故等時に海水を通水する系統への影響、自然現象による影響、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの影響及び周辺機器等からの悪影響を考慮する。荷重としては、重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境圧力、温度及び自然現象(地震、風(台風)、積雪の影響)による荷重を考慮する。 自然現象による荷重の組合せについては、地震、風(台風)及び積雪の影響を考慮する。	重大事故等発生時の環境条件については、重大事故等時における温度(環境温度、使用温度)、放射線、荷重に加えて、その他の使用条件として、環境圧力、湿度による影響、屋外の天候による影響、重大事故等時に海水を通水する系統への影響、電磁波による影響及び周辺機器等からの悪影響を考慮する。荷重としては、重大事故等が発生した場合における機械的荷重に加えて、環境圧力、温度及び自然現象による荷重を考慮する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
2	43-1-1	共2-1	自然現象の選定に当たっては、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。	自然現象の選定に当たっては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき事象を収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。	
3	43-1-1	共2-1	これらの事象のうち、重大事故等時における発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、風(台風)、低温(凍結)、降水及び積雪を選定する。これらの事象のうち、低温(凍結)及び降水については、屋外の天候による影響として考慮する。	これらの事象のうち、重大事故等時における発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等時に重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、風(台風)、積雪を考慮する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
4	43-1-1	共2-1	原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、想定される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。操作は、中央制御室から可能な設計とする。	原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、重大事故等時の原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。操作は中央制御室から可能な設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。	
5	43-1-1	共2-1	原子炉建屋原子炉区域内の重大事故等対処設備は、想定される重大事故等時における環境条件を考慮する。また、地震における荷重を考慮して、機能を損なわない設計するとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。操作は、中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所で可能な設計とする。	原子炉建屋二次格納施設内及びその他の建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。また、地震による荷重を考慮して、機能を損なわない設計するとともに、可搬型重大事故等対処設備は、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。操作は、中央制御室、異なる区画(フロア)若しくは離れた場所又は設置場所で可能な設計とする。	類型化区分に合わせて記載を分割

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
6	43-1-1	共2-1	原子炉建屋内の原子炉区域外及びその他の建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。	原子炉建屋二次格納施設内及びその他の建屋内の重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所の環境条件を考慮した設計とする。	
7	43-1-1	共2-1	操作は、中央制御室、離れた場所又は設置場所で可能な設計とする。また、地震、風(台風)及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。	操作は、離れた場所又は設置箇所から可能な設計とする。また、地震、風(台風)、積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の転倒防止、固縛の措置をとる。	GTGの遠隔起動に伴う修正
8	43-1-1	共2-2	発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものの選定に当たっては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等)、ダム崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として選定する電磁的障害 に対しては、重大事故等対処設備は、重大事故等時においても電磁波により機能を損なわない設計とする。	電磁波による影響に対しては、重大事故等対処設備は、重大事故等が発生した場合においても電磁波により、その機能が損なわない設計とする。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
9	43-1-1	共2-2	重大事故等対処設備は、事故対応のために配置・配備している自主対策設備を含む周辺機器等からの悪影響により機能を損なわない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災、溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備は、想定される溢水により機能を損なわないように、重大事故等対処設備の設置区画の止水対策等を実施する。	重大事故等対処設備は、事故対応のために配置・配備している自主対策設備を含む周辺機器等からの悪影響により機能を損なうことのない設計とする。周辺機器等からの悪影響としては、地震、火災、溢水による波及的影響を考慮する。溢水に対しては、重大事故等対処設備は、想定される溢水によりその機能を喪失しないように、重大事故等対処設備の設置区画(フロア)の止水対策等を実施する。	
10	43-1-1	共2-3	・ ~ の項目については、A:原子炉格納容器内、B:原子炉建屋原子炉区域内、C:その他の建屋内(原子炉建屋内の原子炉区域外含む)、D:屋外に分類するとともに、それぞれの場所の重大事故等時における環境条件を考慮したものとする。	・ ~ の項目については、A:原子炉格納容器内、B:二次格納施設内、C:原子炉建屋の二次格納施設外及びその他の建屋内、D:屋外に分類するとともに、原子炉格納容器内及び原子炉建屋二次格納施設外については、重大事故等時における環境条件を考慮したものとする。	類型化区分に合わせて記載を分割
11	43-1-1	共2-3	・ 海水を通水する系統については、 : 常時海水を通水又は海で使用する系統、 : 使用時海水を通水又は淡水だけでなく海水も使用できる系統で分類する。 < 図へも上記の修正を反映 >	・ 海水を通水する系統については、 : 通常時に海水を通水する系統、 : 淡水又は海水から選択できる系統で分類する。	
12	43-1-1	共2-4	・ 類型化区分と考慮事項の対応 [表] 上記海水通水に係る文言の修正の反映、二次格納施設 原子炉建屋原子炉区域内		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画抄、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
13	43-1-1	共2-5	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備分類</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 原子炉格納容器内設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 </td> <td rowspan="4"> 配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書) </td> </tr> <tr> <td>B 原子炉建屋原子炉区域内設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋原子炉区域内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉建屋原子炉区域内の環境条件を考慮した設計とする。 使用済燃料プール冷却機能喪失時の原子炉建屋原子炉区域内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 </td> </tr> <tr> <td>C その他の建屋内設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所(原子炉建屋内の原子炉区域外、タービン建屋内、廃棄物処理建屋内、コントロール建屋内、中央制御室内及び緊急時対策所内)の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 </td> </tr> <tr> <td>D 屋外設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震、風(台風)及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 降水及び低温(凍結)により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行うことが可能な設計とする。 </td> </tr> </tbody> </table>	設備分類	設計方針	関連資料	A 原子炉格納容器内設備	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 	配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)	B 原子炉建屋原子炉区域内設備	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋原子炉区域内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉建屋原子炉区域内の環境条件を考慮した設計とする。 使用済燃料プール冷却機能喪失時の原子炉建屋原子炉区域内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 	C その他の建屋内設備	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所(原子炉建屋内の原子炉区域外、タービン建屋内、廃棄物処理建屋内、コントロール建屋内、中央制御室内及び緊急時対策所内)の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 	D 屋外設備	<ul style="list-style-type: none"> 屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震、風(台風)及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 降水及び低温(凍結)により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行うことが可能な設計とする。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>設備分類</th> <th>設計方針</th> <th>関連資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 格納容器内設備</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時の原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 </td> <td rowspan="4"> 配置図 接続図 保管場所図 健全性説明書 強度計算書 耐震計算書 </td> </tr> <tr> <td>B 二次格納施設内</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 二次格納施設内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における二次格納施設内の環境条件を考慮した設計とする。 使用済燃料プール冷却機能喪失時の二次格納施設内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 </td> </tr> <tr> <td>C 原子炉建屋の二次格納施設外及びその他の建屋内</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所(原子炉建屋の二次格納施設外、タービン建屋内、廃棄物処理建屋内、フィルタベント地下ピット、中央制御室内及び緊急時対策所内)の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 </td> </tr> <tr> <td>D 屋外</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震、風(台風)、積雪、の影響による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の転倒防止、固縛の措置をとる。 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 </td> </tr> </tbody> </table>	設備分類	設計方針	関連資料	A 格納容器内設備	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時の原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 	配置図 接続図 保管場所図 健全性説明書 強度計算書 耐震計算書	B 二次格納施設内	<ul style="list-style-type: none"> 二次格納施設内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における二次格納施設内の環境条件を考慮した設計とする。 使用済燃料プール冷却機能喪失時の二次格納施設内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 	C 原子炉建屋の二次格納施設外及びその他の建屋内	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所(原子炉建屋の二次格納施設外、タービン建屋内、廃棄物処理建屋内、フィルタベント地下ピット、中央制御室内及び緊急時対策所内)の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 	D 屋外	<ul style="list-style-type: none"> 屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震、風(台風)、積雪、の影響による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の転倒防止、固縛の措置をとる。 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 	<p>可搬型SA設備の固縛との考慮事項を明記</p>
設備分類	設計方針	関連資料																											
A 原子炉格納容器内設備	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 	配置図 接続図 保管場所図 (健全性説明書) (強度計算書) (耐震計算書)																											
B 原子炉建屋原子炉区域内設備	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉建屋原子炉区域内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における原子炉建屋原子炉区域内の環境条件を考慮した設計とする。 使用済燃料プール冷却機能喪失時の原子炉建屋原子炉区域内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 																												
C その他の建屋内設備	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所(原子炉建屋内の原子炉区域外、タービン建屋内、廃棄物処理建屋内、コントロール建屋内、中央制御室内及び緊急時対策所内)の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 																												
D 屋外設備	<ul style="list-style-type: none"> 屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震、風(台風)及び積雪の影響による荷重を考慮し、機能を損なわない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 降水及び低温(凍結)により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行うことが可能な設計とする。 																												
設備分類	設計方針	関連資料																											
A 格納容器内設備	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉格納容器内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時の原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 	配置図 接続図 保管場所図 健全性説明書 強度計算書 耐震計算書																											
B 二次格納施設内	<ul style="list-style-type: none"> 二次格納施設内の重大事故等対処設備は、その機能を期待される重大事故等時における二次格納施設内の環境条件を考慮した設計とする。 使用済燃料プール冷却機能喪失時の二次格納施設内において、使用済燃料プール水の温度上昇及び蒸発の影響を考慮する。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とする。 																												
C 原子炉建屋の二次格納施設外及びその他の建屋内	<ul style="list-style-type: none"> 重大事故等対処設備は、重大事故等時におけるそれぞれの場所(原子炉建屋の二次格納施設外、タービン建屋内、廃棄物処理建屋内、フィルタベント地下ピット、中央制御室内及び緊急時対策所内)の環境条件を考慮した設計とする。 中央制御室、異なる区画若しくは離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、固縛の措置をとる。 																												
D 屋外	<ul style="list-style-type: none"> 屋外の重大事故等対処設備は、重大事故等時における屋外の環境条件を考慮した設計とする。 離れた場所又は設置場所から操作可能な設計とする。 地震、風(台風)、積雪、の影響による荷重を考慮し、機能を損なうことのない設計とするとともに、可搬型重大事故等対処設備については、必要により当該設備の転倒防止、固縛の措置をとる。 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 																												
14	43-1-1	共2-6	(2) 海水を通水する系統への影響【表】																										
15	43-1-1	共2-6	(3) 荷重【表】																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
16	43-1-1	共2-7	(4) 電磁波による影響 / 周辺機器等からの悪影響【表】		
17	43-1-1	共2-8	重大事故等時における環境温度、環境圧力、湿度、放射線の最大値【表】		
18	43-1-2	共2-9	重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等時の環境条件を考慮し、操作が可能な設計とする(「 重大事故等時の環境条件における健全性について 」)。操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。また、防護具、可搬型照明等は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備する。	重大事故等対処設備は、想定される重大事故等が発生した場合においても操作を確実なものとするため、重大事故等時の環境条件を考慮し、操作が可能な設計とする。(「2.3.1.1 環境条件等」)操作する全ての設備に対し、十分な操作空間を確保するとともに、確実な操作ができるよう、必要に応じて操作足場を設置する。また、防護具、可搬照明等は重大事故等時に迅速に使用できる場所に配備する。	
19	43-1-2	共2-10	b. 類型化【表】について、a.考慮事項との整合を図った。		
20	43-1-2	共2-11	2. 設計方針について【表】について、引用タイトルの修正、関連資料の追加、誤記訂正を行った。		
21	43-1-3	共2-13	重大事故等対処設備は、健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に必要な箇所の保守点検、試験又は検査を実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。	重大事故等対処設備は、健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に必要な箇所の保守点検、試験又は検査(「発電用原子力設備における破壊を引き起こすき裂その他の欠陥の解釈について」に準じた検査を含む。)を実施できるよう、機能・性能の確認、漏えいの有無の確認、分解点検等ができる構造とする。	
22	43-1-3	共2-15	(1) 各設備区分における試験又は検査項目の抽出について【表】 ・熱交換器に対する溶接事業者検査の記載を修正 ・流路に対する運転時保全プログラムの項目を修正 ・その他、試験・検査項目の充実及び記載の適正化		代替循環冷却系、RHR系(DB拡張)のRHRHxに関する記載の追記 SGTSのSA設備化に伴う修正 記載の適正化
23	43-1-3	共2-16	(2) 設備区分ごとの設計方針の整理【表】		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	43-1-3	共2-16	<ul style="list-style-type: none"> 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 内部確認が可能なよう、マンホール等を設ける、又は外観の確認が可能な設計とする。 原子炉格納容器は、全体漏えい率試験が可能な設計とする。 ポンペは規定圧力の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 ほう酸水注入系貯蔵タンクは、ほう酸濃度及びタンク水位を確認できる設計とする。 よう素フィルタは銀ゼオライトの性能試験が可能な設計とする。 地下軽油タンクは油量を確認できる設計とする。 タンクローリーは車両としての運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 ポンペを除き、内部確認が可能なよう、マンホール等を設ける。 ポンペは規定圧力の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 ほう酸水注入系貯蔵タンクは、ほう酸濃度及びタンク水位を確認できる設計とする。 よう素フィルタは銀ゼオライトの性能試験が可能な設計とする。 地下軽油タンクは油量を確認できる設計とする。 タンクローリーは車両としての運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。 	SLC系貯蔵タンク、原子炉格納容器に関する記載の追記
25	43-1-3	共2-16	<ul style="list-style-type: none"> 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 熱交換器を流路とするものは、熱交換器の設計方針に従う。 フィルタを設置するものは、差圧確認が可能な設計とする。また内部確認が可能なように、点検口を設ける設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とするとともに、これらは他の系統へ悪影響を及ぼさず試験可能な設計とする。 熱交換器を流路とするものは、熱交換器の設計方針に従う。 	SGTSのSA設備化に伴う追記
26	43-2-1	共2-22	<p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段と合わせて、系統の目的に応じて必要となる容量等を有する設計とする。</p> <p>なお、「容量等」とは、ポンプ流量、タンク容量、伝熱容量、弁吹出量、発電機容量、蓄電池容量、計装設備の計測範囲、作動信号の設定値等とする。</p>	<p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、重大事故時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、その後の事故対応手段と合わせて、系統の目的に応じて必要となる容量等を有する設計とする。</p> <p>なお、「容量等」とは、ポンプ流量、タンク容量、伝熱容量、弁吹出量、発電機容量及び蓄電池容量並びに計装設備の計測範囲及び作動信号の設定値とする。</p>	
27	43-2-1	共2-22	<ul style="list-style-type: none"> その他、設備ごとの考慮事項があれば、必要により個別設備の設計方針に加える。 	<ul style="list-style-type: none"> その他、設備毎の考慮事項があれば、必要により個別設備の設計方針に加える。 	リスト化しない
28	43-2-1	共2-22	<p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、設計基準対象施設の容量等の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量等に対して十分であるものについては、「B」、重大事故等時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、「C」に分類する。</p>	<p>常設重大事故等対処設備のうち設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもので、設計基準対象施設の容量等の仕様が、系統の目的に応じて必要となる容量等に対して十分であるものについては、「B」、重大事故時に設計基準対象施設の容量等を補う必要があるものについては、「C」に分類する。</p>	リスト化しない
29	43-2-1	共2-23	2. 設計方針について【表】について、関連資料列を追加		リスト化しない

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
30	43-2-2	共2-24	常設重大事故等対処設備の各機器については、2以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。ただし、共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ、2以上の発電用原子炉施設と共用することにより安全性が向上し、かつ、同一の発電所内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、共用できる設計とする。	常設重大事故等対処設備の各機器については、2以上の原子炉施設において共用しない設計とする。ただし、共用対象の施設毎に要求される技術的要件(安全機能)を満たしつつ、2以上の原子炉施設と共用することにより安全性が向上し、かつ、同一の発電所内の他の原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、共用できる設計とする。	
31	43-2-2	共2-24	共用する設備は、防火水槽に移送するための海水取水箇所(海水貯留堰、スクリーン室、取水路)、第一ガスタービン発電機、第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ、緊急用断路器、第一ガスタービン発電機用燃料タンク、軽油タンク、号炉間電力融通ケーブル(常設)、中央制御室遮蔽、中央制御室待避室遮蔽、モニタリング・ポスト用発電機、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)遮蔽、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)二酸化炭素吸収装置、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)遮蔽、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)室内遮蔽、負荷変圧器、交流分電盤、5号炉屋外緊急連絡用インターフォン、無線連絡設備(常設)、衛星電話設備(常設)、統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備、データ伝送設備、安全パラメータ表示システム(SPDS)である。	共用する設備は、防火水槽に移送するための海水取水箇所(海水貯留堰、スクリーン室、取水路)、ガスタービン発電機、ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ、緊急用高圧母線、緊急用断路器、ガスタービン発電機用燃料タンク、軽油タンク、号炉間電力融通ケーブル、中央制御室遮蔽、中央制御室待避室遮蔽、中央制御室待避室空気ポンペ陽圧化装置、モニタリング・ポスト用発電機、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所関連設備(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所遮蔽、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所二酸化炭素吸収装置、負荷変圧器、交流分電盤)、免震重要棟内緊急時対策所関連設備(免震重要棟内緊急時対策所遮蔽、免震重要棟内緊急時対策所(待避室)遮蔽、地震観測装置、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用地下貯油タンク、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機用受電盤、免震重要棟内緊急時対策所用ガスタービン発電機 - 電源車切替断路器)、通信連絡設備である。	共用するSA設備の変更に伴う修正
32	43-2-2	共2-24	個別の設備に対する共用可能理由を削除		各設備においてそれぞれ記載するため、本項目から削除
33	43-2-2	共2-25	共用対象の施設ごとに要求される技術的要件(重大事故等に対処するために必要な機能)を満たしつつ、2以上の発電用原子炉施設と共用することによって、安全性が向上するよう配慮した上で、共用により同一の発電所内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない設計とする。	共用対象の施設毎に要求される技術的要件(安全機能)を満たしつつ、2以上の発電用原子炉施設と共用することによって、安全性が向上するよう配慮した上で、共用によりそれぞれの号炉の機能が喪失するような悪影響を及ぼさない設計とする。	
34	43-2-3	共2-26	共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水、火災及びサポート系の故障を考慮する。	共通要因としては、環境条件、自然現象、発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの(以下「外部人為事象」という。)、溢水、火災及びサポート系の故障を考慮する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
35	43-2-3	共2-26	発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、 地震、津波に加え 、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、 重大事故等 対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、 地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定 する。また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、 地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定 する。なお、 森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定 する。	発電所敷地で想定される自然現象(地震及び津波を除く。)については、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき事象を収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、 重大事故等 対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、 風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象を考慮 する。また、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、 地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定 する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
36	43-2-3	共2-26	発電所敷地又はその周辺において想定される 発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの については、網羅的に抽出するために、	発電所敷地又はその周辺において想定される外部人為事象については、網羅的に抽出するために、	6条における事象選定との記載の統一
37	43-2-3	共2-26	重大事故 緩和 設備についても、可能な限り多様性を考慮する。	重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性を考慮する。	
38	43-2-3	共2-26	環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、常設重大事故防止設備がその機能を確実に発揮できる設計とする。重大事故等時の環境条件における健全性については「 重大事故等時の環境条件における健全性について 」に記載する。	環境条件に対しては、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重及びその他の使用条件において、常設重大事故防止設備がその機能を確実に発揮できる設計とする。重大事故等時の環境条件における健全性については「2.3.3 環境条件等」に記載する。風(台風)、低温(凍結)、降水、積雪及び電磁的障害に対して常設重大事故防止設備は、環境条件にて考慮し、機能が損なわれない設計とする。	
39	43-2-3	共2-26	常設重大事故防止設備は、「 原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性について 」に示す地盤上に設置するとともに、地震、津波及び火災に対して、「 重大事故等対処設備について 」2.1.2 耐震設計の基本方針、「 重大事故等対処設備について 」2.1.3 津波による損傷の防止」及び「 重大事故等対処設備について 」2.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。	常設重大事故防止設備は、「2.1.1 発電用原子炉施設の位置」に基づく地盤上に設置するとともに、地震、津波及び火災に対しては、「2.1.2 耐震設計の基本方針」、「2.1.3 耐津波設計の基本方針」及び「2.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。	
40	43-2-3	共2-27	風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時に機能が 損なわれない ように、 設計基準事故対処設備等 と位置的分散を図り、屋外に設置する。	風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、常設重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に設置するか、又は設計基準事故対処設備等と同時に機能を損なうおそれがないように、位置的分散を図り、屋外に設置する。	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
41	43-2-3	共2-27	生物学的事象のうちネズミ等齧歯類の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により 重大事故等に対処するために必要な機能 が損なわれるおそれのない設計とする。	生物学的事象のうちネズミ等の小動物に対して屋外の常設重大事故防止設備は、侵入防止対策により安全機能が損なわれるおそれのない設計とする。	6条における事象選定との記載の統一
42	43-2-3	共2-28	設計基準対象設備の機能喪失を想定して設置する重大事故等対処設備だけでなく、重大事故等時に設計基準 事故対処設備 としての機能を期待する設備についても重大事故等対処設備(設計基準拡張)と位置づけている。これら設備については、共通要因故障を考慮すべき代替の対象となる設計基準対象施設がない。	設計基準対象設備の機能喪失を想定して設置する重大事故等対処設備だけでなく、重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する設備についても重大事故等対処設備(設計基準拡張)と位置づけている。これら設備については、共通要因故障を考慮すべき代替の対象となる設計基準対象施設がない。	
43	43-2-3	共2-29	環境条件, 自然現象, 外部 人為 事象, 溢水, 火災	環境条件, 地震, 津波, その他自然現象, 外部事象	
44	43-2-3	共2-29	設計方針の環境条件ほかに対する表について, ・設計基準事故対処施設 設計基準事故対処施設等 ・事象として有毒ガスを追加		考慮事項に有毒ガスを追加
45	43-2-3	共2-30	電源の多様性[常設代替交流電源設備, 常設代替直流電源設備(非常用ディーゼル発電機)]	電源の多重性[常設代替交流電源設備, 常設代替直流電源設備(非常用ディーゼル発電機)]	
46	43-2-3	共2-30	位置的分散[第一ガスタービン発電機用燃料タンク (軽油タンク)]	位置的分散[地下軽油タンク(軽油タンク)]	
47	43-2-3	共2-31	各区分における設計方針のまとめ表について, 43-2-3における説明と整合を図った。		
48	43-3-1	共2-32	なお, 「容量等」とは, ポンプ流量, タンク容量, 伝熱容量 , 発電機容量, 蓄電池容量, ボンベ容量, 計測器の計測範囲 等 とする。	なお, 「容量等」とは, 必要となる機器のポンプ流量, タンク容量, 発電機容量, 蓄電池容量及びボンベ容量並びに計測器の計測範囲とする。	
49	43-3-1	共2-32	故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップとして, 発電所全体で 予備 を確保する。	故障時のバックアップ及び保守点検による待機除外時のバックアップを発電所全体で確保する。	
50	43-3-1	共2-34	(2) 数量の表について, Aの対象設備として大容量送水車(海水取水用)を追加		2N+ 設備の追加に伴う修正
51	43-3-1	共2-34	1 :高圧窒素ガスポンベについては, 原子炉建屋内に配置することから, バックアップについても建屋毎に設置することが適切であるため, 1負荷当たり1セット(5本)に加え, 予備を1基あたり5本以上確保する	1:代替原子炉補機冷却系については, 同様の機能を有する格納容器圧力逃がし装置との間で多様性を備えていることから, 1基当たり2セット確保する。 2:高圧窒素ガスポンベについては, 原子炉建屋内に配置することから, バックアップについても建屋毎に設置することが適切であるため, 1負荷当たり1セット(5本)に加え, 予備を1基あたり5本以上確保する。	代替熱交換器ユニット等の保有数変更に伴う修正
52	43-3-2	共2-35	(2) 類型化の考え方の図について, 接続規格 接続方式		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	43-3-2	共2-36	各区分における設計方針のまとめ表について、関連資料の追加、備考欄に記載の設備名の修正及び表現の見直し。		
54	43-3-3	共2-37	原子炉建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備と常設設備との接続口は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、それぞれ互いに異なる複数の場所に設置する設計とする。共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水及び火災を考慮する。	原子炉建屋、タービン建屋及び廃棄物処理建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備と常設設備との接続口は、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、建屋の異なる面の隣接しない位置又は屋内に適切な離隔距離をもって複数箇所設置する。自然現象については、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を考慮する。また、自然現象の組合せについては、地震、積雪及び火山の影響を考慮する。	前段に基準要求の対する設計方針を記載。自然現象等については、選定について後述するため、まとめて記載
55	43-3-3	共2-37	発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定する。なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定する。	自然現象については、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を考慮する。また、自然現象の組合せについては、地震、積雪及び火山の影響を考慮する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
56	43-3-3	共2-37	発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等)、ダムの崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。	外部人為事象については、飛来物(航空機落下等)、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他テロリズムを考慮する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
57	43-3-3	共2-37	建屋の異なる面の隣接しない位置又は屋内及び建屋面の適切な離隔距離をもった位置に複数箇所設置する。重大事故等時の環境条件における健全性については「重大事故等時の環境条件における健全性について」に記載する。	屋内又は異なる建屋面の隣接しない位置に複数箇所設置する。重大事故等時の環境条件における健全性については「2.3.3 環境条件等」に記載する。	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
58	43-3-3	共2-37	地震に対して接続口は、「原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性について」に示す地盤上の屋内又は建屋面に設置する。 地震、津波及び火災に対しては、「重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針」「重大事故等対処設備について 2.1.3 津波による損傷の防止」及び「重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。	地震に対して接続口は、「2.1.1 発電用原子炉施設の位置」に基づく地盤上の屋内又は建屋面に複数箇所設置する。 地震、津波及び火災に対しては、「2.1.2 耐震設計の基本方針」「2.1.3 耐津波設計の基本方針」及び「2.2 火災による損傷の防止」に基づく設計とする。 溢水に対しては、想定される溢水水位に対して機能を喪失しない位置に設置する。	引用資料名を最新の名称に修正
59	43-3-3	共2-37	建屋の異なる面の隣接しない位置又は屋内及び建屋面の適切な離隔距離をもった位置に複数箇所設置する。	屋内及び建屋面又は建屋面の隣接しない位置に複数箇所設置する。	記載の適正化
60	43-3-3	共2-37	生物学的事象のうちネズミ等齧歯類の小動物に対して、屋外に設置する場合は、開口部の閉止により重大事故等に対処するために必要な機能が損なわれるおそれのない設計とする。 また、一つの接続口で複数の機能を兼用して使用する場合には、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。	生物学的事象のうちネズミ等の小動物に対して屋外に設置する場合は、開口部の閉止により安全機能が損なわれるおそれのない設計とする。 また、電源車の接続については、一つの接続口で可搬型代替交流電源設備と可搬型代替直流電源設備の二つの機能を兼用して使用することから、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける	接続口の兼用について、一般的な記載に修正
61	43-3-3	共2-37	また、一つの接続口で複数の機能を兼用して使用する場合には、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける設計とする。	また、電源車の接続については、一つの接続口で可搬型代替交流電源設備と可搬型代替直流電源設備の二つの機能を兼用して使用することから、それぞれの機能に必要な容量が確保できる接続口を設ける	接続口の兼用について、一般的な記載に修正
62	43-3-3	共2-39以降	考慮事項に対する設計方針の表について、 ・低温、降水、積雪、火山、電磁的障害に対して、機能を確保する設計方針に変更		有毒ガスを追加
63	43-3-3	共2-41	各区分における設計方針のまとめ表について、43-3-3における説明と整合を図った。		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
64	43-3-5	共2-43	<p>可搬型重大事故等対処設備は、地震、津波、その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム、設計基準事故対処設備等及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管する設計とする。</p> <p>発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、可搬型重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、可搬型重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定する。なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定する。</p> <p>発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等)、ダムの崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、可搬型重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、可搬型重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。</p>	<p>可搬型重大事故等対処設備は、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、飛来物(航空機落下等)、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機衝突その他のテロリズム、設計基準事故対処設備等及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管する。</p>	<p>6条における事象選定との記載の統一に伴う修正</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
65	43-3-5	共2-43	<p>重大事故等時の環境条件における健全性については「重大事故等時の環境条件における健全性について」に記載する。</p> <p>地震に対して屋内の可搬型重大事故等対処設備は、「原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性について」に示す地盤上に設置する建屋内に保管する。屋外の可搬型重大事故等対処設備は、転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の処置をするとともに、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化又は揺すり込みによる不等沈下、傾斜及び浮き上がり、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等の影響により必要な機能を喪失しない位置に保管する設計とする。</p> <p>地震及び津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、「重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針」、「重大事故等対処設備について 2.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮された設計とする。</p> <p>火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、「重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止」に基づく火災防護を行う。</p>	<p>重大事故等時の環境条件における健全性については「2.3.3 環境条件等」に記載する。風(台風)、低温(凍結)、降水、積雪及び電磁的障害に対して可搬型重大事故等対処設備は、環境条件にて考慮し、機能が損なわれない設計とする。</p> <p>地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋等の頑健な屋内に保管する、又は屋外に保管する場合は、共通要因によりすべての設備が同時に機能を喪失しないよう転倒しないことを確認する又は必要により固縛等の処置をするとともに、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺すり込みによる不等沈下、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等の影響により必要な機能を喪失しないよう複数の位置に分散して保管する。</p> <p>地震及び津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、「2.1.2 耐震設計の基本方針」、「2.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮された設計とする。</p> <p>火災に対して、可搬型重大事故等対処設備は「2.2 火災による損傷の防止」に基づく火災防護を行う。</p>	<p>引用資料名を最新の名称に修正</p> <p>記載の適正化</p>
66	43-3-5	共2-43	<p>地震、津波、溢水及び火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故対処設備等及び常設重大事故等対処設備と同時に機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故等対処設備と位置的分散を図り複数箇所に分散して保管する設計とする。</p>	<p>地震、津波、溢水及び火災に対して可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故対処設備等及び常設重大事故等対処設備と同時に機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故等対処設備と位置的分散を図り複数箇所に保管する。</p>	
67	43-3-5	共2-45	<p>地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p>	<p>地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること</p>	
68	43-3-5	共2-45	<p>各考慮事項に対する設計方針まとめ表について、 ・事象として有毒ガスを追加 ・43-3-5における説明と整合を図った。</p>		<p>6条の資料変更に伴い、有毒ガスを追加</p>
69	43-3-5	共2-46	<p>各区分における設計方針まとめ表について、 ・43-3-5における説明と整合を図った。</p>		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
70	43-3-6	共2-49	屋外及び屋内アクセスルートに対する自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、屋外アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、屋外アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪及び火山の影響を選定する。なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定する。また、地滑りについては、地震による影響に包絡される。 屋外及び屋内アクセスルートに対する発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等)、ダム、の崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、屋外アクセスルートへの影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、屋外アクセスルートに影響を与えるおそれがある事象として選定する火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)及び有毒ガスに対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確保する設計とする。	屋外及び屋内アクセスルートに対して、自然現象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象を考慮し、外部人為事象として、飛来物(航空機落下等)、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガス及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
71	43-3-6	共2-49	屋外アクセスルートに対する地震による影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり)、その他自然現象による影響(風(台風)及び竜巻による飛来物、積雪並びに火山の影響)を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早期に復旧可能なアクセスルートを確保するため、障害物を除去可能なホイールローダを4台(予備1台)保管、使用する。	屋外アクセスルートに対する地震による影響(周辺構造物等の損壊、周辺斜面の崩壊及び道路面のすべり)、その他自然現象による影響(台風及び竜巻による飛来物、積雪、火山)を想定し、複数のアクセスルートの中から状況を確認し、早期に復旧可能なアクセスルートを確保するため、障害物を除去可能なホイールローダを2台(予備2台)保管、使用する。	
72	43-3-6	共2-49	削除	火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガスに対して、迂回路も考慮した複数のアクセスルートを確保する設計とする。落雷に対しては道路面が直接影響を受けることはなく、生物学的事象に対しては容易に排除可能なため、アクセスルートへの影響はない。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
73	43-3-6	共2-49	不等沈下等に伴う段差の発生が想定される箇所においては、段差緩和対策等を行う、迂回する、又は碎石による段差解消対策により対処する設計とする。	不等沈下及び地中構造物の損壊に伴う段差の発生が想定される箇所において、想定を上回る段差が発生した場合は、迂回する又は碎石による段差解消対策により対処する設計とする。	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
74	43-3-6	共2-49	屋外アクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち、低温(凍結)及び積雪に対して、道路については融雪剤を配備し、車両については走行可能なタイヤを装着することにより通行性を確保できる設計とする。	屋外アクセスルートは、考慮すべき自然現象のうち、凍結及び積雪に対して、道路については融雪剤を配備し、車両については走行可能なタイヤを装着することにより通行性を確保できる設計とする。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
75	43-3-6	共2-49	削除	なお、屋外アクセスルートに加えて、更なるアクセス性の向上を図るため、自主対策設備として緊急時対策所から保管場所、原子炉建屋へ移動可能な複数のルートを確保する。	アクセスルートの審査内容の反映
76	43-3-6	共2-49	屋内アクセスルートは、自然現象として選定する津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、火山の影響、生物学的事象による影響に対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する設計とする。なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定する。 また、発電所敷地又はその周辺における発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものとして選定する火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)及び有毒ガスに対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する設計とする。	屋内アクセスルートは、自然現象として考慮する津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象による影響及び外部人為事象として考慮する火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガスに対して、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する設計とする。	6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
77	43-3-6	共2-50	屋内アクセスルートにおいては、機器からの溢水に対して適切な防護具を着用する。また、地震時に通行が阻害されないように、アクセスルート上の資機材の固縛、転倒防止対策及び火災の発生防止対策を実施する。万一通行が阻害される場合は迂回する、又は乗り越える。	屋内アクセスルートにおいては、溢水等に対して、アクセスルートでの被ばくを考慮した放射線防護具を着用する。また、地震時に通行が阻害されないように、アクセスルート上の資機材の固縛、転倒防止対策及び火災の発生防止対策を実施する。万一通行が阻害される場合は迂回する又は乗り越える。	
78	43-3-6	共2-50	夜間及び停電時の確実な運搬や移動のため可搬型照明設備を配備する。	夜間及び停電時の確実な運搬や移動のため可搬型照明装置を配備する。	
79	43-3-6	共2-53	(2) 各区分における設計方針について、以下の表にまとめた。【表】		
80	43-3-7	共2-54	共通要因としては、環境条件、自然現象、発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるもの、溢水、火災及びサポート系の故障を考慮する。		6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
81	43-3-7	共2-54	発電所敷地で想定される自然現象については、網羅的に抽出するために、地震、津波に加え、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。	発電所敷地で想定される自然現象(地震及び津波を除く。)については、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき事象を収集した洪水、風(台風)、竜巻、凍結、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、森林火災等の事象を考慮する。	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計画進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
82	43-3-7	共2-54	これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定する。また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を選定する。	これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生の可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象を考慮する。また、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、地震、津波、風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響及び生物学的事象を考慮する。	
83	43-3-7	共2-54	なお、森林火災の出火原因となるのは、たき火やタバコ等の人為によるものが大半であることを考慮し、森林火災については、人為によるもの(火災・爆発)として選定する。		6条における事象選定との記載の統一に伴う修正
84	43-3-7	共2-54	発電所敷地又はその周辺において想定される発電用原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるおそれがある事象であって人為によるものについては、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等)、ダム、崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。	発電所敷地又はその周辺において想定される外部人為事象については、網羅的に抽出するために、発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず、国内外の基準や文献等に基づき事象を収集した飛来物(航空機落下等)、ダム、崩壊、爆発、近隣工場等の火災、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害、故意による大型航空機衝突その他のテロリズム等の事象を考慮する。	
85	43-3-7	共2-54	これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。	これらの事象のうち、発電所敷地及びその周辺での発生可能性、重大事故等対処設備への影響度、事象進展速度や事象進展に対する時間余裕の観点から、重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象として、飛来物(航空機落下等)、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機衝突その他のテロリズムを考慮する。	
86	43-3-7	共2-54	また、設計基準事故対処設備等と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災等)、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを選定する。	また、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備に対する共通要因としては、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機落下火災)有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムを考慮する。	
87	43-3-7	共2-54	故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講じることとする。 建屋については、地震、津波、火災及び外部からの衝撃による損傷を防止できる設計とする。 重大事故緩和設備についても、可能な限り多様性を考慮する。	故意による大型航空機衝突その他のテロリズムについては、可搬型重大事故等対処設備による対策を講じることとする。 重大事故等対処設備についても、可能な限り多様性を考慮する。	43条本体資料との記載の統一

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 指摘事項対応による変更・修正 計進捗、設備変更による変更・修正 評価進捗による変更・修正
 前提条件変更による修正 記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
90	43-3-7	共2-54	重大事故等時の環境条件における健全性については「 重大事故等時の環境条件における健全性について 」に記載する。	重大事故等時の環境条件における健全性については「2.3.3 環境条件等」に記載する。風(台風)、低温(凍結)、降水、積雪及び電磁的障害に対して可搬型重大事故等対処設備は、環境条件にて考慮し、機能が損なわれない設計とする。	
91	43-3-7	共2-54	地震に対して 屋内の可搬型重大事故等対処設備 は、「 原子炉建屋等の基礎地盤及び周辺斜面の安定性について 」に示す 地盤上に設置する 建屋内に保管する。屋外の 可搬型重大事故等対処設備 は、転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の処置をするとともに、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化又は揺すり込みによる不等沈下、 傾斜及び浮き上がり 、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等の影響により必要な機能を喪失しない位置に保管する設計とする。	地震に対して可搬型重大事故等対処設備は、原子炉建屋等の頑健な建屋内に保管する、又は屋外に保管する場合は、共通要因によりすべての設備が同時に機能を喪失しないよう転倒しないことを確認する、又は必要により固縛等の処置をするとともに、地震により生ずる敷地下斜面のすべり、液状化及び揺すり込みによる不等沈下、地盤支持力の不足、地中埋設構造物の損壊等の影響により必要な機能を喪失しないよう複数の位置に分散して保管する設計とする。	
92	43-3-7	共2-54	地震及び津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、「 重大事故等対処設備について 2.1.2 耐震設計の基本方針 」、「 重大事故等対処設備について 2.1.3 津波による損傷の防止 」にて考慮された設計とする。火災に対して可搬型重大事故等対処設備は「 重大事故等対処設備について 2.2 火災による損傷の防止 」に基づく火災防護を行う。	地震及び津波に対して可搬型重大事故等対処設備は、「2.1.2 耐震設計の基本方針」、「2.1.3 津波による損傷の防止」にて考慮された設計とする。火災に対して可搬型重大事故等対処設備は「2.2 火災による損傷の防止」に基づく火災防護を行う。	
93	43-3-7	共2-55	地震、津波、溢水及び火災に対して可搬型重大事故 防止設備 は、設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備と同時に機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り複数箇所に 分散して保管する設計とする 。	地震、津波、溢水及び火災に対して可搬型重大事故 対処設備 は、設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備と同時に機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り複数箇所に保管する。	
94	43-3-7	共2-55	風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災等)、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、可搬型重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に保管するか、又は設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備と同時に必要な機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り、防火帯の内側の複数箇所に分散して保管する設計とする。	風(台風)、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪、落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、火災・爆発(森林火災、近隣工場等の火災・爆発、航空機墜落火災)、有毒ガス、船舶の衝突及び電磁的障害に対して、可搬型重大事故防止設備は、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に保管するか、又は設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備と同時に必要な機能を損なうおそれがないように、設計基準事故対処設備の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り、防火帯の内側の複数箇所に分散して保管する設計とする。	
95	43-3-7	共2-55	クラゲ等の海生生物の影響により可搬型重大事故等対処設備の取水ラインが閉塞する場合には、 予備の可搬型重大事故等対処設備 によって取水を継続し、閉塞箇所での清掃を行うことで対応できるよう、クラゲ等の海生生物から影響を受けるおそれのある屋外の可搬型重大事故等対処設備は、 予備 を有する設計とする。	クラゲ等の海生生物の影響により可搬型重大事故等対処設備の取水ラインが閉塞する場合には、他の可搬型重大事故等対処設備によって取水を継続し、閉塞箇所での清掃を行うことで対応できるよう、クラゲ等の海生生物から影響を受けるおそれのある屋外の可搬型重大事故等対処設備は、複数有する設計とする。	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】 指摘事項対応による変更・修正 前提条件変更による修正	計進捗, 設備変更による変更・修正 記載の拡充, 適正化	評価進捗による変更・修正
---	---------------------------------	--------------

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
96	43-3-7	共2-55	飛来物(航空機落下)及び故意による大型航空機の衝突その他テロリズムに対して, 屋内の可搬型重大事故防止設備は, 可能な限り設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り複数箇所に分散して保管する設計とする。	飛来物(航空機落下等)及び故意による大型航空機の衝突その他テロリズムに対して, 屋内の可搬型重大事故防止設備は, 可能な限り設計基準事故対処設備の配置も含めて常設重大事故防止設備と位置的分散を図り複数箇所に分散して保管する。	
97	43-3-7	共2-55	屋外に保管する可搬型重大事故防止設備は, 原子炉建屋, タービン建屋及び廃棄物処理建屋から100m以上の離隔距離を確保するとともに, 当該可搬型重大事故防止設備がその機能を代替する屋外の設計基準事故対処設備等及び常設重大事故防止設備から100m以上の離隔距離を確保した上で, 複数箇所に分散して保管する設計とする。	屋外に保管する可搬型重大事故防止設備は, 原子炉建屋, タービン建屋及び廃棄物処理建屋から100m以上の離隔距離を確保するとともに, 当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の設計基準対象施設及び常設重大事故等対処設備から100m以上の離隔距離を確保した上で, 複数箇所に分散して保管する。	
98	43-3-7	共2-59	サポート系[表]		
99	43-3-7	共2-60	(2) 各区分における設計方針については, 以下の表にまとめた[表]		本文側の記載の修正を反映

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 共-3 重大事故対処設備の環境条件について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	表2	共3-2	No.15「高温」評価基準 C	No.15「高温」評価基準 B	⑤(記載の適正)
2	表2	共3-2	No.16「低温(凍結)」環境条件設定値 $10^{-1}/y$ 値: -10.4°C	No.16「低温(凍結)」環境条件設定値 $10^{-1}/y$ 値: -10.3°C	⑤(数値の誤記修正)
3	表2	共3-2	No.17「高温水(海水温高)」評価基準 C	No.17「高温水(海水温高)」評価基準 B	⑤(記載の適正)
4	表2	共3-3	No.37「森林火災」 設計基準規模の森林火災を想定した場合でも防火帯があることから設備に影響を及ぼさないため、環境条件の対象外とする。	No.37「森林火災」 設計基準規模の森林火災を想定した場合でも防火帯があることから設備に影響を及ぼさないため、環境条件の対象外とする。	⑤(記載の適正化)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について

章/項番号: 43条 共-4 可搬型重大事故等対処設備の必要数、予備数及び保有数について

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	2	共4-4	代替循環冷却系(熱交換器ユニット)への電源供給は可搬型代替交流電源設備(電源車)によって実施する。	代替原子炉補機冷却系への電源供給は可搬型代替交流電源設備(電源車)によって実施する。	⑤
2	2	共4-4	<p>図3 重大事故等対策の有効性評価における給電対象</p>	<p>図3 重大事故等対策の有効性評価における給電対象</p>	⑤
3	2	共4-6	重大事故等対策の有効性評価において、本設備が担う機能を要求するのは、注水機能を有する設計基準対象施設が機能喪失している状態、設計基準対象施設が有していない注水機能が必要な状態、もしくは水源を補給する必要のある状態である。	重大事故等対策の有効性評価において、本設備が担う機能を要求するのは、注水機能を有する設計基準対象施設が機能喪失している状態、設計基準対象施設が有していない注水機能が必要な状態、水源を補給する必要のある状態、もしくは重大事故等対処設備に給水する必要のある状態である。	③(50条においてスクラバ水補給が7日間不要となったことに伴う変更)
4	2	共4-6	格納容器内への注水のうち設計基準対象施設が有していない機能である格納容器下部への注水が必要な状態に対しては、事象進展によっては早期の対応が必要であることから、格納容器下部注水系(常設)による注水によって対応する。従って、本設備に期待するのは更なる安全性向上のためにバックアップとして待機する場合、もしくは事象進展が遅く可搬型代替注水ポンプ(消防車)による注水を待つことが可能な場合である。このとき、間欠使用による対応も可能ではあるが、1基あたり4台が必要となる。	格納容器内への注水のうち設計基準対象施設が有していない機能である格納容器下部への注水が必要な状態に対しては、早期の対応が必要ではないことから、可搬型代替注水ポンプ(消防車)による注水を待つことが可能である。従って、格納容器下部への注水については、本設備を期待する。このとき、間欠使用による対応も可能ではあるが、1基あたり4台が必要となる。	⑤
5	2	共4-7	このとき、一時中断も可能ではあるが、1基あたり4台が必要となる。	このとき、一時中断も可能ではあるが、1基あたり4台が必要となる。重大事故等対処設備に給水する必要のある状態に対しては、早期の対応が必要となる設備がないことから、可搬型代替注水ポンプ(消防車)による給水を待つことが可能である。従って、格納容器圧力逃がし装置への給水については、本設備を期待する。このとき、間欠使用による対応も可能ではあるが、1基あたり1台(防火水槽を水源として使用)が必要となる。	③(50条においてスクラバ水補給が7日間不要となったことに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
6	2	共4-7	<p>図5 重大事故等対策の有効性評価における給水対象</p>	<p>図5 重大事故等対策の有効性評価における給水対象</p>	<p>③(50条においてスクラバ水補給が7日間不要となったことに伴う変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
7	2	共4-8	<p>水使用パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①低圧代替注水系(常設)による原子炉注水 事象発生70分後から低圧代替注水系(常設)により注水する。 冠水後は、破断口～原子炉水位低(レベル1)の範囲で注水する(約90m³/h)。 ②代替格納容器スプレイ冷却系による代替格納容器スプレイ 原子炉水位が破断口～原子炉水位低(レベル1)の範囲で、代替格納容器スプレイを実施(140m³/h)。 ③淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給 12時間後から、可搬型代替注水ポンプ(A-2線)4台を用いて130m³/hで淡水貯水池の水を復水貯蔵槽へ給水する。 <p>図6 復水貯蔵槽の水量変化 (格納容器過圧・過温シナリオ(代替循環冷却を使用しない場合))</p>	<p>水使用パターン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①低圧代替注水系(常設)による原子炉注水 事象発生70分後から低圧代替注水系(常設)により注水する。 冠水後は、破断口～原子炉水位低(レベル1)の範囲で注水する(約90m³/h)。 ②代替格納容器スプレイ冷却系による代替格納容器スプレイ 原子炉水位が破断口～原子炉水位低(レベル1)の範囲で、代替格納容器スプレイを実施(140m³/h)。 ③淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給 12時間後から、淡水貯水池の水を可搬型代替注水ポンプ4台を用いて130m³/hで復水貯蔵槽へ補給する。 <p>図6 復水貯蔵槽の水量変化 (格納容器過圧・過温シナリオ(代替循環冷却を使用しない場合))</p>	<p>③(単位換算時水温の見直しに伴うSA有効性評価の変更、及び記載の適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
8	2	共4-9	<p>水使用パターン ①格納容器下部注水 原子炉圧力容器下鏡部温度が300℃に到達した時点で開始(約90m³/hで2時間)。 原子炉圧力容器の破損後は崩壊熱相当で注水。 ②代替格納容器スプレー冷却系による代替格納容器スプレー 原子炉圧力容器下鏡部温度が300℃に到達した時点で開始(70m³/h)。 原子炉圧力容器の破損以降、465kPa[gage]に到達以降は130m³/h以上で注水。 ③淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給 12時間後から、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)4台を用いて130m³/hで淡水貯水池の水を復水貯蔵槽へ給水する。</p> <p>図7 復水貯蔵槽の水量変化(DCH, FCI, MCCIシナリオ)</p>	<p>水使用パターン ①格納容器下部注水 原子炉圧力容器下鏡部温度が300℃に到達した時点で開始(約90m³/hで2時間)。 原子炉圧力容器破損後は崩壊熱相当で注水。 ②代替格納容器スプレー冷却系による代替格納容器スプレー 原子炉圧力容器下鏡部温度が300℃に到達した時点で開始(70m³/h)。 原子炉圧力容器破損以降、465kPa[gage]に到達以降は130m³/h以上で注水。 ③淡水貯水池から復水貯蔵槽への補給 12時間後から、淡水貯水池の水を可搬型代替注水ポンプ4台を用いて130m³/hで復水貯蔵槽へ補給する。</p> <p>図7 復水貯蔵槽の水量変化(DCH, FCI, MCCIシナリオ)</p>	③(コリウムシールドのSA化・単位換算時水温の見直しに伴うSA有効性評価の変更、及び記載の適正化)
9	2	共4-9	可搬型代替注水ポンプ(消防車)を用いた格納容器下部への注水は間欠使用による対応が可能なものであり、かつ、180m³相当と十分余裕のできる使用量である。	可搬型代替注水ポンプ(消防車)を用いた格納容器下部への注水、格納容器器圧力逃がし装置への給水はいずれも間欠使用による対応が可能なものであり、かつ、いずれも数100m³程度と十分余裕のできる使用量である。	③(50条においてスクラバ水補給が7日間不要となったことに伴う変更)
10	2	共4-9	従って、前述の通り、復水貯蔵槽に十分な淡水が貯蔵でき、炉心注水・格納容器スプレーのための常設設備の復旧ができた段階で淡水補給等を一時中断することでいずれも対応可能である。	従って、前述の通り、復水貯蔵槽に十分な淡水が貯蔵できた段階で淡水補給を一時中断することでいずれも対応可能である。	⑤
11	2	共4-9	一方、設置許可基準規則第三章(重大事故等対処施設)において、代替注水等設備を要求しているのは表2に示す5条文である。	一方、設置許可基準規則第三章(重大事故等対処施設)において、代替注水等設備を要求しているのは表2に示す6条文である。	③(50条においてスクラバ水補給が7日間不要となったことに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																										
12	2	共4-10	<p>表2 代替注水等設備を要求している条文</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>条文</th> <th>要求事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47条</td> <td>可搬型低圧代替注水設備</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td>代替格納容器スプレィ冷却設備（常設または可搬型）</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水設備（常設または可搬型）</td> </tr> <tr> <td>54条</td> <td>使用済燃料プールへの可搬型代替注水設備、可搬型スプレィ設備</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水源からの移送設備（常設または可搬型）</td> </tr> </tbody> </table>	条文	要求事項	47条	可搬型低圧代替注水設備	49条	代替格納容器スプレィ冷却設備（常設または可搬型）	51条	格納容器下部注水設備（常設または可搬型）	54条	使用済燃料プールへの可搬型代替注水設備、可搬型スプレィ設備	56条	水源からの移送設備（常設または可搬型）	<p>表2 代替注水等設備を要求している条文</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>条文</th> <th>要求事項</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>47条</td> <td>可搬型低圧代替注水設備</td> </tr> <tr> <td>49条</td> <td>代替格納容器スプレィ冷却設備（常設または可搬型）</td> </tr> <tr> <td>50条</td> <td>格納容器圧力逃がし装置の給水設備（常設または可搬型）</td> </tr> <tr> <td>51条</td> <td>格納容器下部注水設備（常設または可搬型）</td> </tr> <tr> <td>54条</td> <td>使用済燃料プールへの可搬型代替注水設備、可搬型スプレィ設備</td> </tr> <tr> <td>56条</td> <td>水源からの移送設備（常設または可搬型）</td> </tr> </tbody> </table>	条文	要求事項	47条	可搬型低圧代替注水設備	49条	代替格納容器スプレィ冷却設備（常設または可搬型）	50条	格納容器圧力逃がし装置の給水設備（常設または可搬型）	51条	格納容器下部注水設備（常設または可搬型）	54条	使用済燃料プールへの可搬型代替注水設備、可搬型スプレィ設備	56条	水源からの移送設備（常設または可搬型）	③(50条においてスクラバ水補給が7日間不要となったことに伴う変更)
条文	要求事項																														
47条	可搬型低圧代替注水設備																														
49条	代替格納容器スプレィ冷却設備（常設または可搬型）																														
51条	格納容器下部注水設備（常設または可搬型）																														
54条	使用済燃料プールへの可搬型代替注水設備、可搬型スプレィ設備																														
56条	水源からの移送設備（常設または可搬型）																														
条文	要求事項																														
47条	可搬型低圧代替注水設備																														
49条	代替格納容器スプレィ冷却設備（常設または可搬型）																														
50条	格納容器圧力逃がし装置の給水設備（常設または可搬型）																														
51条	格納容器下部注水設備（常設または可搬型）																														
54条	使用済燃料プールへの可搬型代替注水設備、可搬型スプレィ設備																														
56条	水源からの移送設備（常設または可搬型）																														
13	2	共4-10	従って、6号及び7号炉のいずれか1基で当該状態になった場合の必要数1セットに加えて設備の信頼度等を考慮して6号及び7号炉合計で1台の予備を確保することとし、「 $2n + \alpha$ 」の対象施設としての必要数算出においては、総数として包含されることを確認する。	従って、必要数1セットに加えて設備の信頼度等を考慮して6号及び7号炉合計で1台の予備を確保することとし、「 $2n + \alpha$ 」の対象施設としての必要数算出においては、総数として包含されることを確認する。	④(大規模損壊時のSFPスプレィが必要となるプラント数の再整理結果による変更)																										
14	2	共4-11	この必要数は54条の可搬型スプレィ設備の必要数及び予備の6号及び7号炉合計で5台を総数として包含するものである。	この必要数は54条の可搬型スプレィ設備の必要数及び予備の6号及び7号炉合計で9台を総数として包含するものである。	④(大規模損壊時のSFPスプレィが必要となるプラント数の再整理結果による変更)																										
15	2	共4-11	代替原子炉補機冷却系(代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む)については、タービン建屋の外側もしくは建屋内に設置した接続口を通じて原子炉建屋内の残留熱除去系熱交換器及び燃料プール冷却浄化系熱交換器との間で淡水を循環させるとともに、取水した海水を使用して車載熱交換器によって除熱を行うための可搬型重大事故等対処設備であり、重大事故の防止及び影響緩和の観点から故障時の影響が大きい重要な設備であることから、1.(1)に示す「 $2n + \alpha$ 」の対象施設と考える。本設備の台数を表8(1)に示す。	代替原子炉補機冷却系(代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む)については、タービン建屋の外側もしくは建屋内に設置した接続口を通じて原子炉建屋内の残留熱除去系熱交換器との間で淡水を循環させるとともに、取水した海水を使用して車載熱交換器によって除熱を行うための可搬型重大事故等対処設備であり、重大事故の防止及び影響緩和の観点から故障時の影響が大きい重要な設備であることから、1.(1)に示す「 $2n + \alpha$ 」の対象施設と考える	⑤																										
16	2	共4-12	上述の通り、事象収束に必要な淡水は確保しており、それでも淡水が不足する場合において使用する設備であることから、条文上要求されているものはあるが、更なる安全性向上のためのバックアップという位置付けとなる。	上述の通り、淡水が必要な量を確保できない場合において使用する設備であることから、条文上要求されているものではあるが、更なる安全性向上のためのバックアップという位置付けとなる。	⑤																										
17	2	共4-15	しかしながら、早期機能回復は困難であることから、遠隔空気駆動弁の操作機能の多様性・頑健性確保による機能喪失回避が必須である。	しかしながら、早期機能回復は困難であることから、遠隔空気駆動弁の操作減圧機能の多重性・頑健性確保による機能喪失回避が必須である。	⑤																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																													
18	4	共4-20	<p>表8 主要可搬型設備</p> <p>(1) 「2n+α」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>9台</td> <td>【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】 8台</td> <td>1台</td> <td>4台</td> <td>5台</td> <td>・ 必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ケーブル (一式:約40m)</td> <td>9式</td> <td>8式</td> <td>1式</td> <td>4式</td> <td>5式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>17台</td> <td>【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】 16台</td> <td>1台</td> <td>荒浜側 6台 K5東二 5台</td> <td>大湊側 6台</td> <td>・ 必要数 (1基あたりA-2級消防車4台、6号炉ホース292本、7号炉ホース256本)の2セット、2基で合計A-2級消防車16台及びホース1096本 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップA-2級消防車1台 (共用) 及びホース1本 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (1本:約20m)</td> <td>1097本</td> <td>1096本</td> <td>1本</td> <td>荒浜側 468本 K5東二 160本</td> <td>大湊側 469本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・ 熱交換器ユニット:1式 ・ 大容量送水車(熱交換器ユニット用):1台</td> <td>5式</td> <td>【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td>・ 必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1式 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (一式:約400m、口径300A)</td> <td>5式</td> <td>4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考	荒浜側	大湊側	可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】 8台	1台	4台	5台	・ 必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)	ケーブル (一式:約40m)	9式	8式	1式	4式	5式		可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】 16台	1台	荒浜側 6台 K5東二 5台	大湊側 6台	・ 必要数 (1基あたりA-2級消防車4台、6号炉ホース292本、7号炉ホース256本)の2セット、2基で合計A-2級消防車16台及びホース1096本 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップA-2級消防車1台 (共用) 及びホース1本 (共用)	ホース (1本:約20m)	1097本	1096本	1本	荒浜側 468本 K5東二 160本	大湊側 469本		代替原子炉補冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・ 熱交換器ユニット:1式 ・ 大容量送水車(熱交換器ユニット用):1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・ 必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1式 (共用)	ホース (一式:約400m、口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式		<p>表8 主要可搬型設備</p> <p>(1) 「2n+α」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>9台</td> <td>【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】 8台</td> <td>1台</td> <td>4台</td> <td>5台</td> <td>・ 必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・ 免震重要構内緊急時対策所の必要数2台 (共用) ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ケーブル (一式:40m)</td> <td>9式</td> <td>8式</td> <td>1式</td> <td>4式</td> <td>5式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>17台</td> <td>【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】 16台</td> <td>1台</td> <td>荒浜側 6台 K5東二 5台</td> <td>大湊側 6台</td> <td>・ 必要数 (1基あたり3台)の2セット、2基で合計12台 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (一式:75A 約500m)</td> <td>8式</td> <td>8式</td> <td>0式</td> <td>荒浜側 2式 K5東二 5式</td> <td>大湊側 1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホース (一式:75A 約1800m)</td> <td>9式</td> <td>8式</td> <td>1式</td> <td>荒浜側 4式</td> <td>大湊側 5式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・ 熱交換器ユニット:1式 ・ 大容量送水車(熱交換器ユニット用):1台</td> <td>5式</td> <td>【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td>・ 必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・ ①原子炉圧力容器・原子炉格納容器の除熱についての故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは格納容器圧力逃がし装置 (1基あたり1式) (代替除熱設備)にて確保 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1式 (共用)</td> </tr> <tr> <td>ホース (一式:約400m、口径300A)</td> <td>5式</td> <td>4式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>3式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考	荒浜側	大湊側	可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】 8台	1台	4台	5台	・ 必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・ 免震重要構内緊急時対策所の必要数2台 (共用) ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)	ケーブル (一式:40m)	9式	8式	1式	4式	5式		可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】 16台	1台	荒浜側 6台 K5東二 5台	大湊側 6台	・ 必要数 (1基あたり3台)の2セット、2基で合計12台 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)	ホース (一式:75A 約500m)	8式	8式	0式	荒浜側 2式 K5東二 5式	大湊側 1式		ホース (一式:75A 約1800m)	9式	8式	1式	荒浜側 4式	大湊側 5式		代替原子炉補冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・ 熱交換器ユニット:1式 ・ 大容量送水車(熱交換器ユニット用):1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・ 必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・ ①原子炉圧力容器・原子炉格納容器の除熱についての故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは格納容器圧力逃がし装置 (1基あたり1式) (代替除熱設備)にて確保 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1式 (共用)	ホース (一式:約400m、口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式		<p>②(可搬型代替注水ポンプ(A-2級消防車)に用いるホース本数の見直し)</p>
			設備名					配備数	必要数		予備	保管場所		備考																																																																																																				
荒浜側	大湊側																																																																																																																	
可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】 8台	1台	4台	5台	・ 必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)																																																																																																												
ケーブル (一式:約40m)	9式	8式	1式	4式	5式																																																																																																													
可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】 16台	1台	荒浜側 6台 K5東二 5台	大湊側 6台	・ 必要数 (1基あたりA-2級消防車4台、6号炉ホース292本、7号炉ホース256本)の2セット、2基で合計A-2級消防車16台及びホース1096本 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップA-2級消防車1台 (共用) 及びホース1本 (共用)																																																																																																												
ホース (1本:約20m)	1097本	1096本	1本	荒浜側 468本 K5東二 160本	大湊側 469本																																																																																																													
代替原子炉補冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・ 熱交換器ユニット:1式 ・ 大容量送水車(熱交換器ユニット用):1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・ 必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1式 (共用)																																																																																																												
ホース (一式:約400m、口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式																																																																																																													
設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考																																																																																																												
				荒浜側	大湊側																																																																																																													
可搬型代替交流電源設備 (電源車) 【6号及び7号炉共用】	9台	【6号炉分】 2台 (2n=4) 【7号炉分】 2台 (2n=4) 【合計】 8台	1台	4台	5台	・ 必要数 (1基あたり2台)の2セット、2基で合計8台 ・ 免震重要構内緊急時対策所の必要数2台 (共用) ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)																																																																																																												
ケーブル (一式:40m)	9式	8式	1式	4式	5式																																																																																																													
可搬型代替注水ポンプ (A-2級消防車) 【6号及び7号炉共用】	17台	【6号炉分】 4台 (2n=8) 【7号炉分】 4台 (2n=8) 【合計】 16台	1台	荒浜側 6台 K5東二 5台	大湊側 6台	・ 必要数 (1基あたり3台)の2セット、2基で合計12台 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1台 (共用)																																																																																																												
ホース (一式:75A 約500m)	8式	8式	0式	荒浜側 2式 K5東二 5式	大湊側 1式																																																																																																													
ホース (一式:75A 約1800m)	9式	8式	1式	荒浜側 4式	大湊側 5式																																																																																																													
代替原子炉補冷却系 (代替循環冷却系の熱交換器ユニット等を含む) 【6号及び7号炉共用】 1式あたり ・ 熱交換器ユニット:1式 ・ 大容量送水車(熱交換器ユニット用):1台	5式	【6号炉分】 1式 (2n=2) 【7号炉分】 1式 (2n=2) 【合計】 4式	1式	2式	3式	・ 必要数 (1基あたり1式)の2セット、2基で合計4式 ・ ①原子炉圧力容器・原子炉格納容器の除熱についての故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップは格納容器圧力逃がし装置 (1基あたり1式) (代替除熱設備)にて確保 ・ 故障時バックアップ及び保守点検待機除外時バックアップ1式 (共用)																																																																																																												
ホース (一式:約400m、口径300A)	5式	4式	1式	2式	3式																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																											
19	4	共4-23	<p>表8 主要可搬型設備</p> <p>(3) 「n」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台でスプレーが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレー冷却が可能。</td> </tr> <tr> <td>ホース(1本:約20m)</td> <td>20本</td> <td>10本</td> <td>10本</td> <td>10本</td> <td>10本</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型窒素供給装置</td> <td>3台</td> <td>【6号炉分】1台 【7号炉分】1台 【合計】2台</td> <td>1台(共用)</td> <td>1台</td> <td>2台</td> <td>号炉あたり1台で窒素供給が可能。</td> </tr> <tr> <td>スクラバ水pH制御設備</td> <td>3式</td> <td>【6号炉分】1式 【7号炉分】1式 【合計】2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>2式</td> <td>号炉あたり1式で薬液注入が可能。</td> </tr> <tr> <td>取水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) (1箇所あたり)</td> <td>約200m</td> <td>(1重)約80m</td> <td>(2重+予備)約120m</td> <td>約100m</td> <td>約100m</td> <td>1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>放水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>約320m</td> <td>(1重)約140m</td> <td>(2重+予備)約180m</td> <td>約160m</td> <td>約160m</td> <td>1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>小型船舶(汚濁防止膜設置用) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>汚濁防止膜を1台で設置可能。</td> </tr> <tr> <td>放射性物質吸着材 【6号及び7号炉共用】</td> <td>7式</td> <td>6式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>6式</td> <td>5号、6号及び7号炉雨水排水路集水槽並びにフラップゲート入口3箇所にそれぞれ1式を設置。</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液混合装置:1台 ・泡原液搬送車:1台</td> <td>2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。</td> </tr> <tr> <td>ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A</td> <td>1式及び予備</td> <td>1式</td> <td>送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本</td> <td>送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)	荒浜側	大湊側	可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレーが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレー冷却が可能。	ホース(1本:約20m)	20本	10本	10本	10本	10本		可搬型窒素供給装置	3台	【6号炉分】1台 【7号炉分】1台 【合計】2台	1台(共用)	1台	2台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。	スクラバ水pH制御設備	3式	【6号炉分】1式 【7号炉分】1式 【合計】2式	1式	1式	2式	号炉あたり1式で薬液注入が可能。	取水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	(1重)約80m	(2重+予備)約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。	放水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	(1重)約140m	(2重+予備)約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。	小型船舶(汚濁防止膜設置用) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	汚濁防止膜を1台で設置可能。	放射性物質吸着材 【6号及び7号炉共用】	7式	6式	1式	1式	6式	5号、6号及び7号炉雨水排水路集水槽並びにフラップゲート入口3箇所にそれぞれ1式を設置。	原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液混合装置:1台 ・泡原液搬送車:1台	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。	ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A	1式及び予備	1式	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	1式		<p>表8 主要可搬型設備</p> <p>(3) 「n」の可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台でスプレーが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレー冷却が可能。</td> </tr> <tr> <td>ホース(一式:500m) ・75A:500m</td> <td>2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)</td> <td rowspan="2">3台</td> <td>1台</td> <td rowspan="2">1台(共用)</td> <td rowspan="2">1台</td> <td>1台</td> <td rowspan="2">号炉あたり1台で窒素供給が可能。</td> </tr> <tr> <td>7号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>取水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) (1箇所あたり)</td> <td>約200m</td> <td>約80m</td> <td>約120m</td> <td>約100m</td> <td>約100m</td> <td>1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>放水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) 【6号及び7号炉共用】</td> <td>約320m</td> <td>約140m</td> <td>約180m</td> <td>約160m</td> <td>約160m</td> <td>1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液搬送車:1台</td> <td>2式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。</td> </tr> <tr> <td>ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A</td> <td>1式及び予備</td> <td>1式</td> <td>送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本</td> <td>送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本</td> <td>1式</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)	荒浜側	大湊側	可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレーが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレー冷却が可能。	ホース(一式:500m) ・75A:500m	2式	1式	1式	1式	1式		6号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	3台	1台	1台(共用)	1台	1台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。	7号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	1台	取水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	約80m	約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。	放水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	約140m	約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。	原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液搬送車:1台	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。	ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A	1式及び予備	1式	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	1式		<p>②(可搬型代替注水ポンプ(A-1級消防車)に用いるホース本数の見直し、記載するSA設備の追加、及び記載の適正化)</p>
			設備名					配備数	必要数		予備	保管場所		備考(必要数nの補足)																																																																																																																																		
荒浜側	大湊側																																																																																																																																															
可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレーが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレー冷却が可能。																																																																																																																																										
ホース(1本:約20m)	20本	10本	10本	10本	10本																																																																																																																																											
可搬型窒素供給装置	3台	【6号炉分】1台 【7号炉分】1台 【合計】2台	1台(共用)	1台	2台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。																																																																																																																																										
スクラバ水pH制御設備	3式	【6号炉分】1式 【7号炉分】1式 【合計】2式	1式	1式	2式	号炉あたり1式で薬液注入が可能。																																																																																																																																										
取水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	(1重)約80m	(2重+予備)約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																										
放水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	(1重)約140m	(2重+予備)約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																										
小型船舶(汚濁防止膜設置用) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	汚濁防止膜を1台で設置可能。																																																																																																																																										
放射性物質吸着材 【6号及び7号炉共用】	7式	6式	1式	1式	6式	5号、6号及び7号炉雨水排水路集水槽並びにフラップゲート入口3箇所にそれぞれ1式を設置。																																																																																																																																										
原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液混合装置:1台 ・泡原液搬送車:1台	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液混合装置及び泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。																																																																																																																																										
ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A	1式及び予備	1式	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	1式																																																																																																																																											
設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)																																																																																																																																										
				荒浜側	大湊側																																																																																																																																											
可搬型代替注水ポンプ (A-1級消防車) 【6号及び7号炉共用】	2台	1台	1台	1台	1台	1台でスプレーが必要な大規模な損壊が発生している1プラントの使用済燃料プールのスプレー冷却が可能。																																																																																																																																										
ホース(一式:500m) ・75A:500m	2式	1式	1式	1式	1式																																																																																																																																											
6号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)	3台	1台	1台(共用)	1台	1台	号炉あたり1台で窒素供給が可能。																																																																																																																																										
7号炉可搬型窒素供給装置 (格納容器圧力逃がし装置用)		1台																																																																																																																																														
取水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) (1箇所あたり)	約200m	約80m	約120m	約100m	約100m	1箇所あたり80mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																										
放水口用汚濁防止膜(シフトフェンス) 【6号及び7号炉共用】	約320m	約140m	約180m	約160m	約160m	1箇所あたり140mで汚濁防止膜を設置可能。																																																																																																																																										
原子炉建屋放水設備 【6号及び7号炉共用】 一式あたり ・大容量送水車(原子炉建屋放水設備用):1台 ・放水砲:1台 ・泡原液搬送車:1台	2式	1式	1式	1式	1式	申請プラント数の半数以上の1式。 ただし、泡原液搬送車は、1台で1プラントの航空機火災発生時に対応が可能。																																																																																																																																										
ホース ・送水側一式:950m、口径300A ・吸込側一式:80m、口径150A	1式及び予備	1式	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	送水側50m1本 10m1本 5m1本 吸込側20m1本	1式																																																																																																																																											
			<p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>																																																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																						
20	4	共4-24	<p>表8 主要可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">配備数</th> <th rowspan="2">必要数</th> <th rowspan="2">予備</th> <th colspan="2">保管場所</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】</td> <td>1式</td> <td>0式 (常設)</td> <td>1式</td> <td>1式</td> <td>0式</td> <td>号炉間電力融通ケーブル (常設)の予備。</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ 【発電所共用】</td> <td>【4kL】 4台 【16kL】 2台 【合計】 6台</td> <td>【4kL】 3台 【16kL】 1台 【合計】 4台</td> <td>【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台</td> <td>荒浜側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台 K5東二 【4kL】2台</td> <td>大湊側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台</td> <td>4kL3台及び16kL1台で6号及び7号炉が運転中かつ1～5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。</td> </tr> <tr> <td>小型船舶 (海上モニタリング用) 【発電所共用】</td> <td>2隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻で海上モニタリングを実施可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】</td> <td>16台</td> <td>15台</td> <td>1台</td> <td>8台 5号炉原子炉建屋 1台</td> <td>7台</td> <td>モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の揚圧化判断用で1台の合計15台で測定可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型気象観測装置 【発電所共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>気象観測は1台で測定可能。</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】</td> <td>5台</td> <td>2台</td> <td>3台</td> <td>K5東一 2台</td> <td>大湊側 3台</td> <td>1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。</td> </tr> <tr> <td>可搬ケーブル(一式:約100m)</td> <td>2式</td> <td>0式</td> <td>2式</td> <td>5号炉原子炉建屋 2式</td> <td></td> <td>ケーブル(常設)の予備。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	配備数	必要数	予備	保管場所		備考(必要数nの補足)	荒浜側	大湊側	号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】	1式	0式 (常設)	1式	1式	0式	号炉間電力融通ケーブル (常設)の予備。	タンクローリ 【発電所共用】	【4kL】 4台 【16kL】 2台 【合計】 6台	【4kL】 3台 【16kL】 1台 【合計】 4台	【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	荒浜側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台 K5東二 【4kL】2台	大湊側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	4kL3台及び16kL1台で6号及び7号炉が運転中かつ1～5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。	小型船舶 (海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。	可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の揚圧化判断用で1台の合計15台で測定可能。	可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】	5台	2台	3台	K5東一 2台	大湊側 3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。	可搬ケーブル(一式:約100m)	2式	0式	2式	5号炉原子炉建屋 2式		ケーブル(常設)の予備。	<p>表8 主要可搬型設備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名</th> <th rowspan="2">1式</th> <th rowspan="2">0式 (常設)</th> <th rowspan="2">1式</th> <th rowspan="2">1式</th> <th rowspan="2">0式</th> <th rowspan="2">備考(必要数nの補足)</th> </tr> <tr> <th>荒浜側</th> <th>大湊側</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>号炉間電力融通ケーブル (常設)の予備。</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ 【発電所共用】</td> <td>【4kL】 4台 【16kL】 2台 【合計】 6台</td> <td>【4kL】 3台 【16kL】 1台 【合計】 4台</td> <td>【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台</td> <td>荒浜側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台 K5東二 【4kL】2台</td> <td>大湊側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台</td> <td>4kL3台及び16kL1台で6号及び7号炉が運転中かつ1～5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。</td> </tr> <tr> <td>小型船舶 (海上モニタリング用) 【発電所共用】</td> <td>2隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻</td> <td>1隻で海上モニタリングを実施可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】</td> <td>16台</td> <td>15台</td> <td>1台</td> <td>8台 5号炉原子炉建屋 1台</td> <td>7台</td> <td>モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の揚圧化判断用で1台の合計15台で測定可能。</td> </tr> <tr> <td>可搬型気象観測装置 【発電所共用】</td> <td>2台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>1台</td> <td>気象観測は1台で測定可能。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 各設備の保管場所・数量については、今後の検討結果等により変更となる可能性がある。 保管場所の荒浜側は荒浜側高台保管場所、大湊側は大湊側高台保管場所、K5東一は5号炉東側保管場所、K5東二は5号炉東側第二保管場所を示す。</p>	設備名	1式	0式 (常設)	1式	1式	0式	備考(必要数nの補足)	荒浜側	大湊側	号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】						号炉間電力融通ケーブル (常設)の予備。	タンクローリ 【発電所共用】	【4kL】 4台 【16kL】 2台 【合計】 6台	【4kL】 3台 【16kL】 1台 【合計】 4台	【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	荒浜側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台 K5東二 【4kL】2台	大湊側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	4kL3台及び16kL1台で6号及び7号炉が運転中かつ1～5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。	小型船舶 (海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。	可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の揚圧化判断用で1台の合計15台で測定可能。	可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。	<p>②(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所可搬型電源設備の可搬ケーブルの追加、及び記載の拡充)</p>
			設備名					配備数	必要数		予備	保管場所		備考(必要数nの補足)																																																																																													
荒浜側	大湊側																																																																																																										
号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】	1式	0式 (常設)	1式	1式	0式	号炉間電力融通ケーブル (常設)の予備。																																																																																																					
タンクローリ 【発電所共用】	【4kL】 4台 【16kL】 2台 【合計】 6台	【4kL】 3台 【16kL】 1台 【合計】 4台	【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	荒浜側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台 K5東二 【4kL】2台	大湊側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	4kL3台及び16kL1台で6号及び7号炉が運転中かつ1～5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。																																																																																																					
小型船舶 (海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。																																																																																																					
可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の揚圧化判断用で1台の合計15台で測定可能。																																																																																																					
可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。																																																																																																					
5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 可搬型電源設備 【6号及び7号炉共用】	5台	2台	3台	K5東一 2台	大湊側 3台	1台で5号炉原子炉建屋内緊急時対策所必要負荷へ給電可能。ただし、燃料補給時に停止する必要があるため合計2台が必要。																																																																																																					
可搬ケーブル(一式:約100m)	2式	0式	2式	5号炉原子炉建屋 2式		ケーブル(常設)の予備。																																																																																																					
設備名	1式	0式 (常設)	1式	1式	0式	備考(必要数nの補足)																																																																																																					
							荒浜側	大湊側																																																																																																			
号炉間電力融通ケーブル 【6号及び7号炉共用】						号炉間電力融通ケーブル (常設)の予備。																																																																																																					
タンクローリ 【発電所共用】	【4kL】 4台 【16kL】 2台 【合計】 6台	【4kL】 3台 【16kL】 1台 【合計】 4台	【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	荒浜側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台 K5東二 【4kL】2台	大湊側 【4kL】 1台 【16kL】 1台 【合計】 2台	4kL3台及び16kL1台で6号及び7号炉が運転中かつ1～5号炉が停止中の場合の給油作業を実施可能。																																																																																																					
小型船舶 (海上モニタリング用) 【発電所共用】	2隻	1隻	1隻	1隻	1隻	1隻で海上モニタリングを実施可能。																																																																																																					
可搬型モニタリングポスト 【発電所共用】	16台	15台	1台	8台 5号炉原子炉建屋 1台	7台	モニタリングポストの陸側代替測定用で9台、海側測定用で5台、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の揚圧化判断用で1台の合計15台で測定可能。																																																																																																					
可搬型気象観測装置 【発電所共用】	2台	1台	1台	1台	1台	気象観測は1台で測定可能。																																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
章/項番号: 共-5

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																				
1	—	共5-1	<p>表 1 □原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (6号炉) (1/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>設置場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">[47 歳]</td> <td rowspan="2">[47 歳]</td> <td rowspan="2">緊急代替注水系 (可搬型)</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">系統構成上、原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[51 歳]</td> <td rowspan="2">[51 歳]</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水 (可搬型)</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)</td> <td>結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース敷設)</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[56 歳]</td> <td rowspan="2">[56 歳]</td> <td rowspan="2">排水貯蔵槽への水の供給</td> <td rowspan="2">-</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[54 歳]</td> <td rowspan="2">[54 歳]</td> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-1 歳) (A-2 歳)</td> <td>結合金具接続 (可搬スプレッドまでホース敷設)</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続 (常設スプレッド配管接続口へ接続)</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[47 歳]	[47 歳]	緊急代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続	系統構成上、原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。	結合金具接続	[51 歳]	[51 歳]	原子炉格納容器下部注水 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース敷設)	-	結合金具接続	[56 歳]	[56 歳]	排水貯蔵槽への水の供給	-	結合金具接続	-	結合金具接続	[54 歳]	[54 歳]	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 歳) (A-2 歳)	結合金具接続 (可搬スプレッドまでホース敷設)	-	結合金具接続 (常設スプレッド配管接続口へ接続)	<p>表 1 □原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (6号炉) (1/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>設置場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">[47 歳]</td> <td rowspan="2">[47 歳]</td> <td rowspan="2">緊急代替注水系 (可搬型)</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">系統構成上、原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[51 歳]</td> <td rowspan="2">[51 歳]</td> <td rowspan="2">原子炉格納容器下部注水 (可搬型)</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)</td> <td>結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース敷設)</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[56 歳]</td> <td rowspan="2">[56 歳]</td> <td rowspan="2">排水貯蔵槽への水の供給</td> <td rowspan="2">-</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[54 歳]</td> <td rowspan="2">[54 歳]</td> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-1 歳) (A-2 歳)</td> <td>結合金具接続 (可搬スプレッドまでホース敷設)</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>結合金具接続 (常設スプレッド配管接続口へ接続)</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[47 歳]	[47 歳]	緊急代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続	系統構成上、原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。	結合金具接続	[51 歳]	[51 歳]	原子炉格納容器下部注水 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース敷設)	-	結合金具接続	[56 歳]	[56 歳]	排水貯蔵槽への水の供給	-	結合金具接続	-	結合金具接続	[54 歳]	[54 歳]	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 歳) (A-2 歳)	結合金具接続 (可搬スプレッドまでホース敷設)	-	結合金具接続 (常設スプレッド配管接続口へ接続)	⑤
接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																																				
[47 歳]	[47 歳]	緊急代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続	系統構成上、原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。																																																																				
				結合金具接続																																																																					
[51 歳]	[51 歳]	原子炉格納容器下部注水 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース敷設)	-																																																																				
				結合金具接続																																																																					
[56 歳]	[56 歳]	排水貯蔵槽への水の供給	-	結合金具接続	-																																																																				
				結合金具接続																																																																					
[54 歳]	[54 歳]	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 歳) (A-2 歳)	結合金具接続 (可搬スプレッドまでホース敷設)	-																																																																				
				結合金具接続 (常設スプレッド配管接続口へ接続)																																																																					
接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																																				
[47 歳]	[47 歳]	緊急代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続	系統構成上、原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。																																																																				
				結合金具接続																																																																					
[51 歳]	[51 歳]	原子炉格納容器下部注水 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 歳)	結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース敷設)	-																																																																				
				結合金具接続																																																																					
[56 歳]	[56 歳]	排水貯蔵槽への水の供給	-	結合金具接続	-																																																																				
				結合金具接続																																																																					
[54 歳]	[54 歳]	燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 歳) (A-2 歳)	結合金具接続 (可搬スプレッドまでホース敷設)	-																																																																				
				結合金具接続 (常設スプレッド配管接続口へ接続)																																																																					
2	—	共5-2	<p>表 1 □原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (8号炉) (2/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>設置場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">[48 歳]</td> <td rowspan="3">[48 歳]</td> <td rowspan="3">代替原子炉種機冷却系</td> <td rowspan="3">熱交換器ユニット</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[50 歳]</td> <td rowspan="2">[50 歳]</td> <td rowspan="2">代替原子炉種機冷却系</td> <td rowspan="2">-</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[57 歳]</td> <td rowspan="2">[57 歳]</td> <td rowspan="2">可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備</td> <td rowspan="2">電源車</td> <td>真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、緊急用電源送受線接続装置にボルト・ネジ接続)</td> <td rowspan="2">交流電源車と直流電源車へ同時に給電可能</td> </tr> <tr> <td>真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[48 歳]	[48 歳]	代替原子炉種機冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	-	フランジ接続	フランジ接続	[50 歳]	[50 歳]	代替原子炉種機冷却系	-	フランジ接続	-	フランジ接続	[57 歳]	[57 歳]	可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備	電源車	真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、緊急用電源送受線接続装置にボルト・ネジ接続)	交流電源車と直流電源車へ同時に給電可能	真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)	<p>表 1 □原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (8号炉) (2/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>設置場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">[48 歳]</td> <td rowspan="3">[48 歳]</td> <td rowspan="3">代替原子炉種機冷却系</td> <td rowspan="3">熱交換器ユニット</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[50 歳]</td> <td rowspan="2">[50 歳]</td> <td rowspan="2">代替原子炉種機冷却系</td> <td rowspan="2">-</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">[57 歳]</td> <td rowspan="2">[57 歳]</td> <td rowspan="2">可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備</td> <td rowspan="2">電源車</td> <td>真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)</td> <td rowspan="2">交流電源車と直流電源車へ同時に給電可能</td> </tr> <tr> <td>真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[48 歳]	[48 歳]	代替原子炉種機冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	-	フランジ接続	フランジ接続	[50 歳]	[50 歳]	代替原子炉種機冷却系	-	フランジ接続	-	フランジ接続	[57 歳]	[57 歳]	可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備	電源車	真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)	交流電源車と直流電源車へ同時に給電可能	真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)	⑤												
接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																																				
[48 歳]	[48 歳]	代替原子炉種機冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	-																																																																				
				フランジ接続																																																																					
				フランジ接続																																																																					
[50 歳]	[50 歳]	代替原子炉種機冷却系	-	フランジ接続	-																																																																				
				フランジ接続																																																																					
[57 歳]	[57 歳]	可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備	電源車	真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、緊急用電源送受線接続装置にボルト・ネジ接続)	交流電源車と直流電源車へ同時に給電可能																																																																				
				真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)																																																																					
接続口 (建屋壁面)	設置場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																																				
[48 歳]	[48 歳]	代替原子炉種機冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	-																																																																				
				フランジ接続																																																																					
				フランジ接続																																																																					
[50 歳]	[50 歳]	代替原子炉種機冷却系	-	フランジ接続	-																																																																				
				フランジ接続																																																																					
[57 歳]	[57 歳]	可搬型代替交流電源設備、可搬型直流電源設備	電源車	真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)	交流電源車と直流電源車へ同時に給電可能																																																																				
				真通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続、さらに可搬ケーブルを布設し、動力変圧器 6C 又は 6H 用動力変圧器にボルト・ネジ接続)																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																				
3	—	共5-3	<p>表 2□原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (7号炉) (1/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">[47 条]</td> <td rowspan="2">[51 条]</td> <td>低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-2 設)</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">系統構築上, 原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水 (可搬型)</td> <td>結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース接続)</td> </tr> <tr> <td>[56 条]</td> <td></td> <td>遠水貯蔵槽への水の供給</td> <td></td> <td>結合金具接続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[54 条]</td> <td></td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 設) (A-2 設)</td> <td>結合金具接続 (可搬スプレイヘッドまでホース接続) 結合金具接続 (常設スプレイヘッド配管接続口へ接続)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[47 条]	[51 条]	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 設)	結合金具接続	系統構築上, 原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。	原子炉格納容器下部注水 (可搬型)	結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース接続)	[56 条]		遠水貯蔵槽への水の供給		結合金具接続	—	[54 条]		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 設) (A-2 設)	結合金具接続 (可搬スプレイヘッドまでホース接続) 結合金具接続 (常設スプレイヘッド配管接続口へ接続)	—	<p>表 2□原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (7号炉) (1/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">[47 条]</td> <td rowspan="2">[51 条]</td> <td>低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td rowspan="2">可搬型代替注水ポンプ (A-2 設)</td> <td>結合金具接続</td> <td rowspan="2">系統構築上, 原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水 (可搬型)</td> <td>結合金具接続</td> </tr> <tr> <td>[56 条]</td> <td></td> <td>遠水貯蔵槽への水の供給</td> <td></td> <td>結合金具接続</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>[54 条]</td> <td></td> <td>燃料プール代替注水系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-1 設) (A-2 設)</td> <td>結合金具接続 (可搬スプレイヘッドまでホース接続) 結合金具接続 (常設スプレイヘッド配管接続口へ接続)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[47 条]	[51 条]	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 設)	結合金具接続	系統構築上, 原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。	原子炉格納容器下部注水 (可搬型)	結合金具接続	[56 条]		遠水貯蔵槽への水の供給		結合金具接続	—	[54 条]		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 設) (A-2 設)	結合金具接続 (可搬スプレイヘッドまでホース接続) 結合金具接続 (常設スプレイヘッド配管接続口へ接続)	—	⑤
接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																				
[47 条]	[51 条]	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 設)	結合金具接続	系統構築上, 原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。																																																				
		原子炉格納容器下部注水 (可搬型)		結合金具接続 (原子炉建屋内の接続口までホース接続)																																																					
[56 条]		遠水貯蔵槽への水の供給		結合金具接続	—																																																				
[54 条]		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 設) (A-2 設)	結合金具接続 (可搬スプレイヘッドまでホース接続) 結合金具接続 (常設スプレイヘッド配管接続口へ接続)	—																																																				
接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																				
[47 条]	[51 条]	低圧代替注水系 (可搬型)	可搬型代替注水ポンプ (A-2 設)	結合金具接続	系統構築上, 原子炉注水と格納容器下部注水は同時使用可能。																																																				
		原子炉格納容器下部注水 (可搬型)		結合金具接続																																																					
[56 条]		遠水貯蔵槽への水の供給		結合金具接続	—																																																				
[54 条]		燃料プール代替注水系	可搬型代替注水ポンプ (A-1 設) (A-2 設)	結合金具接続 (可搬スプレイヘッドまでホース接続) 結合金具接続 (常設スプレイヘッド配管接続口へ接続)	—																																																				
4	—	共5-4	<p>表 2□原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (7号炉) (2/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[48 条]</td> <td></td> <td>代替原子炉循環冷却系</td> <td rowspan="3">熱交換器ユニット</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>[48 条, 50 条]</td> <td></td> <td>代替原子炉循環冷却系</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>[50 条]</td> <td></td> <td>代替原子炉循環冷却系</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>[57 条]</td> <td></td> <td>可搬型代替交流電源設備, 可搬型直流電源設備</td> <td>電源車</td> <td>貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 緊急用電源切替機接続部にボルト・ネジ接続) 貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 動力実圧管 7c 又は 4d 用動力実圧管にボルト・ネジ接続)</td> <td>交流電源車帯と直流電源車帯へ同時に給電可能</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[48 条]		代替原子炉循環冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	—	[48 条, 50 条]		代替原子炉循環冷却系	フランジ接続	[50 条]		代替原子炉循環冷却系	フランジ接続	[57 条]		可搬型代替交流電源設備, 可搬型直流電源設備	電源車	貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 緊急用電源切替機接続部にボルト・ネジ接続) 貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 動力実圧管 7c 又は 4d 用動力実圧管にボルト・ネジ接続)	交流電源車帯と直流電源車帯へ同時に給電可能	<p>表 2□原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口の兼用状況 (7号炉) (2/2) ◯</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>接続口 (建屋壁面)</th> <th>場所</th> <th>使用用途</th> <th>接続設備</th> <th>接続方式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[48 条]</td> <td></td> <td>代替原子炉循環冷却系</td> <td rowspan="3">熱交換器ユニット</td> <td>フランジ接続</td> <td rowspan="3">—</td> </tr> <tr> <td>[48 条, 50 条]</td> <td></td> <td>代替原子炉循環冷却系</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>[50 条]</td> <td></td> <td>代替原子炉循環冷却系</td> <td>フランジ接続</td> </tr> <tr> <td>[57 条]</td> <td></td> <td>可搬型代替交流電源設備, 可搬型直流電源設備</td> <td>電源車</td> <td>貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにスリッポン接続, さらに可搬ケーブルから動力実圧管 7c にボルト接続) 貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 動力実圧管 7c 又は 4d 用動力実圧管にボルト接続)</td> <td>交流電源車帯と直流電源車帯へ同時に給電可能</td> </tr> </tbody> </table>	接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考	[48 条]		代替原子炉循環冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	—	[48 条, 50 条]		代替原子炉循環冷却系	フランジ接続	[50 条]		代替原子炉循環冷却系	フランジ接続	[57 条]		可搬型代替交流電源設備, 可搬型直流電源設備	電源車	貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにスリッポン接続, さらに可搬ケーブルから動力実圧管 7c にボルト接続) 貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 動力実圧管 7c 又は 4d 用動力実圧管にボルト接続)	交流電源車帯と直流電源車帯へ同時に給電可能	⑤
接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																				
[48 条]		代替原子炉循環冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	—																																																				
[48 条, 50 条]		代替原子炉循環冷却系		フランジ接続																																																					
[50 条]		代替原子炉循環冷却系		フランジ接続																																																					
[57 条]		可搬型代替交流電源設備, 可搬型直流電源設備	電源車	貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 緊急用電源切替機接続部にボルト・ネジ接続) 貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト・ネジ接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 動力実圧管 7c 又は 4d 用動力実圧管にボルト・ネジ接続)	交流電源車帯と直流電源車帯へ同時に給電可能																																																				
接続口 (建屋壁面)	場所	使用用途	接続設備	接続方式	備考																																																				
[48 条]		代替原子炉循環冷却系	熱交換器ユニット	フランジ接続	—																																																				
[48 条, 50 条]		代替原子炉循環冷却系		フランジ接続																																																					
[50 条]		代替原子炉循環冷却系		フランジ接続																																																					
[57 条]		可搬型代替交流電源設備, 可搬型直流電源設備	電源車	貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにスリッポン接続, さらに可搬ケーブルから動力実圧管 7c にボルト接続) 貫通口 (建屋内で可搬ケーブルにボルト接続, さらに可搬ケーブルを布設し, 動力実圧管 7c 又は 4d 用動力実圧管にボルト接続)	交流電源車帯と直流電源車帯へ同時に給電可能																																																				
5	—	共5-5	図1 原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口(6号炉)	図1 原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口(6号炉)	⑤																																																				
6	—	共5-6	図2 原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口(7号炉)	図2 原子炉建屋の外から水又は電源を供給する可搬型重大事故等対処設備の接続口(7号炉)	⑤																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について
 章/項番号: 共-6「重大事故等対処設備の外部事象に対する防護方針について」

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由
1	2.	共6-1	重大事故等対処設備の多様性、位置的分散等の設計に際し考慮する外部事象は、第6条での安全施設への検討を踏まえ抽出する。	重大事故等対処設備の多様性、位置的分散等の設計に際し考慮する外部事象は、6条での設計基準事故対処設備への検討を踏まえ抽出する。	⑤ (用語の適正化)
2	4. ①	共6-2	設計基準事故対処設備は、航空機落下確率が十分低いことから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失することはない。また、可搬型重大事故等対処設備については、可能な限り分散配置して保管する。	設計基準事故対処設備は、航空機落下確率が十分低いことから、設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備が同時に機能喪失することはない。また、可搬型設備については、可能な限り分散配置して保管する。	⑤ (用語の適正化) ※他同様に修正
3	5.	共6-2	第43条の要求を踏まえ、設計基準事象によって、設計基準対象施設の安全機能と重大事故等対処設備の機能が同時に損なわれないことを確認するとともに、重大事故等対処設備の機能が喪失した場合においても、位置的分散又は頑健性のある外郭となる建屋による防護に期待できる代替手段等により必要な機能を維持できることを確認する。	設計基準事象に対して耐性を確保する必要があるのは設計基準事故対処設備であり、重大事故等対処設備ではないが、第四十三条の要求を踏まえ、設計基準事象によって、設計基準事故対処設備の安全機能と重大事故等対処設備が同時にその機能が損なわれないことを確認するとともに、重大事故等対処設備の機能が喪失した場合においても、位置的分散又は頑健性のある外殻となる建屋による防護に期待できるといった観点から、代替手段により必要な機能を維持できることを確認する。	⑤ (用語の適正化)
4	5. (1)	共6-2	重大事故防止設備は、外部事象によって設計基準対象施設の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれのないこと	重大事故等防止設備は、外部事象によって設計基準設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれのないこと	⑤ (用語の適正化) ※他同様に修正
5	5. (3)	共6-3	外部事象による重大事故等対処設備への影響評価フロー並びに方針(1)及び(2)に対する評価結果をそれぞれ図1、表1に示す。方針(3)に示した、プラント安全性に関する主要な機能は、以下に例示するとおり重大事故等対処設備により維持される。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 未臨界移行機能: 代替制御棒挿入機能及び代替冷却材再循環ポンプ停止 ・ 燃料冷却機能: 高压代替注水系 ・ 格納容器除熱機能: 耐圧強化ベント系 ・ 使用済燃料プール注水機能: 燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ 	外部事象による重大事故等対処施設への評価フローおよび、評価結果について、図1、表1に示す。	⑤ (外部事象に対しプラント安全性に関する主要な機能が維持される重大事故等対処設備の例示を追記)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗, 設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由
6	5. (3)	共6-4	<p>※1: 各外部事象により重大事故等対処設備と設計基準対象施設が同時に損なわれることはないが, 安全上支障のない期間内での復旧により機能維持可能であることを確認。</p> <p>図1 外部事象による重大事故等対処設備への影響評価フロー</p>	<p>※1: 各外部事象により重大事故等対処設備と設計基準事故対処設備が同時に損なわれることはないが, 安全上支障のない期間内での復旧により機能維持可能であることを確認。</p> <p>図1 共通要因故障に対する評価フロー</p>	<p>⑤ (記載の適正化)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
7	5. (3)	共6-5	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(1/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設備項目</th> <th rowspan="3">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="3">評価</th> <th rowspan="3">評価の範囲</th> <th colspan="10">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th colspan="2">風(台風)</th> <th colspan="2">雨</th> <th colspan="2">雷</th> <th colspan="2">積雪</th> <th colspan="2">地震</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電力系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>配電系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>保護系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>監視系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>通信系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>照明系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>空調系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>エレベータ (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>非常用電源 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>設備系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table> <p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(1/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設備項目</th> <th rowspan="3">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="3">評価</th> <th rowspan="3">評価の範囲</th> <th colspan="10">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th colspan="2">風(台風)</th> <th colspan="2">雨</th> <th colspan="2">雷</th> <th colspan="2">積雪</th> <th colspan="2">地震</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電力系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>配電系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>保護系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>監視系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>通信系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>照明系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>空調系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>エレベータ (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>非常用電源 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>設備系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	設備項目	重大事故等対応設備	評価	評価の範囲	自然現象による影響										風(台風)		雨		雷		積雪		地震		評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	電力系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	配電系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保護系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監視系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通信系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	照明系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	空調系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	エレベータ (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	非常用電源 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備項目	重大事故等対応設備	評価	評価の範囲	自然現象による影響										風(台風)		雨		雷		積雪		地震		評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	電力系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	配電系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保護系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監視系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通信系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	照明系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	空調系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	エレベータ (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	非常用電源 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(1/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">設備項目</th> <th rowspan="3">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="3">評価</th> <th rowspan="3">評価の範囲</th> <th colspan="10">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th colspan="2">風(台風)</th> <th colspan="2">雨</th> <th colspan="2">雷</th> <th colspan="2">積雪</th> <th colspan="2">地震</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> <th>評価項目</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>電力系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>配電系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>保護系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>監視系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>通信系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>照明系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>空調系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>エレベータ (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>非常用電源 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>設備系 (重大事故等対応設備)</td><td>(1)</td><td>○</td><td>全装置</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> </tbody> </table>	設備項目	重大事故等対応設備	評価	評価の範囲	自然現象による影響										風(台風)		雨		雷		積雪		地震		評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	電力系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	配電系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	保護系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監視系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	通信系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	照明系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	空調系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	エレベータ (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	非常用電源 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	設備系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正) (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備項目	重大事故等対応設備	評価	評価の範囲					自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
								風(台風)		雨		雷		積雪		地震																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
電力系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
配電系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
保護系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
監視系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
通信系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
照明系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
空調系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
エレベータ (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
非常用電源 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備項目	重大事故等対応設備	評価	評価の範囲	自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				風(台風)		雨		雷		積雪		地震																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
電力系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
配電系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
保護系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
監視系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
通信系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
照明系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
空調系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
エレベータ (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
非常用電源 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備項目	重大事故等対応設備	評価	評価の範囲	自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				風(台風)		雨		雷		積雪		地震																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価	評価項目	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
電力系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
配電系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
保護系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
監視系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
通信系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
照明系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
空調系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
エレベータ (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
非常用電源 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備系 (重大事故等対応設備)	(1)	○	全装置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
8	5.(3)	共6-5	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(1/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備項目基準</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設備設置箇所</th> <th colspan="8">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th>雷害</th> <th>地震</th> <th>津波</th> <th>風害</th> <th>洪水</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計後(重大事故等の拡大の防止期)</td> <td>(1)</td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(重大事故等の発生防止期)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(機能による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(雷害による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(地震による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(津波による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(風害による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(洪水による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(生物学的事象による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> </tbody> </table>	設備項目基準	重大事故等対応設備	分類	設備設置箇所	自然現象による影響								雷害	地震	津波	風害	洪水	生物学的事象	設計後(重大事故等の拡大の防止期)	(1)			評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(重大事故等の発生防止期)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(機能による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(雷害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(地震による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(津波による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(風害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(洪水による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(生物学的事象による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(1/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備項目基準</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設備設置箇所</th> <th colspan="8">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th>雷害</th> <th>地震</th> <th>津波</th> <th>風害</th> <th>洪水</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計後(重大事故等の拡大の防止期)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(重大事故等の発生防止期)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(機能による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(雷害による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(地震による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(津波による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(風害による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(洪水による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>設計後(生物学的事象による設備の削減)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> </tbody> </table>	設備項目基準	重大事故等対応設備	分類	設備設置箇所	自然現象による影響								雷害	地震	津波	風害	洪水	生物学的事象	設計後(重大事故等の拡大の防止期)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(重大事故等の発生防止期)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(機能による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(雷害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(地震による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(津波による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(風害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(洪水による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	設計後(生物学的事象による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正) (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備項目基準	重大事故等対応設備	分類	設備設置箇所					自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				雷害	地震	津波	風害	洪水	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
設計後(重大事故等の拡大の防止期)	(1)			評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(重大事故等の発生防止期)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(機能による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(雷害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(地震による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(津波による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(風害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(洪水による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(生物学的事象による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設備項目基準	重大事故等対応設備	分類	設備設置箇所	自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				雷害	地震	津波	風害	洪水	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
設計後(重大事故等の拡大の防止期)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(重大事故等の発生防止期)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(機能による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(雷害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(地震による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(津波による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(風害による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(洪水による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
設計後(生物学的事象による設備の削減)				評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗、設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																						
10	5. (3)	共6-6	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名/区分</th> <th rowspan="2">重大事象発生設備</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="4">設備構成要素</th> <th rowspan="2">評価</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>材料</th> <th>構造</th> <th>機器</th> <th>設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">区分6 (屋上・屋外ユニット機器を有する設備)</td> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>可動型空調機(冷熱供給機)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> </tbody> </table>	設備名/区分	重大事象発生設備	名称	設備	設備構成要素				評価	備考	材料	構造	機器	設置	区分6 (屋上・屋外ユニット機器を有する設備)	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	可動型空調機(冷熱供給機)	冷熱供給機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備名/区分</th> <th rowspan="2">重大事象発生設備</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="4">設備構成要素</th> <th rowspan="2">評価</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>材料</th> <th>構造</th> <th>機器</th> <th>設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">区分6 (屋上・屋外ユニット機器を有する設備)</td> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>可動型空調機(冷熱供給機)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> <td>可動型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> <tr> <td>空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)</td> <td>冷熱供給機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> <td>固定型空調機</td> </tr> </tbody> </table>	設備名/区分	重大事象発生設備	名称	設備	設備構成要素				評価	備考	材料	構造	機器	設置	区分6 (屋上・屋外ユニット機器を有する設備)	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	可動型空調機(冷熱供給機)	冷熱供給機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正)</p> <p>(2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備名/区分	重大事象発生設備	名称	設備					設備構成要素						評価	備考																																																																																																																																																																																																																												
				材料	構造	機器	設置																																																																																																																																																																																																																																				
区分6 (屋上・屋外ユニット機器を有する設備)	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	可動型空調機(冷熱供給機)	冷熱供給機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																	
空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
設備名/区分	重大事象発生設備	名称	設備	設備構成要素				評価	備考																																																																																																																																																																																																																																		
				材料	構造	機器	設置																																																																																																																																																																																																																																				
区分6 (屋上・屋外ユニット機器を有する設備)	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	可動型空調機(冷熱供給機)	冷熱供給機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機	可動型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		
	空調機(冷熱供給機) (空調機) (空調機用ユニット) (空調機用ユニット)	冷熱供給機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機	固定型空調機																																																																																																																																																																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗、設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																											
11	5.(3)	共6-6	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備の概要</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">(1)</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設備の設置場所</th> <th colspan="6">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th>雷害</th> <th>地震</th> <th>高気圧</th> <th>低気圧</th> <th>暴風</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">表1-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)</td> <td>代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>可搬型/設置型</td> <td>機体</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> </tbody> </table>	設備の概要	重大事故等対応設備	(1)	分類	設備の設置場所	自然現象による影響						雷害	地震	高気圧	低気圧	暴風	生物学的事象	表1-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	可搬型/設置型	機体	評価	評価	評価	評価	評価	評価	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備の概要</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設備の設置場所</th> <th colspan="6">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th>雷害</th> <th>地震</th> <th>高気圧</th> <th>低気圧</th> <th>暴風</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">表1-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)</td> <td>代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>可搬型/設置型</td> <td>機体</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> <tr> <td>機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)</td> <td>防電機</td> <td>機体内/機外</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> <td>機体内</td> </tr> </tbody> </table>	設備の概要	重大事故等対応設備	分類	設備の設置場所	自然現象による影響						雷害	地震	高気圧	低気圧	暴風	生物学的事象	表1-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	可搬型/設置型	機体	評価	評価	評価	評価	評価	評価	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正) (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備の概要	重大事故等対応設備	(1)	分類						設備の設置場所	自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																						
				雷害	地震	高気圧	低気圧	暴風		生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																						
表1-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	可搬型/設置型	機体	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																						
	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
設備の概要	重大事故等対応設備	分類	設備の設置場所	自然現象による影響																																																																																																																																																																																																																																												
				雷害	地震	高気圧	低気圧	暴風	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																							
表1-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(2/5)(落雷～生物学的事象)	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	可搬型/設置型	機体	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																						
	代用電子が機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						
	機体外部に設置されている機器(防電機ユニット、代用電子ホールド(防電機ユニット)等)	防電機	機体内/機外	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内	機体内																																																																																																																																																																																																																																						

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗、設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
13	5. (3)	共6-7	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(3/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備が対象</th> <th rowspan="2">重大事象等対応設備</th> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">更新・設置箇所</th> <th colspan="10">設備が有する機能</th> </tr> <tr> <th>風(台風)</th> <th>積雪</th> <th>地震</th> <th>火災</th> <th>水害</th> <th>停電</th> <th>通信障害</th> <th>その他</th> <th>評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">図16 (本機機室)による電力供給設備の機能評価(3/5)(風(台風)~積雪)</td> <td>非常停止装置</td> <td>設備</td> <td>本機機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室圧力監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度・湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度・温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度・湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度・温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度・湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度・温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備が対象	重大事象等対応設備	設備	更新・設置箇所	設備が有する機能										風(台風)	積雪	地震	火災	水害	停電	通信障害	その他	評価	備考	図16 (本機機室)による電力供給設備の機能評価(3/5)(風(台風)~積雪)	非常停止装置	設備	本機機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室圧力監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(3/5)(風(台風)~積雪)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備が対象</th> <th rowspan="2">重大事象等対応設備</th> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">更新・設置箇所</th> <th colspan="10">設備が有する機能</th> </tr> <tr> <th>風(台風)</th> <th>積雪</th> <th>地震</th> <th>火災</th> <th>水害</th> <th>停電</th> <th>通信障害</th> <th>その他</th> <th>評価</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">図16 (本機機室)による電力供給設備の機能評価(3/5)(風(台風)~積雪)</td> <td>非常停止装置</td> <td>設備</td> <td>本機機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室圧力監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度・湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度・温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度・湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度・温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室温度・湿度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>機室湿度・温度監視装置</td> <td>設備</td> <td>機室</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設備が対象	重大事象等対応設備	設備	更新・設置箇所	設備が有する機能										風(台風)	積雪	地震	火災	水害	停電	通信障害	その他	評価	備考	図16 (本機機室)による電力供給設備の機能評価(3/5)(風(台風)~積雪)	非常停止装置	設備	本機機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室圧力監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正) (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備が対象	重大事象等対応設備	設備	更新・設置箇所					設備が有する機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				風(台風)	積雪	地震	火災	水害	停電	通信障害	その他	評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
図16 (本機機室)による電力供給設備の機能評価(3/5)(風(台風)~積雪)	非常停止装置	設備	本機機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室圧力監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
設備が対象	重大事象等対応設備	設備	更新・設置箇所	設備が有する機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
				風(台風)	積雪	地震	火災	水害	停電	通信障害	その他	評価	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
図16 (本機機室)による電力供給設備の機能評価(3/5)(風(台風)~積雪)	非常停止装置	設備	本機機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室圧力監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室温度・湿度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	機室湿度・温度監視装置	設備	機室	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
14	5. (3)	共6-7	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(3/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備項目名称</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備 (1)</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">対策・設置場所</th> <th colspan="6">自然現象による事象</th> </tr> <tr> <th>雷害</th> <th>洪水</th> <th>生物学的事象</th> <th>雷害</th> <th>洪水</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">表1-1 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)</td> <td>不燃性ガス</td> <td>防炎対策(防炎剤)</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置の出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">表1-2 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)</td> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> </tbody> </table>	設備項目名称	重大事故等対応設備 (1)	分類	対策・設置場所	自然現象による事象						雷害	洪水	生物学的事象	雷害	洪水	生物学的事象	表1-1 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	不燃性ガス	防炎対策(防炎剤)	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置の出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	表1-2 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(3/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備項目名称</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">対策・設置場所</th> <th colspan="6">自然現象による事象</th> </tr> <tr> <th>雷害</th> <th>洪水</th> <th>生物学的事象</th> <th>雷害</th> <th>洪水</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">表1-1 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)</td> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">表1-2 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)</td> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>燃焼装置出力低下対策</td> <td>→006-01記載</td> <td>不燃</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> </tbody> </table>	設備項目名称	重大事故等対応設備	分類	対策・設置場所	自然現象による事象						雷害	洪水	生物学的事象	雷害	洪水	生物学的事象	表1-1 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	表1-2 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正) (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備項目名称	重大事故等対応設備 (1)	分類	対策・設置場所					自然現象による事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				雷害	洪水	生物学的事象	雷害	洪水	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
表1-1 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	不燃性ガス	防炎対策(防炎剤)	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置の出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
表1-2 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策(燃料ポンプ出力低下対策)	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
設備項目名称	重大事故等対応設備	分類	対策・設置場所	自然現象による事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
				雷害	洪水	生物学的事象	雷害	洪水	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
表1-1 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
表1-2 (本設備等による原子炉建屋等の機能を低下させるための設備)	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	燃焼装置出力低下対策	→006-01記載	不燃	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗、設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																										
15	5. (3)	共6-7	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(3/5)(火災・爆発～電磁的障害)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備項目/基準</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備 (1)</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">検査・設置箇所</th> <th colspan="6">人為事象による影響</th> </tr> <tr> <th>火災・爆発</th> <th>電磁的障害</th> <th>船舶衝突</th> <th>船舶衝突</th> <th>船舶衝突</th> <th>船舶衝突</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">表1-1 (本表欄外)による原子炉核種管理機能を提供するための設備</td> <td>炉心監視システム</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> </tbody> </table>	設備項目/基準	重大事故等対応設備 (1)	分類	検査・設置箇所	人為事象による影響						火災・爆発	電磁的障害	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突	表1-1 (本表欄外)による原子炉核種管理機能を提供するための設備	炉心監視システム	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(3/5)(火災・爆発～電磁的障害)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備項目/基準</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設置箇所</th> <th colspan="6">人為事象による影響</th> </tr> <tr> <th>火災・爆発</th> <th>電磁的障害</th> <th>船舶衝突</th> <th>船舶衝突</th> <th>船舶衝突</th> <th>船舶衝突</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">表1-1 (本表欄外)による原子炉核種管理機能を提供するための設備</td> <td>炉心監視システム</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> <tr> <td>炉心監視システム (炉心監視システム)</td> <td>監視</td> <td>炉心監視室</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> <td>評価</td> </tr> </tbody> </table>	設備項目/基準	重大事故等対応設備	分類	設置箇所	人為事象による影響						火災・爆発	電磁的障害	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突	表1-1 (本表欄外)による原子炉核種管理機能を提供するための設備	炉心監視システム	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正)</p> <p>(2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備項目/基準	重大事故等対応設備 (1)	分類	検査・設置箇所					人為事象による影響																																																																																																																																																																																																																																							
				火災・爆発	電磁的障害	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突																																																																																																																																																																																																																																						
表1-1 (本表欄外)による原子炉核種管理機能を提供するための設備	炉心監視システム	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
設備項目/基準	重大事故等対応設備	分類	設置箇所	人為事象による影響																																																																																																																																																																																																																																											
				火災・爆発	電磁的障害	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突	船舶衝突																																																																																																																																																																																																																																						
表1-1 (本表欄外)による原子炉核種管理機能を提供するための設備	炉心監視システム	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					
	炉心監視システム (炉心監視システム)	監視	炉心監視室	評価	評価	評価	評価	評価	評価	評価																																																																																																																																																																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																						
16	5. (3)	共6-8	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(風(台風)~積雪)</p>		<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(風(台風)~積雪)</p>																																																						
			(2)	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <th rowspan="3">設備仕様書</th> <th rowspan="3">重大事象等対応設備</th> <th rowspan="3">名称</th> <th colspan="3">設備仕様書</th> <th colspan="8">設備機能による影響</th> </tr> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <th>風(台風)</th> <th>地震</th> <th>積雪</th> <th>洪水</th> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備</th> </tr> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> </tr> <!-- Additional rows would follow the same pattern --> </tbody> </table>		設備仕様書	重大事象等対応設備	名称	設備仕様書			設備機能による影響								風(台風)	地震	積雪	洪水	設備		設備		設備		設備		評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1
			設備仕様書	重大事象等対応設備	名称				設備仕様書			設備機能による影響																																															
風(台風)	地震	積雪							洪水	設備		設備		設備		設備																																											
評価	評価方法	評価				評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																													
表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1																																												
<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(風(台風)~積雪)</p>		<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <th rowspan="3">設備仕様書</th> <th rowspan="3">重大事象等対応設備</th> <th rowspan="3">名称</th> <th colspan="3">設備仕様書</th> <th colspan="8">設備機能による影響</th> </tr> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <th>風(台風)</th> <th>地震</th> <th>積雪</th> <th>洪水</th> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備</th> <th colspan="2">設備</th> </tr> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #e6f2ff;"> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> <td>表1-1</td> </tr> <!-- Additional rows would follow the same pattern --> </tbody> </table>		設備仕様書	重大事象等対応設備	名称	設備仕様書			設備機能による影響								風(台風)	地震	積雪	洪水	設備		設備		設備		設備		評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1		
設備仕様書	重大事象等対応設備	名称	設備仕様書				設備機能による影響																																																				
			風(台風)				地震	積雪	洪水	設備		設備		設備		設備																																											
			評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																													
表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1	表1-1																																												

(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正)
 (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗、設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																				
17	5. (3)	共6-8	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備区分</th> <th rowspan="2">重大事象発生設備 (1)</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">検査・設置場所*</th> <th colspan="8">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th colspan="4">落雷</th> <th colspan="4">生物学的事象</th> </tr> <tr> <th>評価</th> <th>対策</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	重大事象発生設備 (1)	分類	検査・設置場所*	自然現象による影響								落雷				生物学的事象				評価	対策	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(落雷～生物学的事象)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備区分</th> <th rowspan="2">重大事象発生設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="8">自然現象による影響</th> </tr> <tr> <th colspan="4">落雷</th> <th colspan="4">生物学的事象</th> </tr> <tr> <th>評価</th> <th>対策</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> <th>評価</th> <th>対策方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> </tr> <tr> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> <td>可</td> <td>設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	重大事象発生設備	分類	設置場所	自然現象による影響								落雷				生物学的事象				評価	対策	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正) (2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備区分	重大事象発生設備 (1)	分類	検査・設置場所*					自然現象による影響																																																																																																	
				落雷				生物学的事象																																																																																																	
評価	対策	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法																																																																																																
可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)																																																																																																
可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)																																																																																																
設備区分	重大事象発生設備	分類	設置場所	自然現象による影響																																																																																																					
				落雷				生物学的事象																																																																																																	
評価	対策	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法	評価	対策方法																																																																																																
可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)																																																																																																
可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)	可	設備取付位置確認 (落下防止・高圧電圧感知)																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正
- ②設計進捗、設備変更による変更・修正
- ③評価進捗による変更・修正
- ④前提条件変更による修正
- ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
18	5. (3)	共6-8	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(火災・爆発～電磁的障害)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置許可番号</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">用途・設置箇所</th> <th colspan="6">人為的起因による影響</th> </tr> <tr> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">(2)</td> <td>家庭用交流電源設備 (第一・第二回路) (火災・爆発)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>家庭用交流電源設備 (モニター回路) (火災・爆発)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>可燃物との距離確保等</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>可燃物との距離確保等</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> </tbody> </table>	設置許可番号	重大事故等対応設備	分類	用途・設置箇所	人為的起因による影響						評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	(2)	家庭用交流電源設備 (第一・第二回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	家庭用交流電源設備 (モニター回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	<p>表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(4/5)(火災・爆発～電磁的障害)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置許可番号</th> <th rowspan="2">重大事故等対応設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">用途・設置箇所</th> <th colspan="6">人為的起因による影響</th> </tr> <tr> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> <th>評価</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">(2)</td> <td>家庭用交流電源設備 (第一・第二回路) (火災・爆発)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>家庭用交流電源設備 (モニター回路) (火災・爆発)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>可燃物との距離確保等</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>可燃物との距離確保等</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> <tr> <td>可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)</td> <td>防火設備・補給設備</td> <td>屋内・外両方</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> <td>評価</td> <td>評価方法</td> </tr> </tbody> </table>	設置許可番号	重大事故等対応設備	分類	用途・設置箇所	人為的起因による影響						評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	(2)	家庭用交流電源設備 (第一・第二回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	家庭用交流電源設備 (モニター回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法	<p>(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正)</p> <p>(2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設置許可番号	重大事故等対応設備	分類	用途・設置箇所					人為的起因による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
				評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(2)	家庭用交流電源設備 (第一・第二回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	家庭用交流電源設備 (モニター回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
設置許可番号	重大事故等対応設備	分類	用途・設置箇所	人為的起因による影響																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
				評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
(2)	家庭用交流電源設備 (第一・第二回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	家庭用交流電源設備 (モニター回路) (火災・爆発)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類)	防火設備・補給設備	可燃物との距離確保等	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	可燃物用交流電源設備 (電線類) (電線類保護設備)	防火設備・補給設備	屋内・外両方	評価	評価方法	評価	評価方法	評価	評価方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	総点検後	総点検前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(5/5)(落雷～生物学的事象)	表1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価(5/5)(落雷～生物学的事象)	<p style="color: red; font-weight: bold;">(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正)</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
20	5.(3)	共6-9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th rowspan="2">設備区分</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">風車等外部事象</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">機能・設置箇所</th> <th colspan="4">自然現象による影響</th> <th rowspan="2">生物学的事象</th> </tr> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th>雷害</th> <th>洪水</th> <th>地震</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">表1後(設備共通)</td> <td rowspan="4">可動型ネットワークシステム</td> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">表1後(緊急時対策)</td> <td rowspan="10">可動型ネットワークシステム</td> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">表1後(設備共通)</td> <td rowspan="5">可動型ネットワークシステム</td> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名称	風車等外部事象	分類	機能・設置箇所	自然現象による影響				生物学的事象	雷害	洪水	地震	生物学的事象	表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	表1後(緊急時対策)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: 8px;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th rowspan="2">設備区分</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th rowspan="2">重大事故等発生設備</th> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">設備設置箇所</th> <th colspan="4">自然現象による影響</th> <th rowspan="2">生物学的事象</th> </tr> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th>雷害</th> <th>洪水</th> <th>地震</th> <th>生物学的事象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">表1後(設備共通)</td> <td rowspan="6">可動型ネットワークシステム</td> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">表1後(緊急時対策)</td> <td rowspan="4">可動型ネットワークシステム</td> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">表1後(設備共通)</td> <td rowspan="3">可動型ネットワークシステム</td> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> <tr> <td>可動型ネットワークシステム</td> <td>防止できない事象</td> <td>可動型制御装置等</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> <td>○</td> <td>影響なし</td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名称	重大事故等発生設備	分類	設備設置箇所	自然現象による影響				生物学的事象	雷害	洪水	地震	生物学的事象	表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	表1後(緊急時対策)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	<p style="color: red; font-weight: bold;">(1)②(43条共1にあわせ重大事故等対処設備を修正)</p> <p style="color: red; font-weight: bold;">(2)③(追加した重大事故等対処設備に対する評価を追記)</p>
設備区分	設備名称	風車等外部事象	分類						機能・設置箇所	自然現象による影響				生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
				雷害	洪水	地震	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表1後(緊急時対策)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
設備区分	設備名称	重大事故等発生設備	分類	設備設置箇所	自然現象による影響				生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					雷害	洪水	地震	生物学的事象																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表1後(緊急時対策)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
表1後(設備共通)	可動型ネットワークシステム	可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		可動型ネットワークシステム	防止できない事象	可動型制御装置等	影響なし	○	影響なし	○	影響なし	○	影響なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
 章/項番号: 43条共7

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																					
1	3.1.1.	共7-6	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故防止設備</th> <th rowspan="2">関連 条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する 設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池による減圧</td> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池</td> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">直流125V蓄電池A, 直 125V蓄電池A-2, 直流 125V蓄電池B (アキュムレータ)</td> </tr> <tr> <td>高圧窒素ガス供給系による作動窒素ガス確保</td> <td>高圧窒素ガスポンプ</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]</td> <td>47</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替原子炉補機冷却系による除熱 *水源は海を使用</td> <td>熱交換器ユニット</td> <td rowspan="2">48</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>大容量送水車(熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>速隔空気駆動弁換作用ポンプ</td> <td rowspan="2">49</td> <td rowspan="2">残留熱除去系(格納容器 スプレイ冷却モード)、 原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>速隔空気駆動弁換作用ポンプ</td> <td>50</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-1級)</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等時における使用済燃料プールの除熱</td> <td>熱交換器ユニット</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr> <td>大容量送水車(熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設	系統機能	主要設備	逃がし安全弁用可搬型蓄電池による減圧	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	46	直流125V蓄電池A, 直 125V蓄電池A-2, 直流 125V蓄電池B (アキュムレータ)	高圧窒素ガス供給系による作動窒素ガス確保	高圧窒素ガスポンプ	低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)	代替原子炉補機冷却系による除熱 *水源は海を使用	熱交換器ユニット	48	原子炉補機冷却系	大容量送水車(熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	速隔空気駆動弁換作用ポンプ	49	残留熱除去系(格納容器 スプレイ冷却モード)、 原子炉補機冷却系	代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器内の冷却	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]	格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	速隔空気駆動弁換作用ポンプ	50	-	燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]	燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]	重大事故等時における使用済燃料プールの除熱	熱交換器ユニット	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系	大容量送水車(熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故防止設備</th> <th rowspan="2">関連 条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する 設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復(可搬型直或電源供給)</td> <td>逃がし安全弁用可搬型蓄電池</td> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">直流125V蓄電池A, 直 125V蓄電池A-2, 直流 125V蓄電池B (アキュムレータ)</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復(代替電源供給)</td> <td>高圧窒素ガスポンプ</td> </tr> <tr> <td>低圧代替注水系(可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]</td> <td>47</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系 *水源は海水を使用</td> <td>熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]</td> <td>48</td> <td>原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>代替補機冷却系</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> <td>50</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系(可搬型)</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr> <td>可搬型スプレイヘッド</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水の移送手段</td> <td>可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]</td> <td rowspan="4">56</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr> <td>洪水貯水池から防火水槽への移送ホース</td> </tr> <tr> <td>海水取水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>海水ホース[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">可搬型代替交流電源設備</td> <td>電源車</td> <td>48, 56, 57, 61</td> <td rowspan="3">非常用ディーゼル発電機</td> </tr> <tr> <td>移動式変圧器</td> <td>48, 56, 54, 57</td> </tr> <tr> <td>可搬型直或電源設備</td> <td>可搬型代替交流電源設備(電源車)</td> <td>45, 46, 54, 57</td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通電気設備</td> <td>号炉間電力融通ケーブル</td> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">非常用所内電源設備 (輪流タンク) (燃料移送ポンプ)</td> </tr> <tr> <td>燃料設備</td> <td>タンクローリー(4tL) タンクローリー(16tL)</td> </tr> <tr> <td>居住性の確保</td> <td>中央制御室可搬型換気空調機 フィルタユニット 中央制御室可搬型換気空調機 ブロワユニット</td> <td>59</td> <td>中央制御室換気空調系</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設	系統機能	主要設備	逃がし安全弁機能回復(可搬型直或電源供給)	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	46	直流125V蓄電池A, 直 125V蓄電池A-2, 直流 125V蓄電池B (アキュムレータ)	逃がし安全弁機能回復(代替電源供給)	高圧窒素ガスポンプ	低圧代替注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)	代替原子炉補機冷却系 *水源は海水を使用	熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]	48	原子炉補機冷却系	代替補機冷却系	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	50	-	燃料プール代替注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系	可搬型スプレイヘッド	水の移送手段	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]	56	-	洪水貯水池から防火水槽への移送ホース	海水取水ポンプ	海水ホース[流路]	可搬型代替交流電源設備	電源車	48, 56, 57, 61	非常用ディーゼル発電機	移動式変圧器	48, 56, 54, 57	可搬型直或電源設備	可搬型代替交流電源設備(電源車)	45, 46, 54, 57	号炉間電力融通電気設備	号炉間電力融通ケーブル	57	非常用所内電源設備 (輪流タンク) (燃料移送ポンプ)	燃料設備	タンクローリー(4tL) タンクローリー(16tL)	居住性の確保	中央制御室可搬型換気空調機 フィルタユニット 中央制御室可搬型換気空調機 ブロワユニット	59	中央制御室換気空調系	②(SA設備の見直しに伴う変更)
可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設																																																																																																							
系統機能	主要設備																																																																																																									
逃がし安全弁用可搬型蓄電池による減圧	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	46	直流125V蓄電池A, 直 125V蓄電池A-2, 直流 125V蓄電池B (アキュムレータ)																																																																																																							
高圧窒素ガス供給系による作動窒素ガス確保	高圧窒素ガスポンプ																																																																																																									
低圧代替注水系(可搬型)による原子炉の冷却	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)																																																																																																							
代替原子炉補機冷却系による除熱 *水源は海を使用	熱交換器ユニット	48	原子炉補機冷却系																																																																																																							
	大容量送水車(熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]																																																																																																									
耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	速隔空気駆動弁換作用ポンプ	49	残留熱除去系(格納容器 スプレイ冷却モード)、 原子炉補機冷却系																																																																																																							
代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による原子炉格納容器内の冷却	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]																																																																																																									
格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	速隔空気駆動弁換作用ポンプ	50	-																																																																																																							
燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系																																																																																																							
	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]																																																																																																									
燃料プール代替注水系(可搬型)による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系																																																																																																							
	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース・接続口[流路]																																																																																																									
重大事故等時における使用済燃料プールの除熱	熱交換器ユニット	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系																																																																																																							
	大容量送水車(熱交換器ユニット用) 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]																																																																																																									
可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設																																																																																																							
系統機能	主要設備																																																																																																									
逃がし安全弁機能回復(可搬型直或電源供給)	逃がし安全弁用可搬型蓄電池	46	直流125V蓄電池A, 直 125V蓄電池A-2, 直流 125V蓄電池B (アキュムレータ)																																																																																																							
逃がし安全弁機能回復(代替電源供給)	高圧窒素ガスポンプ																																																																																																									
低圧代替注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)																																																																																																							
代替原子炉補機冷却系 *水源は海水を使用	熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ポンプ 代替原子炉補機冷却海水ストレーナ ホース[流路]	48	原子炉補機冷却系																																																																																																							
代替補機冷却系	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	50	-																																																																																																							
燃料プール代替注水系(可搬型)	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]	54	残留熱除去系(燃料プール 水の冷却及び供給) 燃料プール冷却浄化系																																																																																																							
	可搬型スプレイヘッド																																																																																																									
水の移送手段	可搬型代替注水ポンプ(A-2級) ホース[流路]	56	-																																																																																																							
	洪水貯水池から防火水槽への移送ホース																																																																																																									
	海水取水ポンプ																																																																																																									
	海水ホース[流路]																																																																																																									
可搬型代替交流電源設備	電源車	48, 56, 57, 61	非常用ディーゼル発電機																																																																																																							
	移動式変圧器	48, 56, 54, 57																																																																																																								
	可搬型直或電源設備	可搬型代替交流電源設備(電源車)		45, 46, 54, 57																																																																																																						
号炉間電力融通電気設備	号炉間電力融通ケーブル	57	非常用所内電源設備 (輪流タンク) (燃料移送ポンプ)																																																																																																							
燃料設備	タンクローリー(4tL) タンクローリー(16tL)																																																																																																									
居住性の確保	中央制御室可搬型換気空調機 フィルタユニット 中央制御室可搬型換気空調機 ブロワユニット	59	中央制御室換気空調系																																																																																																							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																								
2	3.1.1.	共7-7	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故防止設備</th> <th rowspan="2">関連 条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する 設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">水の供給</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2線)</td> <td rowspan="3">56</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口〔流路〕</td> </tr> <tr> <td>大容量送水車 (揚水取水用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">常設代替交流電源設備 による給電</td> <td>ホース〔流路〕</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ (4kL)</td> </tr> <tr> <td>ホース〔燃料流路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">可搬型代替交流電源設備 による給電</td> <td>電源車</td> <td rowspan="5">非常用交流電源設備</td> <td rowspan="5">-</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ (4kL)</td> </tr> <tr> <td>ホース〔燃料流路〕</td> </tr> <tr> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置 〔電路〕</td> </tr> <tr> <td>電源車～動力変圧器C系電路〔電路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">可搬型代替交流電源設備 による代替原子炉補機 冷却系への給電</td> <td>電源車</td> <td rowspan="5">57</td> <td rowspan="5">非常用所内電気設備</td> </tr> <tr> <td>電源車～代替原子炉補機冷却系電路 〔電路〕</td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル (可搬型)</td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル (可搬型)～ 緊急用電源切替箱接続装置〔電路〕</td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル (可搬型)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">可搬型直流電源設備 による給電</td> <td>電源車</td> <td rowspan="5">非常用直流電源設備</td> <td rowspan="5">-</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ (4kL)</td> </tr> <tr> <td>ホース〔燃料流路〕</td> </tr> <tr> <td>電源車～緊急用電源切替箱接続装置 電路〔電路〕</td> </tr> <tr> <td>電源車～AM用動力変圧器電路〔電路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料補給設備</td> <td>タンクローリ (4kL)</td> <td rowspan="2">(軽油タンク)</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>ホース〔燃料流路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>電源車電圧</td> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>電源車周波数</td> </tr> <tr> <td>居住性の確保</td> <td>中央制御室可搬型隔圧化空調機 中央制御室可搬型隔圧化 空調機機用仮設ダクト〔流路〕</td> <td>59</td> <td>中央制御室機気空調系</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設	系統機能	主要設備	水の供給	可搬型代替注水ポンプ (A-2線)	56	-	ホース・接続口〔流路〕	大容量送水車 (揚水取水用)	常設代替交流電源設備 による給電	ホース〔流路〕	-	-	タンクローリ (4kL)	ホース〔燃料流路〕	可搬型代替交流電源設備 による給電	電源車	非常用交流電源設備	-	タンクローリ (4kL)	ホース〔燃料流路〕	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 〔電路〕	電源車～動力変圧器C系電路〔電路〕	可搬型代替交流電源設備 による代替原子炉補機 冷却系への給電	電源車	57	非常用所内電気設備	電源車～代替原子炉補機冷却系電路 〔電路〕	号炉間電力融通ケーブル (可搬型)	号炉間電力融通ケーブル (可搬型)～ 緊急用電源切替箱接続装置〔電路〕	号炉間電力融通ケーブル (可搬型)	可搬型直流電源設備 による給電	電源車	非常用直流電源設備	-	タンクローリ (4kL)	ホース〔燃料流路〕	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 電路〔電路〕	電源車～AM用動力変圧器電路〔電路〕	燃料補給設備	タンクローリ (4kL)	(軽油タンク)	-	ホース〔燃料流路〕	その他	電源車電圧	58	-	電源車周波数	居住性の確保	中央制御室可搬型隔圧化空調機 中央制御室可搬型隔圧化 空調機機用仮設ダクト〔流路〕	59	中央制御室機気空調系	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故防止設備</th> <th rowspan="2">関連 条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する 設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (対策本部)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型隔圧化空調機</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対 策本部) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型隔圧化空調機</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待 機場所) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通信連絡 (5号炉原子炉建屋 内緊急時対策所)</td> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">送受話器, 電力保安通信用電話設備 -</td> </tr> <tr> <td>携帯型音声呼出電話設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源の確保 (5号炉原子炉建 屋内緊急時対策所)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用 可搬型電源設備</td> <td rowspan="3">62</td> <td rowspan="3">非常用所内電気設備 -</td> </tr> <tr> <td>可搬ケーブル</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ (4kL)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発電所内の通信連絡</td> <td>携帯型音声呼出電話設備</td> <td rowspan="2">62</td> <td rowspan="2">送受話器, 電力保安通信用電話設備 -</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設	系統機能	主要設備	居住性の確保 (対策本部)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型隔圧化空調機	61	-	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対 策本部) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕	居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型隔圧化空調機	61	-	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待 機場所) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕	通信連絡 (5号炉原子炉建屋 内緊急時対策所)	無線連絡設備 (可搬型)	61	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -	携帯型音声呼出電話設備	電源の確保 (5号炉原子炉建 屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用 可搬型電源設備	62	非常用所内電気設備 -	可搬ケーブル	タンクローリ (4kL)	発電所内の通信連絡	携帯型音声呼出電話設備	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -	無線連絡設備 (可搬型)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設																																																																																										
系統機能	主要設備																																																																																												
水の供給	可搬型代替注水ポンプ (A-2線)	56	-																																																																																										
	ホース・接続口〔流路〕																																																																																												
	大容量送水車 (揚水取水用)																																																																																												
常設代替交流電源設備 による給電	ホース〔流路〕	-	-																																																																																										
	タンクローリ (4kL)																																																																																												
	ホース〔燃料流路〕																																																																																												
可搬型代替交流電源設備 による給電	電源車	非常用交流電源設備	-																																																																																										
	タンクローリ (4kL)																																																																																												
	ホース〔燃料流路〕																																																																																												
	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 〔電路〕																																																																																												
	電源車～動力変圧器C系電路〔電路〕																																																																																												
可搬型代替交流電源設備 による代替原子炉補機 冷却系への給電	電源車	57	非常用所内電気設備																																																																																										
	電源車～代替原子炉補機冷却系電路 〔電路〕																																																																																												
	号炉間電力融通ケーブル (可搬型)																																																																																												
	号炉間電力融通ケーブル (可搬型)～ 緊急用電源切替箱接続装置〔電路〕																																																																																												
	号炉間電力融通ケーブル (可搬型)																																																																																												
可搬型直流電源設備 による給電	電源車	非常用直流電源設備	-																																																																																										
	タンクローリ (4kL)																																																																																												
	ホース〔燃料流路〕																																																																																												
	電源車～緊急用電源切替箱接続装置 電路〔電路〕																																																																																												
	電源車～AM用動力変圧器電路〔電路〕																																																																																												
燃料補給設備	タンクローリ (4kL)	(軽油タンク)	-																																																																																										
	ホース〔燃料流路〕																																																																																												
その他	電源車電圧	58	-																																																																																										
	電源車周波数																																																																																												
居住性の確保	中央制御室可搬型隔圧化空調機 中央制御室可搬型隔圧化 空調機機用仮設ダクト〔流路〕	59	中央制御室機気空調系																																																																																										
可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設																																																																																										
系統機能	主要設備																																																																																												
居住性の確保 (対策本部)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型隔圧化空調機	61	-																																																																																										
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対 策本部) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕																																																																																												
居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型隔圧化空調機	61	-																																																																																										
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待 機場所) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕																																																																																												
通信連絡 (5号炉原子炉建屋 内緊急時対策所)	無線連絡設備 (可搬型)	61	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -																																																																																										
	携帯型音声呼出電話設備																																																																																												
電源の確保 (5号炉原子炉建 屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用 可搬型電源設備	62	非常用所内電気設備 -																																																																																										
	可搬ケーブル																																																																																												
	タンクローリ (4kL)																																																																																												
発電所内の通信連絡	携帯型音声呼出電話設備	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -																																																																																										
	無線連絡設備 (可搬型)																																																																																												
3	3.1.1.	共7-8	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故防止設備</th> <th rowspan="2">関連 条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する 設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (対策本部)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型隔圧化空調機</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対 策本部) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型隔圧化空調機</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待 機場所) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">通信連絡 (5号炉原子炉建屋 内緊急時対策所)</td> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">送受話器, 電力保安通信用電話設備 -</td> </tr> <tr> <td>携帯型音声呼出電話設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源の確保 (5号炉原子炉建 屋内緊急時対策所)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用 可搬型電源設備</td> <td rowspan="3">62</td> <td rowspan="3">非常用所内電気設備 -</td> </tr> <tr> <td>可搬ケーブル</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ (4kL)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">発電所内の通信連絡</td> <td>携帯型音声呼出電話設備</td> <td rowspan="2">62</td> <td rowspan="2">送受話器, 電力保安通信用電話設備 -</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (可搬型)</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設	系統機能	主要設備	居住性の確保 (対策本部)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型隔圧化空調機	61	-	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対 策本部) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕	居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型隔圧化空調機	61	-	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待 機場所) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕	通信連絡 (5号炉原子炉建屋 内緊急時対策所)	無線連絡設備 (可搬型)	61	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -	携帯型音声呼出電話設備	電源の確保 (5号炉原子炉建 屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用 可搬型電源設備	62	非常用所内電気設備 -	可搬ケーブル	タンクローリ (4kL)	発電所内の通信連絡	携帯型音声呼出電話設備	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -	無線連絡設備 (可搬型)	該当無し	②(SA設備の見直しに伴う変更)																																																								
可搬型重大事故防止設備		関連 条文	代替する機能を有する 設計基準対象施設																																																																																										
系統機能	主要設備																																																																																												
居住性の確保 (対策本部)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型隔圧化空調機	61	-																																																																																										
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対 策本部) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕																																																																																												
居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 可搬型隔圧化空調機	61	-																																																																																										
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(待 機場所) 可搬型隔圧化空調機用仮設 ダクト〔流路〕																																																																																												
通信連絡 (5号炉原子炉建屋 内緊急時対策所)	無線連絡設備 (可搬型)	61	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -																																																																																										
	携帯型音声呼出電話設備																																																																																												
電源の確保 (5号炉原子炉建 屋内緊急時対策所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所用 可搬型電源設備	62	非常用所内電気設備 -																																																																																										
	可搬ケーブル																																																																																												
	タンクローリ (4kL)																																																																																												
発電所内の通信連絡	携帯型音声呼出電話設備	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 -																																																																																										
	無線連絡設備 (可搬型)																																																																																												
4	3.1.1.	共7-9	可搬ケーブル, タンクローリ, ホース〔燃料流路〕, 号炉間電力融通ケーブル (可搬型)は,	タンクローリ, 号炉間電力融通ケーブルは,	②(SA設備の見直しに伴う変更)																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト



【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
5		共7-9	遠隔空気駆動弁操作ポンペについては、不燃性材料で構成され過圧防止の安全弁を設ける等、火災により影響を受けることは考えにくく、また代替する機能を有する設計基準対象施設である残留熱除去系(原子炉建屋原子炉区域内)、原子炉補機冷却系(タービン建屋)とは別の原子炉建屋原子炉区域外に分散配置する設計とする。すなわち、2.2.(1)①並びに②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。	記載なし	②(SA設備の見直しに伴う変更)
6	3.1.1.	共7-9	したがって、高圧窒素ガスポンペと圧縮空気供給機能(駆動用窒素源)は分散配置されており、火災により同時に機能喪失することはない。また、逃がし安全弁用可搬型蓄電池が代替する機能を有する設計基準対象施設である直流125V蓄電池A.A-2.Bはコントロール建屋(6号炉及び7号炉)に設置されている。したがって、火災によって逃がし安全弁用可搬型蓄電池と直流125V蓄電池A.A-2.Bが同時に機能喪失することはない。また、消火設備についてもそれぞれ分散して設置している。すなわち、2.2.(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(第1図)	したがって、火災によって高圧窒素ガスポンペと圧縮空気供給機能(駆動用窒素源)が同時に機能喪失することはない。また、逃がし安全弁用可搬型蓄電池が代替する機能を有する設計基準対象施設である蓄電池A.A-2.Bはコントロール建屋に設置されている。したがって、火災によって逃がし安全弁用可搬型蓄電池と電池A.A-2.Bが同時に機能喪失することはない。また、消火設備についてもそれぞれ分散して設置している。すなわち、2.2.(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(図1)	⑤
7	3.1.1.	共7-10	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の可搬型陽圧化空調機(対策本部、待機場所)及び可搬型陽圧化空調機用仮設ダクトについては、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部、待機場所)が6号及び7号炉の原子炉建屋・コントロール建屋等と位置的に分散して設置されていることから、当該空調機の単一の火災によっても6号及び7号炉の原子炉及び使用済燃料プールに影響を及ぼすおそれはない。なお、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の可搬型陽圧化空調機(対策本部、待機場所)及び可搬型陽圧化空調機用仮設ダクトは単一の火災に対して予備機を分散配備することから、火災によって5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部、待機場所)の居住性を確保する機能が喪失することはない。また、消火設備についてもそれぞれ分散して設置している。すなわち、2.2.(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(第3図)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の可搬型陽圧化空調機(対策本部、待機場所)及び可搬型外気取入送風機(対策本部)については、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部、待機場所)が6号及び7号炉の原子炉建屋・コントロール建屋等と位置的に分散して設置されていることから、当該空調機の単一の火災によっても6号及び7号炉の原子炉及び使用済燃料プールに影響を及ぼすおそれはない。なお、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の可搬型陽圧化空調機(対策本部、待機場所)及び可搬型外気取入送風機(対策本部)の単一の火災に対して予備機を分散配備することから、火災によって5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部、待機場所)の居住性を確保する機能が喪失することはない。また、消火設備についてもそれぞれ分散して設置している。すなわち、2.2.(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(図3)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
8	3.1.1.	共7-10	携帯型音声呼出電話設備は6号及び7号炉の中央制御室と5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に設置しているが、当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設である送受話器、電力保安通信用電話設備は廃棄物処理建屋・コントロール建屋に設置しており、位置的分散が図られていることから、火災によって発電所内の通信連絡機能が喪失することはない。また、無線連絡設備(可搬型)については、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所に設置されているが、当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設である送受話器(ページング)、電力保安通信用電話設備は廃棄物処理建屋・コントロール建屋に設置しており、位置的分散が図られていることから、火災によって発電所内の通信連絡機能が喪失することはない。また、消火設備についてもそれぞれ分散して設置している。すなわち、2.2.(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(第4図)	携帯型音声呼出電話設備は中央制御室内に設置しているが、当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設である送受話器(ページング)、電力保安通信用電話設備は廃棄物処理建屋・コントロール建屋に設置しており、位置的分散が図られていることから、火災によって発電所内の通信連絡機能が喪失することはない。また、無線連絡設備(可搬型)については、中央制御室と緊急時対策所にそれぞれ設置されているが、当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設である送受話器(ページング)、電力保安通信用電話設備は廃棄物処理建屋・コントロール建屋に設置しており、位置的分散が図られていることから、火災によって発電所内の通信連絡機能が喪失することはない。また、消火設備についてもそれぞれ分散して設置している。すなわち、2.2.(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(図4)	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

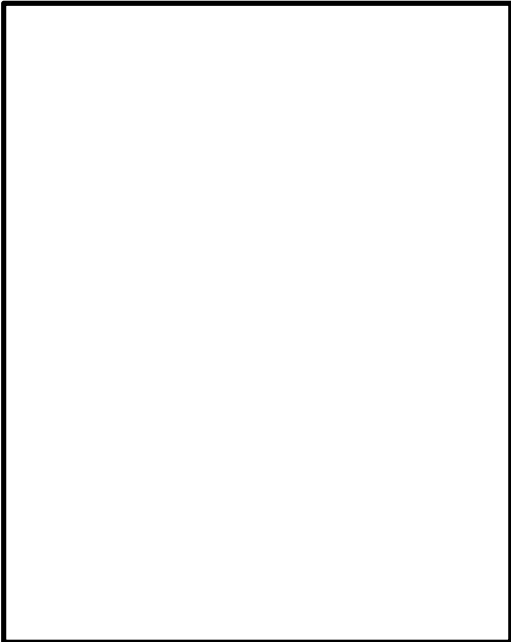
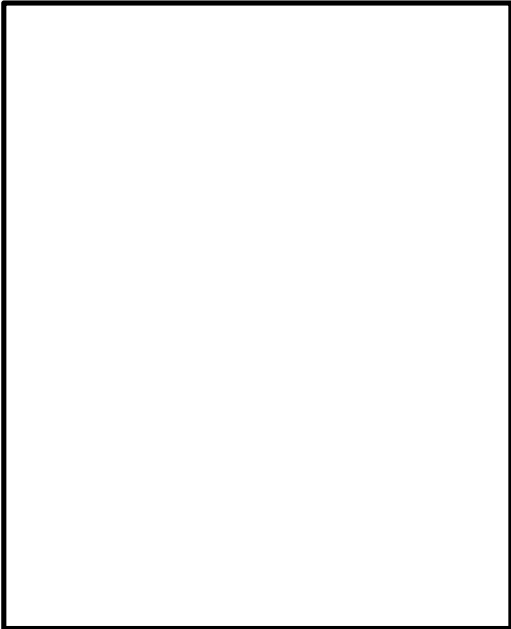
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
9	3.1.1.	共7-14	 <p>第2図: 中央制御室可搬型陽圧化空調機と中央制御室換気空調系の配置</p>	 <p>図2: 中央制御室可搬型空調機と中央制御室換気空調系の配置</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
10	3.1.1.	共7-16	 <p>第4-1図:通信連絡設備の配置</p>	 <p>図5-1:通信連絡設備の配置</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

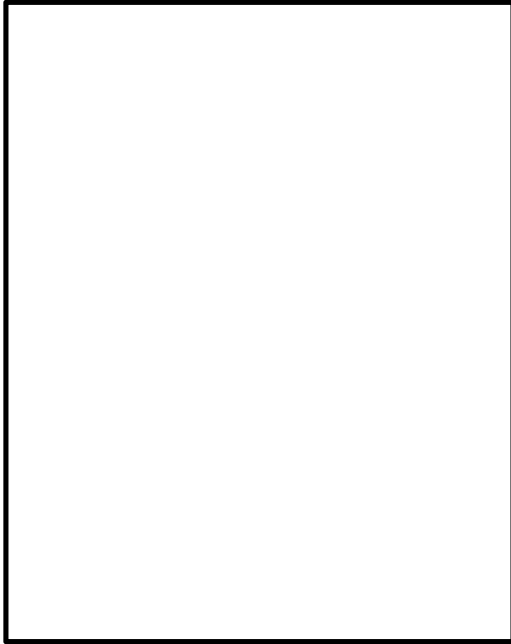
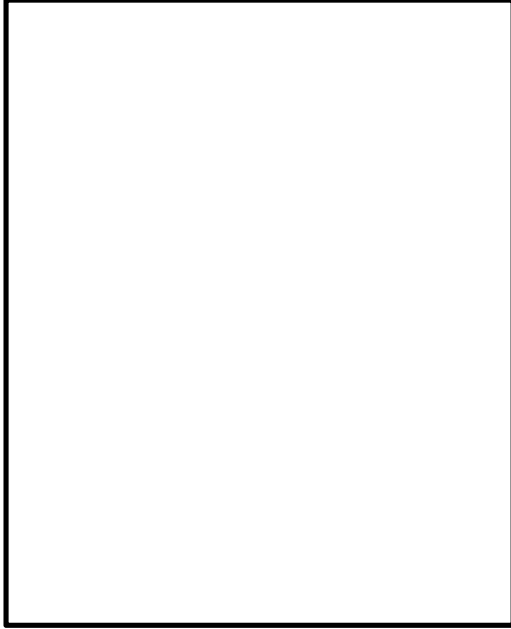
No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
11	3.1.1.	共7-17			⑤(62条資料と記載合わせ)

図5-2:通信連絡設備の配置

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																														
12	3.1.2.	共7-18	<p>第2表：常設重大事故防止設備（1 / 14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>関連条文</th> <th>代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)</td> <td rowspan="4">44</td> <td rowspan="4">原子炉緊急停止系</td> </tr> <tr> <td>制御棒</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動機構 (水圧駆動)</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動系 水圧制御ユニット</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)</td> <td rowspan="2">44</td> <td rowspan="2">原子炉緊急停止系</td> </tr> <tr> <td>制御棒駆動系 配管 [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ほう酸水注入</td> <td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td> <td rowspan="3">44</td> <td rowspan="3">原子炉緊急停止系</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">出力急上昇の防止</td> <td>自動減圧系の起動阻止スイッチ</td> <td rowspan="2">44</td> <td rowspan="2">自動減圧系</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系ポンプ</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">高圧代替注水系による原子炉の冷却</td> <td>高圧代替注水系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="9">45</td> <td rowspan="9">高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系 (注水系) 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁 (7号炉のみ) [流路]</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパージャ [流路]</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器 [注水先]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高圧炉心注水系による原子炉の冷却</td> <td>高圧炉心注水系ポンプ※</td> <td rowspan="3">45</td> <td rowspan="3">(高圧炉心注水系), 原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管 [流路] ※</td> </tr> </tbody> </table>	系統機能	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	44	原子炉緊急停止系	制御棒	制御棒駆動機構 (水圧駆動)	制御棒駆動系 水圧制御ユニット	原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	44	原子炉緊急停止系	制御棒駆動系 配管 [流路]	ほう酸水注入	ほう酸水注入系貯蔵タンク	44	原子炉緊急停止系	ほう酸水注入系ポンプ	ほう酸水注入系 配管・弁 [流路]	出力急上昇の防止	自動減圧系の起動阻止スイッチ	44	自動減圧系	高圧代替注水系ポンプ	高圧代替注水系による原子炉の冷却	高圧代替注水系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]	45	高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系	主蒸気系 配管・弁 [流路]	原子炉隔離時冷却系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]	高圧代替注水系 (注水系) 配管・弁 [流路]	復水補給水系 配管・弁 [流路]	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]	残留熱除去系 配管・弁 (7号炉のみ) [流路]	給水系 配管・弁・スパージャ [流路]	原子炉圧力容器 [注水先]	高圧炉心注水系による原子炉の冷却	高圧炉心注水系ポンプ※	45	(高圧炉心注水系), 原子炉隔離時冷却系	高圧炉心注水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※	復水補給水系 配管 [流路] ※	<p>表2: 常設重大事故防止設備(1/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> <th>関連条文</th> <th>代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替制御棒挿入機能</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)</td> <td>44</td> <td>原子炉緊急停止系</td> </tr> <tr> <td>代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能</td> <td>ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)</td> <td>44</td> <td>原子炉緊急停止系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ほう酸水注入系</td> <td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td> <td>44, 45, 51, 56</td> <td rowspan="2">原子炉緊急停止系, 制御棒, 制御棒駆動系水圧制御ユニット</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系ポンプ</td> <td>44, 45, 51</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高圧代替注水系</td> <td>高圧代替注水系ポンプ</td> <td rowspan="3">45</td> <td rowspan="3">高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系 (蒸気系)・主蒸気系・原子炉隔離時冷却系 配管・弁</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系 (注水系)・復水補給水系・高圧炉心注水系 (7号炉は残留熱除去系を含む) 給水系 配管・弁・スパージャ [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉隔離時冷却系</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ※</td> <td rowspan="2">45</td> <td rowspan="2">(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系 (蒸気系)・主蒸気系 配管・弁※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高圧炉心注水系</td> <td>原子炉隔離時冷却系 (注水系)・復水補給水系・高圧炉心注水系・給水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※</td> <td rowspan="2">45</td> <td rowspan="2">(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系ポンプ※</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">逃がし安全弁</td> <td>高圧炉心注水系・復水補給水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※</td> <td rowspan="3">46</td> <td rowspan="3">(高圧炉心注水系) 原子炉隔離時冷却系</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁 [操作対象弁]</td> </tr> <tr> <td>逃がし弁機能用アキュムレータ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替自動減圧機能 ※自動減圧機能付き逃がし安全弁のみ</td> <td>自動減圧機能用アキュムレータ [蒸気配管・クエンチャ [流路]</td> <td rowspan="2">46</td> <td rowspan="2">逃がし安全弁 (アキュムレータ) 逃がし安全弁併設管</td> </tr> <tr> <td>代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>自動減圧系の起動阻止スイッチ</td> <td></td> <td>自動減圧系</td> </tr> </tbody> </table>	系統機能	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	代替制御棒挿入機能	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	44	原子炉緊急停止系	代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	44	原子炉緊急停止系	ほう酸水注入系	ほう酸水注入系貯蔵タンク	44, 45, 51, 56	原子炉緊急停止系, 制御棒, 制御棒駆動系水圧制御ユニット	ほう酸水注入系ポンプ	44, 45, 51	高圧代替注水系	高圧代替注水系ポンプ	45	高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系	高圧代替注水系 (蒸気系)・主蒸気系・原子炉隔離時冷却系 配管・弁	高圧代替注水系 (注水系)・復水補給水系・高圧炉心注水系 (7号炉は残留熱除去系を含む) 給水系 配管・弁・スパージャ [流路]	原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ※	45	(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系	原子炉隔離時冷却系 (蒸気系)・主蒸気系 配管・弁※	高圧炉心注水系	原子炉隔離時冷却系 (注水系)・復水補給水系・高圧炉心注水系・給水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※	45	(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系	高圧炉心注水系ポンプ※	逃がし安全弁	高圧炉心注水系・復水補給水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※	46	(高圧炉心注水系) 原子炉隔離時冷却系	逃がし安全弁 [操作対象弁]	逃がし弁機能用アキュムレータ	代替自動減圧機能 ※自動減圧機能付き逃がし安全弁のみ	自動減圧機能用アキュムレータ [蒸気配管・クエンチャ [流路]	46	逃がし安全弁 (アキュムレータ) 逃がし安全弁併設管	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)		自動減圧系の起動阻止スイッチ		自動減圧系	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			系統機能	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																													
代替制御棒挿入機能による制御棒緊急挿入	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	44	原子炉緊急停止系																																																																																																
	制御棒																																																																																																		
	制御棒駆動機構 (水圧駆動)																																																																																																		
	制御棒駆動系 水圧制御ユニット																																																																																																		
原子炉冷却材再循環ポンプ停止による原子炉出力抑制	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	44	原子炉緊急停止系																																																																																																
	制御棒駆動系 配管 [流路]																																																																																																		
ほう酸水注入	ほう酸水注入系貯蔵タンク	44	原子炉緊急停止系																																																																																																
	ほう酸水注入系ポンプ																																																																																																		
	ほう酸水注入系 配管・弁 [流路]																																																																																																		
出力急上昇の防止	自動減圧系の起動阻止スイッチ	44	自動減圧系																																																																																																
	高圧代替注水系ポンプ																																																																																																		
高圧代替注水系による原子炉の冷却	高圧代替注水系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]	45	高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系																																																																																																
	主蒸気系 配管・弁 [流路]																																																																																																		
	原子炉隔離時冷却系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]																																																																																																		
	高圧代替注水系 (注水系) 配管・弁 [流路]																																																																																																		
	復水補給水系 配管・弁 [流路]																																																																																																		
	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]																																																																																																		
	残留熱除去系 配管・弁 (7号炉のみ) [流路]																																																																																																		
	給水系 配管・弁・スパージャ [流路]																																																																																																		
	原子炉圧力容器 [注水先]																																																																																																		
高圧炉心注水系による原子炉の冷却	高圧炉心注水系ポンプ※	45	(高圧炉心注水系), 原子炉隔離時冷却系																																																																																																
	高圧炉心注水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※																																																																																																		
	復水補給水系 配管 [流路] ※																																																																																																		
系統機能	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																
代替制御棒挿入機能	ATWS 緩和設備 (代替制御棒挿入機能)	44	原子炉緊急停止系																																																																																																
代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能	ATWS 緩和設備 (代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能)	44	原子炉緊急停止系																																																																																																
ほう酸水注入系	ほう酸水注入系貯蔵タンク	44, 45, 51, 56	原子炉緊急停止系, 制御棒, 制御棒駆動系水圧制御ユニット																																																																																																
	ほう酸水注入系ポンプ	44, 45, 51																																																																																																	
高圧代替注水系	高圧代替注水系ポンプ	45	高圧炉心注水系, 原子炉隔離時冷却系																																																																																																
	高圧代替注水系 (蒸気系)・主蒸気系・原子炉隔離時冷却系 配管・弁																																																																																																		
	高圧代替注水系 (注水系)・復水補給水系・高圧炉心注水系 (7号炉は残留熱除去系を含む) 給水系 配管・弁・スパージャ [流路]																																																																																																		
原子炉隔離時冷却系	原子炉隔離時冷却系ポンプ※	45	(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系																																																																																																
	原子炉隔離時冷却系 (蒸気系)・主蒸気系 配管・弁※																																																																																																		
高圧炉心注水系	原子炉隔離時冷却系 (注水系)・復水補給水系・高圧炉心注水系・給水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※	45	(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系																																																																																																
	高圧炉心注水系ポンプ※																																																																																																		
逃がし安全弁	高圧炉心注水系・復水補給水系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※	46	(高圧炉心注水系) 原子炉隔離時冷却系																																																																																																
	逃がし安全弁 [操作対象弁]																																																																																																		
	逃がし弁機能用アキュムレータ																																																																																																		
代替自動減圧機能 ※自動減圧機能付き逃がし安全弁のみ	自動減圧機能用アキュムレータ [蒸気配管・クエンチャ [流路]	46	逃がし安全弁 (アキュムレータ) 逃がし安全弁併設管																																																																																																
	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能)																																																																																																		
	自動減圧系の起動阻止スイッチ		自動減圧系																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																						
13	3.1.2.	共7-19	<p>第2表：常設重大事故防止設備（2 / 14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却</td> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ※</td> <td rowspan="7">45</td> <td rowspan="7">(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]※</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系 配管・弁 [流路]※</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系 (注水系) 配管・弁・ストレーナ [流路]※</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]※</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系 配管・弁 [流路] ※</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパーージャ [流路] ※</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">逃がし安全弁</td> <td>逃がし安全弁 [操作対象弁]</td> <td rowspan="4">46</td> <td>(逃がし安全弁)</td> </tr> <tr> <td>逃がし弁機能用アキュムレータ</td> <td>(アキュムレータ)</td> </tr> <tr> <td>自動減圧機能用アキュムレータ</td> <td>(逃がし安全弁排気管)</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管・クエンチャ [流路]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉減圧の自動化 *自動減圧機能付き逃がし安全弁のみ</td> <td>代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) 自動減圧系の起動阻止スイッチ</td> <td></td> <td>自動減圧系</td> </tr> <tr> <td>可搬型直流電源設備による減圧</td> <td>AM用切替装置 (SRV)</td> <td></td> <td>直流 125V 蓄電池 A, 直 125V 蓄電池 A-2, 直 125V 蓄電池 B</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">高圧室素ガス供給系による作動室素ガス確保</td> <td>高圧室素ガス供給系 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="3">46</td> <td rowspan="3">(アキュムレータ)</td> </tr> <tr> <td>自動減圧機能用アキュムレータ [流路]</td> </tr> <tr> <td>逃がし弁機能用アキュムレータ [流路]</td> </tr> <tr> <td>インターフェイスシステム LOCA 隔離弁</td> <td>高圧炉心注水系注入隔離弁※</td> <td></td> <td>(高圧炉心注水系 注入隔離弁)</td> </tr> <tr> <td>ブローアウトパネル</td> <td>原子炉建屋ブローアウトパネル</td> <td></td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">低圧代替注水系 (常設) による原子炉の冷却</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td rowspan="5">47</td> <td rowspan="5">残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁・スパーージャ [流路]</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉の冷却</td> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="3">47</td> <td rowspan="3">残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁・スパーージャ [流路]</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却	原子炉隔離時冷却系ポンプ※	45	(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系	原子炉隔離時冷却系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]※	主蒸気系 配管・弁 [流路]※	原子炉隔離時冷却系 (注水系) 配管・弁・ストレーナ [流路]※	復水補給水系 配管・弁 [流路]※	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路] ※	給水系 配管・弁・スパーージャ [流路] ※	逃がし安全弁	逃がし安全弁 [操作対象弁]	46	(逃がし安全弁)	逃がし弁機能用アキュムレータ	(アキュムレータ)	自動減圧機能用アキュムレータ	(逃がし安全弁排気管)	主蒸気系配管・クエンチャ [流路]		原子炉減圧の自動化 *自動減圧機能付き逃がし安全弁のみ	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) 自動減圧系の起動阻止スイッチ		自動減圧系	可搬型直流電源設備による減圧	AM用切替装置 (SRV)		直流 125V 蓄電池 A, 直 125V 蓄電池 A-2, 直 125V 蓄電池 B	高圧室素ガス供給系による作動室素ガス確保	高圧室素ガス供給系 配管・弁 [流路]	46	(アキュムレータ)	自動減圧機能用アキュムレータ [流路]	逃がし弁機能用アキュムレータ [流路]	インターフェイスシステム LOCA 隔離弁	高圧炉心注水系注入隔離弁※		(高圧炉心注水系 注入隔離弁)	ブローアウトパネル	原子炉建屋ブローアウトパネル		-	低圧代替注水系 (常設) による原子炉の冷却	復水移送ポンプ	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)	復水補給水系 配管・弁 [流路]	残留熱除去系 配管・弁・スパーージャ [流路]	給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]	低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉の冷却	復水補給水系 配管・弁 [流路]	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)	残留熱除去系 配管・弁・スパーージャ [流路]	給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]	<p>表2:常設重大事故防止設備(2/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)</td> <td>AM用切替装置 (SRV)</td> <td rowspan="2">46</td> <td>直流 125V 蓄電池 A, 直 125V 蓄電池 A-2, 直 125V 蓄電池 B</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復 (代替電源供給)</td> <td>逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ 高圧室素ガス供給系配管・弁 [流路]</td> <td>(アキュムレータ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低圧代替注水系 (常設)</td> <td>復水移送ポンプ 復水補給水系・残留熱除去系・給水系・高圧炉心注水系 配管・弁・スパーージャ [流路]</td> <td>47, 51</td> <td rowspan="2">残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器 [注入先]</td> <td>44, 45, 47, 51</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低圧代替注水系 (可搬型)</td> <td>復水補給水系・残留熱除去系・給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]</td> <td>47, 51</td> <td rowspan="2">残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器 [注入先]</td> <td>44, 45, 47, 51</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">低圧注水系</td> <td>残留熱除去系 (低圧注水モード) ポンプ※</td> <td rowspan="3">47</td> <td>(残留熱除去系 (低圧注水モード))</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系・給水系 配管・弁・ストレーナ・スパーージャ [流路]※</td> <td>(残留熱除去系 (低圧注水モード))</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器 [注入先]</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉停止時冷却系</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) ポンプ※</td> <td rowspan="3">47</td> <td>(残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード))</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器 [水源]※</td> <td></td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系・給水系 配管・弁・熱交換器・スパーージャ [流路]※</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常用取水設備</td> <td>海水貯留罐</td> <td>47, 48, 49</td> <td>(海水貯留罐)</td> </tr> <tr> <td>スクリーン室</td> <td>, 50, 54,</td> <td>(スクリーン室)</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>56</td> <td>(取水路)</td> </tr> <tr> <td>補機冷却用海水取水路※ 補機冷却用海水取水槽※</td> <td>47, 48, 49, 54</td> <td>(補機冷却用海水取水路) (補機冷却用海水取水槽)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系 ※水源は海水を使用</td> <td>原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク, 残留熱除去系 熱交換器 [流路]</td> <td></td> <td>原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>S/P への蓄熱補助</td> <td>真空破壊弁 (S/C-D/R)</td> <td>48, 50</td> <td>(真空破壊弁 (S/C-D/R))</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">新圧機化ペント系 (R/R)</td> <td>新圧機化ペント系 (R/R) 配管・弁</td> <td rowspan="3">48, 50</td> <td rowspan="3">残留熱除去系 (格納容器 スプレッド冷却モード), 原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>遠隔自動操作設備</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器 [ペント元]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不溶性ガス系・非常用ガス処理系 配管・弁 [流路]</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	AM用切替装置 (SRV)	46	直流 125V 蓄電池 A, 直 125V 蓄電池 A-2, 直 125V 蓄電池 B	逃がし安全弁機能回復 (代替電源供給)	逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ 高圧室素ガス供給系配管・弁 [流路]	(アキュムレータ)	低圧代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ 復水補給水系・残留熱除去系・給水系・高圧炉心注水系 配管・弁・スパーージャ [流路]	47, 51	残留熱除去系 (低圧注水モード)	原子炉圧力容器 [注入先]	44, 45, 47, 51	低圧代替注水系 (可搬型)	復水補給水系・残留熱除去系・給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]	47, 51	残留熱除去系 (低圧注水モード)	原子炉圧力容器 [注入先]	44, 45, 47, 51	低圧注水系	残留熱除去系 (低圧注水モード) ポンプ※	47	(残留熱除去系 (低圧注水モード))	残留熱除去系・給水系 配管・弁・ストレーナ・スパーージャ [流路]※	(残留熱除去系 (低圧注水モード))	原子炉圧力容器 [注入先]		原子炉停止時冷却系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) ポンプ※	47	(残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード))	原子炉圧力容器 [水源]※		残留熱除去系・給水系 配管・弁・熱交換器・スパーージャ [流路]※		非常用取水設備	海水貯留罐	47, 48, 49	(海水貯留罐)	スクリーン室	, 50, 54,	(スクリーン室)	取水路	56	(取水路)	補機冷却用海水取水路※ 補機冷却用海水取水槽※	47, 48, 49, 54	(補機冷却用海水取水路) (補機冷却用海水取水槽)	代替原子炉補機冷却系 ※水源は海水を使用	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク, 残留熱除去系 熱交換器 [流路]		原子炉補機冷却系	S/P への蓄熱補助	真空破壊弁 (S/C-D/R)	48, 50	(真空破壊弁 (S/C-D/R))	新圧機化ペント系 (R/R)	新圧機化ペント系 (R/R) 配管・弁	48, 50	残留熱除去系 (格納容器 スプレッド冷却モード), 原子炉補機冷却系	遠隔自動操作設備	原子炉格納容器 [ペント元]		不溶性ガス系・非常用ガス処理系 配管・弁 [流路]			②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																																																			
系統機能	主要設備																																																																																																																																										
原子炉隔離時冷却系による原子炉の冷却	原子炉隔離時冷却系ポンプ※	45	(原子炉隔離時冷却系) 高圧炉心注水系																																																																																																																																								
	原子炉隔離時冷却系 (蒸気系) 配管・弁 [流路]※																																																																																																																																										
	主蒸気系 配管・弁 [流路]※																																																																																																																																										
	原子炉隔離時冷却系 (注水系) 配管・弁・ストレーナ [流路]※																																																																																																																																										
	復水補給水系 配管・弁 [流路]※																																																																																																																																										
	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路] ※																																																																																																																																										
	給水系 配管・弁・スパーージャ [流路] ※																																																																																																																																										
逃がし安全弁	逃がし安全弁 [操作対象弁]	46	(逃がし安全弁)																																																																																																																																								
	逃がし弁機能用アキュムレータ		(アキュムレータ)																																																																																																																																								
	自動減圧機能用アキュムレータ		(逃がし安全弁排気管)																																																																																																																																								
	主蒸気系配管・クエンチャ [流路]																																																																																																																																										
原子炉減圧の自動化 *自動減圧機能付き逃がし安全弁のみ	代替自動減圧ロジック (代替自動減圧機能) 自動減圧系の起動阻止スイッチ		自動減圧系																																																																																																																																								
可搬型直流電源設備による減圧	AM用切替装置 (SRV)		直流 125V 蓄電池 A, 直 125V 蓄電池 A-2, 直 125V 蓄電池 B																																																																																																																																								
高圧室素ガス供給系による作動室素ガス確保	高圧室素ガス供給系 配管・弁 [流路]	46	(アキュムレータ)																																																																																																																																								
	自動減圧機能用アキュムレータ [流路]																																																																																																																																										
	逃がし弁機能用アキュムレータ [流路]																																																																																																																																										
インターフェイスシステム LOCA 隔離弁	高圧炉心注水系注入隔離弁※		(高圧炉心注水系 注入隔離弁)																																																																																																																																								
ブローアウトパネル	原子炉建屋ブローアウトパネル		-																																																																																																																																								
低圧代替注水系 (常設) による原子炉の冷却	復水移送ポンプ	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)																																																																																																																																								
	復水補給水系 配管・弁 [流路]																																																																																																																																										
	残留熱除去系 配管・弁・スパーージャ [流路]																																																																																																																																										
	給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]																																																																																																																																										
	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]																																																																																																																																										
低圧代替注水系 (可搬型) による原子炉の冷却	復水補給水系 配管・弁 [流路]	47	残留熱除去系 (低圧注水モード)																																																																																																																																								
	残留熱除去系 配管・弁・スパーージャ [流路]																																																																																																																																										
	給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]																																																																																																																																										
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																																																								
系統機能	主要設備																																																																																																																																										
逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	AM用切替装置 (SRV)	46	直流 125V 蓄電池 A, 直 125V 蓄電池 A-2, 直 125V 蓄電池 B																																																																																																																																								
逃がし安全弁機能回復 (代替電源供給)	逃がし弁機能用アキュムレータ 自動減圧機能用アキュムレータ 高圧室素ガス供給系配管・弁 [流路]		(アキュムレータ)																																																																																																																																								
低圧代替注水系 (常設)	復水移送ポンプ 復水補給水系・残留熱除去系・給水系・高圧炉心注水系 配管・弁・スパーージャ [流路]	47, 51	残留熱除去系 (低圧注水モード)																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器 [注入先]	44, 45, 47, 51																																																																																																																																									
低圧代替注水系 (可搬型)	復水補給水系・残留熱除去系・給水系 配管・弁・スパーージャ [流路]	47, 51	残留熱除去系 (低圧注水モード)																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器 [注入先]	44, 45, 47, 51																																																																																																																																									
低圧注水系	残留熱除去系 (低圧注水モード) ポンプ※	47	(残留熱除去系 (低圧注水モード))																																																																																																																																								
	残留熱除去系・給水系 配管・弁・ストレーナ・スパーージャ [流路]※		(残留熱除去系 (低圧注水モード))																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器 [注入先]																																																																																																																																										
原子炉停止時冷却系	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) ポンプ※	47	(残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード))																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器 [水源]※																																																																																																																																										
	残留熱除去系・給水系 配管・弁・熱交換器・スパーージャ [流路]※																																																																																																																																										
非常用取水設備	海水貯留罐	47, 48, 49	(海水貯留罐)																																																																																																																																								
	スクリーン室	, 50, 54,	(スクリーン室)																																																																																																																																								
	取水路	56	(取水路)																																																																																																																																								
	補機冷却用海水取水路※ 補機冷却用海水取水槽※	47, 48, 49, 54	(補機冷却用海水取水路) (補機冷却用海水取水槽)																																																																																																																																								
代替原子炉補機冷却系 ※水源は海水を使用	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク, 残留熱除去系 熱交換器 [流路]		原子炉補機冷却系																																																																																																																																								
S/P への蓄熱補助	真空破壊弁 (S/C-D/R)	48, 50	(真空破壊弁 (S/C-D/R))																																																																																																																																								
新圧機化ペント系 (R/R)	新圧機化ペント系 (R/R) 配管・弁	48, 50	残留熱除去系 (格納容器 スプレッド冷却モード), 原子炉補機冷却系																																																																																																																																								
	遠隔自動操作設備																																																																																																																																										
	原子炉格納容器 [ペント元]																																																																																																																																										
	不溶性ガス系・非常用ガス処理系 配管・弁 [流路]																																																																																																																																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																
14	3.1.2.	共7-20	<p>第2表：常設重大事故防止設備（3／14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">低圧注水</td> <td>残留熱除去系ポンプ※ 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※ 給水系 配管・弁・スパージャ [流路] ※</td> <td rowspan="2">47</td> <td rowspan="2">(残留熱除去系 (低圧注水モード))</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止時冷却</td> <td>残留熱除去系ポンプ※ 残留熱除去系熱交換器※ 残留熱除去系 配管・弁・スパージャ [流路] ※ 給水系 配管・弁・スパージャ [流路] ※</td> <td>(残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード))</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">非常用取水設備</td> <td>海水貯留堰</td> <td>47, 48,</td> <td>(海水貯留堰)</td> </tr> <tr> <td>スクリーン室</td> <td>49, 50,</td> <td>(スクリーン室)</td> </tr> <tr> <td>取水路</td> <td>54, 56</td> <td>(取水路)</td> </tr> <tr> <td>補機冷却用海水取水路※ 補機冷却用海水取水槽※</td> <td>47, 48, 49</td> <td>(補機冷却用海水取水路) (補機冷却用海水取水槽)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却系による除熱※水源は海を使用</td> <td>原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク [流路] 残留熱除去系熱交換器 [流路]</td> <td rowspan="2">48</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作設備配管・弁 [流路] 不活性ガス系 配管・弁 [流路] 耐圧強化ベント系 (W/W) 配管・弁 [流路] 耐圧強化ベント系 (D/W) 配管・弁 [流路] 非常用ガス処理系 配管・弁 [流路] 主排気筒 (内筒) [流路] 原子炉格納容器 (サブプレッション・チェンバ, 真空破壊弁を含む) [排出元]</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr> <td>原子炉停止時冷却</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) ※</td> <td rowspan="2">48</td> <td>残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ冷却</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ※</td> <td>残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水冷却</td> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ※</td> <td></td> <td>残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	低圧注水	残留熱除去系ポンプ※ 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※ 給水系 配管・弁・スパージャ [流路] ※	47	(残留熱除去系 (低圧注水モード))	原子炉停止時冷却	残留熱除去系ポンプ※ 残留熱除去系熱交換器※ 残留熱除去系 配管・弁・スパージャ [流路] ※ 給水系 配管・弁・スパージャ [流路] ※	(残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード))	非常用取水設備	海水貯留堰	47, 48,	(海水貯留堰)	スクリーン室	49, 50,	(スクリーン室)	取水路	54, 56	(取水路)	補機冷却用海水取水路※ 補機冷却用海水取水槽※	47, 48, 49	(補機冷却用海水取水路) (補機冷却用海水取水槽)	代替原子炉補機冷却系による除熱※水源は海を使用	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク [流路] 残留熱除去系熱交換器 [流路]	48	原子炉補機冷却系	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作設備配管・弁 [流路] 不活性ガス系 配管・弁 [流路] 耐圧強化ベント系 (W/W) 配管・弁 [流路] 耐圧強化ベント系 (D/W) 配管・弁 [流路] 非常用ガス処理系 配管・弁 [流路] 主排気筒 (内筒) [流路] 原子炉格納容器 (サブプレッション・チェンバ, 真空破壊弁を含む) [排出元]	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 原子炉補機冷却系	原子炉停止時冷却	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) ※	48	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	格納容器スプレイ冷却	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ※	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)	サブプレッション・チェンバ・プール水冷却	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ※		残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)	<p>表2: 常設重大事故防止設備(3/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">耐圧強化ベント系 (D/W)</td> <td>耐圧強化ベント系 (D/W) 配管・弁 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 [ベント元] 不活性ガス系・非常用ガス処理系 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="2">48, 50</td> <td rowspan="2">残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 原子炉補機冷却系。</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td>フィルタ装置 よう素フィルタ フィルタ装置出口放射線モニタ ドレンポンプ設備 ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遠端壁 配管遠端</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td>原子炉格納容器 [ベント元] 格納容器圧力逃がし装置・不活性ガス系・耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路] フィルタ装置 よう素フィルタ 代替格納容器圧力逃がし装置用空筒 フィルタ装置出口放射線モニタ ドレンポンプ設備 ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 [ベント元] 代替格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系 ※水源は海水を使用</td> <td>原子炉補機冷却系 中間ループ循環ポンプ※ 原子炉補機冷却系 配管・弁・海水ストレーナ [流路]※ 原子炉補機冷却系 サージタンク [流路]※ 原子炉補機冷却系 熱交換器※ 原子炉補機冷却系 海水ポンプ※</td> <td>48, 54</td> <td>(原子炉補機冷却系)</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	耐圧強化ベント系 (D/W)	耐圧強化ベント系 (D/W) 配管・弁 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 [ベント元] 不活性ガス系・非常用ガス処理系 配管・弁 [流路]	48, 50	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 原子炉補機冷却系。	格納容器圧力逃がし装置	フィルタ装置 よう素フィルタ フィルタ装置出口放射線モニタ ドレンポンプ設備 ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遠端壁 配管遠端	代替格納容器圧力逃がし装置	原子炉格納容器 [ベント元] 格納容器圧力逃がし装置・不活性ガス系・耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路] フィルタ装置 よう素フィルタ 代替格納容器圧力逃がし装置用空筒 フィルタ装置出口放射線モニタ ドレンポンプ設備 ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 [ベント元] 代替格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]			原子炉補機冷却系 ※水源は海水を使用	原子炉補機冷却系 中間ループ循環ポンプ※ 原子炉補機冷却系 配管・弁・海水ストレーナ [流路]※ 原子炉補機冷却系 サージタンク [流路]※ 原子炉補機冷却系 熱交換器※ 原子炉補機冷却系 海水ポンプ※	48, 54	(原子炉補機冷却系)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設																																																													
			系統機能	主要設備																																																																	
			低圧注水	残留熱除去系ポンプ※ 残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・スパージャ [流路] ※ 給水系 配管・弁・スパージャ [流路] ※	47	(残留熱除去系 (低圧注水モード))																																																															
				原子炉停止時冷却			残留熱除去系ポンプ※ 残留熱除去系熱交換器※ 残留熱除去系 配管・弁・スパージャ [流路] ※ 給水系 配管・弁・スパージャ [流路] ※	(残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード))																																																													
			非常用取水設備	海水貯留堰	47, 48,	(海水貯留堰)																																																															
				スクリーン室	49, 50,	(スクリーン室)																																																															
				取水路	54, 56	(取水路)																																																															
				補機冷却用海水取水路※ 補機冷却用海水取水槽※	47, 48, 49	(補機冷却用海水取水路) (補機冷却用海水取水槽)																																																															
			代替原子炉補機冷却系による除熱※水源は海を使用	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク [流路] 残留熱除去系熱交換器 [流路]	48	原子炉補機冷却系																																																															
耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作設備配管・弁 [流路] 不活性ガス系 配管・弁 [流路] 耐圧強化ベント系 (W/W) 配管・弁 [流路] 耐圧強化ベント系 (D/W) 配管・弁 [流路] 非常用ガス処理系 配管・弁 [流路] 主排気筒 (内筒) [流路] 原子炉格納容器 (サブプレッション・チェンバ, 真空破壊弁を含む) [排出元]	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 原子炉補機冷却系																																																																			
原子炉停止時冷却	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) ※	48	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)																																																																		
格納容器スプレイ冷却	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード) ※		残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード)																																																																		
サブプレッション・チェンバ・プール水冷却	残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード) ※		残留熱除去系 (サブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード)																																																																		
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																		
系統機能	主要設備																																																																				
耐圧強化ベント系 (D/W)	耐圧強化ベント系 (D/W) 配管・弁 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 [ベント元] 不活性ガス系・非常用ガス処理系 配管・弁 [流路]	48, 50	残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 原子炉補機冷却系。																																																																		
	格納容器圧力逃がし装置			フィルタ装置 よう素フィルタ フィルタ装置出口放射線モニタ ドレンポンプ設備 ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 フィルタベント遠端壁 配管遠端																																																																	
代替格納容器圧力逃がし装置	原子炉格納容器 [ベント元] 格納容器圧力逃がし装置・不活性ガス系・耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路] フィルタ装置 よう素フィルタ 代替格納容器圧力逃がし装置用空筒 フィルタ装置出口放射線モニタ ドレンポンプ設備 ドレンタンク 遠隔手動弁操作設備 原子炉格納容器 [ベント元] 代替格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]																																																																				
原子炉補機冷却系 ※水源は海水を使用	原子炉補機冷却系 中間ループ循環ポンプ※ 原子炉補機冷却系 配管・弁・海水ストレーナ [流路]※ 原子炉補機冷却系 サージタンク [流路]※ 原子炉補機冷却系 熱交換器※ 原子炉補機冷却系 海水ポンプ※	48, 54	(原子炉補機冷却系)																																																																		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																											
15		共7-21	<p align="center">第2表：常設重大事故防止設備（4／14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>フィルタ装置</td> <td rowspan="13">48</td> <td rowspan="13">残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、原子炉補機冷却系</td> </tr> <tr><td>よう素フィルタ</td></tr> <tr><td>ラプチャーディスク</td></tr> <tr><td>ドレン移送ポンプ</td></tr> <tr><td>ドレンタンク</td></tr> <tr><td>遠隔手動弁操作設備</td></tr> <tr><td>遠隔空気駆動弁操作設備 配管・弁[流路]</td></tr> <tr><td>フィルタベント遮蔽壁</td></tr> <tr><td>配管遮蔽</td></tr> <tr><td>淡水貯水池 [水源]</td></tr> <tr><td>不活性ガス系 配管・弁 [流路]</td></tr> <tr><td>耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路]</td></tr> <tr><td>格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]</td></tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉補機冷却系 *水源は海を使用</td> <td>原子炉補機冷却水ポンプ※</td> <td rowspan="5">48, 49</td> <td rowspan="5">(原子炉補機冷却系)</td> </tr> <tr><td>原子炉補機冷却海水ポンプ※</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系 熱交換器※</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却系 配管・弁・海水ストレーナ[流路]※</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却系 サージタンク[流路]※</td></tr> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイ冷却系（常設）による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">残留熱除去系（格納容器スプレイ冷去モード）</td> </tr> <tr><td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td></tr> <tr><td>残留熱除去系 配管・弁 [流路]</td></tr> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>格納容器スプレイ・ヘッド[流路]</td> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">残留熱除去系（格納容器スプレイ冷去モード）</td> </tr> <tr><td>高圧炉心注水系配管・弁 [流路]</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ※</td></tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器スプレイ冷却系による原子炉格納容器内の冷却</td> <td>残留熱除去系熱交換器※</td> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">(残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）)</td> </tr> <tr><td>残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ [流路] ※</td></tr> <tr><td>格納容器スプレイ・ヘッド[流路]</td></tr> <tr> <td rowspan="2">サブプレッション・チェンバ・プールの冷却</td> <td>残留熱除去系ポンプ※</td> <td rowspan="2">49</td> <td rowspan="2">(残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）)</td> </tr> <tr><td>残留熱除去系熱交換器※</td></tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	フィルタ装置	48	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、原子炉補機冷却系	よう素フィルタ	ラプチャーディスク	ドレン移送ポンプ	ドレンタンク	遠隔手動弁操作設備	遠隔空気駆動弁操作設備 配管・弁[流路]	フィルタベント遮蔽壁	配管遮蔽	淡水貯水池 [水源]	不活性ガス系 配管・弁 [流路]	耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路]	格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]	原子炉補機冷却系 *水源は海を使用	原子炉補機冷却水ポンプ※	48, 49	(原子炉補機冷却系)	原子炉補機冷却海水ポンプ※	原子炉補機冷却水系 熱交換器※	原子炉補機冷却系 配管・弁・海水ストレーナ[流路]※	原子炉補機冷却系 サージタンク[流路]※	代替格納容器スプレイ冷却系（常設）による原子炉格納容器内の冷却	復水移送ポンプ	49	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷去モード）	復水補給水系 配管・弁 [流路]	残留熱除去系 配管・弁 [流路]	代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による原子炉格納容器内の冷却	格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	49	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷去モード）	高圧炉心注水系配管・弁 [流路]	残留熱除去系ポンプ※	格納容器スプレイ冷却系による原子炉格納容器内の冷却	残留熱除去系熱交換器※	49	(残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）)	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ [流路] ※	格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	サブプレッション・チェンバ・プールの冷却	残留熱除去系ポンプ※	49	(残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）)	残留熱除去系熱交換器※					<p align="center">表2:常設重大事故防止設備(4/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）</td> </tr> <tr><td>復水補給水系・残留熱除去系・高圧炉心注水系 配管・弁・スプレイヘッド [流路]</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器 [注込先]</td></tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器スプレイ冷却系</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）ポンプ※</td> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">(残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）)</td> </tr> <tr><td>残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・熱交換器・スプレイヘッド [流路]※</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器 [注込先]</td></tr> <tr> <td rowspan="3">サブプレッション・チェンバ・プール水の冷却</td> <td>残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）ポンプ※</td> <td rowspan="3">49</td> <td rowspan="3">(残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）)</td> </tr> <tr><td>残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・熱交換器 [流路]※</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器 [注込先]</td></tr> <tr> <td rowspan="3">燃料プール代替注水系（可搬型）</td> <td>燃料プール代替注水系（常設） 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="3">54</td> <td rowspan="3">残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給）（燃料プール冷却浄化系）</td> </tr> <tr><td>常設スプレイヘッド</td></tr> <tr><td>使用済燃料プール（サイフォン防止機能含む） [注込先]</td></tr> <tr> <td rowspan="3">燃料プール冷却浄化系</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td rowspan="3">54</td> <td rowspan="3">使用済燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr><td>使用済燃料プール [水源] [注込先]</td></tr> <tr><td>燃料プール冷却浄化系 熱交換器</td></tr> <tr> <td rowspan="5">使用済燃料プールの監視設備</td> <td>燃料プール冷却浄化系 配管・弁・スキマサージタンク・ディフューザ</td> <td rowspan="5">54</td> <td rowspan="5">使用済燃料貯蔵プール水位 (SA) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)</td> </tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール水位 (SA)</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td></tr> <tr> <td>水質の確保 ※水質としては海水も使用可能</td> <td>復水貯蔵槽</td> <td>45, 47, 49, 56</td> <td>(サブプレッション・チェンバ) (復水貯蔵槽)</td> </tr> </tbody> </table>		常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	代替格納容器スプレイ冷却系	復水移送ポンプ	49	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）	復水補給水系・残留熱除去系・高圧炉心注水系 配管・弁・スプレイヘッド [流路]	原子炉格納容器 [注込先]	格納容器スプレイ冷却系	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）ポンプ※	49	(残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）)	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・熱交換器・スプレイヘッド [流路]※	原子炉格納容器 [注込先]	サブプレッション・チェンバ・プール水の冷却	残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）ポンプ※	49	(残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）)	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・熱交換器 [流路]※	原子炉格納容器 [注込先]	燃料プール代替注水系（可搬型）	燃料プール代替注水系（常設） 配管・弁 [流路]	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給）（燃料プール冷却浄化系）	常設スプレイヘッド	使用済燃料プール（サイフォン防止機能含む） [注込先]	燃料プール冷却浄化系	燃料プール冷却浄化系ポンプ	54	使用済燃料プール冷却浄化系	使用済燃料プール [水源] [注込先]	燃料プール冷却浄化系 熱交換器	使用済燃料プールの監視設備	燃料プール冷却浄化系 配管・弁・スキマサージタンク・ディフューザ	54	使用済燃料貯蔵プール水位 (SA) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール水位 (SA)	使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	水質の確保 ※水質としては海水も使用可能	復水貯蔵槽	45, 47, 49, 56	(サブプレッション・チェンバ) (復水貯蔵槽)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																										
			系統機能	主要設備																																																																																																												
			格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	フィルタ装置	48	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）、原子炉補機冷却系																																																																																																										
				よう素フィルタ																																																																																																												
				ラプチャーディスク																																																																																																												
				ドレン移送ポンプ																																																																																																												
				ドレンタンク																																																																																																												
				遠隔手動弁操作設備																																																																																																												
				遠隔空気駆動弁操作設備 配管・弁[流路]																																																																																																												
フィルタベント遮蔽壁																																																																																																																
配管遮蔽																																																																																																																
淡水貯水池 [水源]																																																																																																																
不活性ガス系 配管・弁 [流路]																																																																																																																
耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路]																																																																																																																
格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]																																																																																																																
原子炉補機冷却系 *水源は海を使用	原子炉補機冷却水ポンプ※	48, 49	(原子炉補機冷却系)																																																																																																													
	原子炉補機冷却海水ポンプ※																																																																																																															
	原子炉補機冷却水系 熱交換器※																																																																																																															
	原子炉補機冷却系 配管・弁・海水ストレーナ[流路]※																																																																																																															
	原子炉補機冷却系 サージタンク[流路]※																																																																																																															
代替格納容器スプレイ冷却系（常設）による原子炉格納容器内の冷却	復水移送ポンプ	49	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷去モード）																																																																																																													
	復水補給水系 配管・弁 [流路]																																																																																																															
	残留熱除去系 配管・弁 [流路]																																																																																																															
代替格納容器スプレイ冷却系（可搬型）による原子炉格納容器内の冷却	格納容器スプレイ・ヘッド[流路]	49	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷去モード）																																																																																																													
	高圧炉心注水系配管・弁 [流路]																																																																																																															
	残留熱除去系ポンプ※																																																																																																															
格納容器スプレイ冷却系による原子炉格納容器内の冷却	残留熱除去系熱交換器※	49	(残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）)																																																																																																													
	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ [流路] ※																																																																																																															
	格納容器スプレイ・ヘッド[流路]																																																																																																															
サブプレッション・チェンバ・プールの冷却	残留熱除去系ポンプ※	49	(残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）)																																																																																																													
	残留熱除去系熱交換器※																																																																																																															
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																													
系統機能	主要設備																																																																																																															
代替格納容器スプレイ冷却系	復水移送ポンプ	49	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）																																																																																																													
	復水補給水系・残留熱除去系・高圧炉心注水系 配管・弁・スプレイヘッド [流路]																																																																																																															
	原子炉格納容器 [注込先]																																																																																																															
格納容器スプレイ冷却系	残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）ポンプ※	49	(残留熱除去系（格納容器スプレイ冷却モード）)																																																																																																													
	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・熱交換器・スプレイヘッド [流路]※																																																																																																															
	原子炉格納容器 [注込先]																																																																																																															
サブプレッション・チェンバ・プール水の冷却	残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）ポンプ※	49	(残留熱除去系（サブプレッション・チェンバ・プール冷却モード）)																																																																																																													
	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ・熱交換器 [流路]※																																																																																																															
	原子炉格納容器 [注込先]																																																																																																															
燃料プール代替注水系（可搬型）	燃料プール代替注水系（常設） 配管・弁 [流路]	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給）（燃料プール冷却浄化系）																																																																																																													
	常設スプレイヘッド																																																																																																															
	使用済燃料プール（サイフォン防止機能含む） [注込先]																																																																																																															
燃料プール冷却浄化系	燃料プール冷却浄化系ポンプ	54	使用済燃料プール冷却浄化系																																																																																																													
	使用済燃料プール [水源] [注込先]																																																																																																															
	燃料プール冷却浄化系 熱交換器																																																																																																															
使用済燃料プールの監視設備	燃料プール冷却浄化系 配管・弁・スキマサージタンク・ディフューザ	54	使用済燃料貯蔵プール水位 (SA) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域) 使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)																																																																																																													
	使用済燃料貯蔵プール水位 (SA)																																																																																																															
	使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)																																																																																																															
	使用済燃料貯蔵プール温度 (SA 広域)																																																																																																															
	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)																																																																																																															
水質の確保 ※水質としては海水も使用可能	復水貯蔵槽	45, 47, 49, 56	(サブプレッション・チェンバ) (復水貯蔵槽)																																																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																											
16	3.1.2.	共7-22	<p>第2表：常設重大事故防止設備（5／14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th>主要設備</th> <th>関連条文</th> <th>代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>系統機能</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="11">格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>フィルタ装置</td> <td rowspan="11">50</td> <td rowspan="11">-</td> </tr> <tr> <td>よう素フィルタ</td> </tr> <tr> <td>ラプチャーディスク</td> </tr> <tr> <td>ドレン移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>ドレンタンク</td> </tr> <tr> <td>遠隔手動弁操作設備</td> </tr> <tr> <td>遠隔空気駆動弁操作設備 配管・弁[流路]</td> </tr> <tr> <td>フィルタベント遮蔽壁</td> </tr> <tr> <td>配管遮蔽</td> </tr> <tr> <td>不活性ガス系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系（可搬型）による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ</td> <td>常設スプレイヘッド</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） 燃料プール冷却浄化系 （使用済燃料プール）</td> </tr> <tr> <td>燃料プール代替注水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料プール代替注水系（可搬型）による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ</td> <td>燃料プール代替注水系 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） 燃料プール冷却浄化系</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プールの監視</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td> <td rowspan="2">54</td> <td rowspan="2">使用済燃料貯蔵プール水位、燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度、使用済燃料貯蔵プール温度 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ 燃料貯蔵エリア排気放射線モニタ 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能				格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	フィルタ装置	50	-	よう素フィルタ	ラプチャーディスク	ドレン移送ポンプ	ドレンタンク	遠隔手動弁操作設備	遠隔空気駆動弁操作設備 配管・弁[流路]	フィルタベント遮蔽壁	配管遮蔽	不活性ガス系 配管・弁 [流路]	耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路]	格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]	燃料プール代替注水系（可搬型）による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	常設スプレイヘッド	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） 燃料プール冷却浄化系 （使用済燃料プール）	燃料プール代替注水系 配管・弁 [流路]	燃料プール代替注水系（可搬型）による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	燃料プール代替注水系 配管・弁 [流路]	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） 燃料プール冷却浄化系	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)	使用済燃料プールの監視	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	54	使用済燃料貯蔵プール水位、燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度、使用済燃料貯蔵プール温度 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ 燃料貯蔵エリア排気放射線モニタ 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）	<p>表2: 常設重大事故防止設備(5/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th>主要設備</th> <th>関連条文</th> <th>代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水の移送手段</td> <td>CSP 外部補給配管・弁[流路] 海水取水箇所（海水路）</td> <td>56</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">常設代替交流電源</td> <td>ガスタービン発電機 （第一ガスタービン発電機）</td> <td rowspan="6">57</td> <td rowspan="6">非常用ディーゼル発電機</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機用燃料タンク （第一ガスタービン発電機用燃料タンク）</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ）</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁[流路] （第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁）</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機 （第二ガスタービン発電機）</td> </tr> <tr> <td>ガスタービン発電機用燃料タンク （第二ガスタービン発電機用燃料タンク）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用交流電源設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機※</td> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">非常用ディーゼル発電機 （非常用高圧母線 E 系）</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 E 系※</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">所内蓄電式直流電源設備</td> <td>直流 125V 蓄電池 A</td> <td rowspan="3">57</td> <td rowspan="3">直流 125V 蓄電池 B、直流 125V 蓄電池 C、 直流 125V 蓄電池 D</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 蓄電池 A-2</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 蓄電池</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用直流電源設備</td> <td>直流 125V 蓄電池 B※</td> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">（直流 125V 蓄電池 B） （直流 125V 蓄電池 C）</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 蓄電池 C※</td> </tr> <tr> <td>可搬型直流電源設備</td> <td>AM 用直流 125V 充電器</td> <td>57</td> <td>直流 125V 蓄電池 A、直流 125V 蓄電池 A-2</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	水の移送手段	CSP 外部補給配管・弁[流路] 海水取水箇所（海水路）	56	-	常設代替交流電源	ガスタービン発電機 （第一ガスタービン発電機）	57	非常用ディーゼル発電機	ガスタービン発電機用燃料タンク （第一ガスタービン発電機用燃料タンク）	ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ）	ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁[流路] （第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁）	ガスタービン発電機 （第二ガスタービン発電機）	ガスタービン発電機用燃料タンク （第二ガスタービン発電機用燃料タンク）	非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機※	57	非常用ディーゼル発電機 （非常用高圧母線 E 系）	非常用高圧母線 E 系※	所内蓄電式直流電源設備	直流 125V 蓄電池 A	57	直流 125V 蓄電池 B、直流 125V 蓄電池 C、 直流 125V 蓄電池 D	直流 125V 蓄電池 A-2	AM 用直流 125V 蓄電池	非常用直流電源設備	直流 125V 蓄電池 B※	57	（直流 125V 蓄電池 B） （直流 125V 蓄電池 C）	直流 125V 蓄電池 C※	可搬型直流電源設備	AM 用直流 125V 充電器	57	直流 125V 蓄電池 A、直流 125V 蓄電池 A-2	<p>②(SA設備の見直しに伴う変更)</p>
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																										
系統機能																																																																																
格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	フィルタ装置	50	-																																																																													
	よう素フィルタ																																																																															
	ラプチャーディスク																																																																															
	ドレン移送ポンプ																																																																															
	ドレンタンク																																																																															
	遠隔手動弁操作設備																																																																															
	遠隔空気駆動弁操作設備 配管・弁[流路]																																																																															
	フィルタベント遮蔽壁																																																																															
	配管遮蔽																																																																															
	不活性ガス系 配管・弁 [流路]																																																																															
	耐圧強化ベント系 配管・弁 [流路]																																																																															
格納容器圧力逃がし装置 配管・弁 [流路]																																																																																
燃料プール代替注水系（可搬型）による常設スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	常設スプレイヘッド	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） 燃料プール冷却浄化系 （使用済燃料プール）																																																																													
	燃料プール代替注水系 配管・弁 [流路]																																																																															
燃料プール代替注水系（可搬型）による可搬型スプレイヘッドを使用した使用済燃料プール注水及びスプレイ	燃料プール代替注水系 配管・弁 [流路]	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） 燃料プール冷却浄化系																																																																													
	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域)																																																																															
使用済燃料プールの監視	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	54	使用済燃料貯蔵プール水位、燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度、使用済燃料貯蔵プール温度 燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ 燃料貯蔵エリア排気放射線モニタ 原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ																																																																													
	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）																																																																															
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張	主要設備	関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																													
水の移送手段	CSP 外部補給配管・弁[流路] 海水取水箇所（海水路）	56	-																																																																													
常設代替交流電源	ガスタービン発電機 （第一ガスタービン発電機）	57	非常用ディーゼル発電機																																																																													
	ガスタービン発電機用燃料タンク （第一ガスタービン発電機用燃料タンク）																																																																															
	ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ（第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ）																																																																															
	ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁[流路] （第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁）																																																																															
	ガスタービン発電機 （第二ガスタービン発電機）																																																																															
	ガスタービン発電機用燃料タンク （第二ガスタービン発電機用燃料タンク）																																																																															
非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機※	57	非常用ディーゼル発電機 （非常用高圧母線 E 系）																																																																													
	非常用高圧母線 E 系※																																																																															
所内蓄電式直流電源設備	直流 125V 蓄電池 A	57	直流 125V 蓄電池 B、直流 125V 蓄電池 C、 直流 125V 蓄電池 D																																																																													
	直流 125V 蓄電池 A-2																																																																															
	AM 用直流 125V 蓄電池																																																																															
非常用直流電源設備	直流 125V 蓄電池 B※	57	（直流 125V 蓄電池 B） （直流 125V 蓄電池 C）																																																																													
	直流 125V 蓄電池 C※																																																																															
可搬型直流電源設備	AM 用直流 125V 充電器	57	直流 125V 蓄電池 A、直流 125V 蓄電池 A-2																																																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																										
17		共7-23	<p>第2表：常設重大事故防止設備（6 / 14）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">重大事故等時における使用済燃料プールの除熱</td> <td>燃料プール冷却浄化系ポンプ</td> <td rowspan="6">54</td> <td rowspan="6">残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） （燃料プール冷却浄化系）</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系熱交換器</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系配管・弁・サージタンク〔流路〕</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系配管・弁〔流路〕</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系スキマサージタンク〔流路〕</td> </tr> <tr> <td>燃料プール冷却浄化系デフューザ〔流路〕</td> </tr> <tr> <td>重大事故等収束のための水源 ※水源としては海も使用可能</td> <td>復水貯蔵槽</td> <td>49, 56</td> <td>（サブプレッション・チェンバ） （復水貯蔵槽）</td> </tr> <tr> <td>水の供給</td> <td>CSP 外部補給配管・弁〔流路〕</td> <td>56</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">常設代替交流電源設備による給電</td> <td>第一ガスタービン発電機</td> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">非常用交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> </tr> <tr> <td>第一ガスタービン発電機用燃料タンク</td> </tr> <tr> <td>第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク出口ノズル・弁〔燃料流路〕</td> </tr> <tr> <td>第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕</td> </tr> <tr> <td>第一ガスタービン発電機～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕</td> </tr> <tr> <td>第一ガスタービン発電機～AM 用 MCC 電路〔電路〕</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">号炉間電力融通ケーブルによる給電</td> <td>号炉間電力融通ケーブル（常設）</td> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">非常用所内電気設備</td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通ケーブル（常設）～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕</td> </tr> <tr> <td></td> <td>緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	重大事故等時における使用済燃料プールの除熱	燃料プール冷却浄化系ポンプ	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） （燃料プール冷却浄化系）	燃料プール冷却浄化系熱交換器	原子炉補機冷却系配管・弁・サージタンク〔流路〕	燃料プール冷却浄化系配管・弁〔流路〕	燃料プール冷却浄化系スキマサージタンク〔流路〕	燃料プール冷却浄化系デフューザ〔流路〕	重大事故等収束のための水源 ※水源としては海も使用可能	復水貯蔵槽	49, 56	（サブプレッション・チェンバ） （復水貯蔵槽）	水の供給	CSP 外部補給配管・弁〔流路〕	56	—	常設代替交流電源設備による給電	第一ガスタービン発電機	57	非常用交流電源設備	軽油タンク	第一ガスタービン発電機用燃料タンク	第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	軽油タンク出口ノズル・弁〔燃料流路〕	第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕	第一ガスタービン発電機～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕	第一ガスタービン発電機～AM 用 MCC 電路〔電路〕	号炉間電力融通ケーブルによる給電	号炉間電力融通ケーブル（常設）	57	非常用所内電気設備	号炉間電力融通ケーブル（常設）～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕		緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕			<p>表2: 常設重大事故防止設備(6/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">代替所内電気設備</td> <td>緊急用高圧母線, 緊急用断路器, 緊急用電源切替箱接続装置, AM 用動力変圧器, AM 用 MCC, AM 用切替盤, AM 用操作盤</td> <td rowspan="3">57</td> <td>非常用 MCC (C, D, E)</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 C 系</td> <td>非常用高圧母線 D 系 非常用高圧母線 E 系</td> </tr> <tr> <td>非常用高圧母線 D 系</td> <td>非常用高圧母線 C 系 非常用高圧母線 E 系</td> </tr> <tr> <td>号炉間電力融通電気設備</td> <td>号炉間電力融通ケーブル</td> <td></td> <td>非常用所内電気設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">燃料補給設備</td> <td>軽油タンク</td> <td></td> <td>〔軽油タンク〕</td> </tr> <tr> <td>燃料ダイヤタンク※</td> <td></td> <td>〔燃料ダイヤタンク〕</td> </tr> <tr> <td>燃料移送ポンプ※</td> <td></td> <td>〔燃料移送ポンプ〕</td> </tr> <tr> <td>非常用アイゼン発電機用燃料移送系配管・弁〔流路〕※</td> <td></td> <td>〔非常用アイゼン発電機用燃料移送系配管・弁〕</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	代替所内電気設備	緊急用高圧母線, 緊急用断路器, 緊急用電源切替箱接続装置, AM 用動力変圧器, AM 用 MCC, AM 用切替盤, AM 用操作盤	57	非常用 MCC (C, D, E)	非常用高圧母線 C 系	非常用高圧母線 D 系 非常用高圧母線 E 系	非常用高圧母線 D 系	非常用高圧母線 C 系 非常用高圧母線 E 系	号炉間電力融通電気設備	号炉間電力融通ケーブル		非常用所内電気設備	燃料補給設備	軽油タンク		〔軽油タンク〕	燃料ダイヤタンク※		〔燃料ダイヤタンク〕	燃料移送ポンプ※		〔燃料移送ポンプ〕	非常用アイゼン発電機用燃料移送系配管・弁〔流路〕※		〔非常用アイゼン発電機用燃料移送系配管・弁〕	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																							
系統機能	主要設備																																																																														
重大事故等時における使用済燃料プールの除熱	燃料プール冷却浄化系ポンプ	54	残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給） （燃料プール冷却浄化系）																																																																												
	燃料プール冷却浄化系熱交換器																																																																														
	原子炉補機冷却系配管・弁・サージタンク〔流路〕																																																																														
	燃料プール冷却浄化系配管・弁〔流路〕																																																																														
	燃料プール冷却浄化系スキマサージタンク〔流路〕																																																																														
	燃料プール冷却浄化系デフューザ〔流路〕																																																																														
重大事故等収束のための水源 ※水源としては海も使用可能	復水貯蔵槽	49, 56	（サブプレッション・チェンバ） （復水貯蔵槽）																																																																												
水の供給	CSP 外部補給配管・弁〔流路〕	56	—																																																																												
常設代替交流電源設備による給電	第一ガスタービン発電機	57	非常用交流電源設備																																																																												
	軽油タンク																																																																														
	第一ガスタービン発電機用燃料タンク																																																																														
	第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																																																														
	軽油タンク出口ノズル・弁〔燃料流路〕																																																																														
	第一ガスタービン発電機用燃料移送系配管・弁〔燃料流路〕																																																																														
	第一ガスタービン発電機～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕																																																																														
	第一ガスタービン発電機～AM 用 MCC 電路〔電路〕																																																																														
	号炉間電力融通ケーブルによる給電			号炉間電力融通ケーブル（常設）	57	非常用所内電気設備																																																																									
				号炉間電力融通ケーブル（常設）～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕																																																																											
	緊急用電源切替箱接続装置～非常用高圧母線 C 系及び D 系電路〔電路〕																																																																														
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																												
系統機能	主要設備																																																																														
代替所内電気設備	緊急用高圧母線, 緊急用断路器, 緊急用電源切替箱接続装置, AM 用動力変圧器, AM 用 MCC, AM 用切替盤, AM 用操作盤	57	非常用 MCC (C, D, E)																																																																												
	非常用高圧母線 C 系		非常用高圧母線 D 系 非常用高圧母線 E 系																																																																												
	非常用高圧母線 D 系		非常用高圧母線 C 系 非常用高圧母線 E 系																																																																												
号炉間電力融通電気設備	号炉間電力融通ケーブル		非常用所内電気設備																																																																												
燃料補給設備	軽油タンク		〔軽油タンク〕																																																																												
	燃料ダイヤタンク※		〔燃料ダイヤタンク〕																																																																												
	燃料移送ポンプ※		〔燃料移送ポンプ〕																																																																												
	非常用アイゼン発電機用燃料移送系配管・弁〔流路〕※		〔非常用アイゼン発電機用燃料移送系配管・弁〕																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																							
18		共7-24	第2表: 常設重大事故防止設備 (7/14)		表2: 常設重大事故防止設備 (7/10)																																																																																																							
			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">可搬型代替交流電源設備による給電</td> <td>軽油タンク</td> <td rowspan="6">57</td> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク出口ノズル・弁 [燃料流路]</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱接続装置～非常用 高压母線 C 系及び D 系電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>動力変圧器 C 系～非常用高压母線 C 系及び D 系電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路 [電路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">所内蓄電式直流電源設備による給電</td> <td>直流 125V 蓄電池 A</td> <td rowspan="10">57</td> <td rowspan="10">非常用直流電源設備 (E 系, C 系及び D 系)</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 蓄電池 A-2</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 蓄電池</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 充電器 A</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 充電器 A-2</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 充電器</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直 流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～ 直流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器 ～直流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 充電器</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">常設代替直流電源設備による給電</td> <td>AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器 ～直流母線電路[電路]</td> <td rowspan="2">57</td> <td rowspan="2">非常用直流電源設備</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 充電器</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">可搬型直流電源設備による給電</td> <td>AM 用直流 125V 充電器</td> <td rowspan="4">57</td> <td rowspan="4">非常用直流電源設備</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク出口ノズル・弁[燃料流 路]</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱接続装置～直 流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>AM 用動力変圧器～直 流母線電路[電路]</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	可搬型代替交流電源設備による給電	軽油タンク	57	非常用交流電源設備	軽油タンク出口ノズル・弁 [燃料流路]	緊急用電源切替箱接続装置～非常用 高压母線 C 系及び D 系電路[電路]	動力変圧器 C 系～非常用高压母線 C 系及び D 系電路[電路]	緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路[電路]	AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路 [電路]	所内蓄電式直流電源設備による給電	直流 125V 蓄電池 A	57	非常用直流電源設備 (E 系, C 系及び D 系)	直流 125V 蓄電池 A-2	AM 用直流 125V 蓄電池	直流 125V 充電器 A	直流 125V 充電器 A-2	AM 用直流 125V 充電器	直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直 流母線電路[電路]	直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～ 直流母線電路[電路]	AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器 ～直流母線電路[電路]	AM 用直流 125V 充電器	常設代替直流電源設備による給電	AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器 ～直流母線電路[電路]	57	非常用直流電源設備	AM 用直流 125V 充電器	可搬型直流電源設備による給電	AM 用直流 125V 充電器	57	非常用直流電源設備	軽油タンク	軽油タンク出口ノズル・弁[燃料流 路]	緊急用電源切替箱接続装置～直 流母線電路[電路]	AM 用動力変圧器～直 流母線電路[電路]				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度※</td> <td rowspan="10">58</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉水位 原子炉水位 (SA) 原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 原子炉水位 (SA)</td> <td>原子炉隔離時冷却系 系統流量 高压代替注水系 系統流量 復水補給水系流量 (原子炉圧力容器)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>原子炉隔離時冷却系系統流量※</td> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">復水貯蔵槽水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td>高压炉心注水系系統流量※</td> </tr> <tr> <td>高压代替注水系系統流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器への注水量</td> <td>復水補給水系流量 (原子炉格納容器)</td> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">サブプレッション・チェン パ・プール水位 原子炉水位 原子炉水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量※</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>復水補給水流量 (原子炉格納容器)</td> <td rowspan="10">58</td> <td>復水貯蔵槽水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル雰囲気温度</td> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンパ 気体温度</td> <td>サブプレッション・チェン パ・プール水温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>サブプレッション・チェンパ・プ ール水温度</td> <td>サブプレッション・チェン パ気体温度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>サブプレッション・チェンパ・プ ール水位</td> <td>復水補給水流量 (原子炉格納容器)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内雰囲気放射線レ ベル (D/W)</td> <td>格納容器内雰囲気放射線 レベル (S/C)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線 レベル (S/C)</td> <td>格納容器内雰囲気放射線 レベル (D/W)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未境界の監視</td> <td>起動領域モニタ</td> <td>平均出力領域モニタ</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>起動領域モニタ</td> </tr> </tbody> </table>		常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系熱交換器入口温度※	58	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉水位 原子炉水位 (SA) 原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 原子炉水位 (SA)	原子炉隔離時冷却系 系統流量 高压代替注水系 系統流量 復水補給水系流量 (原子炉圧力容器)	原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系系統流量※	58	復水貯蔵槽水位 (SA)	高压炉心注水系系統流量※	高压代替注水系系統流量	原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量 (原子炉格納容器)	58	サブプレッション・チェン パ・プール水位 原子炉水位 原子炉水位 (SA)	残留熱除去系系統流量※	原子炉格納容器への注水量	復水補給水流量 (原子炉格納容器)	58	復水貯蔵槽水位 (SA)	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度	格納容器内圧力 (D/W)	サブプレッション・チェンパ 気体温度	サブプレッション・チェン パ・プール水温度	原子炉格納容器内の圧力	サブプレッション・チェンパ・プ ール水温度	サブプレッション・チェン パ気体温度	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (S/C)	格納容器内圧力 (D/W)	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンパ・プ ール水位	復水補給水流量 (原子炉格納容器)	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レ ベル (D/W)	格納容器内雰囲気放射線 レベル (S/C)	格納容器内雰囲気放射線 レベル (S/C)	格納容器内雰囲気放射線 レベル (D/W)	未境界の監視	起動領域モニタ	平均出力領域モニタ	平均出力領域モニタ	起動領域モニタ	② (SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																						
			系統機能	主要設備																																																																																																								
			可搬型代替交流電源設備による給電	軽油タンク	57	非常用交流電源設備																																																																																																						
				軽油タンク出口ノズル・弁 [燃料流路]																																																																																																								
				緊急用電源切替箱接続装置～非常用 高压母線 C 系及び D 系電路[電路]																																																																																																								
				動力変圧器 C 系～非常用高压母線 C 系及び D 系電路[電路]																																																																																																								
				緊急用電源切替箱接続装置～AM 用 MCC 電路[電路]																																																																																																								
				AM 用動力変圧器～AM 用 MCC 電路 [電路]																																																																																																								
所内蓄電式直流電源設備による給電	直流 125V 蓄電池 A	57	非常用直流電源設備 (E 系, C 系及び D 系)																																																																																																									
	直流 125V 蓄電池 A-2																																																																																																											
	AM 用直流 125V 蓄電池																																																																																																											
	直流 125V 充電器 A																																																																																																											
	直流 125V 充電器 A-2																																																																																																											
	AM 用直流 125V 充電器																																																																																																											
	直流 125V 蓄電池及び充電器 A～直 流母線電路[電路]																																																																																																											
	直流 125V 蓄電池及び充電器 A-2～ 直流母線電路[電路]																																																																																																											
	AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器 ～直流母線電路[電路]																																																																																																											
	AM 用直流 125V 充電器																																																																																																											
常設代替直流電源設備による給電	AM 用直流 125V 蓄電池及び充電器 ～直流母線電路[電路]	57	非常用直流電源設備																																																																																																									
	AM 用直流 125V 充電器																																																																																																											
可搬型直流電源設備による給電	AM 用直流 125V 充電器	57	非常用直流電源設備																																																																																																									
	軽油タンク																																																																																																											
	軽油タンク出口ノズル・弁[燃料流 路]																																																																																																											
	緊急用電源切替箱接続装置～直 流母線電路[電路]																																																																																																											
AM 用動力変圧器～直 流母線電路[電路]																																																																																																												
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																																									
系統機能	主要設備																																																																																																											
原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系熱交換器入口温度※	58	原子炉圧力容器温度																																																																																																									
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉水位 原子炉水位 (SA) 原子炉圧力容器温度																																																																																																									
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 原子炉水位 (SA)		原子炉隔離時冷却系 系統流量 高压代替注水系 系統流量 復水補給水系流量 (原子炉圧力容器)																																																																																																									
原子炉圧力容器への注水量	原子炉隔離時冷却系系統流量※		58	復水貯蔵槽水位 (SA)																																																																																																								
	高压炉心注水系系統流量※																																																																																																											
	高压代替注水系系統流量																																																																																																											
原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量 (原子炉格納容器)		58	サブプレッション・チェン パ・プール水位 原子炉水位 原子炉水位 (SA)																																																																																																								
	残留熱除去系系統流量※																																																																																																											
原子炉格納容器への注水量	復水補給水流量 (原子炉格納容器)		58	復水貯蔵槽水位 (SA)																																																																																																								
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度			格納容器内圧力 (D/W)																																																																																																								
	サブプレッション・チェンパ 気体温度	サブプレッション・チェン パ・プール水温度																																																																																																										
原子炉格納容器内の圧力	サブプレッション・チェンパ・プ ール水温度	サブプレッション・チェン パ気体温度																																																																																																										
	格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)																																																																																																										
原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (S/C)	格納容器内圧力 (D/W)																																																																																																										
原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンパ・プ ール水位	復水補給水流量 (原子炉格納容器)																																																																																																										
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レ ベル (D/W)	格納容器内雰囲気放射線 レベル (S/C)																																																																																																										
	格納容器内雰囲気放射線 レベル (S/C)	格納容器内雰囲気放射線 レベル (D/W)																																																																																																										
未境界の監視	起動領域モニタ	平均出力領域モニタ																																																																																																										
	平均出力領域モニタ	起動領域モニタ																																																																																																										

※1: 主要設備の計測が困難となった場合の代替監視パラメータ

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																		
19	3.1.2.	共7-25	<p align="center">第2表:常設重大事故防止設備(8/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">代替所内電気設備による給電</td> <td>緊急用断路器</td> <td rowspan="7">57</td> <td rowspan="7">非常用所内電気設備</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱断路器</td> </tr> <tr> <td>緊急用電源切替箱接続装置</td> </tr> <tr> <td>AM用動力変圧器</td> </tr> <tr> <td>AM用MCC</td> </tr> <tr> <td>AM用操作盤</td> </tr> <tr> <td>AM用切替盤</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常用高圧母線 C系</td> <td rowspan="2">非常用高圧母線 D系</td> <td rowspan="2">非常用所内電気設備(E系)</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池A</td> <td>直流125V蓄電池B, 直流125V蓄電池C, 直流125V蓄電池D</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">非常用直流電源設備</td> <td>直流125V蓄電池A-2</td> <td rowspan="14">57</td> <td rowspan="14">非常用所内電気設備(E系)</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池B※</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池C※</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池D※</td> </tr> <tr> <td>直流125V充電器A</td> </tr> <tr> <td>直流125V充電器A-2</td> </tr> <tr> <td>直流125V充電器B※</td> </tr> <tr> <td>直流125V充電器C※</td> </tr> <tr> <td>直流125V充電器D※</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池及び充電器A~直流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池及び充電器A-2~直流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池及び充電器B~直流母線電路[電路]</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池及び充電器C~直流母線電路[電路]※</td> </tr> <tr> <td>直流125V蓄電池及び充電器D~直流母線電路[電路]※</td> </tr> <tr> <td>燃料補給設備</td> <td>軽油タンク</td> <td>(軽油タンク)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軽油タンク出口ノズル・弁[流路]</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	代替所内電気設備による給電	緊急用断路器	57	非常用所内電気設備	緊急用電源切替箱断路器	緊急用電源切替箱接続装置	AM用動力変圧器	AM用MCC	AM用操作盤	AM用切替盤	非常用高圧母線 C系	非常用高圧母線 D系	非常用所内電気設備(E系)	直流125V蓄電池A	直流125V蓄電池B, 直流125V蓄電池C, 直流125V蓄電池D	非常用直流電源設備	直流125V蓄電池A-2	57	非常用所内電気設備(E系)	直流125V蓄電池B※	直流125V蓄電池C※	直流125V蓄電池D※	直流125V充電器A	直流125V充電器A-2	直流125V充電器B※	直流125V充電器C※	直流125V充電器D※	直流125V蓄電池及び充電器A~直流母線電路[電路]	直流125V蓄電池及び充電器A-2~直流母線電路[電路]	直流125V蓄電池及び充電器B~直流母線電路[電路]	直流125V蓄電池及び充電器C~直流母線電路[電路]※	直流125V蓄電池及び充電器D~直流母線電路[電路]※	燃料補給設備	軽油タンク	(軽油タンク)		軽油タンク出口ノズル・弁[流路]		<p align="center">表2:常設重大事故防止設備(8/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設*</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">蒸気ヒートシンクによる冷却状態の確認</td> <td>サブプレッション・チェンバール水温度</td> <td rowspan="10">58</td> <td rowspan="10">ドライウエル蒸気温度 サブプレッション・チェンバール水温度</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統温度(代替循環冷却)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系統流量(原子炉格納容器)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置スクラブ水pH</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器バイパスの監視</td> <td>原子炉補給冷却水系統流量※</td> <td rowspan="3">58</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器温度 ドライウエル蒸気温度 サブプレッション・チェンバール水温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系統交換器入口冷却水流量※</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系統交換器出口温度※</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水質の確認</td> <td>原子炉水位</td> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">ドライウエル蒸気温度 格納容器圧力(D/W)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力</td> <td></td> <td>原子炉水位(SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力(SA)</td> <td></td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル蒸気温度 格納容器圧力(D/W)</td> <td></td> <td>原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位</td> <td></td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>復水貯蔵槽水位(SA)</td> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却系統流量 高圧代替注水系統流量 復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブプレッション・チェンバール水位</td> <td></td> <td>残留熱除去系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水補給水系統流量(原子炉圧力容器) 復水補給水系統流量(原子炉格納容器) 復水移送ポンプ吐出圧力</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設*	系統機能	主要設備	蒸気ヒートシンクによる冷却状態の確認	サブプレッション・チェンバール水温度	58	ドライウエル蒸気温度 サブプレッション・チェンバール水温度	復水補給水系統温度(代替循環冷却)	復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)	復水補給水系統流量(原子炉格納容器)	フィルタ装置水位	フィルタ装置入口圧力	フィルタ装置出口放射線モニタ	フィルタ装置水素濃度	フィルタ装置金属フィルタ差圧	フィルタ装置スクラブ水pH	格納容器バイパスの監視	原子炉補給冷却水系統流量※	58	原子炉圧力容器温度 ドライウエル蒸気温度 サブプレッション・チェンバール水温度	残留熱除去系統交換器入口冷却水流量※	残留熱除去系統交換器出口温度※	水質の確認	原子炉水位	58	ドライウエル蒸気温度 格納容器圧力(D/W)	原子炉圧力(SA)		原子炉圧力		原子炉水位(SA)		原子炉圧力(SA)		原子炉圧力		ドライウエル蒸気温度 格納容器圧力(D/W)		原子炉圧力(SA)		原子炉水位		原子炉圧力		復水貯蔵槽水位(SA)		原子炉隔離時冷却系統流量 高圧代替注水系統流量 復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)		サブプレッション・チェンバール水位		残留熱除去系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水補給水系統流量(原子炉圧力容器) 復水補給水系統流量(原子炉格納容器) 復水移送ポンプ吐出圧力	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																															
系統機能	主要設備																																																																																																						
代替所内電気設備による給電	緊急用断路器	57	非常用所内電気設備																																																																																																				
	緊急用電源切替箱断路器																																																																																																						
	緊急用電源切替箱接続装置																																																																																																						
	AM用動力変圧器																																																																																																						
	AM用MCC																																																																																																						
	AM用操作盤																																																																																																						
	AM用切替盤																																																																																																						
非常用高圧母線 C系	非常用高圧母線 D系	非常用所内電気設備(E系)																																																																																																					
			直流125V蓄電池A	直流125V蓄電池B, 直流125V蓄電池C, 直流125V蓄電池D																																																																																																			
非常用直流電源設備	直流125V蓄電池A-2	57	非常用所内電気設備(E系)																																																																																																				
	直流125V蓄電池B※																																																																																																						
	直流125V蓄電池C※																																																																																																						
	直流125V蓄電池D※																																																																																																						
	直流125V充電器A																																																																																																						
	直流125V充電器A-2																																																																																																						
	直流125V充電器B※																																																																																																						
	直流125V充電器C※																																																																																																						
	直流125V充電器D※																																																																																																						
	直流125V蓄電池及び充電器A~直流母線電路[電路]																																																																																																						
	直流125V蓄電池及び充電器A-2~直流母線電路[電路]																																																																																																						
	直流125V蓄電池及び充電器B~直流母線電路[電路]																																																																																																						
	直流125V蓄電池及び充電器C~直流母線電路[電路]※																																																																																																						
	直流125V蓄電池及び充電器D~直流母線電路[電路]※																																																																																																						
燃料補給設備	軽油タンク	(軽油タンク)																																																																																																					
	軽油タンク出口ノズル・弁[流路]																																																																																																						
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設*																																																																																																				
系統機能	主要設備																																																																																																						
蒸気ヒートシンクによる冷却状態の確認	サブプレッション・チェンバール水温度	58	ドライウエル蒸気温度 サブプレッション・チェンバール水温度																																																																																																				
	復水補給水系統温度(代替循環冷却)																																																																																																						
	復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)																																																																																																						
	復水補給水系統流量(原子炉格納容器)																																																																																																						
	フィルタ装置水位																																																																																																						
	フィルタ装置入口圧力																																																																																																						
	フィルタ装置出口放射線モニタ																																																																																																						
	フィルタ装置水素濃度																																																																																																						
	フィルタ装置金属フィルタ差圧																																																																																																						
	フィルタ装置スクラブ水pH																																																																																																						
格納容器バイパスの監視	原子炉補給冷却水系統流量※	58	原子炉圧力容器温度 ドライウエル蒸気温度 サブプレッション・チェンバール水温度																																																																																																				
	残留熱除去系統交換器入口冷却水流量※																																																																																																						
	残留熱除去系統交換器出口温度※																																																																																																						
水質の確認	原子炉水位	58	ドライウエル蒸気温度 格納容器圧力(D/W)																																																																																																				
	原子炉圧力(SA)																																																																																																						
	原子炉圧力		原子炉水位(SA)																																																																																																				
	原子炉圧力(SA)		原子炉圧力																																																																																																				
	ドライウエル蒸気温度 格納容器圧力(D/W)		原子炉圧力(SA)																																																																																																				
	原子炉水位		原子炉圧力																																																																																																				
	復水貯蔵槽水位(SA)		原子炉隔離時冷却系統流量 高圧代替注水系統流量 復水補給水系統流量(原子炉圧力容器)																																																																																																				
	サブプレッション・チェンバール水位		残留熱除去系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水補給水系統流量(原子炉圧力容器) 復水補給水系統流量(原子炉格納容器) 復水移送ポンプ吐出圧力																																																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																		
20	3.1.2.	共7-26	<p align="center">第2表: 常設重大事故防止設備 (9/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設^{※1}</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機※</td> <td rowspan="6">57</td> <td>(非常用ディーゼル発電機)</td> </tr> <tr> <td>燃料移送ポンプ※</td> <td>(燃料移送ポンプ)</td> </tr> <tr> <td>軽油タンク</td> <td>(軽油タンク)</td> </tr> <tr> <td>燃料ディタンク※</td> <td>(燃料ディタンク)</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁[燃料流路]※</td> <td>(非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁)</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路[電路]※</td> <td>(非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> <td rowspan="2">58</td> <td>主要パラメータの他チャンネル原子炉圧力 (SA) ^{※2}</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力^{※3}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)</td> <td rowspan="2">58</td> <td>主要パラメータの他チャンネル原子炉水位 (SA) ^{※3}</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA)</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) [*]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>高圧代替注水系系統流量</td> <td rowspan="4">58</td> <td>復水貯蔵槽水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量 (RHRA 系代替注水流)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量 (RHBB 系代替注水流)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系系統流量※</td> <td>原子炉水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器への注水量</td> <td>高圧炉心注水系系統流量※</td> <td rowspan="2">58</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位 原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系系統流量※</td> <td>原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>復水補給水系流量 (RHBB 系代替注水流)</td> <td>58</td> <td>復水貯蔵槽水位 (SA) 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}	系統機能	主要設備	非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機※	57	(非常用ディーゼル発電機)	燃料移送ポンプ※	(燃料移送ポンプ)	軽油タンク	(軽油タンク)	燃料ディタンク※	(燃料ディタンク)	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁[燃料流路]※	(非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁)	非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路[電路]※	(非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	58	主要パラメータの他チャンネル原子炉圧力 (SA) ^{※2}	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 ^{※3}	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)	58	主要パラメータの他チャンネル原子炉水位 (SA) ^{※3}	原子炉水位 (SA)	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) [*]	原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水系系統流量	58	復水貯蔵槽水位 (SA)	復水補給水系流量 (RHRA 系代替注水流)	原子炉水位 (広帯域)	復水補給水系流量 (RHBB 系代替注水流)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉隔離時冷却系系統流量※	原子炉水位 (SA)	原子炉格納容器への注水量	高圧炉心注水系系統流量※	58	サブプレッション・チェンバ・プール水位 原子炉水位 (広帯域)	残留熱除去系系統流量※	原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA)	原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量 (RHBB 系代替注水流)	58	復水貯蔵槽水位 (SA) 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)	<p align="center">表2: 常設重大事故防止設備 (9/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設^{※1}</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">使用資燃料貯蔵プールの監視</td> <td>使用資燃料プール水位・温度 (SA)</td> <td rowspan="3">58</td> <td>使用資燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>使用資燃料プール水位・温度 (SA 広域)</td> <td>使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> </tr> <tr> <td>使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td> <td>使用資燃料プール水位・温度 (SA) 使用資燃料プール水位・温度 (SA 広域)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 主要設備の計測が困難となった場合の代替監視パラメータ</p>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}	系統機能	主要設備	使用資燃料貯蔵プールの監視	使用資燃料プール水位・温度 (SA)	58	使用資燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	使用資燃料プール水位・温度 (SA 広域)	使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	使用資燃料プール水位・温度 (SA) 使用資燃料プール水位・温度 (SA 広域)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}																																																															
系統機能	主要設備																																																																						
非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機※	57	(非常用ディーゼル発電機)																																																																				
	燃料移送ポンプ※		(燃料移送ポンプ)																																																																				
	軽油タンク		(軽油タンク)																																																																				
	燃料ディタンク※		(燃料ディタンク)																																																																				
	非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁[燃料流路]※		(非常用ディーゼル発電機燃料移送系配管・弁)																																																																				
	非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路[電路]※		(非常用ディーゼル発電機～非常用高圧母線電路)																																																																				
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	58	主要パラメータの他チャンネル原子炉圧力 (SA) ^{※2}																																																																				
	原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力 ^{※3}																																																																				
原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域)	58	主要パラメータの他チャンネル原子炉水位 (SA) ^{※3}																																																																				
	原子炉水位 (SA)		原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) [*]																																																																				
原子炉圧力容器への注水量	高圧代替注水系系統流量	58	復水貯蔵槽水位 (SA)																																																																				
	復水補給水系流量 (RHRA 系代替注水流)		原子炉水位 (広帯域)																																																																				
	復水補給水系流量 (RHBB 系代替注水流)		原子炉水位 (燃料域)																																																																				
	原子炉隔離時冷却系系統流量※		原子炉水位 (SA)																																																																				
原子炉格納容器への注水量	高圧炉心注水系系統流量※	58	サブプレッション・チェンバ・プール水位 原子炉水位 (広帯域)																																																																				
	残留熱除去系系統流量※		原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA)																																																																				
原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量 (RHBB 系代替注水流)	58	復水貯蔵槽水位 (SA) 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)																																																																				
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}																																																																				
系統機能	主要設備																																																																						
使用資燃料貯蔵プールの監視	使用資燃料プール水位・温度 (SA)	58	使用資燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) 使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)																																																																				
	使用資燃料プール水位・温度 (SA 広域)		使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)																																																																				
	使用資燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)		使用資燃料プール水位・温度 (SA) 使用資燃料プール水位・温度 (SA 広域)																																																																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	3.1.2.	共7-26	※1: 主要設備の計測が困難となった場合の代替監視パラメータ ※2: 「原子炉水位(広帯域), 原子炉水位(燃料域), 原子炉水位(SA), 原子炉圧力容器温度」を含む ※3: 「高圧代替注水系系統流量, 復水補給水系流量(RHR A系代替注水流量), 復水補給水系流量(RHR B系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系系統流量, 高圧炉心注水系系統流量, 残留熱除去系系統流量, 原子炉圧力, 原子炉圧力(SA), 格納容器圧力(S/C)」を含む	—	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																													
22	3.1.2.	共7-27	<p align="center">第2表:常設重大事故防止設備(10/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設⁹¹</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の温度</td> <td>ドライウエル雰囲気温度</td> <td rowspan="3">58</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> <td>主要パラメータの他チャンネル サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の圧力</td> <td>格納容器内圧力 (D/W)</td> <td rowspan="2">58</td> <td>格納容器内圧力 (S/C) ドライウエル雰囲気温度 格納容器内圧力 (D/W)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内圧力 (S/C)</td> <td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td>58</td> <td>復水補給水系流量 (RHRB 系代替注水流量) 復水貯蔵槽水位 (SA) 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の放射線量率</td> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)</td> <td rowspan="2">58</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)</td> <td>主要パラメータの他チャンネル</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">未臨界の維持又は監視</td> <td>起動領域モニタ</td> <td rowspan="2">58</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> <td>主要パラメータの他チャンネル 起動領域モニタ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)</td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td> <td rowspan="2">58</td> <td>主要パラメータの他チャンネル サブプレッション・チェンバ気体温度</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系流量 (RHRA 系代替注水流量)</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA) 原子炉圧力容器温度</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ⁹¹	系統機能	主要設備	原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度	58	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)	サブプレッション・チェンバ気体温度	サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内圧力 (S/C)	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	主要パラメータの他チャンネル サブプレッション・チェンバ気体温度	原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (D/W)	58	格納容器内圧力 (S/C) ドライウエル雰囲気温度 格納容器内圧力 (D/W)	格納容器内圧力 (S/C)	サブプレッション・チェンバ気体温度	原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	58	復水補給水系流量 (RHRB 系代替注水流量) 復水貯蔵槽水位 (SA) 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)	原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)	58	主要パラメータの他チャンネル	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)	主要パラメータの他チャンネル	未臨界の維持又は監視	起動領域モニタ	58	主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ	平均出力領域モニタ	主要パラメータの他チャンネル 起動領域モニタ	最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	58	主要パラメータの他チャンネル サブプレッション・チェンバ気体温度	復水補給水系流量 (RHRA 系代替注水流量)	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA) 原子炉圧力容器温度	<p align="center">表2:常設重大事故防止設備(10/10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保</td> <td>中央制御室遠隔</td> <td rowspan="2">59</td> <td>(中央制御室遠隔)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室換気空調系給排気隔離弁</td> <td>中央制御室換気空調系</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策用遠隔</td> <td rowspan="2">61</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策用二酸化炭素吸収装置</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>61</td> <td>送受信機, 電力保安通信用電話設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電線の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)</td> <td>負荷変圧器</td> <td rowspan="2">61</td> <td>外部電源</td> </tr> <tr> <td>交流分電盤</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策用)</td> <td>免震重要棟内緊急時対策用遠隔</td> <td rowspan="2">61</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策用給排気隔離ダンパ</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策用)</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>61</td> <td>送受信機, 電力保安通信用電話設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">電線の確保 (免震重要棟内緊急時対策用)</td> <td>免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機</td> <td rowspan="6">62</td> <td rowspan="6">外部電源</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用地下貯給タンク</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用受電盤</td> </tr> <tr> <td>免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機-電源車切替断回路</td> </tr> <tr> <td>無線連絡設備 (常設)</td> </tr> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td>62</td> <td>送受信機, 電力保安通信用電話設備</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設	系統機能	主要設備	居住性の確保	中央制御室遠隔	59	(中央制御室遠隔)	中央制御室換気空調系給排気隔離弁	中央制御室換気空調系	居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策用遠隔	61	-	5号炉原子炉建屋内緊急時対策用二酸化炭素吸収装置	-	通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)	無線連絡設備 (常設)	61	送受信機, 電力保安通信用電話設備	電線の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)	負荷変圧器	61	外部電源	交流分電盤	-	居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策用)	免震重要棟内緊急時対策用遠隔	61	-	免震重要棟内緊急時対策用給排気隔離ダンパ	-	通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策用)	無線連絡設備 (常設)	61	送受信機, 電力保安通信用電話設備	電線の確保 (免震重要棟内緊急時対策用)	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機	62	外部電源	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用地下貯給タンク	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用受電盤	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機-電源車切替断回路	無線連絡設備 (常設)	発電所内の通信連絡	無線連絡設備 (常設)	62	送受信機, 電力保安通信用電話設備	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設 ⁹¹																																																																																										
系統機能	主要設備																																																																																																	
原子炉格納容器内の温度	ドライウエル雰囲気温度	58	主要パラメータの他チャンネル 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)																																																																																															
	サブプレッション・チェンバ気体温度		サブプレッション・チェンバ・プール水温度 格納容器内圧力 (S/C)																																																																																															
	サブプレッション・チェンバ・プール水温度		主要パラメータの他チャンネル サブプレッション・チェンバ気体温度																																																																																															
原子炉格納容器内の圧力	格納容器内圧力 (D/W)	58	格納容器内圧力 (S/C) ドライウエル雰囲気温度 格納容器内圧力 (D/W)																																																																																															
	格納容器内圧力 (S/C)		サブプレッション・チェンバ気体温度																																																																																															
原子炉格納容器内の水位	サブプレッション・チェンバ・プール水位	58	復水補給水系流量 (RHRB 系代替注水流量) 復水貯蔵槽水位 (SA) 格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)																																																																																															
原子炉格納容器内の放射線量率	格納容器内雰囲気放射線レベル (D/W)	58	主要パラメータの他チャンネル																																																																																															
	格納容器内雰囲気放射線レベル (S/C)		主要パラメータの他チャンネル																																																																																															
未臨界の維持又は監視	起動領域モニタ	58	主要パラメータの他チャンネル 平均出力領域モニタ																																																																																															
	平均出力領域モニタ		主要パラメータの他チャンネル 起動領域モニタ																																																																																															
最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	58	主要パラメータの他チャンネル サブプレッション・チェンバ気体温度																																																																																															
	復水補給水系流量 (RHRA 系代替注水流量)		原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA) 原子炉圧力容器温度																																																																																															
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設																																																																																															
系統機能	主要設備																																																																																																	
居住性の確保	中央制御室遠隔	59	(中央制御室遠隔)																																																																																															
	中央制御室換気空調系給排気隔離弁		中央制御室換気空調系																																																																																															
居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策用遠隔	61	-																																																																																															
	5号炉原子炉建屋内緊急時対策用二酸化炭素吸収装置		-																																																																																															
通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)	無線連絡設備 (常設)	61	送受信機, 電力保安通信用電話設備																																																																																															
電線の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策用)	負荷変圧器	61	外部電源																																																																																															
	交流分電盤		-																																																																																															
居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策用)	免震重要棟内緊急時対策用遠隔	61	-																																																																																															
	免震重要棟内緊急時対策用給排気隔離ダンパ		-																																																																																															
通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策用)	無線連絡設備 (常設)	61	送受信機, 電力保安通信用電話設備																																																																																															
電線の確保 (免震重要棟内緊急時対策用)	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機	62	外部電源																																																																																															
	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用地下貯給タンク																																																																																																	
	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ																																																																																																	
	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機用受電盤																																																																																																	
	免震重要棟内緊急時対策用ガスタービン発電機-電源車切替断回路																																																																																																	
	無線連絡設備 (常設)																																																																																																	
発電所内の通信連絡	無線連絡設備 (常設)	62	送受信機, 電力保安通信用電話設備																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由				
23	3.1.2.	共7-28	第2表:常設重大事故防止設備(11/14)			②(SA設備の見直しに伴う変更)			
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張				58	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}	
			系統機能	主要設備					
			最終ヒートシンクの確保 (代替循環冷却系)	復水補給水系流量 (RHRB 系代替注水流量)					復水補給水系流量 (RHRB 系代替注水流量) 復水補給水系流量 (格納容器下部注水流量) 復水移送ポンプ吐出圧力 格納容器内圧力 (S/C) サブプレッション・チェンバ・プール水位 サブプレッション・チェンバ・プール水温度 ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ気体温度
			最終ヒートシンクの確保 (格納容器圧力逃がし装置)	フィルタ装置水位					主要パラメータの他チェンネル
				フィルタ装置入口圧力					格納容器内圧力 (D/W) 格納容器内圧力 (S/C)
				フィルタ装置出口放射線モニタ					主要パラメータの他チェンネル
				フィルタ装置水素濃度					主要パラメータの他チェンネル 格納容器内水素濃度 (SA)
				フィルタ装置金属フィルタ差圧					主要パラメータの他チェンネル
			最終ヒートシンクの確保 (耐圧強化ベント系)	耐圧強化ベント系放射線モニタ					フィルタ装置水位
フィルタ装置水素濃度	主要パラメータの他チェンネル								
最終ヒートシンクの確保 (残留熱除去系)	残留熱除去系熱交換器入口温度※	格納容器水素濃度 (SA) 原子炉圧力容器温度 サブプレッション・チェンバ・プール水温度							
	残留熱除去系熱交換器出口温度※	残留熱除去系熱交換器入口温度 原子炉補機冷却水系系統流量 残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量							
	残留熱除去系系統流量※	残留熱除去系ポンプ吐出圧力							

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由				
24	3.1.2.	共7-29	第2表: 常設重大事故防止設備(12/14)			②(SA設備の見直しに伴う変更)			
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張				58	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1} 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ) 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域) 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ) 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ) 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域) 使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ) 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ 主要パラメータの他チャンネル 原子炉水位(SA) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA) 原子炉圧力 原子炉圧力(SA) 主要パラメータの他チャンネル 原子炉圧力(SA) ^{※2} 原子炉圧力 ^{※2} 主要パラメータの他チャンネル 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C) ドライウエル雰囲気温度	
			系統機能	主要設備					関連条文
			使用済燃料プールの監視	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)					
				使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA)					
				使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ(高レンジ・低レンジ)					
			格納容器バイパスの監視(原子炉圧力容器内の状態)	原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域)					
				原子炉水位(SA)					
				原子炉圧力					
				原子炉圧力(SA)					
格納容器バイパスの監視(原子炉格納容器内の状態)	ドライウエル雰囲気温度								
	格納容器内圧力(D/W)								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																	
25	3.1.2.	共7-30	<p align="center">第2表: 常設重大事故防止設備(13/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設²⁾</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水源の確認</td> <td>復水貯蔵槽水位 (SA)</td> <td rowspan="2">58</td> <td> 高压代替注水系統流量 復水補給水系統流量 (RHRA 系代替注水流量), 復水補給水系統流量 (RHBB 系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系統流量, 高压炉心注水系統流量 復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量), 原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域), 原子炉水位 (SA), 復水移送ポンプ吐出圧力 復水補給水系統流量 (RHRC 系代替注水流量), 復水補給水系統流量 (RHBB 系代替注水流量), 残留熱除去系統流量, 復水移送ポンプ吐出圧力 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td> 高压窒素ガス供給系 ADS 入口圧力 高压窒素ガス供給系窒素ガスボンベ出口圧力 RCW サージタンク水位※ 原子炉補機冷却水系統熱交換器出口冷却水温度※ ドレンタンク水位 M/C C 電圧 M/C D 電圧 第一 GTG 発電機電圧 非常用 D/G 発電機電圧 非常用 D/G 発電機電力 非常用 D/G 発電機周波数 非常用 D/G 発電機電圧 (他号炉) 非常用 D/G 発電機電力 (他号炉) 非常用 D/G 発電機周波数 (他号炉) P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 P/C C-1 電圧 (他号炉) P/C D-1 電圧 (他号炉) 直流 125V 主母線盤 A 電圧 </td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ²⁾	系統機能	主要設備	水源の確認	復水貯蔵槽水位 (SA)	58	高压代替注水系統流量 復水補給水系統流量 (RHRA 系代替注水流量), 復水補給水系統流量 (RHBB 系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系統流量, 高压炉心注水系統流量 復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量), 原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域), 原子炉水位 (SA), 復水移送ポンプ吐出圧力 復水補給水系統流量 (RHRC 系代替注水流量), 復水補給水系統流量 (RHBB 系代替注水流量), 残留熱除去系統流量, 復水移送ポンプ吐出圧力		サブプレッション・チェンバ・プール水位		その他	高压窒素ガス供給系 ADS 入口圧力 高压窒素ガス供給系窒素ガスボンベ出口圧力 RCW サージタンク水位※ 原子炉補機冷却水系統熱交換器出口冷却水温度※ ドレンタンク水位 M/C C 電圧 M/C D 電圧 第一 GTG 発電機電圧 非常用 D/G 発電機電圧 非常用 D/G 発電機電力 非常用 D/G 発電機周波数 非常用 D/G 発電機電圧 (他号炉) 非常用 D/G 発電機電力 (他号炉) 非常用 D/G 発電機周波数 (他号炉) P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 P/C C-1 電圧 (他号炉) P/C D-1 電圧 (他号炉) 直流 125V 主母線盤 A 電圧				②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文			代替する機能を有する設計基準対象施設 ²⁾														
系統機能	主要設備																					
水源の確認	復水貯蔵槽水位 (SA)	58	高压代替注水系統流量 復水補給水系統流量 (RHRA 系代替注水流量), 復水補給水系統流量 (RHBB 系代替注水流量), 原子炉隔離時冷却系統流量, 高压炉心注水系統流量 復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量), 原子炉水位 (広帯域), 原子炉水位 (燃料域), 原子炉水位 (SA), 復水移送ポンプ吐出圧力 復水補給水系統流量 (RHRC 系代替注水流量), 復水補給水系統流量 (RHBB 系代替注水流量), 残留熱除去系統流量, 復水移送ポンプ吐出圧力																			
	サブプレッション・チェンバ・プール水位																					
その他	高压窒素ガス供給系 ADS 入口圧力 高压窒素ガス供給系窒素ガスボンベ出口圧力 RCW サージタンク水位※ 原子炉補機冷却水系統熱交換器出口冷却水温度※ ドレンタンク水位 M/C C 電圧 M/C D 電圧 第一 GTG 発電機電圧 非常用 D/G 発電機電圧 非常用 D/G 発電機電力 非常用 D/G 発電機周波数 非常用 D/G 発電機電圧 (他号炉) 非常用 D/G 発電機電力 (他号炉) 非常用 D/G 発電機周波数 (他号炉) P/C C-1 電圧 P/C D-1 電圧 P/C C-1 電圧 (他号炉) P/C D-1 電圧 (他号炉) 直流 125V 主母線盤 A 電圧																					

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																													
26	3.1.2.	共7-31	<p>第2表: 常設重大事故防止設備 (14/14)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">代替する機能を有する設計基準対象施設^{※1}</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">その他</td> <td>直流 125V 主母線盤 B 電圧</td> <td rowspan="6">58</td> <td rowspan="6">-</td> </tr> <tr> <td>直流 125V 充電器盤 A-2 蓄電池電圧</td> </tr> <tr> <td>AM 用直流 125V 充電器盤蓄電池電圧</td> </tr> <tr> <td>第一 GTG 発電機周波数</td> </tr> <tr> <td>M/C E 電圧※</td> </tr> <tr> <td>P/C E-1 電圧※</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">居住性の確保</td> <td>直流 125V 主母線盤 C 電圧※</td> <td rowspan="3">59</td> <td rowspan="3">(中央制御室遮蔽) 中央制御室換気空調系給排気隔離弁 (MCR 外気取入ダンパ, MCR 非常用外気取入ダンパ, MCR 排気ダンパ) [流路] 中央制御室換気空調系ダクト (MCR 外気取入ダクト, MCR 排気ダクト) [流路]</td> </tr> <tr> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 高気密室</td> </tr> <tr> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (対策本部)</td> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 遮蔽</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 室内遮蔽</td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td rowspan="3">62</td> <td rowspan="3">送受話器, 電力保安通信用電話設備 非常用所内電気設備</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>負荷変圧器</td> </tr> <tr> <td></td> <td>交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>無線連絡設備 (常設)</td> <td rowspan="2">62</td> <td rowspan="2">送受話器, 電力保安通信用電話設備[※]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無線連絡設備 (屋外アンテナ) [伝送路]</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}	系統機能	主要設備	その他	直流 125V 主母線盤 B 電圧	58	-	直流 125V 充電器盤 A-2 蓄電池電圧	AM 用直流 125V 充電器盤蓄電池電圧	第一 GTG 発電機周波数	M/C E 電圧※	P/C E-1 電圧※	居住性の確保	直流 125V 主母線盤 C 電圧※	59	(中央制御室遮蔽) 中央制御室換気空調系給排気隔離弁 (MCR 外気取入ダンパ, MCR 非常用外気取入ダンパ, MCR 排気ダンパ) [流路] 中央制御室換気空調系ダクト (MCR 外気取入ダクト, MCR 排気ダクト) [流路]	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 高気密室	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽	居住性の確保 (対策本部)	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽	61	-	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置	居住性の確保 (待機場所)	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 遮蔽	61	-	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 室内遮蔽	通信連絡 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	無線連絡設備 (常設)	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 非常用所内電気設備	電源の確保 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	負荷変圧器		交流分電盤	発電所内の通信連絡	無線連絡設備 (常設)	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 [※]		無線連絡設備 (屋外アンテナ) [伝送路]		② (SA設備の見直しに伴う変更)
常設重大事故防止設備 ※設計基準拡張		関連条文	代替する機能を有する設計基準対象施設 ^{※1}																																															
系統機能	主要設備																																																	
その他	直流 125V 主母線盤 B 電圧	58	-																																															
	直流 125V 充電器盤 A-2 蓄電池電圧																																																	
	AM 用直流 125V 充電器盤蓄電池電圧																																																	
	第一 GTG 発電機周波数																																																	
	M/C E 電圧※																																																	
	P/C E-1 電圧※																																																	
居住性の確保	直流 125V 主母線盤 C 電圧※	59	(中央制御室遮蔽) 中央制御室換気空調系給排気隔離弁 (MCR 外気取入ダンパ, MCR 非常用外気取入ダンパ, MCR 排気ダンパ) [流路] 中央制御室換気空調系ダクト (MCR 外気取入ダクト, MCR 排気ダクト) [流路]																																															
	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 高気密室																																																	
	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽																																																	
居住性の確保 (対策本部)	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 遮蔽	61	-																																															
	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 二酸化炭素吸収装置																																																	
居住性の確保 (待機場所)	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 遮蔽	61	-																																															
	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 室内遮蔽																																																	
通信連絡 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	無線連絡設備 (常設)	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 非常用所内電気設備																																															
電源の確保 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	負荷変圧器																																																	
	交流分電盤																																																	
発電所内の通信連絡	無線連絡設備 (常設)	62	送受話器, 電力保安通信用電話設備 [※]																																															
	無線連絡設備 (屋外アンテナ) [伝送路]																																																	
27	3.1.2.	共7-32	<p>第2表の設備のうち, 配管, 手動弁, 逆止弁, 海水ストレーナ, ストレーナ, スパージャ, 海水貯留堰, スクリーン室, 取水路, 補機冷却用海水取水路, 補機冷却用海水取水槽, スプレイヘッド, クエンチャ, ディフューザ, 熱交換器, 発火性・引火性物質を内包しないタンク, 復水貯蔵槽, サプレッション・チェンバ, 防火水槽, 淡水貯水池, 海水取水箇所, 原子炉圧力容器, 原子炉格納容器, ラブチャードィスク, 使用済燃料プール, 遮蔽, 遠隔手動弁操作設備, ダクト, ダンパ, アクムレータ, 原子炉建屋ブローアウトパネル, 主排気筒 (内筒) は金属等の不燃性材料で構築されていること,</p>	<p>表2の設備のうち, 配管, 手動弁, 逆止弁, 海水ストレーナ, ストレーナ, スパージャ, 海水貯留堰, スクリーン室, 取水路, 補機冷却用海水取水路, 補機冷却用海水取水槽, スプレイヘッド, クエンチャ, サイフォンブレイク孔, 熱交換器, 発火性・引火性物質を内包しないタンク, 復水貯蔵槽, サプレッション・チェンバ, 海水取水箇所, 原子炉圧力容器, 原子炉格納容器, 使用済燃料貯蔵プール, 遮蔽, 遠隔手動弁操作設備は金属等の不燃性材料で構築されていること,</p>	② (SA設備の見直しに伴う変更)																																													

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																														
28	3.1.2.	共7-45	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>・ 低圧代替注水系 (常設)</td> <td>・ 残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>・ 復水移送ポンプ</td> <td>・ 残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>電動弁 (状態表示を含む)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入弁 (例: E11-M0-F005B) ・ タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-M0-F029) ・ 残留熱除去系洗浄水弁(B) (例: E11-M0-F032B) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入弁 (例: E11-M0-F005A) </td> </tr> <tr> <td>監視計器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) ・ 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) ・ 復水移送ポンプ吐出圧力 ・ 原子炉水位 (S A) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系流量 ・ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	—	・ 低圧代替注水系 (常設)	・ 残留熱除去系 (低圧注水モード)	ポンプ	・ 復水移送ポンプ	・ 残留熱除去系ポンプ	電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入弁 (例: E11-M0-F005B) ・ タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-M0-F029) ・ 残留熱除去系洗浄水弁(B) (例: E11-M0-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入弁 (例: E11-M0-F005A) 	監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) ・ 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) ・ 復水移送ポンプ吐出圧力 ・ 原子炉水位 (S A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系流量 ・ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>・ 低圧代替注水系 (常設)</td> <td>・ 残留熱除去系 (低圧注水モード)</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>・ 復水移送ポンプ</td> <td>・ 残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>電動弁 (状態表示を含む)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入隔離弁 (例: E11-M0-F005B) ・ 復水補給水系タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-M0-F029) ・ 残留熱除去系(B)注入ライン洗浄水止め弁 (例: E11-M0-F032B) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入隔離弁 (例: E11-M0-F005A) </td> </tr> <tr> <td>監視計器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水補給水系流量計 ・ 復水移送ポンプ吐出圧力計 ・ 原子炉水位計 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系流量計 ・ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	—	・ 低圧代替注水系 (常設)	・ 残留熱除去系 (低圧注水モード)	ポンプ	・ 復水移送ポンプ	・ 残留熱除去系ポンプ	電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入隔離弁 (例: E11-M0-F005B) ・ 復水補給水系タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-M0-F029) ・ 残留熱除去系(B)注入ライン洗浄水止め弁 (例: E11-M0-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入隔離弁 (例: E11-M0-F005A) 	監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水補給水系流量計 ・ 復水移送ポンプ吐出圧力計 ・ 原子炉水位計 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系流量計 ・ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力計 	②(SA設備の見直しに伴う変更)
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																																	
—	・ 低圧代替注水系 (常設)	・ 残留熱除去系 (低圧注水モード)																																	
ポンプ	・ 復水移送ポンプ	・ 残留熱除去系ポンプ																																	
電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入弁 (例: E11-M0-F005B) ・ タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-M0-F029) ・ 残留熱除去系洗浄水弁(B) (例: E11-M0-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入弁 (例: E11-M0-F005A) 																																	
監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水補給水系流量 (RHR A系代替注水流量) ・ 復水補給水系流量 (RHR B系代替注水流量) ・ 復水移送ポンプ吐出圧力 ・ 原子炉水位 (S A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系流量 ・ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 																																	
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																																	
—	・ 低圧代替注水系 (常設)	・ 残留熱除去系 (低圧注水モード)																																	
ポンプ	・ 復水移送ポンプ	・ 残留熱除去系ポンプ																																	
電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入隔離弁 (例: E11-M0-F005B) ・ 復水補給水系タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-M0-F029) ・ 残留熱除去系(B)注入ライン洗浄水止め弁 (例: E11-M0-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系注入隔離弁 (例: E11-M0-F005A) 																																	
監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水補給水系流量計 ・ 復水移送ポンプ吐出圧力計 ・ 原子炉水位計 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残留熱除去系流量計 ・ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力計 																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

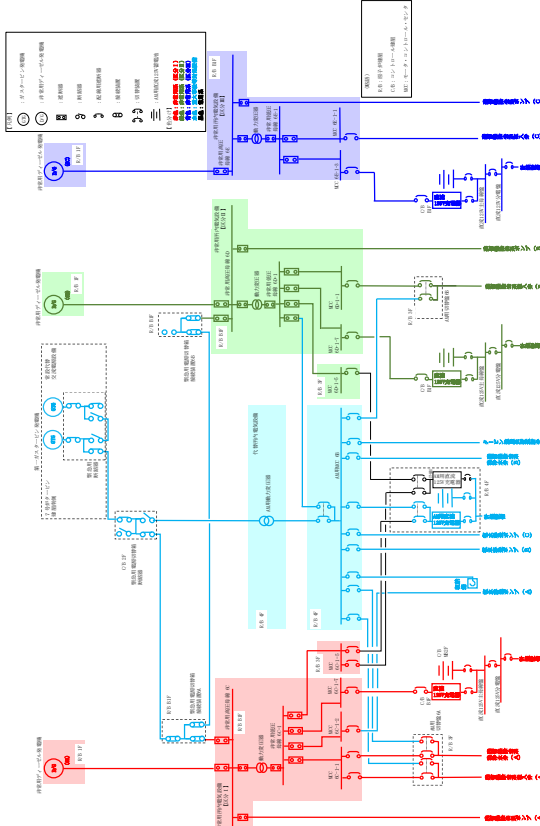
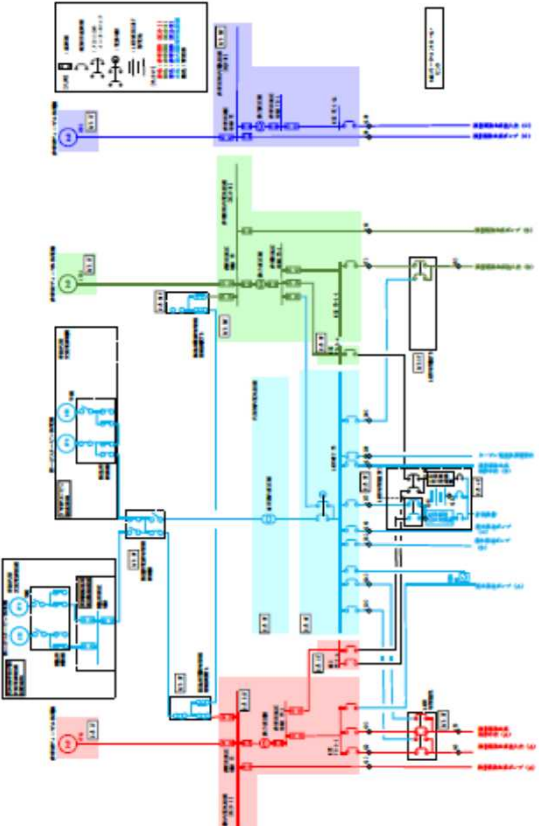
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
29	3.1.2.	共7-47	<p>第13図 低圧代替注水系(常設)と残留熱除去系(低圧注水モード)の系統概略図</p>	<p>図14: 低圧代替注水系と残留熱除去系(低圧注水モード)の系統概略図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

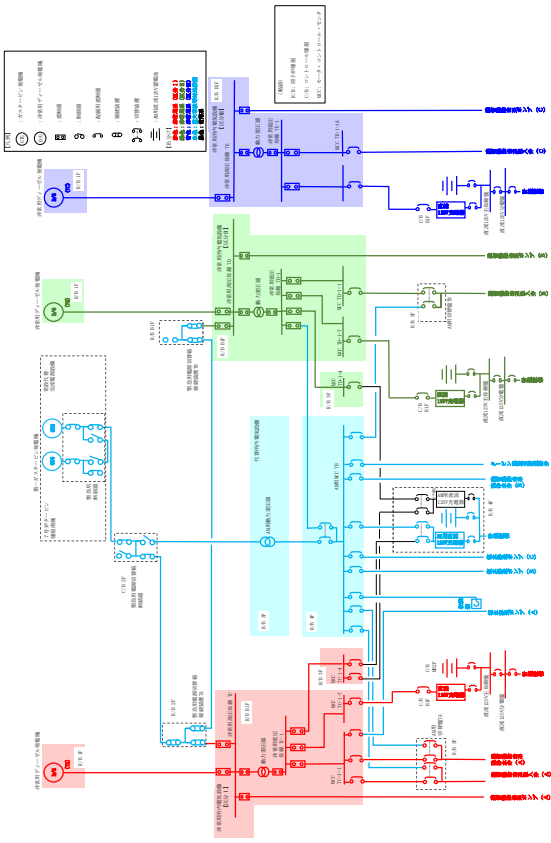
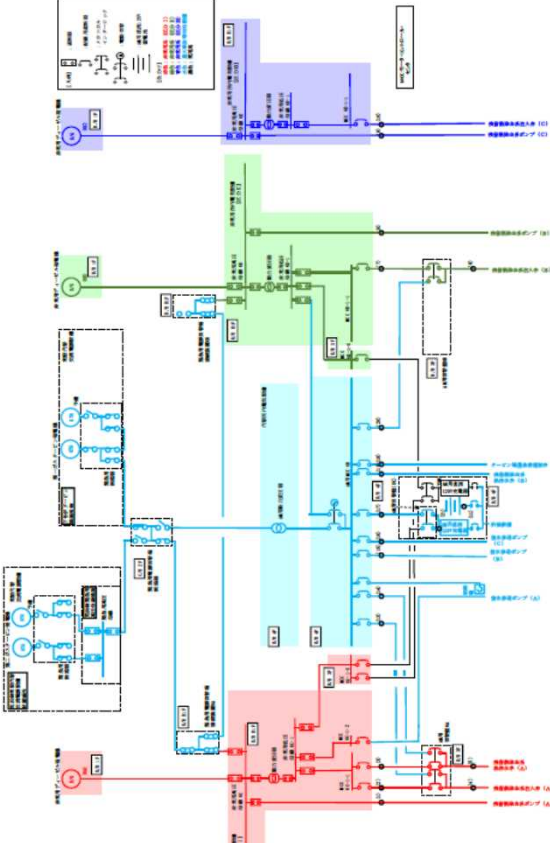
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
30	3.1.2.	共7-49	 <p>第15-1 単線結線図(6号炉)</p>	 <p>図16-1:単線結線図(6号炉)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】



- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
31	3.1.2.	共7-50	 <p data-bbox="672 1252 974 1276">第15-2図 単線結線図(7号炉)</p>	 <p data-bbox="1422 1252 1713 1276">図16-2:単線結線図(7号炉)</p>	<p data-bbox="1948 774 2105 829">②(SA設備の見直しに伴う変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
32	3.1.2.	共7-51	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>・代替原子炉補機冷却系</td> <td>・原子炉補機冷却系 ・原子炉補機冷却海水系</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>・熱交換器ユニット（代替原子炉補機冷却水ポンプ） ・大容量送水車（熱交換器ユニット用）</td> <td>・原子炉補機冷却水ポンプ ・原子炉補機冷却海水ポンプ</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>・熱交換器ユニット</td> <td>・原子炉補機冷却水系熱交換器</td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	—	・代替原子炉補機冷却系	・原子炉補機冷却系 ・原子炉補機冷却海水系	ポンプ	・熱交換器ユニット（代替原子炉補機冷却水ポンプ） ・大容量送水車（熱交換器ユニット用）	・原子炉補機冷却水ポンプ ・原子炉補機冷却海水ポンプ	熱交換器	・熱交換器ユニット	・原子炉補機冷却水系熱交換器	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>・代替原子炉補機冷却系</td> <td>・原子炉補機冷却系， 原子炉補機冷却海水系</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>・代替原子炉補機冷却海水ポンプ</td> <td>・原子炉補機冷却系ポンプ ・原子炉補機冷却海水系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>・熱交換器ユニット</td> <td>・原子炉補機冷却系熱交換器</td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	—	・代替原子炉補機冷却系	・原子炉補機冷却系， 原子炉補機冷却海水系	ポンプ	・代替原子炉補機冷却海水ポンプ	・原子炉補機冷却系ポンプ ・原子炉補機冷却海水系ポンプ	熱交換器	・熱交換器ユニット	・原子炉補機冷却系熱交換器	②(SA設備の見直しに伴う変更)
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																											
—	・代替原子炉補機冷却系	・原子炉補機冷却系 ・原子炉補機冷却海水系																											
ポンプ	・熱交換器ユニット（代替原子炉補機冷却水ポンプ） ・大容量送水車（熱交換器ユニット用）	・原子炉補機冷却水ポンプ ・原子炉補機冷却海水ポンプ																											
熱交換器	・熱交換器ユニット	・原子炉補機冷却水系熱交換器																											
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																											
—	・代替原子炉補機冷却系	・原子炉補機冷却系， 原子炉補機冷却海水系																											
ポンプ	・代替原子炉補機冷却海水ポンプ	・原子炉補機冷却系ポンプ ・原子炉補機冷却海水系ポンプ																											
熱交換器	・熱交換器ユニット	・原子炉補機冷却系熱交換器																											
33	3.1.2.	共7-51	<p>また，代替原子炉補機冷却系は，可搬型の熱交換器ユニット，大容量送水車(熱交換器ユニット用)で構成しており，車輛で原子炉施設の近傍に運搬し，同時に運搬する電源車から電源を供給する設計としていることから，原子炉補機冷却系，原子炉補機冷却海水系の機器の電路へ影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>また，代替原子炉補機冷却系は，可搬型の熱交換器ユニット，代替原子炉補機冷却海水ポンプで構成しており，車輛で原子炉施設の近傍に運搬し，同時に運搬する電源車から電源を供給する設計としていることから，原子炉補機冷却系，原子炉補機冷却海水系の機器の電路へ影響を及ぼさない設計とする。</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)																								
34	3.1.2.	共7-52	 <p>第16図: 代替原子炉補機冷却系 系統概要図</p>	 <p>図17 代替原子炉補機冷却系 系統概要図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)																								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																								
35	3.1.2.	共7-55	<p>耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置は重大事故等時に原子炉格納容器内を冷却するための常設設備であり, 当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設は「残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)」及び「原子炉補機冷却系」である。 (第18,19図)</p> <p>耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置の主要設備を第5表に示す。</p>	<p>耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置, 代替格納容器圧力逃がし装置は重大事故時に原子炉格納容器内を冷却するための常設設備であり, 当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設は「残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)」である。 (図19, 20, 21)</p> <p>耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置, 代替格納容器圧力逃がし装置の主要設備を表5に示す。</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)																								
36	3.1.2.	共7-55	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 格納容器圧力逃がし装置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 フィルタ装置 よう素フィルタ ドレン移送ポンプ 遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作設備 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ冷却系 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) 原子炉補機冷却系 </td> </tr> <tr> <td> <p>電動弁 (状態表示を含む)</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 二次隔離弁バイパス弁 (例: T31-M0-F072) D/W ベント弁操作用空気供給弁 (例: T31-M0-F082) S/C ベント弁操作用空気供給弁 (例: T31-M0-F092) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-M0-F017C) 残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-M0-F018C) 残留熱除去系サブプレッション・チェンバースプレイ注入弁 (例: E11-M0-F019C) </td> </tr> <tr> <td> <p>監視計器</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置水位 フィルタ装置水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置金属フィルタ差圧 フィルタ装置スクラバ水 pH ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 格納容器圧力逃がし装置 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 フィルタ装置 よう素フィルタ ドレン移送ポンプ 遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作設備 	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ冷却系 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) 原子炉補機冷却系 	<p>電動弁 (状態表示を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二次隔離弁バイパス弁 (例: T31-M0-F072) D/W ベント弁操作用空気供給弁 (例: T31-M0-F082) S/C ベント弁操作用空気供給弁 (例: T31-M0-F092) 	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-M0-F017C) 残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-M0-F018C) 残留熱除去系サブプレッション・チェンバースプレイ注入弁 (例: E11-M0-F019C) 	<p>監視計器</p>	<ul style="list-style-type: none"> フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置水位 フィルタ装置水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置金属フィルタ差圧 フィルタ装置スクラバ水 pH ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C) 	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 格納容器圧力逃がし装置 代替格納容器圧力逃がし装置 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 フィルタ装置 よう素フィルタ </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ冷却系 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) </td> </tr> <tr> <td> <p>電動弁 (状態表示を含む)</p> </td> <td>—</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-M0-F017C) 残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-M0-F018C) 残留熱除去系サブプレッション・チェンバースプレイ注入弁 (例: E11-M0-F019C) </td> </tr> <tr> <td> <p>監視計器</p> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置水位 フィルタ装置水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ 金属フィルタ差圧 ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧計(S/C) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 格納容器圧力逃がし装置 代替格納容器圧力逃がし装置 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 フィルタ装置 よう素フィルタ 	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ冷却系 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) 	<p>電動弁 (状態表示を含む)</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-M0-F017C) 残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-M0-F018C) 残留熱除去系サブプレッション・チェンバースプレイ注入弁 (例: E11-M0-F019C) 	<p>監視計器</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置水位 フィルタ装置水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ 金属フィルタ差圧 ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧計(S/C) 	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 	②(SA設備の見直しに伴う変更)
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																											
<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 格納容器圧力逃がし装置 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 フィルタ装置 よう素フィルタ ドレン移送ポンプ 遠隔手動弁操作設備 遠隔空気駆動弁操作設備 	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ冷却系 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) 原子炉補機冷却系 																											
<p>電動弁 (状態表示を含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 二次隔離弁バイパス弁 (例: T31-M0-F072) D/W ベント弁操作用空気供給弁 (例: T31-M0-F082) S/C ベント弁操作用空気供給弁 (例: T31-M0-F092) 	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-M0-F017C) 残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-M0-F018C) 残留熱除去系サブプレッション・チェンバースプレイ注入弁 (例: E11-M0-F019C) 																											
<p>監視計器</p>	<ul style="list-style-type: none"> フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置水位 フィルタ装置水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置金属フィルタ差圧 フィルタ装置スクラバ水 pH ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧力(S/C) 	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 																											
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																											
<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 格納容器圧力逃がし装置 代替格納容器圧力逃がし装置 	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系 フィルタ装置 よう素フィルタ 	<ul style="list-style-type: none"> 格納容器スプレイ冷却系 (残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)) 																											
<p>電動弁 (状態表示を含む)</p>	—	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-M0-F017C) 残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-M0-F018C) 残留熱除去系サブプレッション・チェンバースプレイ注入弁 (例: E11-M0-F019C) 																											
<p>監視計器</p>	<ul style="list-style-type: none"> 耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置入口圧力 フィルタ装置水位 フィルタ装置水素濃度 フィルタ装置出口放射線モニタ 金属フィルタ差圧 ドライウェル雰囲気温度 サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 格納容器内圧力(D/W) 格納容器内圧計(S/C) 	<ul style="list-style-type: none"> 残留熱除去系流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 																											

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
37	3.1.2.	共7-55 ～ 共7-56	耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置, 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)及び原子炉補機冷却系とも, 火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用, 過電流による過熱防止対策を講じる。また, 感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所には固定式ガス消火設備を設置する。	耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置, 代替格納容器圧力逃がし装置, 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)とも, 火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用, 過電流による過熱防止対策を講じる。また, 感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所には固定式ガス消火設備を設置する。	②(SA設備の見直しに伴う変更)
38	3.1.2.	共7-56	耐圧強化ベント系, 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)は原子炉建屋に設置, 原子炉補機冷却系はタービン建屋に設置, 格納容器圧力逃がし装置は屋外に設置されており, 位置的分散を図るとともに, 格納容器圧力逃がし装置のケーブルは電線管に敷設しており, 他の系統のケーブルと分離している。(第20,21図) 耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置の電動弁は, 第一ガスタービン発電機から非常用所内電気設備または代替所内電気設備を経由し電源を受電している。一方, 電源が喪失した場合を想定し, 人力の遠隔手動弁操作設備にて開閉操作が可能な設計とする。操作は原子炉建屋原子炉区域外で実施可能な設計とし, 原子炉建屋原子炉区域内に設置した電動弁とは位置的分散を図る。また, 電磁弁については第一ガスタービン発電機から代替所内電気設備を経由し電源を受電している。一方, 原子炉建屋原子炉区域外に遠隔空気作動弁操作設備を設け, 中央制御室からの遠隔もしくは手動による開閉操作が可能な設計とし, 位置的分散を図る。	耐圧強化ベント系, 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)は原子炉建屋に設置, 格納容器圧力逃がし装置, 代替格納容器圧力逃がし装置は屋外に設置されており, 位置的分散を図るとともに, 格納容器圧力逃がし装置のケーブルは電線管に布設しており, 他の系統のケーブルと分離している。(図22,23,24) 耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置, 代替格納容器圧力逃がし装置の電動弁及び電磁弁は, ガスタービン発電機から非常用所内電気設備を経由し電源を受電している。一方, 電源が喪失した場合を想定し, 動作原理の異なる多様性を有した駆動方式である人力にて開閉操作が可能な設計とする。耐圧強化ベント系, 格納容器圧力逃がし装置, 代替格納容器圧力逃がし装置のドレンポンプ及び監視計器は, 屋外に設置するガスタービン発電機から代替所内電気設備を経由し, 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)は, 図25 のとおり原子炉建屋1階に設置する非常用ディーゼル発電機から非常用所内電気設備を経由して電力を受電できる設計としており, ガスタービン発電機と非常用ディーゼル発電機, 代替所内電気設備と非常用所内電気設備とは, それぞれ位置的分散を図っている。	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

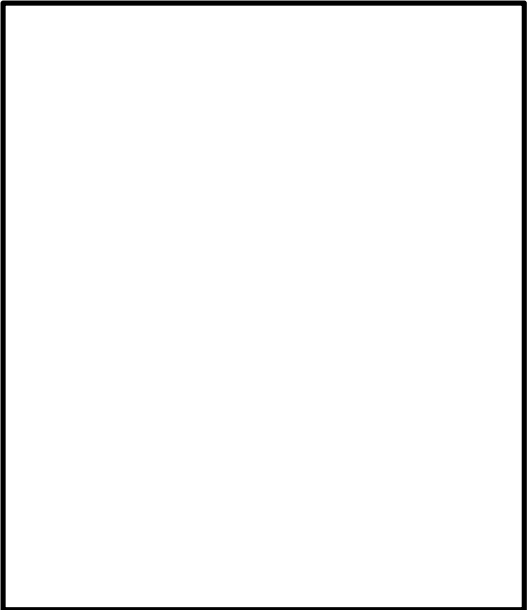
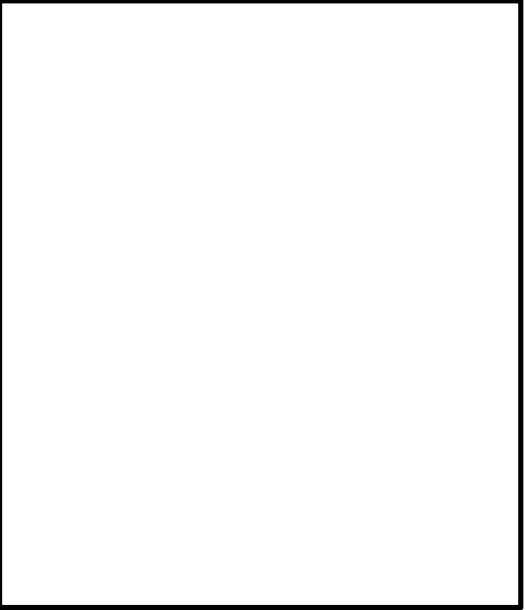
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	3.1.2.	共7-57	<p>第18図: 耐圧強化ベント系 系統概要図</p>	<p>図19 耐圧強化ベント系 系統概要図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)
40	3.1.2.	共7-58	<p>第19図: 格納容器圧力逃がし装置 系統概要図</p>	<p>図20 格納容器圧力逃がし装置 系統概要図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

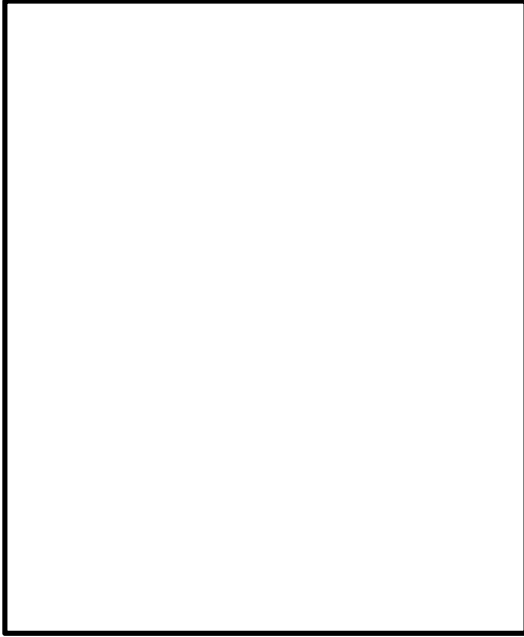
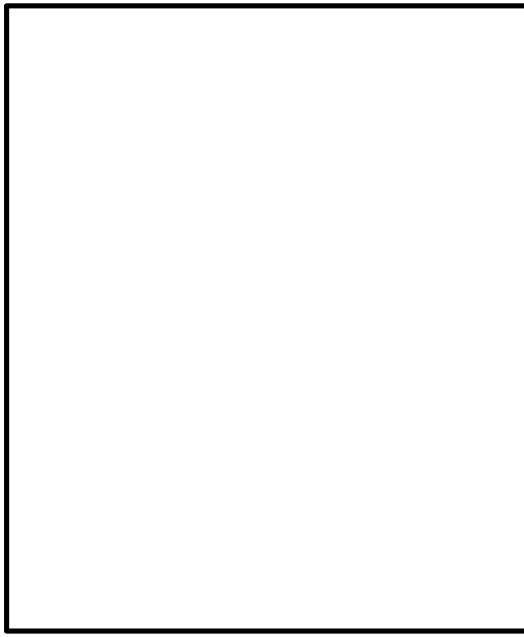
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
41	3.1.2.	共7-59	 <p>第20-1図 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード), 耐圧強化ベント系の配置(6号炉)(1/2)</p>	 <p>図22-1 残留熱除去系(原子炉格納容器スプレイモード), 耐圧強化ベント系の配置(6号炉)(1/2)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

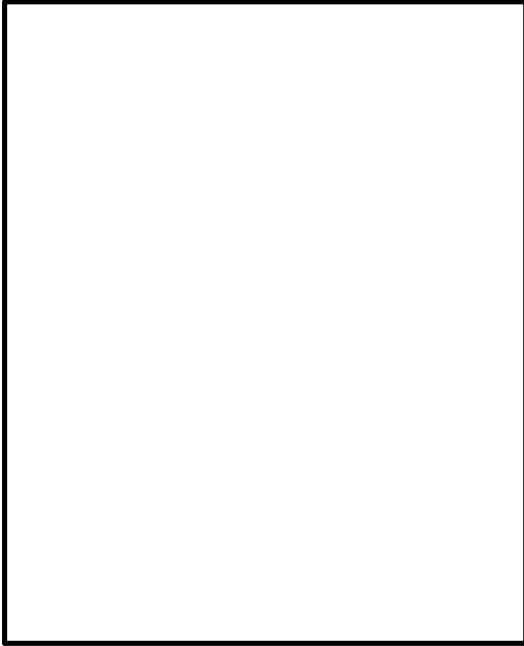
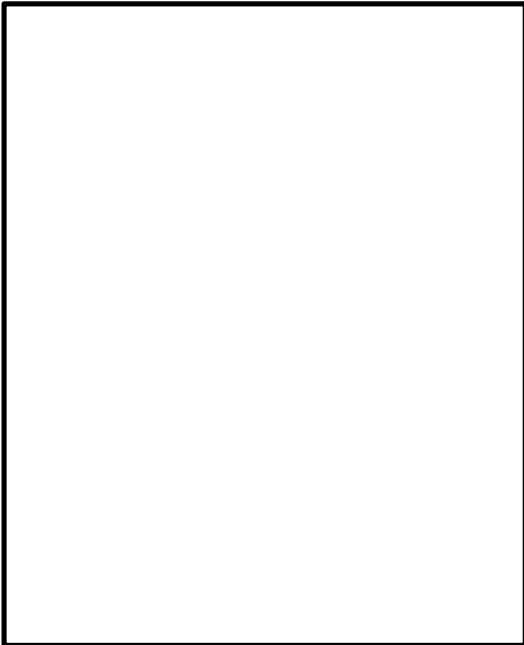
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
42	3.1.2.	共7-60	 <p>第20-2図 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード), 耐圧強化ベント系の配置(6号炉)(2/2)</p>	 <p>図22-2 残留熱除去系(原子炉格納容器スプレイモード), 耐圧強化ベント系の配置(6号炉)(2/2)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

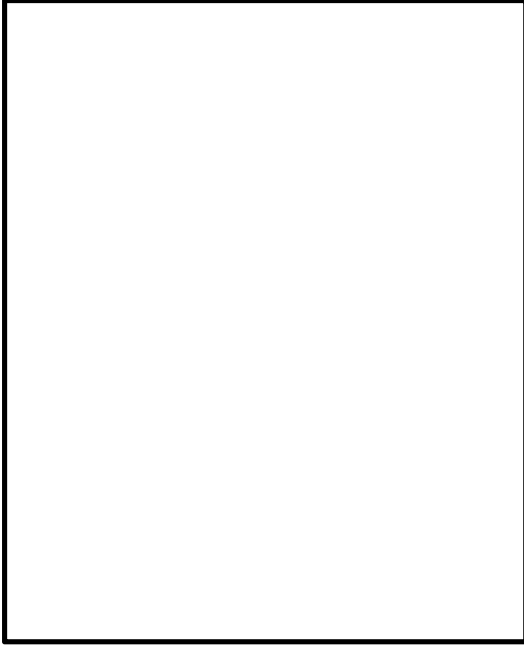
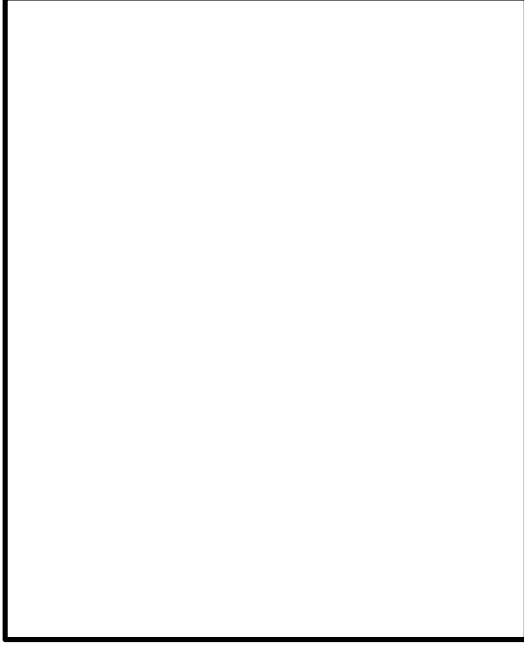
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
43	3.1.2.	共7-61	 <p>第21-1図 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 耐圧強化ベント系の配置 (7号炉) (1/2)</p>	 <p>図23-1 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 耐圧強化ベント系の配置 (7号炉) (1/2)</p>	② (SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

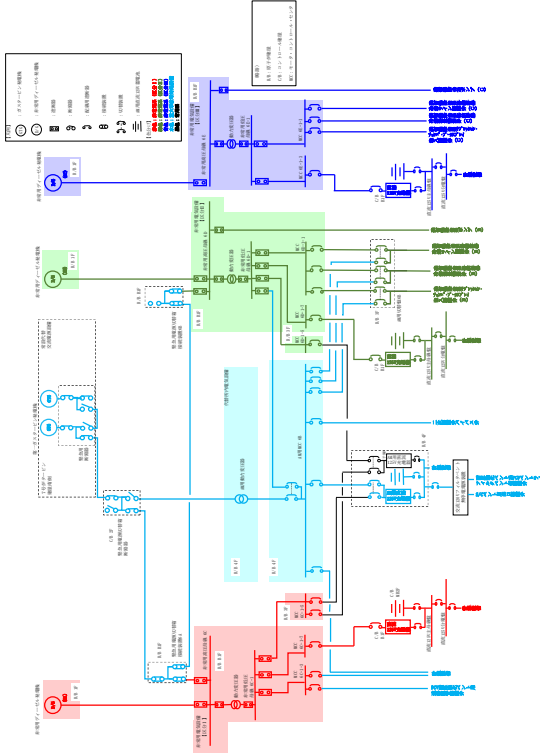
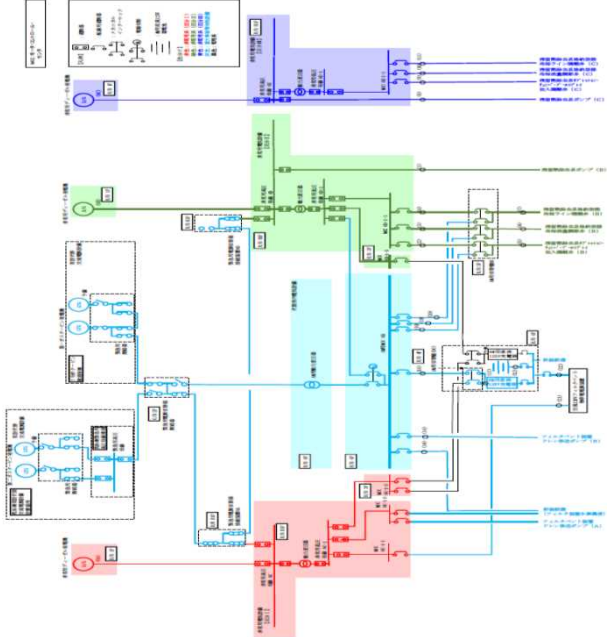
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
44	3.1.2.	共7-62	 <p>第21-2図 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 耐圧強化ベント系の配置 (7号炉) (2/2)</p>	 <p>図23-2 残留熱除去系 (格納容器スプレイ冷却モード), 耐圧強化ベント系の配置 (7号炉) (2/2)</p>	② (SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

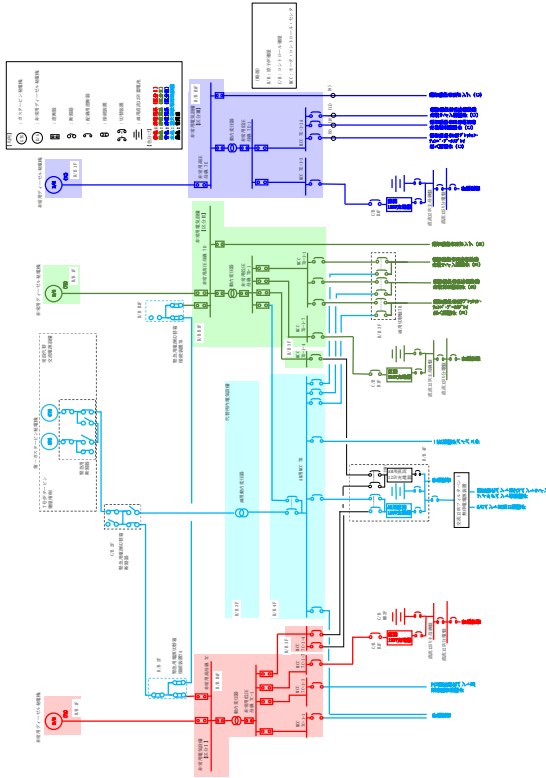
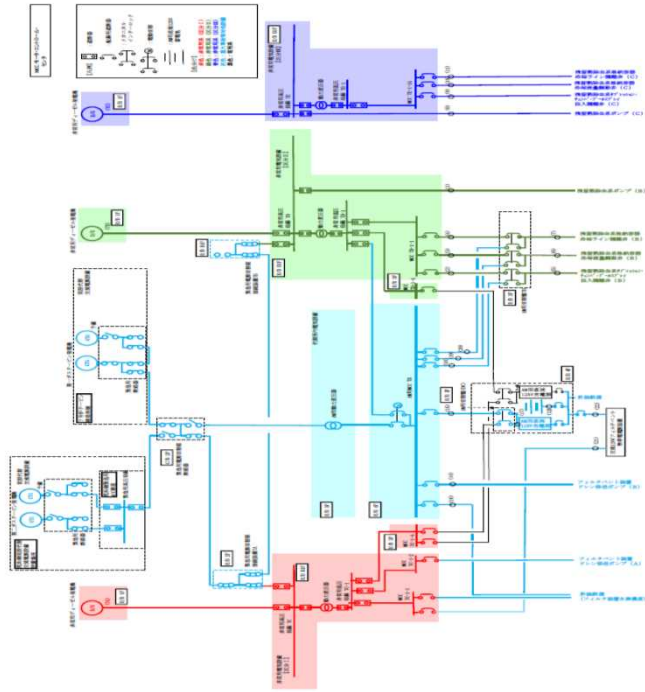
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
45	3.1.2.	共7-64	 <p>第23-1図: 単線結線図(6号炉)</p>	 <p>図25-1 単線結線図(6号炉)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
46	3.1.2.	共7-65	 <p>第23-2図: 単線結線図(7号炉)</p>	 <p>図25-2 単線結線図(7号炉)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																														
47	3.1.2.	共7-66	<p>第6表 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の主要設備(例:7号炉)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>・代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td>・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>・復水移送ポンプ</td> <td>・残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>電動弁 (状態表示を含む)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017B) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018B) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ・ブルスプレイ注入隔離弁 (例: E11-MO-F019B) ・タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-MO-F029) ・残留熱除去系洗浄水弁 (例: E11-MO-F032B) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017C) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018C) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ・ブルスプレイ注入隔離弁 (例: E11-MO-F019C) </td> </tr> <tr> <td>監視計器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水補給水系流量 ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・ドライウェル雰囲気温度 ・サブプレッジョン・チェンバ気体温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サブプレッジョン・チェンバ・ブル水位 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	—	・代替格納容器スプレイ冷却系	・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)	ポンプ	・復水移送ポンプ	・残留熱除去系ポンプ	電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017B) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018B) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ・ブルスプレイ注入隔離弁 (例: E11-MO-F019B) ・タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-MO-F029) ・残留熱除去系洗浄水弁 (例: E11-MO-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017C) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018C) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ・ブルスプレイ注入隔離弁 (例: E11-MO-F019C) 	監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・復水補給水系流量 ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・ドライウェル雰囲気温度 ・サブプレッジョン・チェンバ気体温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サブプレッジョン・チェンバ・ブル水位 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 	<p>表6 代替格納容器スプレイ冷却系の主要設備について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機能</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>・代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td>・格納容器スプレイ冷却系(残留熱除去系(格納容器スプレイモード))</td> </tr> <tr> <td>ポンプ</td> <td>・復水移送ポンプ</td> <td>・残留熱除去系ポンプ</td> </tr> <tr> <td>電動弁 (状態表示を含む)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017B) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018B) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ スプレイ注入弁 (例: E11-MO-F019B) ・タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-MO-F029) ・残留熱除去系洗浄水弁 (例: E11-MO-F032B) </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017C) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018C) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ スプレイ注入弁 (例: E11-MO-F019C) </td> </tr> <tr> <td>監視計器</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・復水補給水系流量 ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・ドライウェル雰囲気温度 ・サブプレッジョン・チェンバ雰囲気温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サブプレッジョン・チェンバ・ブル水位 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 </td> </tr> </tbody> </table>	機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設	—	・代替格納容器スプレイ冷却系	・格納容器スプレイ冷却系(残留熱除去系(格納容器スプレイモード))	ポンプ	・復水移送ポンプ	・残留熱除去系ポンプ	電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017B) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018B) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ スプレイ注入弁 (例: E11-MO-F019B) ・タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-MO-F029) ・残留熱除去系洗浄水弁 (例: E11-MO-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017C) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018C) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ スプレイ注入弁 (例: E11-MO-F019C) 	監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・復水補給水系流量 ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・ドライウェル雰囲気温度 ・サブプレッジョン・チェンバ雰囲気温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サブプレッジョン・チェンバ・ブル水位 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 	<p>②(SA設備の見直しに伴う変更)</p>
			機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																														
—	・代替格納容器スプレイ冷却系	・残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)																																	
ポンプ	・復水移送ポンプ	・残留熱除去系ポンプ																																	
電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017B) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018B) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ・ブルスプレイ注入隔離弁 (例: E11-MO-F019B) ・タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-MO-F029) ・残留熱除去系洗浄水弁 (例: E11-MO-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017C) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018C) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ・ブルスプレイ注入隔離弁 (例: E11-MO-F019C) 																																	
監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・復水補給水系流量 ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・ドライウェル雰囲気温度 ・サブプレッジョン・チェンバ気体温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サブプレッジョン・チェンバ・ブル水位 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 																																	
機能	重大事故等対処設備	対応する設計基準対象施設																																	
—	・代替格納容器スプレイ冷却系	・格納容器スプレイ冷却系(残留熱除去系(格納容器スプレイモード))																																	
ポンプ	・復水移送ポンプ	・残留熱除去系ポンプ																																	
電動弁 (状態表示を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017B) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018B) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ スプレイ注入弁 (例: E11-MO-F019B) ・タービン建屋負荷遮断弁 (例: P13-MO-F029) ・残留熱除去系洗浄水弁 (例: E11-MO-F032B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系格納容器冷却流量調整弁 (例: E11-MO-F017C) ・残留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (例: E11-MO-F018C) ・残留熱除去系サブプレッジョン・チェンバ スプレイ注入弁 (例: E11-MO-F019C) 																																	
監視計器	<ul style="list-style-type: none"> ・復水補給水系流量 ・復水移送ポンプ吐出圧力 ・ドライウェル雰囲気温度 ・サブプレッジョン・チェンバ雰囲気温度 ・格納容器内圧力(D/W) ・格納容器内圧力(S/C) ・サブプレッジョン・チェンバ・ブル水位 	<ul style="list-style-type: none"> ・残留熱除去系流量 ・残留熱除去系ポンプ吐出圧力 																																	

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

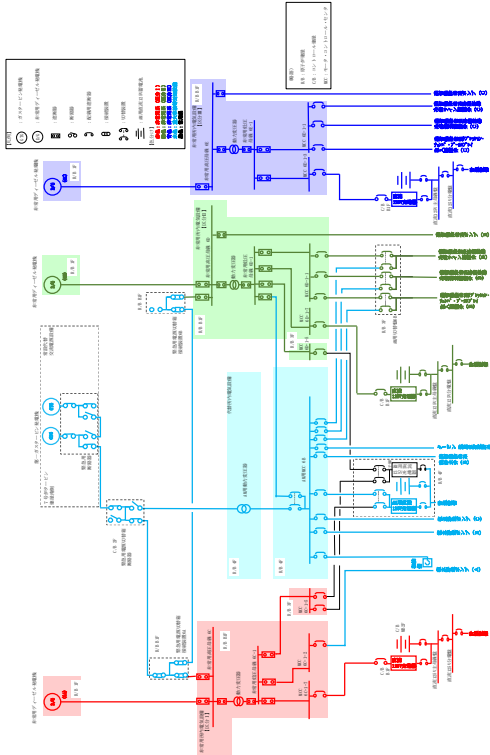
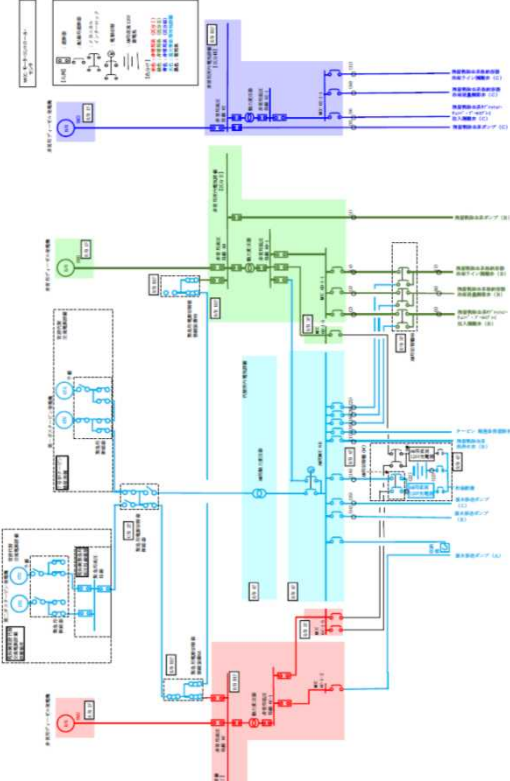
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
48	3.1.2.	共7-68	<p>第24図: 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)と残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)の系統概略図</p>	<p>図26 代替格納容器スプレイ冷却系と残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)の系統概略図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

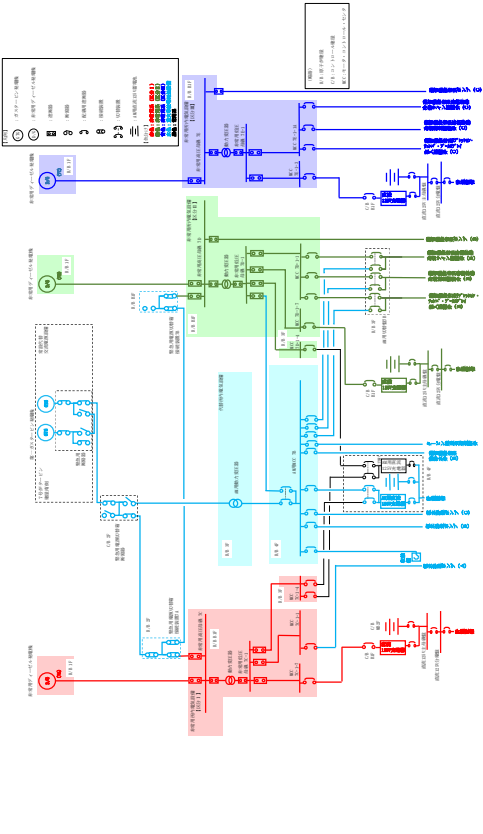
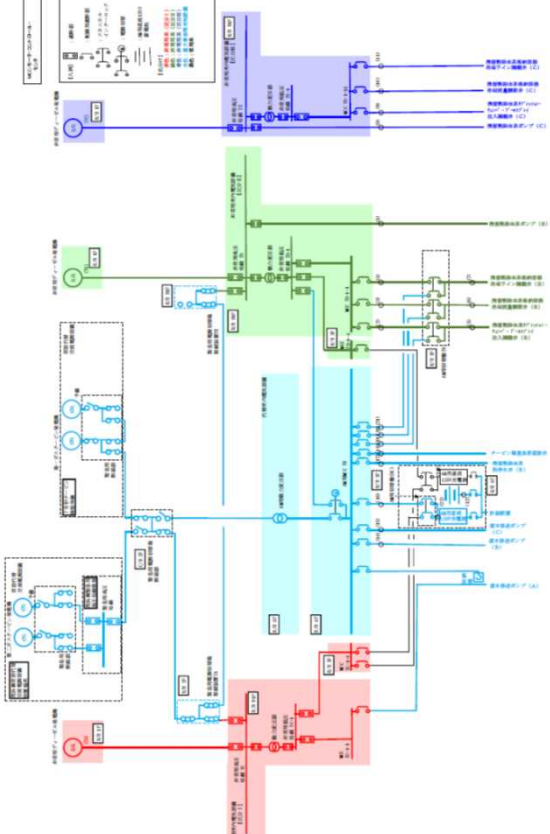
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
49	3.1.2.	共7-71	 <p data-bbox="678 1169 976 1197">第26-1図: 単線結線図(6号炉)</p>	 <p data-bbox="1429 1169 1704 1197">図28-1 単線結線図(6号炉)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

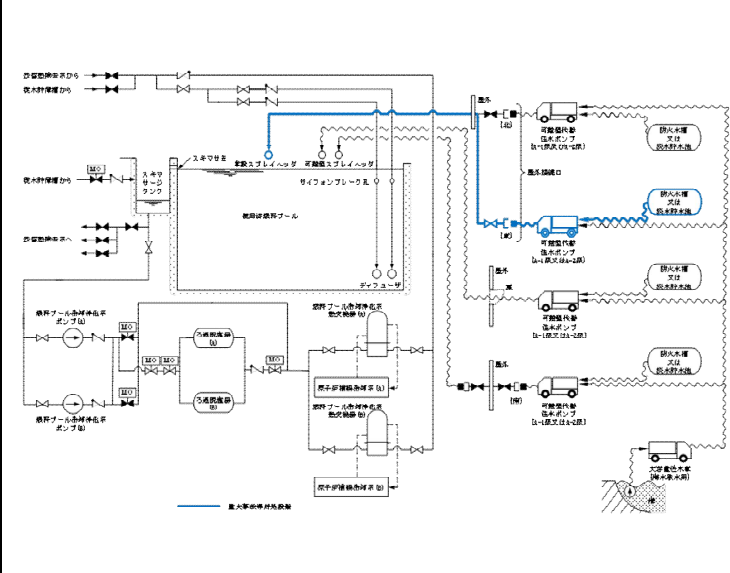
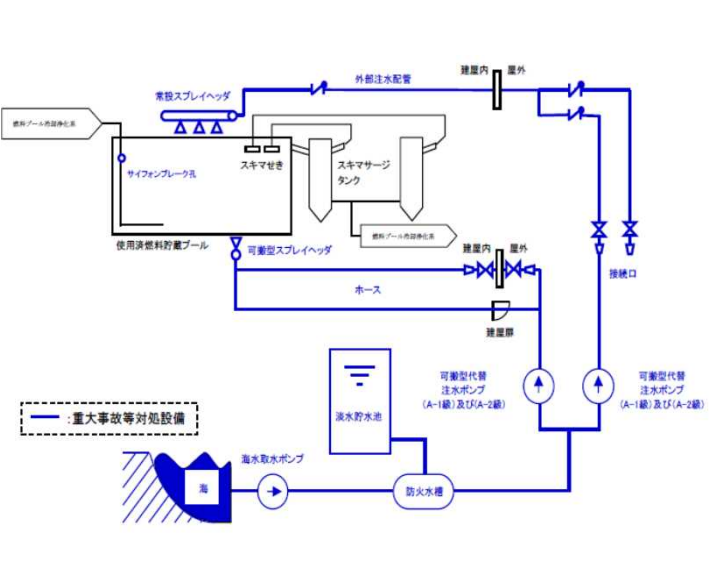
【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
50	3.1.2.	共7-72	 <p data-bbox="683 1220 974 1244">第26-2図: 単線結線図(7号炉)</p>	 <p data-bbox="1422 1220 1713 1244">図28-2 単線結線図(7号炉)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

- 【変更理由の類型化】**
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
51	3.1.2.	共7-74	 <p style="text-align: center; color: blue;">第27-1図：燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッダによる注水の場合）の系統概略図</p>	 <p style="text-align: center;">図29：燃料プール代替注水系と残留熱除去系（燃料プール水の冷却及び補給）の系統概略図</p>	②（SA設備の見直しに伴う変更）

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

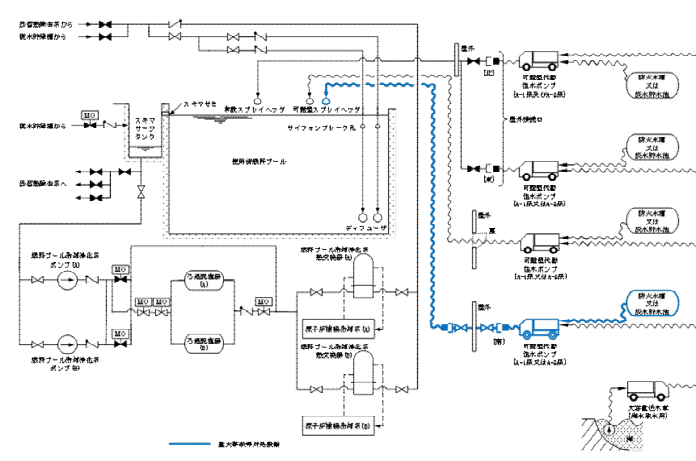
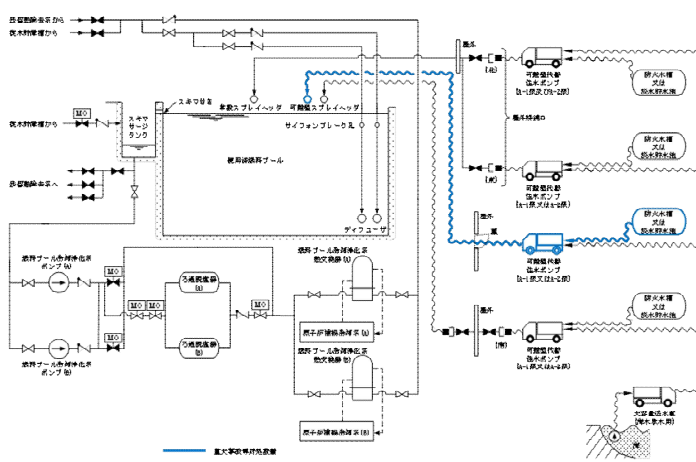
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
52	3.1.2.	共7-74	<p>第27-2図：燃料プール代替注水系（常設スプレイヘッドによるスプレイの場合）の系統概略図</p>	(記載なし)	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	3.1.2.	共7-75	 <p>第27-3図: 燃料プール代替注水系(可搬スプレイヘッダによる注水の場合)の系統概略図</p>	(記載なし)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
54	3.1.2.	共7-75	 <p>第27-4図: 燃料プール代替注水系(可搬スプレイヘッダによるスプレイの場合)の系統概略図</p>	(記載なし)	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

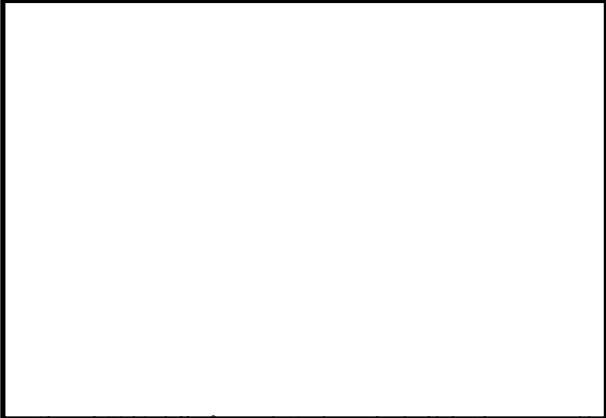
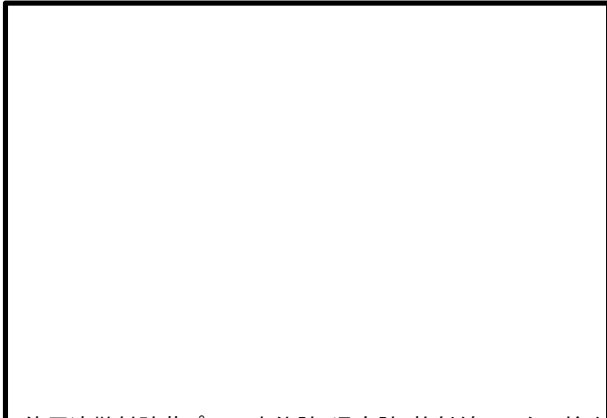
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																
55	3.1.2.	共7-76	<p>第27-5図: 残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給)の系統概略図</p>	(記載なし)	②(SA設備の見直しに伴う変更)																
56	3.1.2.	共7-80	<table border="1"> <thead> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水位</td> <td>・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA), 使用済燃料貯蔵プール水位とは約 12m の離隔距離。</td> </tr> <tr> <td>水温</td> <td>・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA), 使用済燃料貯蔵プール温度とは約 12m の離隔距離。 ・上記の計器の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度は原子炉建屋地上 2 階に設置。</td> </tr> <tr> <td>放射線</td> <td>・「使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)」, 「燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ」, 「燃料取替エリア排気放射線モニタ」の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 「原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ」は原子炉建屋地上中 4 階 (6 号炉), 原子炉建屋地上 3 階 (7 号炉) に設置。</td> </tr> </tbody> </table>	監視パラメータ	評価	水位	・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA), 使用済燃料貯蔵プール水位とは約 12m の離隔距離。	水温	・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA), 使用済燃料貯蔵プール温度とは約 12m の離隔距離。 ・上記の計器の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度は原子炉建屋地上 2 階に設置。	放射線	・「使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)」, 「燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ」, 「燃料取替エリア排気放射線モニタ」の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 「原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ」は原子炉建屋地上中 4 階 (6 号炉), 原子炉建屋地上 3 階 (7 号炉) に設置。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>監視パラメータ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水位</td> <td>・使用済燃料貯蔵プール水位 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位 (SA), 使用済燃料プール水位とは約 12m の離隔距離。</td> </tr> <tr> <td>水温</td> <td>・使用済燃料貯蔵プール水温 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水温 (SA), 使用済燃料貯蔵プール温度とは約 12m の離隔距離。 ・上記の計器の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, FPC ポンプ入口温度は原子炉建屋地上 2 階に設置。</td> </tr> <tr> <td>放射線</td> <td>・「使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ/低レンジ)」, 「燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ」, 「燃料取替エリア排気放射線モニタ」の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 「原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ」は原子炉建屋地上中 4 階 (6 号炉), 原子炉建屋地上 3 階 (7 号炉) に設置。</td> </tr> </tbody> </table>	監視パラメータ	評価	水位	・使用済燃料貯蔵プール水位 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位 (SA), 使用済燃料プール水位とは約 12m の離隔距離。	水温	・使用済燃料貯蔵プール水温 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水温 (SA), 使用済燃料貯蔵プール温度とは約 12m の離隔距離。 ・上記の計器の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, FPC ポンプ入口温度は原子炉建屋地上 2 階に設置。	放射線	・「使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ/低レンジ)」, 「燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ」, 「燃料取替エリア排気放射線モニタ」の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 「原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ」は原子炉建屋地上中 4 階 (6 号炉), 原子炉建屋地上 3 階 (7 号炉) に設置。	②(SA設備の見直しに伴う変更)
監視パラメータ	評価																				
水位	・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA), 使用済燃料貯蔵プール水位とは約 12m の離隔距離。																				
水温	・使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA), 使用済燃料貯蔵プール温度とは約 12m の離隔距離。 ・上記の計器の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 燃料プール冷却浄化系ポンプ入口温度は原子炉建屋地上 2 階に設置。																				
放射線	・「使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)」, 「燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ」, 「燃料取替エリア排気放射線モニタ」の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 「原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ」は原子炉建屋地上中 4 階 (6 号炉), 原子炉建屋地上 3 階 (7 号炉) に設置。																				
監視パラメータ	評価																				
水位	・使用済燃料貯蔵プール水位 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水位 (SA), 使用済燃料プール水位とは約 12m の離隔距離。																				
水温	・使用済燃料貯蔵プール水温 (SA 広域) と使用済燃料貯蔵プール水温 (SA), 使用済燃料貯蔵プール温度とは約 12m の離隔距離。 ・上記の計器の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, FPC ポンプ入口温度は原子炉建屋地上 2 階に設置。																				
放射線	・「使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ/低レンジ)」, 「燃料貯蔵プールエリア放射線モニタ」, 「燃料取替エリア排気放射線モニタ」の設置場所が原子炉建屋地上 4 階に対して, 「原子炉区域換気空調系排気放射線モニタ」は原子炉建屋地上中 4 階 (6 号炉), 原子炉建屋地上 3 階 (7 号炉) に設置。																				

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
57	3.1.2.	共7-84	 <p>第31-3図:使用済燃料貯蔵プール水位計・温度計・放射線モニタの検出器の配置</p>	 <p>図33-3:使用済燃料貯蔵プール水位計・温度計・放射線モニタの検出器の配置</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
58	3.1.2.	共7-86	<p>第32-1図: 単線結線図(6号炉)</p>	<p>図34-1: 単線結線図(6号炉)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
59	3.1.2.	共7-87	<p>第32-2図: 単線結線図(7号炉)</p>	<p>図34-2: 単線結線図(7号炉)</p>	<p>②(SA設備の見直しに伴う変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
60	3.1.2.	共7-88	(11)常設代替交流電源設備[57条] 常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機，第一ガスタービン発電機用燃料タンク，第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ)は重大事故等時に交流電源を供給するための常設設備であり，当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設は「 非常用交流電源設備 」(非常用ディーゼル発電機， 燃料ディタンク)である。	(10)常設代替交流電源 [57 条] 常設代替交流電源設備(第一ガスタービン発電機，第一ガスタービン発電機用燃料タンク，第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ，第二ガスタービン発電機，第二ガスタービン発電機用燃料タンク，第二ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ)は重大事故時に交流電源を供給するための常設設備であり，当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設は「非常用ディーゼル発電機」である。	②(SA設備の見直しに伴う変更)
61	3.1.2.	共7-88	第一ガスタービン発電機，第一ガスタービン発電機用燃料タンク，第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ，非常用ディーゼル発電機，非常用高圧母線並びにこれらの電路は，火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用，過電流による過熱防止対策等を講じており， 燃料タンクについては火災の発生防止対策として主要な構造材に不燃性材料を使用している 。また，感知・消火対策として異なる2種類の感知器，及び非常用ディーゼル発電機室には 全域自動放出方式の二酸化炭素消火設備 を設置している。	ガスタービン発電機，ガスタービン発電機用燃料タンク，ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ，緊急用断路器，緊急用高圧母線，非常用ディーゼル発電機，非常用高圧母線とも，火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用，過電流による過熱防止対策等を講じる。また，感知・消火対策として異なる2種類の感知器，及び非常用ディーゼル発電機室には固定式ガス消火設備を設置している。	②(SA設備の見直しに伴う変更)
62	3.1.2.	共7-88	さらに， 第一ガスタービン発電機，第一ガスタービン発電機用燃料タンク，第一ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ は屋外設置，非常用ディーゼル発電機， 燃料ディタンク は原子炉建屋内に設置しており，位置的分散を図る。加えて，非常用ディーゼル発電機に接続する非常用高圧母線には遮断器及び保護継電器を設置し，電氣的にも分離を図る。(第33図) 以上より，単一の火災によって常設代替交流電源設備， 非常用交流電源設備 の安全機能は同時に喪失することなく確保できる。	さらに，ガスタービン発電機，ガスタービン発電機用燃料タンク，ガスタービン発電機用燃料移送ポンプ，緊急用断路器は屋外設置，緊急用高圧母線は原子炉建屋と異なる荒浜側緊急用電気品室内設置，非常用ディーゼル発電機は原子炉建屋内に設置しており，位置的分散を図る。加えて，緊急用高圧母線，及び非常用ディーゼル発電機に接続する非常用高圧母線には遮断器及び保護継電器を設置し，電氣的にも分離を図る。(図35) 以上より，単一の火災によって常設代替交流電源，非常用ディーゼル発電機の安全機能は同時に喪失することなく確保できる。	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
63	3.1.2.	共7-89	<p>第33-1図：交流電源系統図(1/2)</p>	<p>図35：交流電源系統図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
64	3.1.2.	共7-90	<p>第33-2図: 交流電源系統図(2/2)</p>		②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
65	3.1.2.	共7-91	(12)所内蓄電式直流電源設備(常設代替直流電源設備)[57条] AM用直流125V蓄電池及び充電器, 直流125V蓄電池及び充電器A, 直流125V蓄電池及び充電器A-2は重大事故等時に直流電源を供給するための常設設備であり, 当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設は, 「直流125V蓄電池及び充電器B, 直流125V蓄電池及び充電器C, 直流125V蓄電池及び充電器D」である。	(11)蓄電池A系, 蓄電池A-2系, AM用直流125V蓄電池, AM用直流125V充電器 [57条] AM用直流125V蓄電池, AM用直流125V充電器は重大事故時に直流電源を供給するための常設設備であり, 当該設備が代替する機能を有する設計基準対象施設は, 「蓄電池A系, 蓄電池A-2系, AM用直流125V蓄電池」については「蓄電池B系, 蓄電池C系, 蓄電池D系」, 「AM用直流125V充電器」については「蓄電池A系, 蓄電池A-2系」である。	②(SA設備の見直しに伴う変更)
66	3.1.2.	共7-91	AM用直流125V蓄電池及び充電器, 直流125V蓄電池及び充電器A, 直流125V蓄電池及び充電器A-2, 直流125V蓄電池及び充電器B, 直流125V蓄電池及び充電器C, 直流125V蓄電池及び充電器D並びにこれらの回路は,	AM用直流125V蓄電池, AM用直流125V充電器, 蓄電池A系, 蓄電池A-2系, 蓄電池B系, 蓄電池C系, 蓄電池D系とも,	②(SA設備の見直しに伴う変更)
67	3.1.2.	共7-91	さらに, AM用直流125V蓄電池及び充電器と, 直流125V蓄電池及び充電器A, 直流125V蓄電池及び充電器A-2, 直流125V蓄電池及び充電器B, 直流125V蓄電池及び充電器C, 直流125V蓄電池及び充電器Dはそれぞれ異なる火災区域に配置しており, 位置的分散を図っている。加えて, 各蓄電池に接続する充電器には遮断器を設置し, 電気的にも分離を図る。(第34,35図)	さらに, AM用直流125V蓄電池, AM用直流125V充電器は原子炉建屋に設置, 蓄電池A系, A-2系, B系, C系, D系はコントロール建屋内に設置, 蓄電池A系・A-2系と蓄電池B系, 蓄電池C系, 蓄電池D系はそれぞれ異なる火災区域に配置しており, 位置的分散を図っている。加えて, AM用直流125V充電器, 及び各蓄電池に接続する充電器には遮断器を設置し, 電気的にも分離を図る。(図36,37)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
68	3.1.2.	共7-91	以上より, 単一の火災によってAM用直流125V蓄電池及び充電器と, 直流125V蓄電池及び充電器A, 直流125V蓄電池及び充電器A-2, 直流125V蓄電池及び充電器B, 直流125V蓄電池及び充電器C, 直流125V蓄電池及び充電器Dの安全機能はそれぞれ同時に喪失することなく確保できる。	以上より, 単一の火災によってAM用直流125V蓄電池, AM用直流125V充電器と蓄電池A系, A-2系, B系, C系, D系の安全機能は同時に喪失することなく確保できる。	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
69	3.1.2.	共7-94	<p>(a)6号炉</p>	<p>図37: 直流電源系統図</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			<p>(b)7号炉</p> <p>第35図: 直流電源系統図</p>		

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

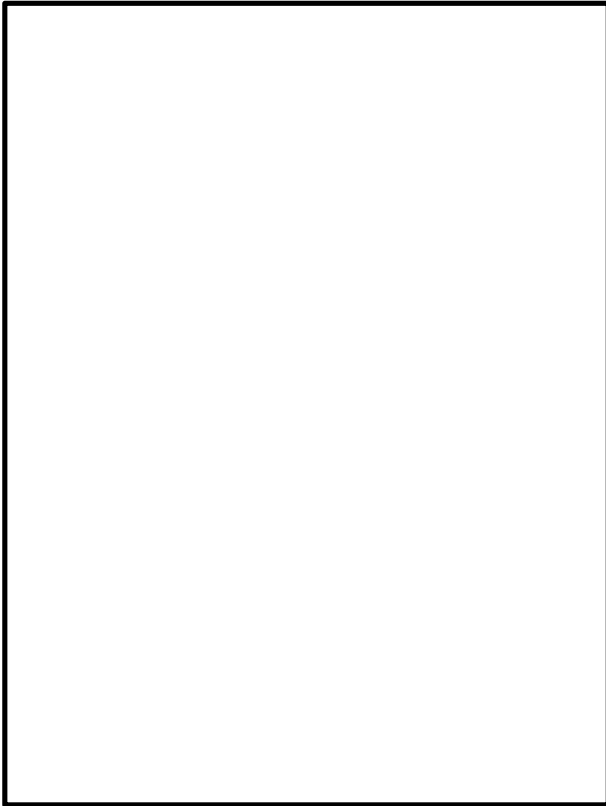
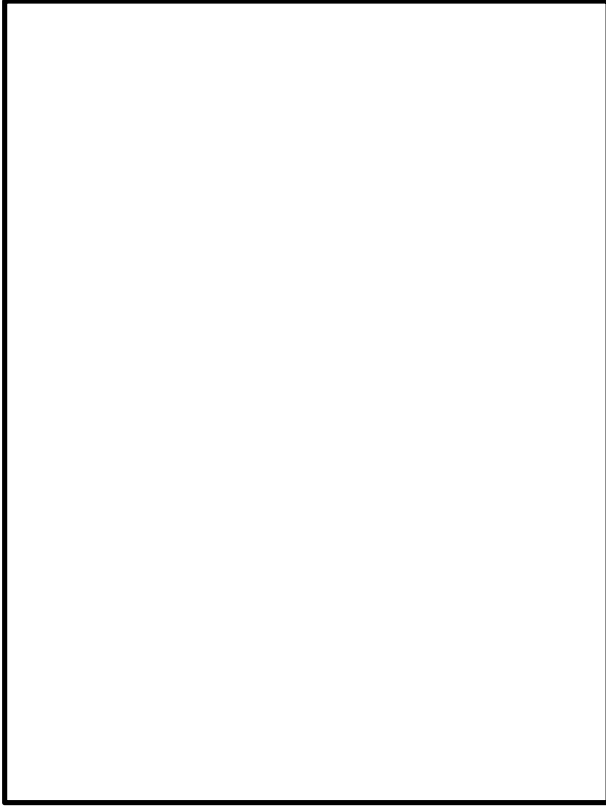
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
70	3.1.2.	共7-95	さらに, 代替所内電気設備のうち緊急用断路器, 緊急用電源切替箱断路器, 緊急用電源切替箱接続装置, AM用動力変圧器, AM用MCC, AM用操作盤は, 非常用所内電気設備と米国電気電子工学学会(IEEE)規格384(1992年版)の分離距離を確保することにより独立性を有する設計とする。号炉間電力融通ケーブル(常設)は, 非常用所内電気設備とは別の火災区域であるコントロール建屋2階に設置しており, 位置的分散を図っている。(第36図)一方, 非常用高圧母線についてはC,D,E系でそれぞれ分散配置している。加えて, 代替所内電気設備, 非常用所内電気設備とも遮断器を設置し,	さらに, 代替所内電気設備のうちAM用切替盤に給電するために必要な機器である緊急用断路器は屋外設置, 代替所内電気設備のうち緊急用高圧母線は原子炉建屋と異なる荒浜側緊急用電気品室内設置, 代替所内電気設備のうち緊急用電源切替箱断路器はコントロール建屋内に設置, 代替所内電気設備のうちAM用動力変圧器, AM用切替盤, AM用操作盤は非常用MCC(C,D,E)と原子炉建屋内の別の火災区域に設置しており, 位置的分散を図っている。号炉間電力融通ケーブルは, 非常用所内電気設備とは別の火災区域であるコントロール建屋に設置しており, 位置的分散を図っている。(図38)一方, 非常用高圧母線についてはC,D,E系でそれぞれ分散されて布設している。加えて, 代替所内電気設備, 非常用MCCとも遮断器を設置し,	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
71	3.1.2.	共7-96	 <p>第36-1図: 代替所内電気設備, 非常用MCC(C,D,E), 号炉間電力融通ケーブル(常設)の配置(1/2)</p>	 <p>図38-1: 代替所内電気設備, 非常用MCC(C,D,E), 号炉間電力融通ケーブルの配置(1/2)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
72	3.1.2.	共7-98	<p>(14)計装設備 [58条] 重大事故等対処設備のうち計装設備は重大事故等時に原子炉圧力容器, 原子炉格納容器の状態, 最終ヒートシンクによる冷却状態等を把握するための常設設備であり, これらの設備による計測が困難となった場合の代替監視パラメータについては, 第8表に記載のとおりである。重大事故等対処設備のうち, 計装設備は, 火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用等の対策等を講じている。また, 感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に固定式ガス消火設備を設置している。さらに, 重大事故等対処設備の計装設備を, 代替する機能を有する設計基準対象施設の計装設備とは異なる系統として設計し, 検出器・伝送器等の位置的分散を図るとともにケーブルを電線管に敷設することによって, 単一の火災によって重大事故等対処設備と設計基準対象施設の安全機能が同時に喪失しないように設計している。また, 重大事故等対処設備の計装設備は, 当該設備の主要パラメータでの計測が困難となった場合, 少なくとも一つの代替パラメータで計測が可能となるように, 検出器・伝送器を位置的に分散して設置している。ただし, 重大事故等対処設備の計装設備の主要パラメータと代替パラメータが同一の系統となる場合は, 検出器・伝送器の位置的分散を図ることができないが, 上記の通り, 重大事故等対処設備と, 代替する機能を有する設計基準対象施設の計装設備を異なる系統として設計していることから, 単一の火災によって重大事故等対処設備と設計基準対象施設の安全機能が同時に喪失することはない。なお, 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータが単一火災によって機能喪失しても, 上記の理由から, 重大事故等対処設備と, 代替する機能を有する設計基準対象施設の安全機能が同時に喪失することはない。(第8-1~2表, 第38-1~21図, 第39-1~2図)</p>	<p>(13)計装設備 [58条] 重大事故等対処設備のうち計装設備は重大事故時に原子炉圧力容器, 原子炉格納容器の状態, 最終ヒートシンクによる冷却状態等を把握するための常設設備であり, これらの設備による計測が困難となった場合の代替監視パラメータについては, 表7に記載のとおりである。重大事故等対処設備のうち, 計装設備は, 火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用等の対策等を講じている。また, 感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に固定式ガス消火設備を設置している。さらに, 各計器のケーブルは電線管に布設しており, 他の系統のケーブルと分離しているとともに, 重大事故等対処設備の計装設備の検出器・伝送器等は, 当該設備の計測が困難となった場合の代替パラメータの検出器・伝送器とは位置的に分散して設置している。(表8-1~2, 図39-1~21, 図40-1~2)</p>	<p>②(SA設備の見直しに伴う変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

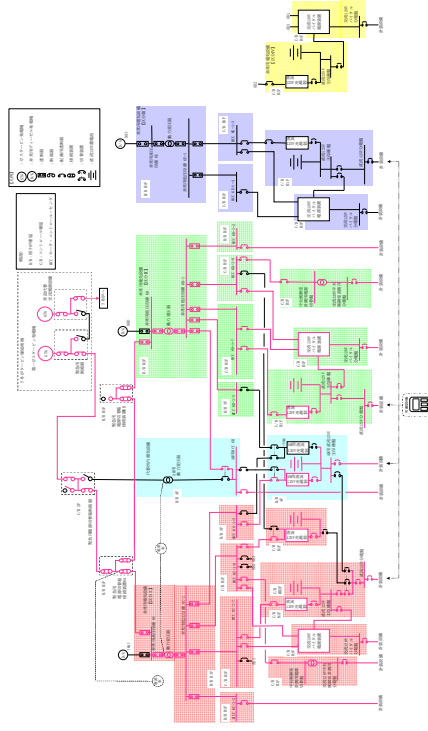
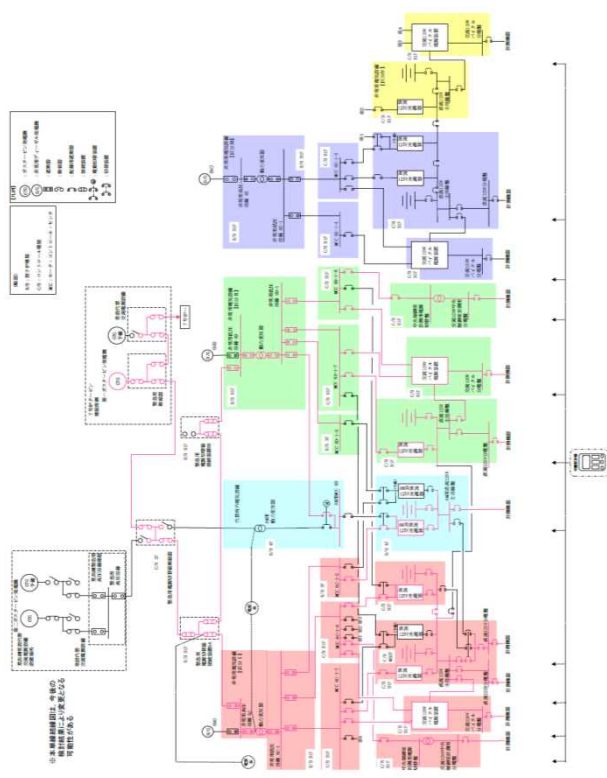
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																
73	3.1.2.	共7-99,113	<table border="1"> <thead> <tr> <th>計装設備名称</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ドライウェル雰囲気温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>起動領域モニタ</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>平均出力領域モニタ</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>格納容器下部水水位</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>格納容器内水素濃度(SA)</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>残留熱除去系系統流量 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>原子炉隔離時冷却系系統流量 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>高圧炉心注水系統流量 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>原子炉圧力</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>原子炉圧力(SA)</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>原子炉水位 (広帯域・燃料域)</td><td>原子炉建屋地下1.3階</td></tr> <tr><td>原子炉水位(SA)</td><td>原子炉建屋地下1.3階</td></tr> <tr><td>高圧代替注水系統流量</td><td>原子炉建屋地下2階</td></tr> <tr><td>復水補給水系統流量 (RHR A/B系代替注水流量)</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)</td><td>原子炉建屋地下2階</td></tr> <tr><td>格納容器内圧力(D/W)</td><td>原子炉建屋地上中3階</td></tr> <tr><td>格納容器内圧力(S/C)</td><td>原子炉建屋地上1階</td></tr> <tr><td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td><td>原子炉建屋地上3階</td></tr> <tr><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)</td><td>原子炉建屋地上1階</td></tr> <tr><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下2階</td></tr> <tr><td>復水補給水系統温度 (代替循環冷却)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ吐出圧力</td><td>廃棄物処理建屋地下3階</td></tr> <tr><td>復水貯蔵槽水位(SA)</td><td>廃棄物処理建屋地下3階</td></tr> <tr><td>フィルタ装置水位</td><td>屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)</td></tr> <tr><td>フィルタ装置入口圧力</td><td>原子炉建屋地上3階</td></tr> <tr><td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td><td>屋外 (原子炉建屋屋上)</td></tr> <tr><td>フィルタ装置水素濃度</td><td>原子炉建屋地上3階</td></tr> <tr><td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td><td>屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)</td></tr> <tr><td>フィルタ装置スクラバpH</td><td>屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水系統流量 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)</td><td>タービン建屋地下2階</td></tr> <tr><td>残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> </tbody> </table> <p>第8-1表:重大事故等対処設備 計装設備一覧(6号炉) ※7号も同様</p>	計装設備名称	設置場所	ドライウェル雰囲気温度	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ気体温度	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	原子炉格納容器内	起動領域モニタ	原子炉格納容器内	平均出力領域モニタ	原子炉格納容器内	原子炉圧力容器温度	原子炉格納容器内	格納容器下部水水位	原子炉格納容器内	格納容器内水素濃度(SA)	原子炉格納容器内	残留熱除去系系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	原子炉隔離時冷却系系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	高圧炉心注水系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	原子炉圧力	原子炉建屋地下1階	原子炉圧力(SA)	原子炉建屋地下1階	原子炉水位 (広帯域・燃料域)	原子炉建屋地下1.3階	原子炉水位(SA)	原子炉建屋地下1.3階	高圧代替注水系統流量	原子炉建屋地下2階	復水補給水系統流量 (RHR A/B系代替注水流量)	原子炉建屋地下1階	復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)	原子炉建屋地下2階	格納容器内圧力(D/W)	原子炉建屋地上中3階	格納容器内圧力(S/C)	原子炉建屋地上1階	サブプレッション・チェンバ・プール水位	原子炉建屋地上3階	格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)	原子炉建屋地上1階	格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)	原子炉建屋地下1階	残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下2階	復水補給水系統温度 (代替循環冷却)	原子炉建屋地下3階	復水移送ポンプ吐出圧力	廃棄物処理建屋地下3階	復水貯蔵槽水位(SA)	廃棄物処理建屋地下3階	フィルタ装置水位	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)	フィルタ装置入口圧力	原子炉建屋地上3階	フィルタ装置出口放射線モニタ	屋外 (原子炉建屋屋上)	フィルタ装置水素濃度	原子炉建屋地上3階	フィルタ装置金属フィルタ差圧	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)	フィルタ装置スクラバpH	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	原子炉建屋地上4階	原子炉補機冷却水系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)	タービン建屋地下2階	残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階	<table border="1"> <thead> <tr> <th>パラメータ名称</th> <th>設置場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ドライウェル雰囲気温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>サブプレッション・チェンバ気体温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>サブプレッション・チェンバ・プール水温度</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>起動領域モニタ</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>平均出力領域モニタ</td><td>原子炉格納容器内</td></tr> <tr><td>原子炉圧力</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>原子炉圧力(SA)</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>原子炉水位</td><td>原子炉建屋地下1.3階</td></tr> <tr><td>原子炉水位(SA)</td><td>原子炉建屋地下1.3階</td></tr> <tr><td>高圧代替注水系統流量</td><td>原子炉建屋地下2階</td></tr> <tr><td>復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>復水補給水系統流量 (原子炉格納容器)</td><td>原子炉建屋地下1.2階</td></tr> <tr><td>格納容器内圧力(D/W)</td><td>原子炉建屋地上中4階</td></tr> <tr><td>格納容器内圧力(S/C)</td><td>原子炉建屋地上1階</td></tr> <tr><td>サブプレッション・チェンバ・プール水位</td><td>原子炉建屋地下3階</td></tr> <tr><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)</td><td>原子炉建屋地上1階</td></tr> <tr><td>格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)</td><td>原子炉建屋地下1階</td></tr> <tr><td>復水補給水系統温度 (代替循環冷却)</td><td>原子炉建屋地下2階</td></tr> <tr><td>復水移送ポンプ吐出圧力</td><td>廃棄物処理建屋地下3階</td></tr> <tr><td>復水貯蔵槽水位(SA)</td><td>廃棄物処理建屋地下3階</td></tr> <tr><td>フィルタ装置水位</td><td>屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)</td></tr> <tr><td>フィルタ装置入口圧力</td><td>原子炉建屋地上3階</td></tr> <tr><td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td><td>屋外 (原子炉建屋屋上)</td></tr> <tr><td>フィルタ装置水素濃度</td><td>原子炉建屋地上3階</td></tr> <tr><td>フィルタ装置金属フィルタ差圧</td><td>屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)</td></tr> <tr><td>耐圧強化ベント系放射線モニタ</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> <tr><td>使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ</td><td>原子炉建屋地上4階</td></tr> </tbody> </table> <p>表8-1:重大事故防止設備パラメータ一覧(6号炉)</p>	パラメータ名称	設置場所	ドライウェル雰囲気温度	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ気体温度	原子炉格納容器内	サブプレッション・チェンバ・プール水温度	原子炉格納容器内	起動領域モニタ	原子炉格納容器内	平均出力領域モニタ	原子炉格納容器内	原子炉圧力	原子炉建屋地下1階	原子炉圧力(SA)	原子炉建屋地下1階	原子炉水位	原子炉建屋地下1.3階	原子炉水位(SA)	原子炉建屋地下1.3階	高圧代替注水系統流量	原子炉建屋地下2階	復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)	原子炉建屋地下1階	復水補給水系統流量 (原子炉格納容器)	原子炉建屋地下1.2階	格納容器内圧力(D/W)	原子炉建屋地上中4階	格納容器内圧力(S/C)	原子炉建屋地上1階	サブプレッション・チェンバ・プール水位	原子炉建屋地下3階	格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)	原子炉建屋地上1階	格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)	原子炉建屋地下1階	復水補給水系統温度 (代替循環冷却)	原子炉建屋地下2階	復水移送ポンプ吐出圧力	廃棄物処理建屋地下3階	復水貯蔵槽水位(SA)	廃棄物処理建屋地下3階	フィルタ装置水位	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)	フィルタ装置入口圧力	原子炉建屋地上3階	フィルタ装置出口放射線モニタ	屋外 (原子炉建屋屋上)	フィルタ装置水素濃度	原子炉建屋地上3階	フィルタ装置金属フィルタ差圧	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)	耐圧強化ベント系放射線モニタ	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	原子炉建屋地上4階	使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ	原子炉建屋地上4階	②(SA設備の見直しに伴う変更)
計装設備名称	設置場所																																																																																																																																																				
ドライウェル雰囲気温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ気体温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
起動領域モニタ	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
平均出力領域モニタ	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
原子炉圧力容器温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
格納容器下部水水位	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
格納容器内水素濃度(SA)	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
残留熱除去系系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
原子炉隔離時冷却系系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
高圧炉心注水系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
高圧炉心注水系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
原子炉圧力	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
原子炉圧力(SA)	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
原子炉水位 (広帯域・燃料域)	原子炉建屋地下1.3階																																																																																																																																																				
原子炉水位(SA)	原子炉建屋地下1.3階																																																																																																																																																				
高圧代替注水系統流量	原子炉建屋地下2階																																																																																																																																																				
復水補給水系統流量 (RHR A/B系代替注水流量)	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
復水補給水系統流量 (格納容器下部注水流量)	原子炉建屋地下2階																																																																																																																																																				
格納容器内圧力(D/W)	原子炉建屋地上中3階																																																																																																																																																				
格納容器内圧力(S/C)	原子炉建屋地上1階																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水位	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																																				
格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)	原子炉建屋地上1階																																																																																																																																																				
格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下2階																																																																																																																																																				
復水補給水系統温度 (代替循環冷却)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
復水移送ポンプ吐出圧力	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																				
復水貯蔵槽水位(SA)	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																				
フィルタ装置水位	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)																																																																																																																																																				
フィルタ装置入口圧力	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																																				
フィルタ装置出口放射線モニタ	屋外 (原子炉建屋屋上)																																																																																																																																																				
フィルタ装置水素濃度	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																																				
フィルタ装置金属フィルタ差圧	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)																																																																																																																																																				
フィルタ装置スクラバpH	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)																																																																																																																																																				
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系統流量 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
残留熱除去系熱交換器入口冷却水流量 (設計基準拡張)	タービン建屋地下2階																																																																																																																																																				
残留熱除去系ポンプ吐出圧力 (設計基準拡張)	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
パラメータ名称	設置場所																																																																																																																																																				
ドライウェル雰囲気温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ気体温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水温度	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
起動領域モニタ	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
平均出力領域モニタ	原子炉格納容器内																																																																																																																																																				
原子炉圧力	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
原子炉圧力(SA)	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
原子炉水位	原子炉建屋地下1.3階																																																																																																																																																				
原子炉水位(SA)	原子炉建屋地下1.3階																																																																																																																																																				
高圧代替注水系統流量	原子炉建屋地下2階																																																																																																																																																				
復水補給水系統流量 (原子炉圧力容器)	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
復水補給水系統流量 (原子炉格納容器)	原子炉建屋地下1.2階																																																																																																																																																				
格納容器内圧力(D/W)	原子炉建屋地上中4階																																																																																																																																																				
格納容器内圧力(S/C)	原子炉建屋地上1階																																																																																																																																																				
サブプレッション・チェンバ・プール水位	原子炉建屋地下3階																																																																																																																																																				
格納容器内雰囲気放射線レベル(D/W)	原子炉建屋地上1階																																																																																																																																																				
格納容器内雰囲気放射線レベル(S/C)	原子炉建屋地下1階																																																																																																																																																				
復水補給水系統温度 (代替循環冷却)	原子炉建屋地下2階																																																																																																																																																				
復水移送ポンプ吐出圧力	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																				
復水貯蔵槽水位(SA)	廃棄物処理建屋地下3階																																																																																																																																																				
フィルタ装置水位	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)																																																																																																																																																				
フィルタ装置入口圧力	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																																				
フィルタ装置出口放射線モニタ	屋外 (原子炉建屋屋上)																																																																																																																																																				
フィルタ装置水素濃度	原子炉建屋地上3階																																																																																																																																																				
フィルタ装置金属フィルタ差圧	屋外 (フィルタベント遮蔽壁内)																																																																																																																																																				
耐圧強化ベント系放射線モニタ	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA広域)	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
使用済燃料貯蔵プール水位・温度 (SA)	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
使用済燃料貯蔵プール放射線モニタ	原子炉建屋地上4階																																																																																																																																																				
74	3.1.2.	共7-100~125	<p>第37-〇図:重大事故等発生時の計装(重大事故防止)と事故時監視計器の配置</p> <p>(図についてSA設備の追加並びに58条配置図との記載合わせ)</p>	<p>図39-1:重大事故等発生時の計装と事故時監視計器の配置(1/26)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)																																																																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

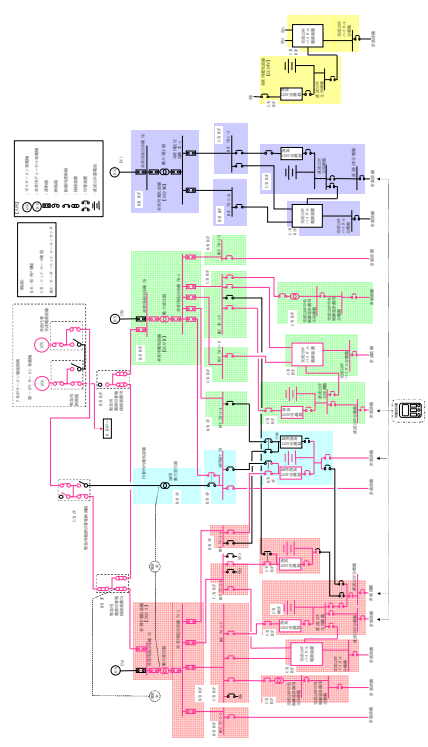

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
75	3.1.2.	共7-126	 <p>第38-1図: 重大事故等発生時の計装と事故時監視計器の電源の概略系統図 (1/2)</p>	 <p>図40-1: 重大事故等発生時の計装と事故時監視計器の電源の概略系統図(1/2)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
76	3.1.2.	共7-127	 <p>第38-2図: 重大事故等発生時の計装と事故時監視計器の電源の概略系統図(2/2)</p>	 <p>図40-2: 重大事故等発生時の計装と事故時監視計器の電源の概略系統図(2/2)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)
77	3.1.2.	共7-128	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部及び待機場所)は、重大事故等に対処するために必要な指示を行い、要員を収容するための常設設備であり、常設重大事故防止設備には高気密室、遮蔽、二酸化炭素吸収装置が該当する。そのうち高気密室、遮蔽は不燃性材料で構築されていることから、火災発生のおそれはない。</p>	<p>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)(遮蔽,二酸化炭素吸収装置)については、5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)が6号及び7号炉の原子炉建屋・コントロール建屋等と位置的に分散して設置されていることから、当該対策所における単一の火災によっても6号及び7号炉の原子炉及び使用済燃料プールに影響を及ぼすおそれはない。</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

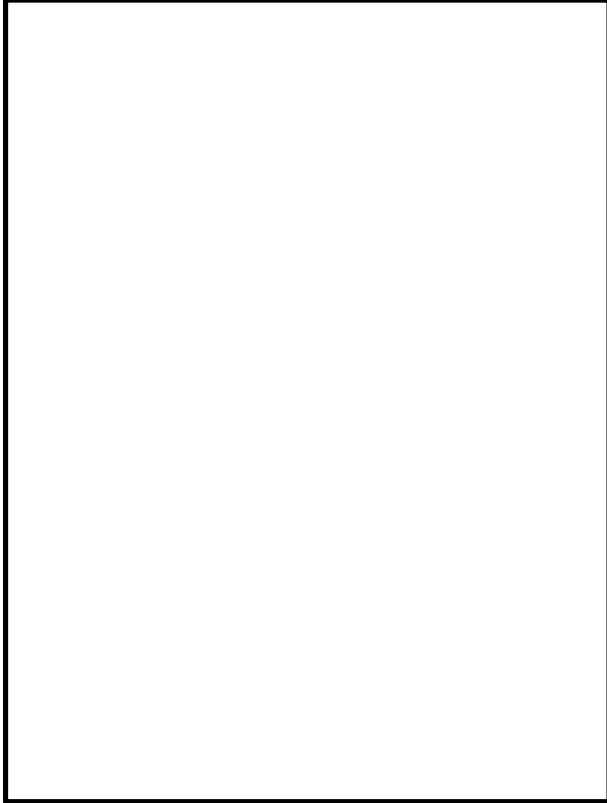
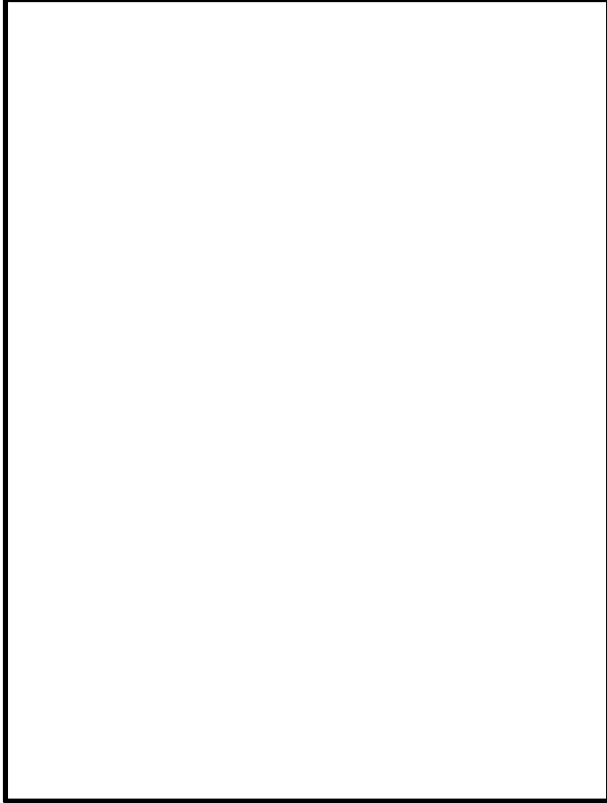
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
78	3.1.2.	共7-134	<p>無線連絡設備(常設), 無線連絡設備(屋外アンテナ)[伝送路]は重大事故等時に発電所内の通信連絡を行うための常設設備であり, 当該設備を代替する機能を有する設計基準対象施設は「送受話器」, 「電力保安通信用電話設備」である。</p> <p>無線連絡設備(常設), 無線連絡設備(屋外アンテナ)[伝送路]は, 火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用等の対策を講じている。また, 建屋内においては感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に固定式ガス消火設備を設置している。屋外に設置する無線連絡設備(屋外アンテナ)[伝送路]は, 通電電流が微弱であることから自己発火するおそれがなく, ケーブルを電線管で敷設するとともに周辺に可燃物を設置せず火災の影響を受けない設計とする。さらに, 無線連絡設備(常設), 無線連絡設備(屋外アンテナ)と送受話器, 電力保安通信用電話設備はそれぞれ別の火災区域に設置しており, 位置的分散を図っている。(第42図)</p> <p>以上より, 単一の火災によって無線連絡設備(常設), 無線連絡設備(屋外アンテナ)と送受話器, 電力保安通信用電話設備の安全機能は同時に喪失することなく確保できる。すなわち, 2.2. (1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。</p>	<p>発電所内の通信連絡設備である無線連絡設備(常設)は重大事故時に通信連絡を行うための常設設備であり, 当該設備を代替する機能を有する設計基準対象施設は「送受話器(ページング)」, 「電力保安通信用電話設備非常用所内電源系」である。</p> <p>無線連絡設備(常設)は, 火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用等の対策を講じている。また, 感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に固定式ガス消火設備を設置している。さらに, 無線連絡設備(常設)と送受話器(ページング), 電力保安通信用電話設備はそれぞれ別の火災区域に設置しており, 位置的分散を図っている。(図46)</p> <p>以上より, 単一の火災によって無線連絡設備(常設), 送受話器(ページング用), 電力保安通信用電話設備の安全機能は同時に喪失することなく確保できる。すなわち, 2.2. (1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。</p>	<p>②(SA設備の見直しに伴う変更)</p>

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】


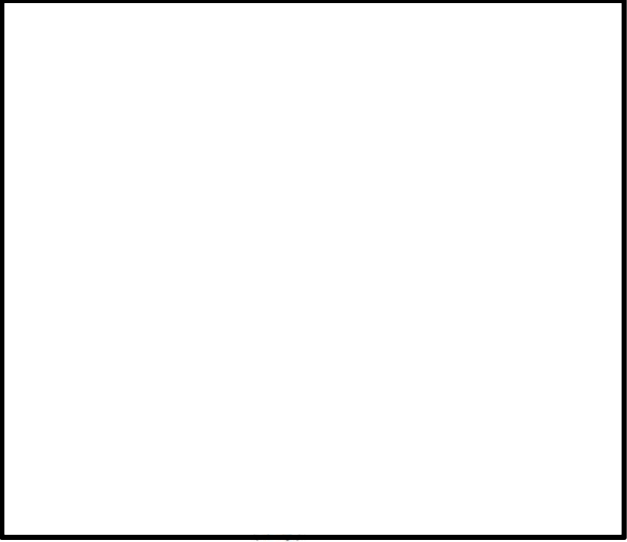
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
79	3.1.2.	共7-135	 <p>(6/7号炉) 第42-1図:無線連絡設備(常設)と送受話器, 電力保安通信用電話設備の配置(1/2)</p>	 <p>図 46-1: 無線連絡設備(常設)と送受話器(ページング), 電力保安通信用電話設備の配置(1/2)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
80	3.1.2.	共7-136	 <p>(6号炉) (7号炉) 第42-2図:無線連絡設備(常設)と送受話器, 通信用電話設備の配置(2/2)</p>	 <p>図46-2:無線連絡設備(常設)と送受話器(ページング), 通信用電話設備の配置(2/2)</p>	⑤(62条資料と記載合わせ)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																					
81	3.2.1.	共7-138	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td rowspan="7">50</td> <td rowspan="7">緩和</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク [流路]</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ [流路]</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>給水系 配管・弁・スパージャ [流路]</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレィ・ヘッド[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">格納容器下部注水系 (常設) による原子炉格納容器下部への注水</td> <td>復水移送ポンプ</td> <td rowspan="3">51</td> <td rowspan="3">緩和</td> </tr> <tr> <td>コリウムシールド</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水</td> <td>高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]</td> <td rowspan="2">51</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>復水補給水系 配管・弁 [流路]</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素爆発防止</td> <td>コリウムシールド</td> <td>52</td> <td>(設計基準対象施設)</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出を含む)</td> <td>(不活性ガス系)</td> <td>52</td> <td>(設計基準対象施設)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出を含む)</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> <td>52</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (SA)</td> <td rowspan="2">52</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>格納容器内酸素濃度</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合器による水素濃度抑制</td> <td>格納容器内水素濃度 (SA) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度</td> <td>52</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内の水素濃度監視</td> <td>静的触媒式水素再結合器 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置</td> <td>53</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールの監視</td> <td>原子炉建屋水素濃度 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置を含む)</td> <td>54, 58</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	復水移送ポンプ	50	緩和	残留熱除去系熱交換器	原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク [流路]	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ [流路]	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]	復水補給水系 配管・弁 [流路]	給水系 配管・弁・スパージャ [流路]	格納容器スプレィ・ヘッド[流路]	格納容器下部注水系 (常設) による原子炉格納容器下部への注水	復水移送ポンプ	51	緩和	コリウムシールド	復水補給水系 配管・弁 [流路]	格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]	51	緩和	復水補給水系 配管・弁 [流路]	原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素爆発防止	コリウムシールド	52	(設計基準対象施設)	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出を含む)	(不活性ガス系)	52	(設計基準対象施設)	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出を含む)	サブプレッション・チェンバ	52	緩和	格納容器内水素濃度 (SA)	52	緩和	格納容器内酸素濃度	静的触媒式水素再結合器による水素濃度抑制	格納容器内水素濃度 (SA) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度	52	緩和	原子炉建屋内の水素濃度監視	静的触媒式水素再結合器 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置	53	緩和	使用済燃料プールの監視	原子炉建屋水素濃度 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置を含む)	54, 58	防止でも緩和でもない	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">重大事故等収束のための水素 貯水庫としては海水も 使用可能</td> <td>サブプレッション・チェンバ</td> <td>56</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> <td rowspan="2">50, 56</td> <td rowspan="2">- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本条文において必要なため記載] - (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本条文において必要なため記載]</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水池</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td rowspan="7">58</td> <td rowspan="7">緩和</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の水位</td> <td>格納容器下部水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度 (SA)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内の酸素濃度</td> <td>格納容器内酸素濃度</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内の水素濃度</td> <td>原子炉建屋水素濃度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水素濃度</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プールの監視</td> <td>使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置含む)</td> </tr> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS))</td> <td>58</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">居住性の確保</td> <td>中央制御室</td> <td rowspan="4">59</td> <td rowspan="4">緩和</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室隣接圧化装置 (配管・弁) [流路]</td> </tr> <tr> <td>モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電</td> <td>データ表示装置 (待避室)</td> <td>60</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">居住性の確保 (対策本部)</td> <td>モニタリング・ポスト用発電機</td> <td rowspan="3">61</td> <td rowspan="3">緩和</td> </tr> <tr> <td>5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>5号伊原子炉建屋内高気密室 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 隣接圧化装置 (配管・弁)</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 隣接圧化装置 (配管・弁)</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	重大事故等収束のための水素 貯水庫としては海水も 使用可能	サブプレッション・チェンバ	56	緩和	防火水槽	50, 56	- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本条文において必要なため記載] - (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本条文において必要なため記載]	淡水貯水池	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	58	緩和	格納容器内の水位	格納容器下部水位	格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (SA)	格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度	原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度	最終ヒートシンクの確保	耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水素濃度	使用済燃料プールの監視	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置含む)	発電所内の通信連絡	必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS))	58	防止でも緩和でもない	居住性の確保	中央制御室	59	緩和	中央制御室待避室	中央制御室待避室遮蔽	中央制御室待避室隣接圧化装置 (配管・弁) [流路]	モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電	データ表示装置 (待避室)	60	防止でも緩和でもない	居住性の確保 (対策本部)	モニタリング・ポスト用発電機	61	緩和	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)	5号伊原子炉建屋内高気密室 (対策本部)	居住性の確保 (待機場所)	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 隣接圧化装置 (配管・弁)	61	緩和	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)	居住性の確保 (待機場所)	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 隣接圧化装置 (配管・弁)	61	緩和	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故等対処設備		関連条文			分類																																																																																																																		
			系統機能	主要設備																																																																																																																						
			代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	復水移送ポンプ	50	緩和																																																																																																																				
				残留熱除去系熱交換器																																																																																																																						
				原子炉補機冷却系 配管・弁・サージタンク [流路]																																																																																																																						
				残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ [流路]																																																																																																																						
				高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]																																																																																																																						
				復水補給水系 配管・弁 [流路]																																																																																																																						
				給水系 配管・弁・スパージャ [流路]																																																																																																																						
			格納容器スプレィ・ヘッド[流路]																																																																																																																							
			格納容器下部注水系 (常設) による原子炉格納容器下部への注水	復水移送ポンプ	51	緩和																																																																																																																				
				コリウムシールド																																																																																																																						
				復水補給水系 配管・弁 [流路]																																																																																																																						
格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水	高圧炉心注水系 配管・弁 [流路]	51	緩和																																																																																																																							
	復水補給水系 配管・弁 [流路]																																																																																																																									
原子炉格納容器内不活性化による原子炉格納容器水素爆発防止	コリウムシールド	52	(設計基準対象施設)																																																																																																																							
耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出を含む)	(不活性ガス系)	52	(設計基準対象施設)																																																																																																																							
耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内の可燃性ガスの排出を含む)	サブプレッション・チェンバ	52	緩和																																																																																																																							
	格納容器内水素濃度 (SA)	52	緩和																																																																																																																							
	格納容器内酸素濃度																																																																																																																									
静的触媒式水素再結合器による水素濃度抑制	格納容器内水素濃度 (SA) 格納容器内水素濃度 格納容器内酸素濃度	52	緩和																																																																																																																							
原子炉建屋内の水素濃度監視	静的触媒式水素再結合器 静的触媒式水素再結合器 動作監視装置	53	緩和																																																																																																																							
使用済燃料プールの監視	原子炉建屋水素濃度 使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置を含む)	54, 58	防止でも緩和でもない																																																																																																																							
常設重大事故等対処設備		関連条文	分類																																																																																																																							
系統機能	主要設備																																																																																																																									
重大事故等収束のための水素 貯水庫としては海水も 使用可能	サブプレッション・チェンバ	56	緩和																																																																																																																							
	防火水槽	50, 56	- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本条文において必要なため記載] - (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本条文において必要なため記載]																																																																																																																							
淡水貯水池																																																																																																																										
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	58	緩和																																																																																																																							
格納容器内の水位	格納容器下部水位																																																																																																																									
格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度 (SA)																																																																																																																									
格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度																																																																																																																									
原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度																																																																																																																									
最終ヒートシンクの確保	耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水素濃度																																																																																																																									
使用済燃料プールの監視	使用済燃料貯蔵プール監視カメラ (使用済燃料貯蔵プール監視カメラ用空冷装置含む)																																																																																																																									
発電所内の通信連絡	必要な情報を把握できる設備 (安全パラメータ表示システム (SPDS))	58	防止でも緩和でもない																																																																																																																							
居住性の確保	中央制御室	59	緩和																																																																																																																							
	中央制御室待避室																																																																																																																									
	中央制御室待避室遮蔽																																																																																																																									
	中央制御室待避室隣接圧化装置 (配管・弁) [流路]																																																																																																																									
モニタリング・ポストの代替交流電源からの給電	データ表示装置 (待避室)	60	防止でも緩和でもない																																																																																																																							
居住性の確保 (対策本部)	モニタリング・ポスト用発電機	61	緩和																																																																																																																							
	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)																																																																																																																									
	5号伊原子炉建屋内高気密室 (対策本部)																																																																																																																									
居住性の確保 (待機場所)	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 隣接圧化装置 (配管・弁)	61	緩和																																																																																																																							
	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)																																																																																																																									
居住性の確保 (待機場所)	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 隣接圧化装置 (配管・弁)	61	緩和																																																																																																																							
	5号伊原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																											
82	3.2.1.	共7-139	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">重大事故等収束のための水源 ※水源としては海も使用可能</td> <td>サプレッション・チェンバ</td> <td>47, 49 ・ 50, 56</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>防火水槽</td> <td rowspan="2">50, 51, 54, 56</td> <td>- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本文文において必要なため記載]</td> </tr> <tr> <td>淡水貯水池</td> <td>- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本文文において必要なため記載]</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td rowspan="10">58</td> <td rowspan="10">緩和</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>格納容器下部水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内水素濃度(SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td> <td>格納容器内酸素濃度</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内の水素濃度</td> <td>原子炉建屋水素濃度</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)</td> <td>復水補給水系温度(代替循環冷却) 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保(耐圧強化ベント系)</td> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水素濃度</td> </tr> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>安全パラメータ表示システム(SPDS)</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">居住性の確保</td> <td>中央制御室</td> <td rowspan="4">59</td> <td rowspan="4">(重大事故等対処施設)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽(常設)</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室陽圧化装置(配管・弁)[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">被ばく線量の低減</td> <td>データ表示装置(待避室)</td> <td rowspan="5">59</td> <td rowspan="5">緩和</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系フィルタ装置[流路]</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系乾燥装置[流路]</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系排風機</td> </tr> <tr> <td>非常用ガス処理系 配管・弁[流路]</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋原子炉区域[流路]</td> </tr> <tr> <td>主排気筒(内筒)[流路]</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	重大事故等収束のための水源 ※水源としては海も使用可能	サプレッション・チェンバ	47, 49 ・ 50, 56	緩和	防火水槽	50, 51, 54, 56	- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本文文において必要なため記載]	淡水貯水池	- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本文文において必要なため記載]	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	58	緩和	原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)	原子炉格納容器内の水位	格納容器下部水位	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(SA)	原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度	原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度	最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)	復水補給水系温度(代替循環冷却) 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)	最終ヒートシンクの確保(耐圧強化ベント系)	耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水素濃度	発電所内の通信連絡	安全パラメータ表示システム(SPDS)	防止でも緩和でもない	居住性の確保	中央制御室	59	(重大事故等対処施設)	中央制御室待避室	中央制御室待避室遮蔽(常設)	中央制御室待避室陽圧化装置(配管・弁)[流路]	被ばく線量の低減	データ表示装置(待避室)	59	緩和	非常用ガス処理系フィルタ装置[流路]	非常用ガス処理系乾燥装置[流路]	非常用ガス処理系排風機	非常用ガス処理系 配管・弁[流路]	原子炉建屋原子炉区域[流路]	主排気筒(内筒)[流路]	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>必要な情報の把握</td> <td>必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))</td> <td rowspan="3">61</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>衛星電話設備(常設) 総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送装置</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> <td>衛星電話設備(常設) 必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS)) 衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路] 有線(建屋内)[伝送路]</td> <td rowspan="4">62</td> <td rowspan="4">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">発電所外の通信連絡</td> <td>衛星電話設備(常設) 総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送装置</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]</td> </tr> <tr> <td>衛星無線通信装置[伝送路]</td> </tr> <tr> <td>有線(建屋内)[伝送路]</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	必要な情報の把握	必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))	61	防止でも緩和でもない	通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	衛星電話設備(常設) 総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送装置	防止でも緩和でもない	発電所内の通信連絡	衛星電話設備(常設) 必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS)) 衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路] 有線(建屋内)[伝送路]	62	防止でも緩和でもない	発電所外の通信連絡	衛星電話設備(常設) 総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送装置	衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]	衛星無線通信装置[伝送路]	有線(建屋内)[伝送路]	②(SA設備の見直しに伴う変更)
常設重大事故等対処設備		関連条文	分類																																																																													
系統機能	主要設備																																																																															
重大事故等収束のための水源 ※水源としては海も使用可能	サプレッション・チェンバ	47, 49 ・ 50, 56	緩和																																																																													
	防火水槽	50, 51, 54, 56	- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本文文において必要なため記載]																																																																													
	淡水貯水池		- (代替淡水源) [常設重大事故等対処設備ではなく代替淡水源(措置)であるが, 本文文において必要なため記載]																																																																													
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度	58	緩和																																																																													
原子炉格納容器への注水量	復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)																																																																															
原子炉格納容器内の水位	格納容器下部水位																																																																															
原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内水素濃度(SA)																																																																															
原子炉格納容器内の酸素濃度	格納容器内酸素濃度																																																																															
原子炉建屋内の水素濃度	原子炉建屋水素濃度																																																																															
最終ヒートシンクの確保(代替循環冷却系)	復水補給水系温度(代替循環冷却) 復水補給水系流量(格納容器下部注水流量)																																																																															
最終ヒートシンクの確保(耐圧強化ベント系)	耐圧強化ベント系放射線モニタ フィルタ装置水素濃度																																																																															
発電所内の通信連絡	安全パラメータ表示システム(SPDS)			防止でも緩和でもない																																																																												
居住性の確保	中央制御室			59	(重大事故等対処施設)																																																																											
	中央制御室待避室																																																																															
	中央制御室待避室遮蔽(常設)																																																																															
	中央制御室待避室陽圧化装置(配管・弁)[流路]																																																																															
被ばく線量の低減	データ表示装置(待避室)	59	緩和																																																																													
	非常用ガス処理系フィルタ装置[流路]																																																																															
	非常用ガス処理系乾燥装置[流路]																																																																															
	非常用ガス処理系排風機																																																																															
	非常用ガス処理系 配管・弁[流路]																																																																															
原子炉建屋原子炉区域[流路]																																																																																
主排気筒(内筒)[流路]																																																																																
常設重大事故等対処設備		関連条文	分類																																																																													
系統機能	主要設備																																																																															
必要な情報の把握	必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS))	61	防止でも緩和でもない																																																																													
通信連絡(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	衛星電話設備(常設) 総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送装置		防止でも緩和でもない																																																																													
発電所内の通信連絡	衛星電話設備(常設) 必要な情報を把握できる設備(安全パラメータ表示システム(SPDS)) 衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路] 有線(建屋内)[伝送路]		62	防止でも緩和でもない																																																																												
発電所外の通信連絡	衛星電話設備(常設) 総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備 データ伝送装置																																																																															
	衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]																																																																															
	衛星無線通信装置[伝送路]																																																																															
	有線(建屋内)[伝送路]																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																										
83	3.2.1.	共7-140	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常設重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線量の代替測定</td> <td>データ処理装置[伝送路]</td> <td rowspan="4">60</td> <td rowspan="4">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>気象観測設備の代替測定</td> <td>データ処理装置[伝送路]</td> </tr> <tr> <td>放射線量の測定</td> <td>データ処理装置[伝送路]</td> </tr> <tr> <td>モニタリング・ポストの代替 交流電源からの給電</td> <td>モニタリング・ポスト用発電機</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">居住性の確保 (対策本部)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)</td> <td rowspan="3">61</td> <td>(重大事故等対処施設)</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (配管・弁) [流路]</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>5号炉屋外緊急連絡用インターフォン</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)</td> <td rowspan="2">61</td> <td>(重大事故等対処施設)</td> </tr> <tr> <td>5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (配管・弁) [流路]</td> <td>緩和</td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握</td> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> <td rowspan="15">62</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>衛星電話設備 (常設)</td> <td rowspan="6">62</td> <td rowspan="6">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> </tr> <tr> <td>データ伝送設備</td> </tr> <tr> <td>無線通信装置[伝送路]</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]</td> </tr> <tr> <td>衛星無線通信装置[伝送路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">発電所内の通信連絡</td> <td>衛星電話設備 (常設)</td> <td rowspan="4">62</td> <td rowspan="4">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]</td> </tr> <tr> <td>無線通信装置[伝送路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">発電所外の通信連絡</td> <td>衛星電話設備 (常設)</td> <td rowspan="5">62</td> <td rowspan="5">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備</td> </tr> <tr> <td>データ伝送設備</td> </tr> <tr> <td>衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]</td> </tr> <tr> <td>衛星無線通信装置[伝送路]</td> </tr> </tbody> </table>	常設重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	放射線量の代替測定	データ処理装置[伝送路]	60	防止でも緩和でもない	気象観測設備の代替測定	データ処理装置[伝送路]	放射線量の測定	データ処理装置[伝送路]	モニタリング・ポストの代替 交流電源からの給電	モニタリング・ポスト用発電機	居住性の確保 (対策本部)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)	61	(重大事故等対処施設)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (配管・弁) [流路]	緩和	5号炉屋外緊急連絡用インターフォン	防止でも緩和でもない	居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)	61	(重大事故等対処施設)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (配管・弁) [流路]	緩和	必要な情報の把握	安全パラメータ表示システム (SPDS)	62	防止でも緩和でもない	通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	衛星電話設備 (常設)	62	防止でも緩和でもない	総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	データ伝送設備	無線通信装置[伝送路]	衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]	衛星無線通信装置[伝送路]	発電所内の通信連絡	衛星電話設備 (常設)	62	防止でも緩和でもない	安全パラメータ表示システム (SPDS)	衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]	無線通信装置[伝送路]	発電所外の通信連絡	衛星電話設備 (常設)	62	防止でも緩和でもない	総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備	データ伝送設備	衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]	衛星無線通信装置[伝送路]	(記載なし)	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			常設重大事故等対処設備		関連条文			分類																																																							
			系統機能	主要設備																																																											
			放射線量の代替測定	データ処理装置[伝送路]	60	防止でも緩和でもない																																																									
			気象観測設備の代替測定	データ処理装置[伝送路]																																																											
			放射線量の測定	データ処理装置[伝送路]																																																											
			モニタリング・ポストの代替 交流電源からの給電	モニタリング・ポスト用発電機																																																											
			居住性の確保 (対策本部)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)	61	(重大事故等対処施設)																																																									
				5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 陽圧化装置 (配管・弁) [流路]		緩和																																																									
				5号炉屋外緊急連絡用インターフォン		防止でも緩和でもない																																																									
			居住性の確保 (待機場所)	5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所)	61	(重大事故等対処施設)																																																									
				5号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (待機場所) 陽圧化装置 (配管・弁) [流路]		緩和																																																									
			必要な情報の把握	安全パラメータ表示システム (SPDS)	62	防止でも緩和でもない																																																									
			通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	衛星電話設備 (常設)		62	防止でも緩和でもない																																																								
				総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備																																																											
データ伝送設備																																																															
無線通信装置[伝送路]																																																															
衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]																																																															
衛星無線通信装置[伝送路]																																																															
発電所内の通信連絡	衛星電話設備 (常設)	62	防止でも緩和でもない																																																												
	安全パラメータ表示システム (SPDS)																																																														
	衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]																																																														
	無線通信装置[伝送路]																																																														
発電所外の通信連絡	衛星電話設備 (常設)	62	防止でも緩和でもない																																																												
	総合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備																																																														
	データ伝送設備																																																														
	衛星電話設備 (屋外アンテナ) [伝送路]																																																														
	衛星無線通信装置[伝送路]																																																														

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
84	3.2.1.	共7-141	<p>第9表の設備のうち、ラプチャーディスク、配管、手動弁、サージタンク、熱交換器、ストレーナ、スプレイ・ヘッダ、コリウムシールド、原子炉圧力容器、原子炉格納容器、中央制御室待避室陽圧化装置(配管・弁)、サブプレッション・チェンバ、防火水槽、淡水貯水池、原子炉建屋原子炉区域、主排気筒(内筒)については、金属等の不燃性材料で構築されていること、内部の液体の漏えいを防止するためのパッキンが装着されている場合でもパッキン類のシート面は機器内の液体と接触しており大幅な温度上昇は考えにくいことから、火災発生のおそれはない。また、屋外に設置する衛星電話設備(屋外アンテナ)[伝送路]は、通電電流が微弱であることから自己発火するおそれなく、ケーブルを電線管で敷設するとともに周辺に可燃物を設置せず火災の影響を受けない設計とする。すなわち、2.2.(2)①において安全機能が喪失しないと判断する。</p> <p>上記以外の常設重大事故緩和設備及び常設重大事故等対処設備のうち防止でも緩和でもないものについては、火災防護に係る審査基準にしたがい、火災の発生防止対策及び火災の感知・消火対策を実施する(41-2)。</p>	<p>表9の設備のうち、圧力開放板、配管、手動弁、サージタンク、熱交換器、スプレイヘッダ、原子炉圧力容器、原子炉格納容器、中央制御室待避室陽圧化装置(配管・弁)、原子炉ウエル、サブプレッション・チェンバについては、金属等の不燃性材料で構築されていること、内部の液体の漏えいを防止するためのパッキンが装着されている場合でもパッキン類のシート面は機器内の液体と接触しており大幅な温度上昇は考えにくいことから、火災発生のおそれはない。すなわち、2.2.(2)①において安全機能が喪失しないと判断する。</p> <p>上記以外の常設重大事故緩和設備及び常設重大事故等対処設備のうち防止でも緩和でもないものについては、火災防護に係る審査基準にしたがい、火災の発生防止対策及び火災の感知・消火対策を実施する。(資料10)</p>	②(SA設備の見直しに伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

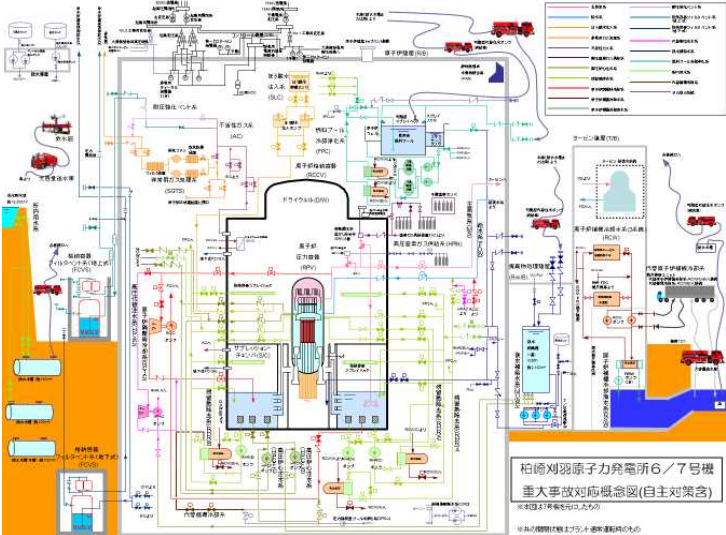
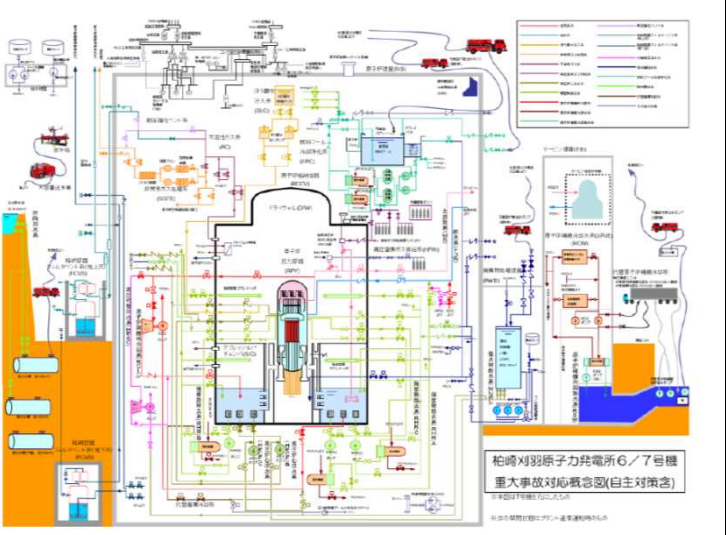
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																								
85	3.2.2.	共7-142	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセスルート確保</td> <td>ホイールローダ</td> <td>43</td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>スクラバ水 pH 制御設備</td> <td rowspan="2">50, 52</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱</td> <td>熱交換器ユニット</td> <td rowspan="4">50</td> <td rowspan="4">緩和</td> </tr> <tr> <td>大容量送水車 (熱交換器ユニット用)</td> </tr> <tr> <td>代替原子炉補機冷却海水ストレーナ</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水</td> <td>可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)</td> <td rowspan="2">51</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内可燃性ガスの排出を含む)</td> <td>可搬型窒素供給装置</td> <td rowspan="2">50, 52</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>ホース・接続口[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大気への放射性物質の拡散抑制 ※水源は海を使用</td> <td>大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)</td> <td rowspan="3">55</td> <td rowspan="3">緩和</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> </tr> <tr> <td>ホース[流路]</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海洋への放射性物質の拡散抑制</td> <td>放射性物質吸着材</td> <td rowspan="3">55</td> <td rowspan="3">緩和</td> </tr> <tr> <td>汚濁防止膜</td> </tr> <tr> <td>小型船舶 (汚濁防止膜設置用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">航空機燃料火災への泡消火 ※水源は海を使用</td> <td>大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)</td> <td rowspan="4">55</td> <td rowspan="4">緩和</td> </tr> <tr> <td>放水砲</td> </tr> <tr> <td>泡原液搬送車</td> </tr> <tr> <td>泡原液混合装置</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視</td> <td>可搬型計測器</td> <td rowspan="2">58</td> <td rowspan="2">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>中央制御室待避室遮蔽 (可搬型)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">居住性の確保</td> <td>中央制御室待避室</td> <td rowspan="4">59</td> <td rowspan="4">緩和</td> </tr> <tr> <td>陽圧化装置 (空気ボンベ)</td> </tr> <tr> <td>差圧計</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度・二酸化炭素濃度計</td> </tr> <tr> <td>照明の確保</td> <td>可搬型蓄電池内蔵型照明</td> <td></td> <td>防止でも緩和でもない</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	アクセスルート確保	ホイールローダ	43	防止でも緩和でもない	格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	スクラバ水 pH 制御設備	50, 52	緩和	ホース・接続口[流路]	代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	熱交換器ユニット	50	緩和	大容量送水車 (熱交換器ユニット用)	代替原子炉補機冷却海水ストレーナ	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)	格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)	51	緩和	ホース・接続口[流路]	耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内可燃性ガスの排出を含む)	可搬型窒素供給装置	50, 52	緩和	ホース・接続口[流路]	大気への放射性物質の拡散抑制 ※水源は海を使用	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	55	緩和	放水砲	ホース[流路]	海洋への放射性物質の拡散抑制	放射性物質吸着材	55	緩和	汚濁防止膜	小型船舶 (汚濁防止膜設置用)	航空機燃料火災への泡消火 ※水源は海を使用	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	55	緩和	放水砲	泡原液搬送車	泡原液混合装置	温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視	可搬型計測器	58	防止でも緩和でもない	中央制御室待避室遮蔽 (可搬型)	居住性の確保	中央制御室待避室	59	緩和	陽圧化装置 (空気ボンベ)	差圧計	酸素濃度・二酸化炭素濃度計	照明の確保	可搬型蓄電池内蔵型照明		防止でも緩和でもない	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">可搬型重大事故等対処設備</th> <th rowspan="2">関連条文</th> <th rowspan="2">分類</th> </tr> <tr> <th>系統機能</th> <th>主要設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>放射線量の代替測定</td> <td>可搬型モニタリングポスト</td> <td rowspan="2">60</td> <td rowspan="2">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">放射能観測車の代替測定装置</td> <td>可搬型ダスト・よう素サンプラ</td> </tr> <tr> <td>GM 汚染サーバイメータ</td> </tr> <tr> <td>NaI シンチレーションサーバイメータ</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング</td> <td>可搬型ダスト・よう素サンプラ</td> <td rowspan="4">60</td> <td rowspan="4">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>GM 汚染サーバイメータ</td> </tr> <tr> <td>NaI シンチレーションサーバイメータ</td> </tr> <tr> <td>ZnS シンチレーションサーバイメータ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">放射線量の測定</td> <td>小型船舶 (海上モニタリング用)</td> <td rowspan="3">61</td> <td rowspan="3">緩和</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td>電離箱サーバイメータ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">気象観測設備の代替測定</td> <td>小型船舶 (海上モニタリング用)</td> <td rowspan="2">61</td> <td rowspan="2">緩和</td> </tr> <tr> <td>可搬型モニタリングポスト</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">居住性の確保 (対策本部)</td> <td>可搬型気象観測装置</td> <td rowspan="5">61</td> <td rowspan="5">緩和</td> </tr> <tr> <td>酸素濃度計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>二酸化炭素濃度計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>差圧計 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">居住性の確保 (待機場所)</td> <td>陽圧化装置 (空気ボンベ)</td> <td rowspan="4">62</td> <td rowspan="4">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>可搬型エリアモニタ (対策本部)</td> </tr> <tr> <td>5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機</td> </tr> <tr> <td>可搬型エリアモニタ (待機場所)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">通信連絡 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td>衛星電話設備 (可搬型)</td> <td rowspan="3">62</td> <td rowspan="3">防止でも緩和でもない</td> </tr> <tr> <td>発電所内の通信連絡</td> </tr> <tr> <td>発電所外の通信連絡</td> </tr> </tbody> </table>	可搬型重大事故等対処設備		関連条文	分類	系統機能	主要設備	放射線量の代替測定	可搬型モニタリングポスト	60	防止でも緩和でもない	放射能観測車の代替測定装置	可搬型ダスト・よう素サンプラ	GM 汚染サーバイメータ	NaI シンチレーションサーバイメータ	放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング	可搬型ダスト・よう素サンプラ	60	防止でも緩和でもない	GM 汚染サーバイメータ	NaI シンチレーションサーバイメータ	ZnS シンチレーションサーバイメータ	放射線量の測定	小型船舶 (海上モニタリング用)	61	緩和	可搬型モニタリングポスト	電離箱サーバイメータ	気象観測設備の代替測定	小型船舶 (海上モニタリング用)	61	緩和	可搬型モニタリングポスト	居住性の確保 (対策本部)	可搬型気象観測装置	61	緩和	酸素濃度計 (対策本部)	二酸化炭素濃度計 (対策本部)	差圧計 (対策本部)	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)	居住性の確保 (待機場所)	陽圧化装置 (空気ボンベ)	62	防止でも緩和でもない	可搬型エリアモニタ (対策本部)	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機	可搬型エリアモニタ (待機場所)	通信連絡 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	衛星電話設備 (可搬型)	62	防止でも緩和でもない	発電所内の通信連絡	発電所外の通信連絡	②(SA設備の見直しに伴う変更)
			可搬型重大事故等対処設備		関連条文			分類																																																																																																																					
			系統機能	主要設備																																																																																																																									
			アクセスルート確保	ホイールローダ	43	防止でも緩和でもない																																																																																																																							
			格納容器圧力逃がし装置による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	スクラバ水 pH 制御設備	50, 52	緩和																																																																																																																							
				ホース・接続口[流路]																																																																																																																									
			代替循環冷却系による原子炉格納容器内の減圧及び除熱	熱交換器ユニット	50	緩和																																																																																																																							
				大容量送水車 (熱交換器ユニット用)																																																																																																																									
				代替原子炉補機冷却海水ストレーナ																																																																																																																									
				可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)																																																																																																																									
			格納容器下部注水系 (可搬型) による原子炉格納容器下部への注水	可搬型代替注水ポンプ (A-2 級)	51	緩和																																																																																																																							
				ホース・接続口[流路]																																																																																																																									
			耐圧強化ベント系による原子炉格納容器内の水素ガス及び酸素ガスの排出 (代替循環冷却系実施時の格納容器内可燃性ガスの排出を含む)	可搬型窒素供給装置	50, 52	緩和																																																																																																																							
				ホース・接続口[流路]																																																																																																																									
			大気への放射性物質の拡散抑制 ※水源は海を使用	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	55	緩和																																																																																																																							
				放水砲																																																																																																																									
				ホース[流路]																																																																																																																									
			海洋への放射性物質の拡散抑制	放射性物質吸着材	55	緩和																																																																																																																							
				汚濁防止膜																																																																																																																									
				小型船舶 (汚濁防止膜設置用)																																																																																																																									
航空機燃料火災への泡消火 ※水源は海を使用	大容量送水車 (原子炉建屋放水設備用)	55	緩和																																																																																																																										
	放水砲																																																																																																																												
	泡原液搬送車																																																																																																																												
	泡原液混合装置																																																																																																																												
温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視	可搬型計測器	58	防止でも緩和でもない																																																																																																																										
	中央制御室待避室遮蔽 (可搬型)																																																																																																																												
居住性の確保	中央制御室待避室	59	緩和																																																																																																																										
	陽圧化装置 (空気ボンベ)																																																																																																																												
	差圧計																																																																																																																												
	酸素濃度・二酸化炭素濃度計																																																																																																																												
照明の確保	可搬型蓄電池内蔵型照明		防止でも緩和でもない																																																																																																																										
可搬型重大事故等対処設備		関連条文	分類																																																																																																																										
系統機能	主要設備																																																																																																																												
放射線量の代替測定	可搬型モニタリングポスト	60	防止でも緩和でもない																																																																																																																										
放射能観測車の代替測定装置	可搬型ダスト・よう素サンプラ																																																																																																																												
	GM 汚染サーバイメータ																																																																																																																												
	NaI シンチレーションサーバイメータ																																																																																																																												
放射性物質濃度 (空気中・水中・土壌中) 及び海上モニタリング	可搬型ダスト・よう素サンプラ	60	防止でも緩和でもない																																																																																																																										
	GM 汚染サーバイメータ																																																																																																																												
	NaI シンチレーションサーバイメータ																																																																																																																												
	ZnS シンチレーションサーバイメータ																																																																																																																												
放射線量の測定	小型船舶 (海上モニタリング用)	61	緩和																																																																																																																										
	可搬型モニタリングポスト																																																																																																																												
	電離箱サーバイメータ																																																																																																																												
気象観測設備の代替測定	小型船舶 (海上モニタリング用)	61	緩和																																																																																																																										
	可搬型モニタリングポスト																																																																																																																												
居住性の確保 (対策本部)	可搬型気象観測装置	61	緩和																																																																																																																										
	酸素濃度計 (対策本部)																																																																																																																												
	二酸化炭素濃度計 (対策本部)																																																																																																																												
	差圧計 (対策本部)																																																																																																																												
	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部)																																																																																																																												
居住性の確保 (待機場所)	陽圧化装置 (空気ボンベ)	62	防止でも緩和でもない																																																																																																																										
	可搬型エリアモニタ (対策本部)																																																																																																																												
	5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所 (対策本部) 可搬型外気取入送風機																																																																																																																												
	可搬型エリアモニタ (待機場所)																																																																																																																												
通信連絡 (5 号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	衛星電話設備 (可搬型)	62	防止でも緩和でもない																																																																																																																										
	発電所内の通信連絡																																																																																																																												
	発電所外の通信連絡																																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
86	3.2.2.	共7-143	<p>第10表の設備のうち, 中央制御室待避室遮蔽(可搬型), 中央制御室待避室陽圧化装置(空気ポンプ), 5号炉原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部並びに待機場所)陽圧化装置(空気ポンプ)は金属等の不燃性材料で構築されていることから, 火災発生のおそれはない。また, ホイルローダ, 可搬型窒素供給装置, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級), 大容量送水車(熱交換器ユニット用及び原子炉建屋放水設備用), 放水砲, 汚濁防止膜, 放射性物質吸着材, 泡原液搬送車, 泡原液混合装置, 可搬型モニタリングポスト, 可搬型ダスト・よう素サンプラ, GM汚染サーベイメータ, NaIシンチレーションサーベイメータ, ZnSシンチレーションサーベイメータ, 電離箱サーベイメータ, 小型船舶(海上モニタリング用), 可搬型気象観測装置については, 荒浜側, 大湊側の双方に保管することから, 単一の火災によっても同時にすべての機能を喪失するおそれはない。</p>	<p>表10の設備のうち, 中央制御室待避室空気ポンプ陽圧化装置は金属等の不燃性材料で構築されていることから, 火災発生のおそれはない。また, ホイルローダ, 可搬型窒素供給装置, 可搬型代替注水ポンプ, 大容量放水車, 放水砲, 汚濁防止膜, 放射性物質吸着材, 泡原液搬送車, 泡原液混合装置, 可搬型モニタリングポスト, 可搬型ダスト・よう素サンプラ, GM汚染サーベイメータ, NaIシンチレーションサーベイメータ, ZnSシンチレーションサーベイメータ, 電離箱サーベイメータ, 小型船舶(海上モニタリング用), 可搬型気象観測装置については, 荒浜側, 大湊側の双方に保管することから, 単一の火災によっても同時にすべての機能を喪失するおそれはない。</p>	②(SA設備追加に伴う変更)
87	4.2.	共7-147	 <p>柏崎刈羽原子力発電所6/7号機 重大事故対応概念図(自主対策案) ※本図は参考図であり、実際の設備とは異なる場合があります。</p> <p>第44図: 燃料冷却機能の系統概略図</p>	 <p>柏崎刈羽原子力発電所6/7号機 重大事故対応概念図(自主対策案) ※本図は参考図であり、実際の設備とは異なる場合があります。</p> <p>図48: 燃料冷却機能の系統概略図</p>	②(SA設備追加に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

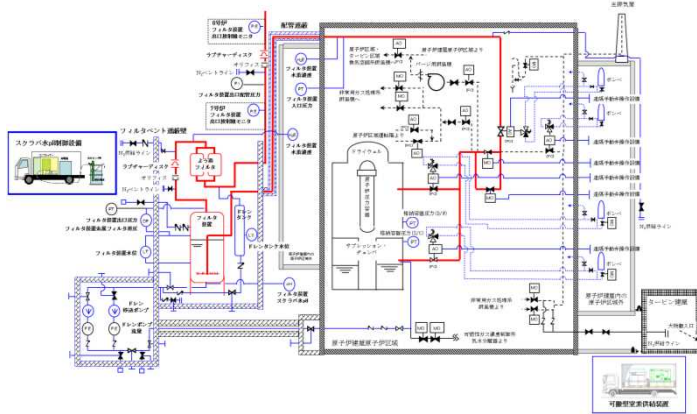
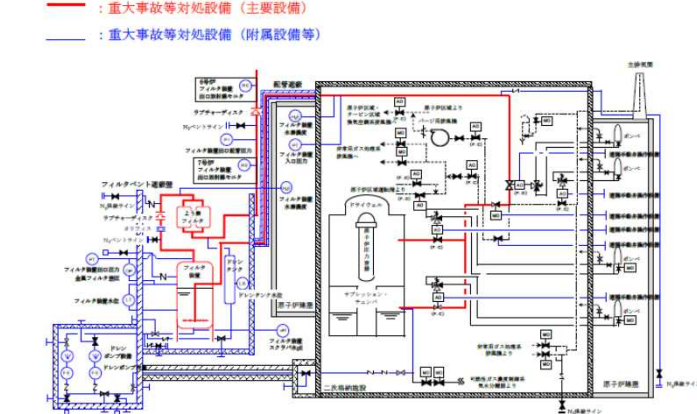
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
88	4.3.	共7-149	<p>第45図: 耐圧強化ベント系 系統概略図</p>	<p>図49: 耐圧強化ベント系 系統概略図</p>	②(SA設備追加に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗，設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充，適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
89	4.3.	共7-150	 <p>第46図：格納容器圧力逃がし装置の系統概略図</p>	 <p>図50：格納容器圧力逃がし装置の系統概略図</p>	②(SA設備追加に伴う変更)
90	4.4.	共7-151	<p>使用済燃料プール注水機能を有する設計基準対象施設である残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給)，燃料プール冷却浄化系が機能喪失した場合，使用済燃料プールの冷却等のための可搬型重大事故防止設備である可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)によって使用済燃料プール注水機能を維持することが可能である。</p> <p>ここで，可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)に火災が発生した場合，当該ポンプは荒浜側，大湊側にそれぞれ位置的に分散して設置していることから，すべての可搬型代替注水ポンプ(A-1級)及び(A-2級)が火災によって機能喪失することはなく，使用済燃料プール注水機能を維持することができる。(第47図)</p>	<p>使用済燃料プール注水機能を有する設計基準対象施設である残留熱除去系(燃料プール水の冷却及び補給)が機能喪失した場合，使用済燃料プールの冷却等のための可搬型重大事故防止設備である可搬型代替注水ポンプによって使用済燃料プール注水機能を維持することが可能である。</p> <p>ここで，可搬型代替注水ポンプに火災が発生した場合，当該ポンプは荒浜型，大湊側にそれぞれ位置的に分散して設置していることから，すべての可搬型代替注水ポンプが火災によって機能喪失することはない，使用済燃料プール注水機能を維持することができる。(図52)</p>	②(SA設備追加に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
91	4.4.	共7-151	<p>第47図: 使用済燃料プール注水機能の系統概略図</p>	<p>図52: 使用済燃料プール注水機能の系統概略図</p>	②(SA設備追加に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
章/項番号 : 43条・共8

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																										
1	共8-12	第2.2.4-1表 重大事故等対処設備の浸水影響評価 まとめ 重大事故等対処設備 設計基準対象施設		⑥（代替格納容器スプレィ冷却系（可搬型）の追加）																																																																																																																																																																																																										
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th rowspan="2">条文</th> <th rowspan="2">対象施設（設備）</th> <th rowspan="2">個別機能維持判定</th> <th rowspan="2">条文判定</th> <th rowspan="2">分類※1</th> <th colspan="3">修復性</th> <th rowspan="2">方針1/2/3, 4判定</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>対応する設計基準対象施設</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>判定</th> <th>頑健性の有無等</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">48</td> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">※2</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">防止</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）、原子炉補機冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(海水貯留罐)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(スクリーン室)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水層)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">49</td> <td>代替格納容器スプレィ冷却系（常設）</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">防止</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレィ冷却系（可搬型）</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(海水貯留罐)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(スクリーン室)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水層)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">50</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">緩和</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">※2</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替補機冷却系</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>S/Pへの蓄熱補助</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td>(真空破壊弁 (S/C→D/W))</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	条文		対象施設（設備）	個別機能維持判定	条文判定	分類※1	修復性			方針1/2/3, 4判定	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定	頑健性の有無等	判定	48	代替格納容器圧力逃がし装置	※2	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）、原子炉補機冷却系	○	○	○		○	(海水貯留罐)	○		○	(スクリーン室)	○		○	(取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水層)	○	49	代替格納容器スプレィ冷却系（常設）	×	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）	○	○	○	代替格納容器スプレィ冷却系（可搬型）	×	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）	○		○	(海水貯留罐)	○		○	(スクリーン室)	○		○	(取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水層)	○	50	格納容器圧力逃がし装置	○	○	緩和	なし	○	○	○	代替格納容器圧力逃がし装置	※2	なし	○	代替補機冷却系	×	なし	○		S/Pへの蓄熱補助	○		(真空破壊弁 (S/C→D/W))	○			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th rowspan="2">条文</th> <th rowspan="2">対象施設（設備）</th> <th rowspan="2">個別機能維持判定</th> <th rowspan="2">条文判定</th> <th rowspan="2">分類※1</th> <th colspan="3">修復性</th> <th rowspan="2">方針1/2/3, 4判定</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>対応する設計基準対象施設</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>判定</th> <th>頑健性の有無等</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">48</td> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">※2</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">防止</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）、原子炉補機冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(海水貯留罐)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(スクリーン室)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水層)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">49</td> <td>代替格納容器スプレィ冷却系</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">防止</td> <td>残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(海水貯留罐)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(スクリーン室)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水路)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(補機冷却用海水取水層)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">50</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">緩和</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">※2</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替補機冷却系</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td></td> <td>(真空破壊弁 (S/C→D/W))</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>S/Pへの蓄熱補助</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	条文	対象施設（設備）	個別機能維持判定	条文判定	分類※1	修復性			方針1/2/3, 4判定	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定	頑健性の有無等	判定	48	代替格納容器圧力逃がし装置	※2	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）、原子炉補機冷却系	○	○	○		○	(海水貯留罐)	○		○	(スクリーン室)	○		○	(取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水層)	○	49	代替格納容器スプレィ冷却系	×	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）	○	○	○		○	(海水貯留罐)	○		○	(スクリーン室)	○		○	(取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水路)	○		○	(補機冷却用海水取水層)	○	50	格納容器圧力逃がし装置	○	○	緩和	なし	○	○	○	代替格納容器圧力逃がし装置	※2	なし	○		代替補機冷却系	×		(真空破壊弁 (S/C→D/W))	○				S/Pへの蓄熱補助	○			○		
		条文							対象施設（設備）	個別機能維持判定	条文判定		分類※1	修復性			方針1/2/3, 4判定																																																																																																																																																																																													
対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定		判定	頑健性の有無等	判定																																																																																																																																																																																																									
48	代替格納容器圧力逃がし装置	※2	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）、原子炉補機冷却系	○	○	○																																																																																																																																																																																																						
		○			(海水貯留罐)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(スクリーン室)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(補機冷却用海水取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
	○	(補機冷却用海水取水層)	○																																																																																																																																																																																																											
49	代替格納容器スプレィ冷却系（常設）	×	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）	○	○	○																																																																																																																																																																																																						
	代替格納容器スプレィ冷却系（可搬型）	×			残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(海水貯留罐)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(スクリーン室)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
	○	(補機冷却用海水取水路)	○																																																																																																																																																																																																											
	○	(補機冷却用海水取水層)	○																																																																																																																																																																																																											
50	格納容器圧力逃がし装置	○	○	緩和	なし	○	○	○																																																																																																																																																																																																						
	代替格納容器圧力逃がし装置	※2			なし	○																																																																																																																																																																																																								
	代替補機冷却系	×			なし	○																																																																																																																																																																																																								
	S/Pへの蓄熱補助	○		(真空破壊弁 (S/C→D/W))	○																																																																																																																																																																																																									
条文	対象施設（設備）	個別機能維持判定	条文判定	分類※1	修復性			方針1/2/3, 4判定																																																																																																																																																																																																						
					対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定		頑健性の有無等	判定																																																																																																																																																																																																				
48	代替格納容器圧力逃がし装置	※2	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）、原子炉補機冷却系	○	○	○																																																																																																																																																																																																						
		○			(海水貯留罐)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(スクリーン室)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(補機冷却用海水取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
	○	(補機冷却用海水取水層)	○																																																																																																																																																																																																											
49	代替格納容器スプレィ冷却系	×	○	防止	残留熱除去系（格納容器スプレィ冷却モード）	○	○	○																																																																																																																																																																																																						
		○			(海水貯留罐)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(スクリーン室)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
		○			(補機冷却用海水取水路)	○																																																																																																																																																																																																								
	○	(補機冷却用海水取水層)	○																																																																																																																																																																																																											
50	格納容器圧力逃がし装置	○	○	緩和	なし	○	○	○																																																																																																																																																																																																						
	代替格納容器圧力逃がし装置	※2			なし	○																																																																																																																																																																																																								
	代替補機冷却系	×		(真空破壊弁 (S/C→D/W))	○																																																																																																																																																																																																									
	S/Pへの蓄熱補助	○			○																																																																																																																																																																																																									
		※1 本文毎の重大事故等対処設備の分類（防止：重大事故防止設備、緩和：重大事故緩和設備） ※2 設備建設中等により評価未完了 ※3 重大事故防止でも緩和でもない設備 ※4 重大事故等対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。																																																																																																																																																																																																												
		※1 本文毎の重大事故等対処設備の分類（防止：重大事故防止設備、緩和：重大事故緩和設備） ※2 設備建設中等により評価未完了 ※3 重大事故防止でも緩和でもない設備 ※4 重大事故等対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。																																																																																																																																																																																																												

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
章/項番号 : 43条・共8

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																							
2	共8-19	<p style="text-align: center; font-size: small;">第2.2.4-1表 重大事故等対処設備の没水影響評価 まとめ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> <th colspan="2">設計基準対象施設</th> <th colspan="2">修復性</th> <th>方針 1/II、 III 判定</th> </tr> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th>条文</th> <th>対象施設(設備)</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>判定</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>水原の確認</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>復水補給水系流量(原子炉格納容器) 残留熱除去系系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水移送ポンプ吐出圧力</td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>原子炉建屋内の水素濃度</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>静的触媒式水素再結合器動作監視装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料プールの監視</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)</td> <td style="text-align: center;">○ ○</td> <td style="text-align: center;">○ ○</td> <td style="text-align: center;">○ ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>発電所内の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度、圧力、水位、注水量の計測・監視</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>59</td> <td>居住性の確保</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(中央制御室) (中央制御室主体避難) 中央制御室換気空調系 中央制御室照明</td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>汚染物の持ち込み防止</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>非常用照明</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">※1 条文毎の重大事故等対処設備の分類(防止:重大事故防止設備、緩和:重大事故緩和設備) ※2 設備建設中等により評価未完了 ※3 重大事故防止でも緩和でもない設備 ■ 重大事故等対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。</p>	重大事故等対処設備		設計基準対象施設		修復性		方針 1/II、 III 判定	条文	対象施設(設備)	個別機能維持判定	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定	判定		水原の確認	○	復水補給水系流量(原子炉格納容器) 残留熱除去系系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水移送ポンプ吐出圧力	○ ○ ○ ○		○	58	原子炉建屋内の水素濃度	○	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	○	○	○		使用済燃料プールの監視	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	○ ○	○ ○	○ ○		発電所内の通信連絡	○	なし	○	○	○		温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	○	なし	○	○	○	59	居住性の確保	○	(中央制御室) (中央制御室主体避難) 中央制御室換気空調系 中央制御室照明	○ ○ ○ ○	○	○		汚染物の持ち込み防止	○	非常用照明	○	○	○	<p style="text-align: center; font-size: small;">第2.2.4-1表 重大事故等対処設備の没水影響評価 まとめ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th colspan="2">重大事故等対処設備</th> <th colspan="2">設計基準対象施設</th> <th colspan="2">修復性</th> <th>方針 1/II、 III 判定</th> </tr> <tr style="background-color: #e0e0e0;"> <th>条文</th> <th>対象施設(設備)</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>判定</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>水原の確認</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>復水補給水系流量(原子炉格納容器) 残留熱除去系系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水移送ポンプ吐出圧力</td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</td> <td style="background-color: #cccccc;"></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>58</td> <td>原子炉建屋内の水素濃度</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>静的触媒式水素再結合器動作監視装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料プールの監視</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)</td> <td style="text-align: center;">○ ○</td> <td style="text-align: center;">○ ○</td> <td style="text-align: center;">○ ○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>発電所内の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度、圧力、水位、注水量の計測・監視</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>なし</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>59</td> <td>居住性の確保</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>(中央制御室) (中央制御室主体避難) 中央制御室換気空調系 中央制御室照明</td> <td style="text-align: center;">○ ○ ○ ○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">※1 条文毎の重大事故等対処設備の分類(防止:重大事故防止設備、緩和:重大事故緩和設備) ※2 設備建設中等により評価未完了 ※3 重大事故防止でも緩和でもない設備 ■ 重大事故等対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。</p>	重大事故等対処設備		設計基準対象施設		修復性		方針 1/II、 III 判定	条文	対象施設(設備)	個別機能維持判定	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定	判定		水原の確認	○	復水補給水系流量(原子炉格納容器) 残留熱除去系系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水移送ポンプ吐出圧力	○ ○ ○ ○		○	58	原子炉建屋内の水素濃度	○	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	○	○	○		使用済燃料プールの監視	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	○ ○	○ ○	○ ○		発電所内の通信連絡	○	なし	○	○	○		温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	○	なし	○	○	○	59	居住性の確保	○	(中央制御室) (中央制御室主体避難) 中央制御室換気空調系 中央制御室照明	○ ○ ○ ○	○	○	⑥ (汚染物の持ち込み防止の追加)
重大事故等対処設備		設計基準対象施設		修復性		方針 1/II、 III 判定																																																																																																																					
条文	対象施設(設備)	個別機能維持判定	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定	判定																																																																																																																					
	水原の確認	○	復水補給水系流量(原子炉格納容器) 残留熱除去系系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水移送ポンプ吐出圧力	○ ○ ○ ○		○																																																																																																																					
58	原子炉建屋内の水素濃度	○	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	○	○	○																																																																																																																					
	使用済燃料プールの監視	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	○ ○	○ ○	○ ○																																																																																																																					
	発電所内の通信連絡	○	なし	○	○	○																																																																																																																					
	温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	○	なし	○	○	○																																																																																																																					
59	居住性の確保	○	(中央制御室) (中央制御室主体避難) 中央制御室換気空調系 中央制御室照明	○ ○ ○ ○	○	○																																																																																																																					
	汚染物の持ち込み防止	○	非常用照明	○	○	○																																																																																																																					
重大事故等対処設備		設計基準対象施設		修復性		方針 1/II、 III 判定																																																																																																																					
条文	対象施設(設備)	個別機能維持判定	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判定	判定																																																																																																																					
	水原の確認	○	復水補給水系流量(原子炉格納容器) 残留熱除去系系統流量 残留熱除去系ポンプ吐出圧力 復水移送ポンプ吐出圧力	○ ○ ○ ○		○																																																																																																																					
58	原子炉建屋内の水素濃度	○	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	○	○	○																																																																																																																					
	使用済燃料プールの監視	○	使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA) 使用済燃料貯蔵プール水位・温度(SA広域)	○ ○	○ ○	○ ○																																																																																																																					
	発電所内の通信連絡	○	なし	○	○	○																																																																																																																					
	温度、圧力、水位、注水量の計測・監視	○	なし	○	○	○																																																																																																																					
59	居住性の確保	○	(中央制御室) (中央制御室主体避難) 中央制御室換気空調系 中央制御室照明	○ ○ ○ ○	○	○																																																																																																																					

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
章/項番号 : 43条・共8

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
3	共8-20	<p style="text-align: center; font-size: small;">第 2.2.4-1 表 重大事故等対処設備の浸水影響評価 まとめ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">条 文</th> <th colspan="4">重大事故等対処設備</th> <th colspan="4">設計基準対象施設</th> <th colspan="3">修復性</th> </tr> <tr> <th>対象施設 (設備)</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>条 文 判 定</th> <th>分 類 ※1</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>判 定</th> <th>頑 健 性 の 有 無 等</th> <th>判 定</th> <th>方 針 1/1 判 定</th> <th>判 定</th> <th>方 針 1/1 判 定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">60</td> <td>放射線量の測定</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>モニタリング・ポスト</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">浸水による影響なし</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>放射能観測車の代替測定装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>放射能観測車</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発電所及びその周辺の測定に使用する測定器</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>※3</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>風向・風速 その他気象条件の測定</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>気象観測設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">61</td> <td>居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">浸水による影響なし</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>防止</td> <td>送受信器</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">62</td> <td>発電所内の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>※3</td> <td>送受信器</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発電所外の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">※1 条文毎の重大事故等対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備、緩和: 重大事故緩和設備) ※2 設備建設中等により評価未完了 ※3 重大事故防止でも緩和でもない設備 ■ 重大事故等対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。</p>	条 文	重大事故等対処設備				設計基準対象施設				修復性			対象施設 (設備)	個別機能維持判定	条 文 判 定	分 類 ※1	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判 定	頑 健 性 の 有 無 等	判 定	方 針 1/1 判 定	判 定	方 針 1/1 判 定	60	放射線量の測定	○			モニタリング・ポスト	○		浸水による影響なし		○		○	放射能観測車の代替測定装置	○			放射能観測車	○							発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○	○	※3	なし								風向・風速 その他気象条件の測定	○			気象観測設備	○							電源の確保	○			なし								61	居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし			浸水による影響なし		○		○	必要な情報の把握 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし								通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	○	防止	送受信器	○	○					○	電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			電力保安通信用電話設備	○							62	発電所内の通信連絡	○	○	※3	送受信器	○							発電所外の通信連絡	○			電力保安通信用電話設備	○	○					○					なし								<p style="text-align: center; font-size: small;">第 2.2.4-1 表 重大事故等対処設備の浸水影響評価 まとめ</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">条 文</th> <th colspan="4">重大事故等対処設備</th> <th colspan="4">設計基準対象施設</th> <th colspan="3">修復性</th> </tr> <tr> <th>対象施設 (設備)</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>条 文 判 定</th> <th>分 類 ※1</th> <th>対応する設計基準対象施設</th> <th>個別機能維持判定</th> <th>判 定</th> <th>頑 健 性 の 有 無 等</th> <th>判 定</th> <th>方 針 1/1 判 定</th> <th>判 定</th> <th>方 針 1/1 判 定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">60</td> <td>放射線量の測定</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>モニタリング・ポスト</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">浸水による影響なし</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>放射能観測車の代替測定装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>放射能観測車</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>発電所及びその周辺の測定に使用する測定器</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>※3</td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>風向・風速 その他気象条件の測定</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>気象観測設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">61</td> <td>居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">浸水による影響なし</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td>防止</td> <td>送受信器</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>居住性の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">62</td> <td>通信連絡 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>送受信器</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td>電力保安通信用電話設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: x-small;">※1 条文毎の重大事故等対処設備の分類 (防止: 重大事故防止設備、緩和: 重大事故緩和設備) ※2 設備建設中等により評価未完了 ※3 重大事故防止でも緩和でもない設備 ■ 重大事故等対処設備のみで機能維持が可能な場合等、考慮不要になる場合はグレーアウトしている。</p>	条 文	重大事故等対処設備				設計基準対象施設				修復性			対象施設 (設備)	個別機能維持判定	条 文 判 定	分 類 ※1	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判 定	頑 健 性 の 有 無 等	判 定	方 針 1/1 判 定	判 定	方 針 1/1 判 定	60	放射線量の測定	○			モニタリング・ポスト	○		浸水による影響なし		○		○	放射能観測車の代替測定装置	○			放射能観測車	○							発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○	○	※3	なし								風向・風速 その他気象条件の測定	○			気象観測設備	○							電源の確保	○			なし								61	居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○			なし			浸水による影響なし		○		○	必要な情報の把握 (免震重要棟内緊急時対策所)	○			なし								通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	○	防止	送受信器	○	○					○	電源の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○			電力保安通信用電話設備	○							居住性の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし								必要な情報の把握 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし								62	通信連絡 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			送受信器	○							電源の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			電力保安通信用電話設備	○	○					○					なし												なし								<p>⑥ (免震重要棟の削除及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への変更)</p>
条 文	重大事故等対処設備				設計基準対象施設				修復性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	対象施設 (設備)	個別機能維持判定	条 文 判 定	分 類 ※1	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判 定	頑 健 性 の 有 無 等	判 定	方 針 1/1 判 定	判 定	方 針 1/1 判 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
60	放射線量の測定	○			モニタリング・ポスト	○		浸水による影響なし		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	放射能観測車の代替測定装置	○			放射能観測車	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○	○	※3	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	風向・風速 その他気象条件の測定	○			気象観測設備	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	電源の確保	○			なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
61	居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし			浸水による影響なし		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	必要な情報の把握 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	○	防止	送受信器	○	○						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			電力保安通信用電話設備	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
62	発電所内の通信連絡	○	○	※3	送受信器	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	発電所外の通信連絡	○			電力保安通信用電話設備	○	○					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
条 文	重大事故等対処設備				設計基準対象施設				修復性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	対象施設 (設備)	個別機能維持判定	条 文 判 定	分 類 ※1	対応する設計基準対象施設	個別機能維持判定	判 定	頑 健 性 の 有 無 等	判 定	方 針 1/1 判 定	判 定	方 針 1/1 判 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
60	放射線量の測定	○			モニタリング・ポスト	○		浸水による影響なし		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	放射能観測車の代替測定装置	○			放射能観測車	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○	○	※3	なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	風向・風速 その他気象条件の測定	○			気象観測設備	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	電源の確保	○			なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
61	居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○			なし			浸水による影響なし		○		○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	必要な情報の把握 (免震重要棟内緊急時対策所)	○			なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	○	防止	送受信器	○	○						○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	電源の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○			電力保安通信用電話設備	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	居住性の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	必要な情報の把握 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
62	通信連絡 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			送受信器	○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	電源の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○			電力保安通信用電話設備	○	○					○																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
					なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
					なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
4	共8-24	<p>3 スロッシングに伴う溢水による重大事故等対処設備への影響について</p> <p>スロッシングが発生した場合の重大事故等対処設備への影響について評価し、安全機能に影響のないことを確認する。 スロッシングは原子炉建屋4階燃料取替床で発生し、当該エリアで約0.80mの溢水水位となる。その後の伝播の流れとしては、当該エリアの床貫通部や機器ハッチは下階への溢水の伝播を防止しており、それらを介した一階層下のフロア(中4階)への伝播は発生しないもの、床ファンネルや階段室、エレベータ室への止水処置は実施していないことから、それらを介した最地下階(地下3階)への直接的な溢水の伝播が発生することとなる。床ファンネル、階段室及びエレベータ室を介した伝播の場合、最地下階の通路部に伝播することとなり、更にその周囲の各ECCS室へは水密扉等により止水処置を施していることから伝播はせず、通路部が最終的な滞留区画となる。この場合の通路部における溢水水位は約1.20mである。 以上の影響範囲を考慮した場合の重大事故等対処設備への影響について第3-1表に示す。</p>	<p>3 スロッシングに伴う溢水による重大事故等対処設備への影響について</p> <p>スロッシングが発生した場合の重大事故等対処設備への影響について評価し、安全機能に影響のないことを確認する。(第3-1表参照)</p>	<p>⑤ (スロッシングによる溢水影響に関する記載の拡充)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
章/項番号 : 43条・共8

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																														
5	共8-25	第 3-1 表 スロッシングによる重大事故等対処設備への影響評価結果	第 3-1 表 スロッシングによる重大事故等対処設備への影響評価結果	⑥ (代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型) の追加)																																																																																																																																																														
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th rowspan="2">条文</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th colspan="2">スロッシングによる影響</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>対象施設 (設備)</th> <th>個別機能維持判定^①</th> <th>条文判定^②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43</td> <td>アクセスルート確保</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">44</td> <td>代替制御棒挿入機能</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">45</td> <td>高压代替注水系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>高压代替注水系の機能回復</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">46</td> <td>逃がし安全弁</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替自動減圧機能</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復 (代替窒素供給)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">47</td> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>低压代替注水系 (可搬型)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">48</td> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>S/P への蓄熱補助</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系 (W/W)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系 (D/W)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">(○)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">49</td> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">50</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">(○)</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>S/P への蓄熱補助</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	条文		重大事故等対処設備	スロッシングによる影響		対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^①	条文判定 ^②	43	アクセスルート確保	○	○	44	代替制御棒挿入機能	○	○	代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能	○	ほう酸水注入系	○	45	高压代替注水系	○	○	高压代替注水系の機能回復	○	ほう酸水注入系	○	46	逃がし安全弁	○	○	代替自動減圧機能	○	逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	○	逃がし安全弁機能回復 (代替窒素供給)	○	47	低压代替注水系 (常設)	○	○	低压代替注水系 (可搬型)	○	非常用取水設備	○	48	代替原子炉補機冷却系	○	○	S/P への蓄熱補助	○	耐圧強化ベント系 (W/W)	○	耐圧強化ベント系 (D/W)	○	格納容器圧力逃がし装置	○	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)	49	代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)	○	○	代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)	○	非常用取水設備	○	50	格納容器圧力逃がし装置	○	○	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)	代替循環冷却系	○	S/P への蓄熱補助	○	非常用取水設備	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th rowspan="2">条文</th> <th>重大事故等対処設備</th> <th colspan="2">スロッシングによる影響</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th>対象施設 (設備)</th> <th>個別機能維持判定^①</th> <th>条文判定^②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43</td> <td>アクセスルート確保</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">44</td> <td>代替制御棒挿入機能</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">45</td> <td>高压代替注水系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>高压代替注水系の機能回復</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">46</td> <td>逃がし安全弁</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替自動減圧機能</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>逃がし安全弁機能回復 (代替窒素供給)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">47</td> <td>低压代替注水系 (常設)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>低压代替注水系 (可搬型)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">48</td> <td>代替原子炉補機冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="6" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>S/P への蓄熱補助</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系 (W/W)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系 (D/W)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">(○)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">49</td> <td>代替格納容器スプレイ冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">50</td> <td>格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器圧力逃がし装置</td> <td style="text-align: center;">(○)</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却系</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>S/P への蓄熱補助</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>非常用取水設備</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	条文	重大事故等対処設備	スロッシングによる影響		対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^①	条文判定 ^②	43	アクセスルート確保	○	○	44	代替制御棒挿入機能	○	○	代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能	○	ほう酸水注入系	○	45	高压代替注水系	○	○	高压代替注水系の機能回復	○	ほう酸水注入系	○	46	逃がし安全弁	○	○	代替自動減圧機能	○	逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	○	逃がし安全弁機能回復 (代替窒素供給)	○	47	低压代替注水系 (常設)	○	○	低压代替注水系 (可搬型)	○	非常用取水設備	○	48	代替原子炉補機冷却系	○	○	S/P への蓄熱補助	○	耐圧強化ベント系 (W/W)	○	耐圧強化ベント系 (D/W)	○	格納容器圧力逃がし装置	○	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)	49	代替格納容器スプレイ冷却系	○	○	非常用取水設備	○	非常用取水設備	○	50	格納容器圧力逃がし装置	○	○	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)	代替循環冷却系	○	S/P への蓄熱補助	○	非常用取水設備	○
		条文			重大事故等対処設備	スロッシングによる影響																																																																																																																																																												
			対象施設 (設備)		個別機能維持判定 ^①	条文判定 ^②																																																																																																																																																												
		43	アクセスルート確保		○	○																																																																																																																																																												
		44	代替制御棒挿入機能		○	○																																																																																																																																																												
			代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能		○																																																																																																																																																													
			ほう酸水注入系		○																																																																																																																																																													
		45	高压代替注水系		○	○																																																																																																																																																												
			高压代替注水系の機能回復		○																																																																																																																																																													
			ほう酸水注入系		○																																																																																																																																																													
		46	逃がし安全弁		○	○																																																																																																																																																												
			代替自動減圧機能		○																																																																																																																																																													
			逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)		○																																																																																																																																																													
			逃がし安全弁機能回復 (代替窒素供給)		○																																																																																																																																																													
		47	低压代替注水系 (常設)		○	○																																																																																																																																																												
			低压代替注水系 (可搬型)		○																																																																																																																																																													
			非常用取水設備		○																																																																																																																																																													
		48	代替原子炉補機冷却系		○	○																																																																																																																																																												
			S/P への蓄熱補助		○																																																																																																																																																													
			耐圧強化ベント系 (W/W)		○																																																																																																																																																													
			耐圧強化ベント系 (D/W)		○																																																																																																																																																													
			格納容器圧力逃がし装置		○																																																																																																																																																													
			代替格納容器圧力逃がし装置		(○)																																																																																																																																																													
		49	代替格納容器スプレイ冷却系 (常設)		○	○																																																																																																																																																												
代替格納容器スプレイ冷却系 (可搬型)	○																																																																																																																																																																	
非常用取水設備	○																																																																																																																																																																	
50	格納容器圧力逃がし装置	○	○																																																																																																																																																															
	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)																																																																																																																																																																
	代替循環冷却系	○																																																																																																																																																																
	S/P への蓄熱補助	○																																																																																																																																																																
	非常用取水設備	○																																																																																																																																																																
条文	重大事故等対処設備	スロッシングによる影響																																																																																																																																																																
	対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^①	条文判定 ^②																																																																																																																																																															
43	アクセスルート確保	○	○																																																																																																																																																															
44	代替制御棒挿入機能	○	○																																																																																																																																																															
	代替冷却材再循環ポンプ・トリップ機能	○																																																																																																																																																																
	ほう酸水注入系	○																																																																																																																																																																
45	高压代替注水系	○	○																																																																																																																																																															
	高压代替注水系の機能回復	○																																																																																																																																																																
	ほう酸水注入系	○																																																																																																																																																																
46	逃がし安全弁	○	○																																																																																																																																																															
	代替自動減圧機能	○																																																																																																																																																																
	逃がし安全弁機能回復 (可搬型直流電源供給)	○																																																																																																																																																																
	逃がし安全弁機能回復 (代替窒素供給)	○																																																																																																																																																																
47	低压代替注水系 (常設)	○	○																																																																																																																																																															
	低压代替注水系 (可搬型)	○																																																																																																																																																																
	非常用取水設備	○																																																																																																																																																																
48	代替原子炉補機冷却系	○	○																																																																																																																																																															
	S/P への蓄熱補助	○																																																																																																																																																																
	耐圧強化ベント系 (W/W)	○																																																																																																																																																																
	耐圧強化ベント系 (D/W)	○																																																																																																																																																																
	格納容器圧力逃がし装置	○																																																																																																																																																																
	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)																																																																																																																																																																
49	代替格納容器スプレイ冷却系	○	○																																																																																																																																																															
	非常用取水設備	○																																																																																																																																																																
	非常用取水設備	○																																																																																																																																																																
50	格納容器圧力逃がし装置	○	○																																																																																																																																																															
	代替格納容器圧力逃がし装置	(○)																																																																																																																																																																
	代替循環冷却系	○																																																																																																																																																																
	S/P への蓄熱補助	○																																																																																																																																																																
	非常用取水設備	○																																																																																																																																																																

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
章/項番号 : 43条:共8

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																						
6	共8-27	第 3-1 表 スロッシングによる重大事故等対処設備への影響評価結果			⑥ (汚染物の持ち込み防止の追加)																																																																																																																																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th style="width: 5%;">条文</th> <th style="width: 35%;">重大事故等対処設備</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">スロッシングによる影響</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th></th> <th style="width: 30%;">対象施設 (設備)</th> <th style="width: 10%;">個別機能維持判定^{※1}</th> <th style="width: 10%;">条文判定^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17" style="text-align: center;">58</td><td>原子炉圧力容器内の温度</td><td style="text-align: center;">○</td><td rowspan="17" style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器内の圧力</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器内の水位</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器への注水量</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器への注水量</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の温度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の圧力</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の水位</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の水素濃度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の放射線量率</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>未臨界の監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>最終ヒートシンクによる冷却状態の確認</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>格納容器バイパスの監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>水源の確認</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉建屋内の水素濃度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>使用済燃料プールの監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>発電所内の通信連絡</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td rowspan="2" style="text-align: center;">59</td><td>居住性の確保</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>汚染物の持ち込み防止</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">60</td><td>放射線量の測定</td><td style="text-align: center;">○</td><td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>放射能観測車の代替測定装置</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>発電所及びその周辺の測定に使用する測定器</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>風向・風速その他気象条件の測定</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>電源の確保</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table>	条文	重大事故等対処設備		スロッシングによる影響			対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^{※1}	条文判定 ^{※1}	58	原子炉圧力容器内の温度	○	○	原子炉圧力容器内の圧力	○	原子炉圧力容器内の水位	○	原子炉圧力容器への注水量	○	原子炉格納容器への注水量	○	原子炉格納容器内の温度	○	原子炉格納容器内の圧力	○	原子炉格納容器内の水位	○	原子炉格納容器内の水素濃度	○	原子炉格納容器内の酸素濃度	○	原子炉格納容器内の放射線量率	○	未臨界の監視	○	最終ヒートシンクによる冷却状態の確認	○	格納容器バイパスの監視	○	水源の確認	○	原子炉建屋内の水素濃度	○	使用済燃料プールの監視	○	発電所内の通信連絡	○	温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視	○	59	居住性の確保	○	○	汚染物の持ち込み防止	○		60	放射線量の測定	○	○	放射能観測車の代替測定装置	○	発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○	風向・風速その他気象条件の測定	○	電源の確保	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th style="width: 5%;">条文</th> <th style="width: 35%;">重大事故等対処設備</th> <th colspan="2" style="width: 20%;">スロッシングによる影響</th> </tr> <tr style="background-color: #d9ead3;"> <th></th> <th style="width: 30%;">対象施設 (設備)</th> <th style="width: 10%;">個別機能維持判定^{※1}</th> <th style="width: 10%;">条文判定^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="17" style="text-align: center;">58</td><td>原子炉圧力容器内の温度</td><td style="text-align: center;">○</td><td rowspan="17" style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器内の圧力</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器内の水位</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉圧力容器への注水量</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器への注水量</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の温度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の圧力</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の水位</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の水素濃度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の酸素濃度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器内の放射線量率</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>未臨界の監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>最終ヒートシンクによる冷却状態の確認</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>格納容器バイパスの監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>水源の確認</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>原子炉建屋内の水素濃度</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>使用済燃料プールの監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>発電所内の通信連絡</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td rowspan="2" style="text-align: center;">59</td><td>居住性の確保</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>汚染物の持ち込み防止</td><td style="text-align: center;">○</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="5" style="text-align: center;">60</td><td>放射線量の測定</td><td style="text-align: center;">○</td><td rowspan="5" style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>放射能観測車の代替測定装置</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>発電所及びその周辺の測定に使用する測定器</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>風向・風速その他気象条件の測定</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> <tr><td>電源の確保</td><td style="text-align: center;">○</td></tr> </tbody> </table>	条文	重大事故等対処設備	スロッシングによる影響			対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^{※1}	条文判定 ^{※1}	58	原子炉圧力容器内の温度	○	○	原子炉圧力容器内の圧力	○	原子炉圧力容器内の水位	○	原子炉圧力容器への注水量	○	原子炉格納容器への注水量	○	原子炉格納容器内の温度	○	原子炉格納容器内の圧力	○	原子炉格納容器内の水位	○	原子炉格納容器内の水素濃度	○	原子炉格納容器内の酸素濃度	○	原子炉格納容器内の放射線量率	○	未臨界の監視	○	最終ヒートシンクによる冷却状態の確認	○	格納容器バイパスの監視	○	水源の確認	○	原子炉建屋内の水素濃度	○	使用済燃料プールの監視	○	発電所内の通信連絡	○	温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視	○	59	居住性の確保	○	○	汚染物の持ち込み防止	○		60	放射線量の測定	○	○	放射能観測車の代替測定装置	○	発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○	風向・風速その他気象条件の測定	○	電源の確保	○
		条文	重大事故等対処設備	スロッシングによる影響																																																																																																																																						
			対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^{※1}		条文判定 ^{※1}																																																																																																																																				
		58	原子炉圧力容器内の温度	○		○																																																																																																																																				
			原子炉圧力容器内の圧力	○																																																																																																																																						
			原子炉圧力容器内の水位	○																																																																																																																																						
			原子炉圧力容器への注水量	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器への注水量	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器内の温度	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器内の圧力	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器内の水位	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器内の水素濃度	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器内の酸素濃度	○																																																																																																																																						
			原子炉格納容器内の放射線量率	○																																																																																																																																						
			未臨界の監視	○																																																																																																																																						
			最終ヒートシンクによる冷却状態の確認	○																																																																																																																																						
			格納容器バイパスの監視	○																																																																																																																																						
			水源の確認	○																																																																																																																																						
			原子炉建屋内の水素濃度	○																																																																																																																																						
			使用済燃料プールの監視	○																																																																																																																																						
		発電所内の通信連絡	○																																																																																																																																							
		温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視	○																																																																																																																																							
		59	居住性の確保	○		○																																																																																																																																				
汚染物の持ち込み防止	○																																																																																																																																									
60	放射線量の測定	○	○																																																																																																																																							
	放射能観測車の代替測定装置	○																																																																																																																																								
	発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○																																																																																																																																								
	風向・風速その他気象条件の測定	○																																																																																																																																								
	電源の確保	○																																																																																																																																								
条文	重大事故等対処設備	スロッシングによる影響																																																																																																																																								
	対象施設 (設備)	個別機能維持判定 ^{※1}	条文判定 ^{※1}																																																																																																																																							
58	原子炉圧力容器内の温度	○	○																																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	○																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器内の水位	○																																																																																																																																								
	原子炉圧力容器への注水量	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器への注水量	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の温度	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の圧力	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の水位	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の水素濃度	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の酸素濃度	○																																																																																																																																								
	原子炉格納容器内の放射線量率	○																																																																																																																																								
	未臨界の監視	○																																																																																																																																								
	最終ヒートシンクによる冷却状態の確認	○																																																																																																																																								
	格納容器バイパスの監視	○																																																																																																																																								
	水源の確認	○																																																																																																																																								
	原子炉建屋内の水素濃度	○																																																																																																																																								
	使用済燃料プールの監視	○																																																																																																																																								
発電所内の通信連絡	○																																																																																																																																									
温度, 圧力, 水位, 注水量の計測・監視	○																																																																																																																																									
59	居住性の確保	○	○																																																																																																																																							
	汚染物の持ち込み防止	○																																																																																																																																								
60	放射線量の測定	○	○																																																																																																																																							
	放射能観測車の代替測定装置	○																																																																																																																																								
	発電所及びその周辺の測定に使用する測定器	○																																																																																																																																								
	風向・風速その他気象条件の測定	○																																																																																																																																								
	電源の確保	○																																																																																																																																								

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処施設について
章/項番号 : 43条・共8

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																								
7	共8-28	<p>第3-1表 スロッシングによる重大事故等対処設備への影響評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #e1eef6;"> <th style="width: 5%;">条文</th> <th style="width: 40%;">重大事故等対処設備 対象施設（設備）</th> <th colspan="2" style="width: 55%;">スロッシングによる影響</th> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th></th> <th></th> <th style="width: 15%;">個別機能 維持判定^{※1}</th> <th style="width: 40%;">条文 判定^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">61</td> <td>居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">62</td> <td>発電所内の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>発電所外の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未臨界移行</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料冷却</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器除熱</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料プール注水</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	条文	重大事故等対処設備 対象施設（設備）	スロッシングによる影響				個別機能 維持判定 ^{※1}	条文 判定 ^{※1}	61	居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	○	必要な情報の把握 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	62	発電所内の通信連絡	○	○	発電所外の通信連絡	○		未臨界移行		○		燃料冷却		○		格納容器除熱		○		使用済燃料プール注水		○	<p>第3-1表 スロッシングによる重大事故等対処設備への影響評価結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #e1eef6;"> <th style="width: 5%;">条文</th> <th style="width: 40%;">重大事故等対処設備 対象施設（設備）</th> <th colspan="2" style="width: 55%;">スロッシングによる影響</th> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th></th> <th></th> <th style="width: 15%;">個別機能 維持判定^{※1}</th> <th style="width: 40%;">条文 判定^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">61</td> <td>居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="8" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>居住性の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>必要な情報の把握 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>通信連絡 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">62</td> <td>発電所内の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td>発電所外の通信連絡</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未臨界移行</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料冷却</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器除熱</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料プール注水</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table>	条文	重大事故等対処設備 対象施設（設備）	スロッシングによる影響				個別機能 維持判定 ^{※1}	条文 判定 ^{※1}	61	居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	○	必要な情報の把握 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	電源の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	居住性の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	必要な情報の把握 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	通信連絡 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	電源の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	62	発電所内の通信連絡	○	○	発電所外の通信連絡	○		未臨界移行		○		燃料冷却		○		格納容器除熱		○		使用済燃料プール注水		○	<p>⑥（免震重要棟の削除及び5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への変更）</p>
条文	重大事故等対処設備 対象施設（設備）	スロッシングによる影響																																																																																										
		個別機能 維持判定 ^{※1}	条文 判定 ^{※1}																																																																																									
61	居住性の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○	○																																																																																									
	必要な情報の把握 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
	通信連絡 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
	電源の確保 (5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
62	発電所内の通信連絡	○	○																																																																																									
	発電所外の通信連絡	○																																																																																										
	未臨界移行		○																																																																																									
	燃料冷却		○																																																																																									
	格納容器除熱		○																																																																																									
	使用済燃料プール注水		○																																																																																									
条文	重大事故等対処設備 対象施設（設備）	スロッシングによる影響																																																																																										
		個別機能 維持判定 ^{※1}	条文 判定 ^{※1}																																																																																									
61	居住性の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○	○																																																																																									
	必要な情報の把握 (免震重要棟内緊急時対策所)	○																																																																																										
	通信連絡 (免震重要棟内緊急時対策所)	○																																																																																										
	電源の確保 (免震重要棟内緊急時対策所)	○																																																																																										
	居住性の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
	必要な情報の把握 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
	通信連絡 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
	電源の確保 (3号炉原子炉建屋内緊急時対策所)	○																																																																																										
62	発電所内の通信連絡	○	○																																																																																									
	発電所外の通信連絡	○																																																																																										
	未臨界移行		○																																																																																									
	燃料冷却		○																																																																																									
	格納容器除熱		○																																																																																									
	使用済燃料プール注水		○																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 44条 緊急停止失敗時に発電用原子炉を未臨界にするための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	44-1	44-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
2	44-1	44-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
3	44-1	44-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
4	44-1	44-1-4	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
5	44-1	44-1-5	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
6	44-1	44-1-6	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
7	44-1	44-1-7	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
8	44-2	44-2-1	図1 6号炉 単線結線図	図1 6号炉 単線結線図	⑤
9	44-2	44-2-2	図2 7号炉 単線結線図	図2 7号炉 単線結線図	⑤
10	44-3	44-3-1	図1 ATWS緩和設備(計器)の配置図(6号炉 原子炉建屋地下1階)	図1 ATWS緩和設備(計器)の配置図(6号炉 原子炉建屋地下1階)	⑤
11	44-3	44-3-8	図8 ATWS緩和設備(計器)の配置図(7号炉 原子炉建屋地下1階)	図8 ATWS緩和設備(計器)の配置図(7号炉 原子炉建屋地下1階)	⑤
12	44-5	44-5-4	ATWS緩和設備は, 安全保護系設備による原子炉緊急停止機能が喪失した時に期待される設備である。ATWS緩和設備に関する信頼性評価においては, 試験頻度を定期検査ごととして評価し, ATWSが発生し, かつATWS緩和設備の故障により緩和機能が動作しない状態が発生する頻度*は, []と十分に低いことを確認しており, 定期検査ごとの試験頻度としても信頼性は十分確保できる。	ATWS緩和設備は, 安全保護系設備による原子炉緊急停止機能が喪失した時に期待される設備である。ATWS緩和設備に関する信頼性評価においては, 試験頻度を定期検査毎として評価し, ATWSが発生し, かつATWS緩和設備の故障により緩和機能が動作しない状態が発生する頻度*は, []と十分に低いことを確認しており, 定期検査毎の試験頻度としても信頼性は十分確保できる。	⑤
13	44-6	44-6-8	ほう酸水注入系ポンプは, 運転時の異常な過渡変化発生後, 原子炉停止機能が喪失した場合に, 炉心へのほう酸水注入によって発電用原子炉を停止するための設備として設置する。 ほう酸水注入系ポンプは, 炉1基あたり1台(予備1台)設置する。	ほう酸水注入系ポンプは, 運転時の異常な過渡変化発生後, 原子炉停止機能が喪失した場合に, 炉心へのほう酸水注入によって原子炉を停止するための設備として設置する。 ほう酸水注入系ポンプは, 炉1基あたり2台(予備1台)設置する。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
14	44-6	44-6-8	<p>1. 容量 ほう酸水注入系ポンプの容量は、炉水中のボロン濃度変化が最低でも \square ppm/min (このとき反応度印加速度は最低 \square ΔK/min を満足する。) となるよう、タンク有効容量 \square m³ (全容量 31.7m³) を設計上の許容注入時間 \square min (設計ボロン濃度 \square ppm を設計ボロン注入速度 \square ppm/min* で注入する時間) で注入可能な容量とする。</p>	<p>1. 容量 ほう酸水注入系ポンプの容量は、タンク有効容量 \square m³ (全容量 31.7m³) を設計上の許容注入時間 (設計ボロン濃度 \square ppm を設計ボロン注入速度 \square ppm/min* で注入する時間) で注入可能な容量とする。</p>	⑤
15	44-7	44-7-1	<p>(4) 原子炉緊急停止系電源スイッチ 原子炉緊急停止系電源スイッチを操作することでスクラムパイロット弁電磁コイルの電源を遮断し、制御棒のスクラム動作が可能であることから、原子炉緊急停止系電源スイッチを整備している。</p>	<p>(4) スクラムソレノイドヒューズ 現場に設置してあるスクラムソレノイドヒューズを引き抜くことでスクラムパイロット弁電磁コイルの電源を遮断し、制御棒のスクラム動作が可能であることから、スクラムソレノイドヒューズを整備している。</p>	⑤
16	44-7	44-7-2	<p>図1 配置図(自主対策設備) (6/7号炉 コントロール建屋地上2階)</p>	<p>図1 配置図(自主対策設備) (6号炉 原子炉建屋地下2階) 図2 配置図(自主対策設備) (7号炉 原子炉建屋地下2階)</p>	⑤
17	44-7	44-7-3	<p>制御棒駆動機構は、原子炉圧力容器下部の制御棒駆動機構ハウジング内に据え付けられており、スクラムテストスイッチ又は原子炉緊急停止系電源スイッチの操作完了までの間、若しくはこれらの操作が実施できない場合に、制御棒を自動若しくは手動にて電動駆動で挿入する手段として有効である。</p>	<p>制御棒駆動機構は、原子炉圧力容器下部の制御棒駆動機構ハウジング内に据え付けられており、スクラムテストスイッチ又はスクラムソレノイドヒューズの操作完了までの間、もしくはこれらの操作が実施できない場合に、制御棒を自動若しくは手動にて電動駆動で挿入する手段として有効である。</p>	⑤
18	44-7	44-7-4	<p>(6) 給水制御系、給水系(原子炉給水ポンプ)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心注水系 給水系(原子炉給水ポンプ)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心注水系による原子炉への給水量の調整により、原子炉水位を低下でき、発電用原子炉の出力抑制を行えることから、給水制御系、給水系(原子炉給水ポンプ)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心注水系を整備している。</p>	<p>(6) 給水制御系、給水系(電動駆動原子炉給水ポンプ)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心注水系 給水系(電動駆動原子炉給水ポンプ)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心注水系による原子炉への給水量の調整により、原子炉水位を低下でき、原子炉の出力抑制を行えることから、給水制御系、給水系(電動駆動原子炉給水ポンプ)、原子炉隔離時冷却系、高圧炉心注水系を整備している。 電動駆動原子炉給水ポンプの原子炉への給水流量制御は、ポンプ出口側に設置している流量調節弁の開度を制御することにより行う。</p>	⑤
19	44-8	44-8-1	<p>ATWS緩和設備は、検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで設計基準事故対処設備である多重化された原子炉緊急停止系とは独立した構成となっており、多重化された原子炉緊急停止系に悪影響を及ぼさない設計とする。 多重化された原子炉緊急停止系とATWS緩和設備の電源は、遮断器又はヒューズによる電気的な分離をすることで多重化された原子炉緊急停止系に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>ATWS緩和設備は、検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで設計基準事故対処設備である多重化された原子炉緊急停止系とは独立した構成となっており、原子炉緊急停止系に悪影響を与えない設計とする。 原子炉緊急停止系とATWS緩和設備の電源は、遮断器又はヒューズによる電気的な分離をすることで原子炉緊急停止系に悪影響を与えない設計とする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
20	44-8	44-8-2	<p>ATWS緩和設備は、検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで多重化された原子炉緊急停止系とは独立した構成となっており、地震、火災、溢水等の主要な共通要因によって同時に機能が損なわない設計とする。</p> <p>ATWS緩和設備の論理回路はアナログ回路であるが、多重化された原子炉緊急停止系の論理回路はデジタル回路で構築されており、多様性を有する設計とする。</p>	<p>ATWS緩和設備は、検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで原子炉緊急停止系とは独立した構成となっており、地震、火災、溢水等の主要な共通要因故障によって同時に機能が損なわれない設計とする。</p> <p>ATWS緩和設備の論理回路はアナログ回路であるが、原子炉緊急停止系の論理回路はデジタル回路で構築されており、多様性を有する設計とする。</p>	⑤
21	44-8	44-8-2.3	<p>ATWS緩和設備は、共通要因によって多重化された原子炉緊急停止系と同時に機能が損なわれないよう以下の措置を講じる設計とする。</p> <p>ATWS緩和設備を構成する、検出器、論理回路、代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)は、難燃ケーブルを使用し、制御盤は耐震性を有した独立の金属筐体に収納した自立盤で構成し、火災の発生を防止する設計とする。</p> <p>仮に、ATWS/RPT盤で火災が発生した場合、複数の感知器で火災を検知し、二酸化炭素消火器にて運転員により初期消火を行うことから、多重化された原子炉緊急停止系に対して内部火災及び内部溢水による悪影響は及ぼさない(なお、中央制御室には溢水源は存在しないことを確認している)。</p> <p>ATWS緩和設備は図1のとおり、検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで、多重化された原子炉緊急停止系から独立した構成となっており、ATWS緩和設備が起因による火災により多重化された原子炉緊急停止系に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>なお、原子炉緊急停止系はフェイルセーフ設計であり、火災によって電磁弁のケーブルが損傷した場合、あるいはスクラム弁・スクラムパイロット弁のダイヤフラム等が機能喪失した場合、スクラム弁が作動する。また、溢水によってスクラム弁が没水した場合でも、端子部に水分が侵入した時点で電源が遮断され、スクラム弁が作動する。そのため、火災・溢水等の共通要因により原子炉緊急停止機能が喪失することはない。</p> <p>また、ATWS緩和設備の電源は、遮断器又はヒューズによる電気的な分離をすることで、多重化された原子炉緊急停止系と同時に機能が損なわない設計とする。</p>	<p>ATWS緩和設備は、共通要因故障によって原子炉緊急停止系と同時に機能が損なわれないよう以下の措置を講じる設計とする。</p> <p>ATWS緩和設備を構成する、検出器、論理回路、代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)は、難燃ケーブルを使用し、制御盤は耐震性を有した独立の金属筐体に収納した自立盤で構成し、火災の発生を防止する設計とする。</p> <p>仮に、ATWS/RPT盤で火災が発生した場合、複数の感知器で火災を検知し、二酸化炭素消火器にて運転員により初期消火を行うことから、原子炉緊急停止系に対して内部火災及び内部溢水による影響は与えない(なお、中央制御室には溢水源は存在しないことを確認している)。</p> <p>ATWS緩和設備は図1のとおり、検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで、原子炉緊急停止系から独立した構成となっており、ATWS緩和設備が起因による火災により原子炉緊急停止系に影響を与えない設計とする。</p> <p>なお、原子炉緊急停止系はフェイルセーフ設計であり、火災によって電磁弁のケーブルが損傷した場合、あるいはスクラム弁・スクラムパイロット弁のダイヤフラム等が機能喪失した場合、スクラム弁が作動する。また、溢水によってスクラム弁が没水した場合でも、端子部に水分が侵入した時点で電源が遮断され、スクラム弁が作動する。そのため、火災・溢水等の共通要因故障により原子炉緊急停止機能が喪失することはない。</p> <p>また、ATWS緩和設備の電源は、遮断器又はヒューズによる電気的な分離をすることで、原子炉緊急停止系と同時に機能が損なわれない設計とする。</p>	⑤
22	44-9	44-9-1	<p>出器信号から最終的な作動装置の入力までを多重化された原子炉緊急停止系から独立した回路にて、制御棒を自動で挿入させる。本設備により、原子炉緊急停止系の故障によるATWS事象発生時に発電用原子炉を未臨界にする。</p>	<p>検出器信号から最終的な作動装置の入力までを原子炉緊急停止系から独立した回路にて、制御棒を自動で挿入させる。本設備により、原子炉緊急停止系の故障によるATWS事象発生時に原子炉を未臨界にする。</p>	⑤
23	44-9	44-9-1	<p>また、ATWS緩和設備のうち、代替制御棒挿入機能による制御棒挿入が失敗した場合に、ほう酸水を発電用原子炉に注入することで発電用原子炉を未臨界にするためのほう酸水注入系を「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈」の第四十四条2(1)に従い設けている。</p>	<p>また、ATWS緩和設備のうち、代替制御棒挿入機能による制御棒挿入が失敗した場合に、ほう酸水を原子炉に注入することで原子炉を未臨界にするためのほう酸水注入系を第四十四条2(1)に従い設けている。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	44-9	44-9-2	表1 ATWS緩和設備の信頼性評価結果	表1 ATWS緩和設備の信頼性評価結果	⑤
25	44-9	44-9-3	設備概要: 多重化された原子炉緊急停止系に対し, 多様性を備えた設備として設置するものであり, 原子炉緊急停止機能喪失時に原子炉出力を抑制するための設備の作動信号を発信する設備である。ATWS緩和設備の機能は以下のとおり。	設備概要: 原子炉緊急停止系に対し, 多様性を備えた設備として設置するものであり, 原子炉緊急停止機能喪失時に原子炉出力を抑制するための設備の作動信号を発信する設備である。ATWS緩和設備の機能は以下のとおり。	⑤
26	44-9	44-9-6	ATWS緩和設備は, 検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで, 多重化された原子炉緊急停止系から独立した構成となっており, 多重化された原子炉緊急停止系に悪影響を与えない設計*とする。	ATWS緩和設備は, 検出器から代替制御棒挿入機能用電磁弁又は原子炉冷却材再循環ポンプ可変周波数電源装置(停止に必要な部位)まで, 原子炉緊急停止系から独立した構成となっており, 原子炉緊急停止系に悪影響を与えない設計*とする。	⑤
27	44-9	44-9-8			⑤
28	44-9	44-9-11			⑤
29	44-9	44-9-11			⑤
30	44-9	44-9-12			⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 45条 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	45-1	45-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
2	45-1	45-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
3	45-1	45-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
4	45-2	45-2-1	図1 6号炉 高圧代替注水系 単線結線図	図1 6号炉 高圧代替注水系 単線結線図	⑤
5	45-2	45-2-2	図2 6号炉 高圧代替注水系の機能回復(可搬型代替直流電源設備による給電) 単線結線図	図2 6号炉 高圧代替注水系の機能回復(可搬型代替直流電源設備による給電) 単線結線図	⑤
6	45-2	45-2-3	図3 7号炉 高圧代替注水系 単線結線図	図3 7号炉 高圧代替注水系 単線結線図	⑤
7	45-2	45-2-4	図4 7号炉 高圧代替注水系の機能回復(可搬型代替直流電源設備による給電) 単線結線図	図4 7号炉 高圧代替注水系の機能回復(可搬型代替直流電源設備による給電) 単線結線図	⑤
8	45-2	45-2-5	図5 6号炉 ほう酸水注入系による進展抑制 単線結線図	—	⑤
9	45-2	45-2-6	図6 7号炉 ほう酸水注入系による進展抑制 単線結線図	—	⑤
10	45-5	45-5-3	図3 高圧代替注水系運転性能検査系統図(7号炉)	図3 高圧代替注水系運転性能検査系統図(7号炉)	⑤
11	45-7	45-7-9	図8 6号炉 原子炉隔離時冷却系 単線結線図(直流給電車による給電)	図8 6号炉 原子炉隔離時冷却系 単線結線図(直流給電車による給電)	⑤
12	45-7	45-7-10	図9 7号炉 原子炉隔離時冷却系 単線結線図(直流給電車による給電)	図9 7号炉 原子炉隔離時冷却系 単線結線図(直流給電車による給電)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 46条 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	46-1	46-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
2	46-1	46-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
3	46-1	46-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
4	46-1	46-1-4	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)	⑤
5	46-1	46-1-5	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
6	46-1	46-1-6	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
7	46-1	46-1-7	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬)	⑤
8	46-1	46-1-8	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)
9	46-1	46-1-9	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
10	46-2	46-2-1	図1 6号炉 直流電源単線結線図	図1 6号炉 直流電源単線結線図	⑤
11	46-2	46-2-2	図2 7号炉 直流電源単線結線図	図2 7号炉 直流電源単線結線図	⑤
12	46-2	46-2-3	図3 6号炉 代替自動減圧機能の電源概要図	図3 6号炉 代替自動減圧機能の電源概要図	⑤
13	46-2	46-2-4	図4 7号炉 代替自動減圧機能の電源概要図	図4 7号炉 代替自動減圧機能の電源概要図	⑤
14	46-3	46-3-4	図4 高圧窒素ガス供給系に係る機器(ポンペ)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	図4 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(ポンペ)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
15	46-3	46-3-5	図5 高圧窒素ガス供給系に係る機器(高圧窒素ガスポンベラック)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	図5 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(高圧窒素ガスポンベラック)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
16	46-3	46-3-6	図6 高圧窒素ガス供給系に係る機器(弁)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	図6 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(弁)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
17	46-3	46-3-16	図16 高圧窒素ガス供給系に係る機器(ポンペ)の配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	図16 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(ポンペ)の配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
18	46-3	46-3-17	図17 高圧窒素ガス供給系に係る機器 (高圧窒素ガスポンベラック)の配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	図17 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器 (高圧窒素ガスポンベラック)の配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
19	46-3	46-3-18	図18 高圧窒素ガス供給系に係る機器(弁)の配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	図18 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(弁)の配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
20	46-3	46-3-27	図27 原子炉建屋ブローアウトパネルの配置図 (6号炉 原子炉建屋地上4階)	—	②(ブローアウト パネルのSA設備 化)
21	46-3	46-3-28	図28 原子炉建屋ブローアウトパネルの配置図 (7号炉 原子炉建屋地上4階)	—	②(ブローアウト パネルのSA設備 化)
22	46-4	46-4-2	図3 逃がし安全弁用可搬型蓄電池による逃がし安全弁(自動減圧機能付き) 開放 概要図	図3 逃がし安全弁用可搬型蓄電池による逃がし安全弁(自動減圧機能付き) 開放 概要図	⑤
23	46-4	46-4-6	図6 原子炉建屋ブローアウトパネルの概略系統図 (インターフェイスシステムLOCA発生時)	—	②(ブローアウト パネルのSA設備 化)
24	46-5	46-5-8	図2 逃がし安全弁・安全弁機能検査系統図	図2 逃がし安全弁・安全弁機能検査系統図	⑤
25	46-5	46-5-25	図11 ブローアウトパネルの試験及び検査	—	②(ブローアウト パネルのSA設備 化)
26	46-6	46-6-7	逃がし安全弁用可搬型蓄電池は, 24時間にわたり逃がし安全弁(2個)を連続開可能な容量を有するものを, 6号及び7号炉にそれぞれ1セット1個使用する。保有数は6号, 7号炉それぞれで1セット1個に, 故障時及び保守点検による待機徐外時のバックアップ用として1個(6号及び7号炉共用)を分散して保管する。	—	⑤
27	46-6	46-6-11	S_2 : ピストン受圧面積 $S_2 = \square \text{ mm}^2$ 。	S_2 : ピストン受圧面積[mm ²]。	⑤
28	46-6	46-6-11	$F_{33} = \square \text{ [N]}$ 。	$F_{33} = \square \text{ [N]}$ 。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
29	46-8	46-8-1	図1 高圧窒素ガス供給系に係る機器(ポンペ)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	図1 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(ポンペ)の配置図(6号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
30	46-8	46-8-3	図3 高圧窒素ガス供給系に係る機器(ポンペ)の配置図(7号炉 原子炉建屋地上4階)	図3 高圧窒素ガス供給系(非常用)に係る機器(ポンペ)の配置図(7号炉 原子炉建屋地上4階)	⑤
31	46-9	46-9-1	図1 屋内アクセスルート ルート図(1/6)	図1 屋内アクセスルート ルート図(1/6)	⑤
32	46-9	46-9-2	図2 屋内アクセスルート ルート図(2/6)	図2 屋内アクセスルート ルート図(2/6)	⑤
33	46-9	46-9-3	図3 屋内アクセスルート ルート図(3/6)	図3 屋内アクセスルート ルート図(3/6)	⑤
34	46-9	46-9-4	図4 屋内アクセスルート ルート図(4/6)	図4 屋内アクセスルート ルート図(4/6)	⑤
35	46-9	46-9-5	図5 屋内アクセスルート ルート図(5/6)	図5 屋内アクセスルート ルート図(5/6)	⑤
36	46-9	46-9-6	図6 屋内アクセスルート ルート図(6/6)	図6 屋内アクセスルート ルート図(6/6)	⑤
37	46-10	46-10-3	図2 高圧窒素ガス供給系 概略系統図	図3 高圧窒素ガス供給系 概略系統図	⑤
38	46-11	46-11-1	(1)環境条件 代替自動減圧機能は, 中央制御室内及び原子炉建屋原子炉区域内に設置される設備であることから, 想定される重大事故等時における, 中央制御室及び原子炉建屋原子炉区域内の環境条件及び荷重条件を考慮し, その機能を有効に発揮することができる設計とする	(1)環境条件 代替自動減圧機能は, 想定される重大事故(原子炉減圧機能喪失)が発生した場合における環境条件下(温度, 圧力, 放射線等)において, 重大事故に必要な機能を有効に発揮できる設計とする。	⑤
39	46-11	46-11-1	(2)操作性 代替自動減圧機能は, 原子炉水位が設定値に達すること及び残留熱除去系ポンプ運転中で自動的にインターロックが動作する設計としており, 操作性に関する設計上の考慮は不要である。 自動減圧系の起動阻止スイッチは, 中央制御室の制御盤の阻止スイッチ(ハードスイッチ)にて操作が可能な設計とする。中央制御室の阻止スイッチを操作するに当たり, 操作性を考慮して十分な操作空間を確保する。また, 誤操作防止のために銘板をつけることで識別可能とし, 運転員の操作及び監視性を考慮して確実に操作できる設計とする。	(2)操作性 代替自動減圧機能は, 原子炉水位が設定値に達すること及び残留熱除去系ポンプ運転中で自動的にインターロックが動作する設計としており, 操作性に関する設計上の考慮は不要である。 自動減圧系回路と代替自動減圧機能回路の自動起動阻止回路は, 中央制御室の制御盤の阻止スイッチ(ハードスイッチ)にて手動による操作が可能な設計とする。阻止スイッチは誤操作防止のために名称が明記され, 操作者の操作及び監視性を考慮しており, 確実に操作できる設計とする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
40	46-11	46-11-2	代替自動減圧機能のロジック回路は, 多重化された自動減圧系の制御盤と位置的分散を図ることで, 地震, 火災, 溢水等の主要な共通要因によって同時に機能を損なわない設計とする。 代替自動減圧機能は, 自動減圧系と共通要因によって同時に機能が損なわれないよう, ロジック回路をアナログ回路で構築することで, ロジック回路をデジタル回路で構築する自動減圧系に対して多様性を有する設計とする。	—	⑤
41	46-11	46-11-2	原子炉スクラム失敗時に自動減圧が自動起動すると, 高圧炉心注水系及び低圧注水系から大量の冷水が注水され, 出力の急激な上昇に繋がるため, 自動減圧系の起動阻止スイッチを用いて, 自動起動を阻止する設計とする。 自動減圧系の起動阻止スイッチは, 阻止スイッチ(ハードスイッチ)を共用しているが, ハードスイッチは単純な構造であり, スイッチ接点以降は分離していることから, 自動減圧系に悪影響を及ぼさない設計とする。	原子炉スクラム失敗時に自動減圧が自動起動すると, 高圧炉心注水系及び低圧注水系から大量の冷水が注水され, 出力の急激な上昇に繋がるため, 自動減圧系及び代替自動減圧機能の自動起動阻止回路を用いて, 自動起動を阻止する設計とする。自動減圧系回路と代替自動減圧機能回路の自動起動阻止回路は, 手動阻止スイッチ(ハードスイッチ)を共用しているが, ハードスイッチは単純な構造であり, スイッチ接点以降は分離していることから, 自動減圧系に悪影響を与えない設計とする。	⑤
42	46-11	46-11-5	図3 代替自動減圧機能及びESF盤の設置場所	図3 代替自動減圧機能及びESF盤の設置場所	⑤
43	46-12	46-12-4	図1 代替自動減圧機能(盤)設置場所	図1 代替自動減圧機能(盤)設置場所	⑤
44	46-12	46-12-11			⑤
45	46-12	46-12-11			⑤
46	46-13	中表紙	46-13 原子炉建屋ブローアウトパネルについて	—	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	46-13	46-13-1	<p>1. はじめに 原子炉建屋ブローアウトパネルについては, 重大事故等発生時に機能を期待することから, 重大事故等対処設備として取り扱うこととした。 以降, 当該設備に期待する機能及び設計方針について説明する。</p> <p>2. 原子炉建屋ブローアウトパネルに期待する機能 (1) 開放機能 重大事故等対策の有効性評価のうち, 格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)においては, 原子炉格納容器外かつ原子炉建屋原子炉区域(以下, 「原子炉区域」という。)で低圧設計配管が破断することを想定しているため, 原子炉区域で瞬時に減圧沸騰して大量の水蒸気が発生する。このため, 原子炉区域の圧力が急上昇するが, 開放設定圧力3.4kPa[gage]に到達した時点で原子炉建屋オペレーティングフロアに設置した原子炉建屋ブローアウトパネルが自動的に開放し, 原子炉区域内を減圧する。 また, 開放した原子炉建屋ブローアウトパネルの開口面(全面)を經由して外気と熱交換が行われることにより原子炉区域内でも人力での操作が可能となる。インターフェイスシステムLOCA発生時には, 基本的には中央制御室で隔離弁を閉操作するが, 万が一中央制御室から操作できない場合には, 現場で隔離弁を操作することとしている。 なお, 原子炉区域内の環境の観点からの本要件は, 所定の時間内に必要な環境を整えることが可能であれば, ブローアウトパネル以外の設備で対応することも考えられる。</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
48	46-13	46-13-1	<p>(2) 閉じ込め機能 重大事故等対策の有効性評価のうち, 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)(以下, 「大LOCAシナリオ」という。)においては, 中央制御室の運転員等の被ばく低減のために非常用ガス処理系(以下, 「SGTS」という。)によって原子炉区域内を負圧に維持するため, 原子炉区域のバウンダリの一つである原子炉建屋ブローアウトパネルについても閉状態を維持し, 放射性物質を閉じ込める。</p> <p>3. 重大事故等対処設備としての原子炉建屋ブローアウトパネルの設計方針 (1) 設置許可基準規則第46条 原子炉建屋ブローアウトパネルは「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」(以下, 「設置許可基準規則」という。)第46条(インターフェイスシステムLOCA隔離弁)に関連する『常設耐震重要重大事故防止設備』として位置付ける。 このとき, 原子炉建屋ブローアウトパネルに要求される機能は2.(1)に示した開放機能であるため, 以下の2点を満足する設計とする。 ① 原子炉区域の圧力が上昇した際に開放設定圧力3.4kPa[gage]で全パネルが確実に開放し, かつ以後も原子炉区域の圧力上昇を抑制すること ② 圧力上昇によって開放する際には所定の時間内に原子炉区域内での操作が可能となる環境条件を整えることが可能となる開口面積を満足すること</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
49	46-13	46-13-2	<p>(2) 設置許可基準規則第59条 原子炉建屋ブローアウトパネルは設置許可基準規則第59条(被ばく線量の低減)に関する『常設重大事故緩和設備』として位置付ける。 このとき, 原子炉建屋ブローアウトパネルに要求される機能は2.(2)に示した閉じ込め機能であるため, 以下の2点を満足する設計とする。 ① 原子炉区域の圧力が上昇しない事象においては全パネルが閉状態を維持すること ② SGTSによる負圧維持に期待している期間中に想定する重畳事象に対しても閉状態を維持すること, または開放状態になったとしても速やかに再開すること</p> <p>(3) 設置許可基準規則第43条 原子炉建屋ブローアウトパネルは(1)(2)の通常設重大事故等対処設備と位置付けることから, 設置許可基準規則第43条第1項及び第2項に適合する設計とする。</p> <p>4. 結論 原子炉建屋ブローアウトパネルは, 2.(1)(2)に示す機能を満たすよう, 3.(1)(2)(3)で示した設計方針で設計する。 なお, 詳細な設計及び手順等については, 工事計画認可申請及び保安規定変更認可申請の審査時に説明する。</p> <p>以上</p> <p>添付: 柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 原子炉建屋ブローアウトパネル</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)
50	46-13	46-13-3	<p>添付</p> <p>柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 原子炉建屋ブローアウトパネルに対する外部事象防護方針について</p> <p>1. はじめに 原子炉建屋ブローアウトパネルについては, 通常運転時においても原子炉建屋と一体となり, 原子炉建屋原子炉区域負圧維持のための閉じ込め機能に期待するとともに, 重大事故等である格納容器バイパス(インターフェイスシステムLOCA)時における原子炉建屋原子炉区域減圧のための開放機能と, 雰囲気圧力・温度による静的負荷(格納容器過圧・過温破損)(大LOCAシナリオ)時における原子炉建屋原子炉区域負圧維持のための閉じ込め機能に期待する重大事故等対処設備として取り扱うこととした。当該設備に対する外部事象防護方針について以下に示す。</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】


- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
51	46-13	46-13-3	<p>2. 通常運転時における考え方</p> <p>設計基準規模の外部事象として, 例えば, 設計竜巻(最大瞬間風速92m/s)を想定した場合, 竜巻の気圧差荷重による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放が考えられるが, 原子炉建屋内の安全系等の防護対象施設には影響はない。</p> <p>また, 竜巻による飛来物に対しては, 原子炉建屋ブローアウトパネル内側に, 例えば竜巻防護ネットを設置する等, 建屋開口部からの飛来物の侵入を防止することで, 使用済燃料プール内の燃料等にも影響はない。</p> <p>そのため, 設計基準規模の外部事象により設計基準事故には至らない。</p> <p>また, 第6条において選定した竜巻以外の外部事象(風(台風), 低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象, 火災・爆発, 有毒ガス, 船舶の衝突, 電磁的障害)についても同様に, 風(台風)であれば竜巻の影響に包絡される, 火山(降下火砕物)の影響や積雪等であれば原子炉建屋ブローアウトパネルの閉じ込め機能には影響しない等により, 設計基準規模の外部事象によって設計基準事故には至らない。</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
52	46-13	46-13-3,4	<p>3. 重大事故等発生時における考え方 (1)考慮すべきシナリオ等の前提の整理 重大事故等と外部事象の重畳については, 以下を念頭に組み合わせを考慮する。 ・重大事故等の発生頻度としては, 炉心損傷頻度の性能目標※1,※2である10-4/炉年 ・重大事故等と外部事象の重畳の判断目安は, 航空機落下の判断基準※3, ※4や設計 基準対象施設の耐震設計のスクリーニング基準※5の10-7/年に保守性をもたせた10-8/炉年 また, 考慮すべきシナリオは図1に示す「①外部事象を起因とした重大事故等が発生する場合」と「②重大事故等発生後に外部事象が発生する場合」に分けて整理する。①は重大事故等対処設備の保管時, ②は重大事故等対処設備の機能要求時に該当することから, その際に考慮すべき外部事象については, 第43条第1項及び第2項において選定した自然現象11事象(地震, 津波, 風(台風), 竜巻, 低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象)及び外部人為事象4事象(火災・爆発, 有毒ガス, 船舶の衝突, 電磁的障害)とする。</p>  <p>①外部事象を起因とした重大事故等が発生する場合 ②重大事故等発生後に外部事象が発生する場合</p> <p>図1 重大事故等と外部事象重畳の考慮すべきシナリオ</p> <p>※1: Regulatory Guide 1.174 Rev.1,2002, An Approach for Using Probabilistic Risk Assessment in Risk-Informed Decisions on Plant-Specific Changes to the Licensing Basis ※2: 第1回 原子力規制委員会(平成25年4月3日)資料6-2「放射性物質放出量と発生頻度との関係(概念図)」 ※3: STANDARD REVIEW PLAN 3.5.1.6 AIRCRAFT HAZARDS ※4: 実用発電用原子炉施設への航空機落下確率の評価基準について(平成21・06・25原院第1号。平成21年6月30日原子力安全・保安院制定) ※5: JEAG4601・補-1984「原子力発電所耐震設計技術指針 重要度分類・許容応力編」</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
53	46-13	46-13-4	<p>(2)原子炉建屋ブローアウトパネルに対する外部事象防護方針</p> <p>① 外部事象を起因とした重大事故等が発生する場合 外部事象を起因とした重大事故等の発生を考慮する場合には, 起因事象となる外部事象の発生頻度と炉心損傷に至る確率を踏まえた上で, 原子炉建屋ブローアウトパネルに対する防護方針を検討する必要がある。 具体的には, 地震PRAにおいては, 地震を起因とした場合の炉心損傷頻度は5.2×10^{-6}/年(6号炉), 5.0×10^{-6}/年(7号炉)としているため, 地震起因の重大事故等に対しては, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能維持に対する考慮が必要となる。</p> <p>一方, 竜巻等の事象では, 2.の通り非常用炉心冷却系等の機器については外殻となる建屋に防護されているため, 炉心損傷の起因事象としては外部電源喪失が考えられ, 外部電源喪失が考えられる竜巻の年超過頻度おおよそ10^{-4}/年(年超過頻度10^{-3}/年以上の竜巻は最大瞬間風速10m/s以下のため)及び外部電源喪失が発生した場合の条件付炉心損傷確率7.6×10^{-8}(6号炉), 7.9×10^{-8}(7号炉)を踏まえると, 竜巻を起因とした場合の炉心損傷頻度は(1)の重大事故等と外部事象の重畳の判断目安に比べて十分低く, 竜巻等の事象を起因とした重大事故等が発生し, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が必要となる可能性は, 十分低いものとする。</p> <p>また, 津波や有毒ガス等については, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に直接影響する事象ではないことも考慮する必要がある。 以上を踏まえ, 外部事象を起因とした重大事故等の発生に対する原子炉建屋ブローアウトパネルの防護方針は表1を示す通りとする。</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																												
54	46-13	46-13-5	<p>表1外部事象を起因とした重大事故等の発生に対する 原子炉建屋ブローアウトパネル(開放機能・閉じ込め機能※)防護方針</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事象</th> <th>防護方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">自然現象</td> <td>地震</td> <td>地震起因の炉心損傷頻度は約10万年であり、地震による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放等が考えられることから、速やかに閉止又は地震により開放しない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td>津波は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。</td> </tr> <tr> <td>風(台風)</td> <td rowspan="4">風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪の年超過頻度、及び外部電源喪失が発生した場合の条件付炉心損傷確率(7.6×10⁻⁸(6号炉)、7.9×10⁻⁸(7号炉))を踏まえると、風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪を起因とした場合の炉心損傷頻度は、重大事故等と外部事象の重畳の判断目安に比べて十分低く、風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪による重大事故等が発生し原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が必要となる可能性は十分低い。</td> </tr> <tr> <td>竜巻</td> </tr> <tr> <td>低温(凍結)</td> </tr> <tr> <td>降水</td> </tr> <tr> <td>積雪</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">自然現象</td> <td>落雷</td> <td rowspan="3">落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。</td> </tr> <tr> <td>地滑り</td> </tr> <tr> <td>火山の影響</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外部人為事象</td> <td>生物学的事象</td> <td rowspan="4">森林火災に対しては、原子炉建屋ブローアウトパネルは、防火筒内側に設置をしていることから、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。 また、変圧器等や航空機落下による火災に対しては、非常用D/Gサイレンサにより輻射が遮られる、又は火災源との離隔があるため、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。</td> </tr> <tr> <td>有毒ガス</td> </tr> <tr> <td>船舶の衝突</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>火災・爆発</td> </tr> </tbody> </table> <p>※: 重大事故等発生前の想定であることから、開放機能及び閉じ込め機能の両方が対象。</p>	事象	防護方針	自然現象	地震	地震起因の炉心損傷頻度は約10万年であり、地震による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放等が考えられることから、速やかに閉止又は地震により開放しない設計とする。	津波	津波は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。	風(台風)	風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪の年超過頻度、及び外部電源喪失が発生した場合の条件付炉心損傷確率(7.6×10 ⁻⁸ (6号炉)、7.9×10 ⁻⁸ (7号炉))を踏まえると、風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪を起因とした場合の炉心損傷頻度は、重大事故等と外部事象の重畳の判断目安に比べて十分低く、風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪による重大事故等が発生し原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が必要となる可能性は十分低い。	竜巻	低温(凍結)	降水	積雪	自然現象	落雷	落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。	地滑り	火山の影響	外部人為事象	生物学的事象	森林火災に対しては、原子炉建屋ブローアウトパネルは、防火筒内側に設置をしていることから、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。 また、変圧器等や航空機落下による火災に対しては、非常用D/Gサイレンサにより輻射が遮られる、又は火災源との離隔があるため、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。	有毒ガス	船舶の衝突	電磁的障害				火災・爆発	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)
事象	防護方針																																
自然現象	地震	地震起因の炉心損傷頻度は約10万年であり、地震による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放等が考えられることから、速やかに閉止又は地震により開放しない設計とする。																															
	津波	津波は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。																															
	風(台風)	風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪の年超過頻度、及び外部電源喪失が発生した場合の条件付炉心損傷確率(7.6×10 ⁻⁸ (6号炉)、7.9×10 ⁻⁸ (7号炉))を踏まえると、風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪を起因とした場合の炉心損傷頻度は、重大事故等と外部事象の重畳の判断目安に比べて十分低く、風、竜巻、低温(凍結)、降水、積雪による重大事故等が発生し原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が必要となる可能性は十分低い。																															
	竜巻																																
	低温(凍結)																																
	降水																																
	積雪																																
自然現象	落雷	落雷、地滑り、火山の影響、生物学的事象、有毒ガス、船舶の衝突、電磁的障害は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。																															
	地滑り																																
	火山の影響																																
外部人為事象	生物学的事象	森林火災に対しては、原子炉建屋ブローアウトパネルは、防火筒内側に設置をしていることから、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。 また、変圧器等や航空機落下による火災に対しては、非常用D/Gサイレンサにより輻射が遮られる、又は火災源との離隔があるため、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。																															
	有毒ガス																																
	船舶の衝突																																
	電磁的障害																																
			火災・爆発																														
55	46-13	46-13-5	<p>② 重大事故等発生後に外部事象が発生する場合 重大事故等発生後において、外部事象が重畳して発生する場合には、重大事故等の発生頻度とその後発生する外部事象の年超過頻度を踏まえた上で、原子炉建屋ブローアウトパネルに対する防護方針を検討する必要がある。</p> <p>(1)の重大事故等と外部事象の重畳の判断目安10⁻⁸/炉年及び原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に期待している重大事故等対処設備の有効性評価や被ばく評価においては、重大事故等発生後7日迄の期間を評価していることを踏まえて、重大事故等発生後において重畳させる外部事象の規模としては、プラント寿命期間中に発生する規模の年超過発生頻度10⁻²/年を想定し、原子炉建屋ブローアウトパネルの機能を損なわない方針とする。</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)																												

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																				
56	46-13	46-13-6	<p>表2に重大事故等発生後における外部事象の発生に対する原子炉建屋ブローアウトパネル防護の考え方を示す。 重大事故等発生後7日以降については, 原子炉建屋からの大気中への放射性物質(Cs-137)の累計の放出量には大きな増加はない。また, 上記方針に基づき年超過発生頻度10⁻²/年規模の外部事象に対して, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能は維持される。 重大事故等発生後約60日以降については, 設計基準規模の外部事象を想定し, 外部事象により原子炉建屋ブローアウトパネルの開放や損傷等があった場合でも, 現場作業について外部からの参集要員等に期待することができることから, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能を復旧する方針とする。 なお, 地震においては, 上記方針に基づき, 原子炉冷却材バウンダリや原子炉格納容器バウンダリを構成する設備等に対し, 重大事故等発生後約3日以降は弾性設計用地震動Sd, 約60日以降は基準地震動Ssとの組み合わせを考慮している。</p>	-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)																				
57	46-13	46-13-6	<p>表2 重大事故等発生後における外部事象の発生に対する原子炉建屋ブローアウトパネル(閉じ込め機能※)防護方針</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">事象</th> <th style="width: 85%;">防護方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地震</td> <td>地震荷重による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放等が考えられることから, 速やかに閉止又は地震により開放しない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td>津波は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。</td> </tr> <tr> <td>風(台風)</td> <td>年超過頻度10⁻²/年(最大風速27.9m/s)の風荷重に対し, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が喪失しない設計とする。 飛来物については, 竜巻対策による資機材や屋根等の固縛・撤去等, 及び設計飛来物である仮設足場については最大風速27.9m/sにより飛散しないことを確認し, 原子炉建屋ブローアウトパネルが飛来物影響を受けない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>竜巻</td> <td>年超過頻度10⁻²/年の最大瞬間風速は10m/s以下であり, 風(台風)の影響に包絡され, 気圧差による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放はない。 なお, 竜巻事象の不確実性を踏まえ, 年超過頻度10⁻³/年を参照した場合においても最大瞬間風速は10m/s以下である。</td> </tr> <tr> <td>低温(凍結)</td> <td rowspan="5">低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。</td> </tr> <tr> <td>降水</td> </tr> <tr> <td>積雪</td> </tr> <tr> <td>落雷</td> </tr> <tr> <td>地滑り</td> </tr> <tr> <td>火山の影響</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生物学的事象</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※: インターフェイスシステムLOCA時の開放機能は事象発生後すぐに期待するものであり, 以降も開放維持のため対象外。従って, 重大事故等発生後においては, 原子炉建屋原子炉区域負圧維持のための閉じ込め機能が対象。</p>	事象	防護方針	地震	地震荷重による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放等が考えられることから, 速やかに閉止又は地震により開放しない設計とする。	津波	津波は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。	風(台風)	年超過頻度10 ⁻² /年(最大風速27.9m/s)の風荷重に対し, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が喪失しない設計とする。 飛来物については, 竜巻対策による資機材や屋根等の固縛・撤去等, 及び設計飛来物である仮設足場については最大風速27.9m/sにより飛散しないことを確認し, 原子炉建屋ブローアウトパネルが飛来物影響を受けない設計とする。	竜巻	年超過頻度10 ⁻² /年の最大瞬間風速は10m/s以下であり, 風(台風)の影響に包絡され, 気圧差による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放はない。 なお, 竜巻事象の不確実性を踏まえ, 年超過頻度10 ⁻³ /年を参照した場合においても最大瞬間風速は10m/s以下である。	低温(凍結)	低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。	降水	積雪	落雷	地滑り	火山の影響		生物学的事象		-	②(ブローアウトパネルのSA設備化)
事象	防護方針																								
地震	地震荷重による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放等が考えられることから, 速やかに閉止又は地震により開放しない設計とする。																								
津波	津波は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。																								
風(台風)	年超過頻度10 ⁻² /年(最大風速27.9m/s)の風荷重に対し, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能が喪失しない設計とする。 飛来物については, 竜巻対策による資機材や屋根等の固縛・撤去等, 及び設計飛来物である仮設足場については最大風速27.9m/sにより飛散しないことを確認し, 原子炉建屋ブローアウトパネルが飛来物影響を受けない設計とする。																								
竜巻	年超過頻度10 ⁻² /年の最大瞬間風速は10m/s以下であり, 風(台風)の影響に包絡され, 気圧差による原子炉建屋ブローアウトパネルの開放はない。 なお, 竜巻事象の不確実性を踏まえ, 年超過頻度10 ⁻³ /年を参照した場合においても最大瞬間風速は10m/s以下である。																								
低温(凍結)	低温(凍結), 降水, 積雪, 落雷, 地滑り, 火山の影響, 生物学的事象は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。																								
降水																									
積雪																									
落雷																									
地滑り																									
火山の影響																									
生物学的事象																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由											
58	46-13	46-13-7	<p>(表2続き)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事象</th> <th>防護方針</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">外部人為 事象</td> <td>有毒ガス</td> <td rowspan="3">有毒ガス, 船舶の衝突, 電磁的障害は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。</td> </tr> <tr> <td>船舶の衝突</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">火災・爆発</td> <td>森林火災に対しては, 原子炉建屋ブローアウトパネルは, 防火帯内側に設置をしていることから, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。</td> </tr> <tr> <td>また, 変圧器等や航空機落下による火災に対しては, 非常用D/Gサイレンサにより輻射が遮られる, 又は火災源との隔離があるため, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。</td> </tr> </tbody> </table>	事象		防護方針	外部人為 事象	有毒ガス	有毒ガス, 船舶の衝突, 電磁的障害は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。	船舶の衝突	電磁的障害	火災・爆発	森林火災に対しては, 原子炉建屋ブローアウトパネルは, 防火帯内側に設置をしていることから, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。	また, 変圧器等や航空機落下による火災に対しては, 非常用D/Gサイレンサにより輻射が遮られる, 又は火災源との隔離があるため, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。	—	②(ブローアウトパネルのSA設備化)
事象		防護方針														
外部人為 事象	有毒ガス	有毒ガス, 船舶の衝突, 電磁的障害は原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響する事象ではない。														
	船舶の衝突															
	電磁的障害															
火災・爆発	森林火災に対しては, 原子炉建屋ブローアウトパネルは, 防火帯内側に設置をしていることから, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。															
	また, 変圧器等や航空機落下による火災に対しては, 非常用D/Gサイレンサにより輻射が遮られる, 又は火災源との隔離があるため, 原子炉建屋ブローアウトパネルの機能に影響はない。															
59	46-13	46-13-7	<p>4. まとめ 原子炉建屋ブローアウトパネルの外部事象防護方針については, 2.及び3.に示す通りとし, 詳細設計等については, 工事計画認可申請及び保安規定変更認可申請の審査時に説明する。</p> <p>以上</p>	—	②(ブローアウトパネルのSA設備化)											
60	46-14	中表紙	<p>46-14 各号炉の弁名称及び弁番号</p>	—	⑤											
61	46-14	46-14-1	<p>条文適合性資料本文中の機器名称覧に記載の弁名称については, 説明資料の構成上, 略称等が用いられている場合がある。これらの記載名称と各号炉に設置されている弁の正式名称及び弁番号の関係について, 下表のとおり整理する。</p>	—	⑤											
62	46-14	46-14-1	<p>表1 機器名称覧に記載の弁名称と, 正式名称・弁番号の関係について</p>	—	⑤											

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 47条 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】


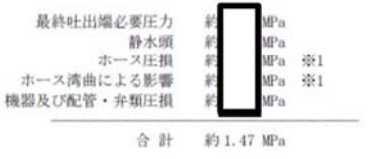
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																										
1	47-1	47-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤																																										
2	47-1	47-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬型)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬型)	⑤																																										
3	47-1	47-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤																																										
4	47-1	47-1-4	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤																																										
5	47-1	47-1-5	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	—	⑤																																										
6	47-2	47-2-1	図1 単線結線図(6号炉)	図1 単線結線図(6号炉)	②(第二GTGの自主設備化)																																										
7	47-2	47-2-2	図2 単線結線図(7号炉)	図2 単線結線図(7号炉)	②(第二GTGの自主設備化)																																										
8	47-3	47-3-6	図6 配置図(6号炉 原子炉建屋地下2階)	—	①(TBP対応に伴う変更)																																										
9	47-3	47-3-7	図7 配置図(7号炉 原子炉建屋地下2階)	—	①(TBP対応に伴う変更)																																										
10	47-5	47-5-7	図7 運転性能検査系統図(6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2級))	図7 運転性能検査系統図(6号炉 可搬型代替注水ポンプ)	⑤																																										
11	47-5	—	削除	図8 運転性能検査系統図(7号炉 可搬型代替注水ポンプ)	⑤																																										
12	47-6	47-6-6	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/台</td> <td>84(注1), (120(注2))</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa[gage]</td> <td>1.26(注1), (0.85(注2))</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa[gage]</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>原動機出力</td> <td>kW/台</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td colspan="2">機器仕様に関する注記</td> <td>注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す</td> </tr> </tbody> </table>	名 称		可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	容量	m ³ /h/台	84(注1), (120(注2))	吐出圧力	MPa[gage]	1.26(注1), (0.85(注2))	最高使用圧力	MPa[gage]	2.0	最高使用温度	℃	60	原動機出力	kW/台	100	機器仕様に関する注記		注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名 称</th> <th>可搬型代替注水ポンプ (A-2級)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/台</td> <td>45(注1), (120(注2))</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.47(注1), (0.85(注2))</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa</td> <td>1.76</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>原動機出力</td> <td>kW/台</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td colspan="2">機器仕様に関する注記</td> <td>注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す</td> </tr> </tbody> </table>	名 称		可搬型代替注水ポンプ (A-2級)	容量	m ³ /h/台	45(注1), (120(注2))	吐出圧力	MPa	1.47(注1), (0.85(注2))	最高使用圧力	MPa	1.76	最高使用温度	℃	40	原動機出力	kW/台	110	機器仕様に関する注記		注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す	①(TBP対応に伴う変更) ⑤
名 称		可搬型代替注水ポンプ (A-2級)																																													
容量	m ³ /h/台	84(注1), (120(注2))																																													
吐出圧力	MPa[gage]	1.26(注1), (0.85(注2))																																													
最高使用圧力	MPa[gage]	2.0																																													
最高使用温度	℃	60																																													
原動機出力	kW/台	100																																													
機器仕様に関する注記		注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す																																													
名 称		可搬型代替注水ポンプ (A-2級)																																													
容量	m ³ /h/台	45(注1), (120(注2))																																													
吐出圧力	MPa	1.47(注1), (0.85(注2))																																													
最高使用圧力	MPa	1.76																																													
最高使用温度	℃	40																																													
原動機出力	kW/台	110																																													
機器仕様に関する注記		注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す																																													
13	47-6	47-6-6	<p>なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時において, 炉心注水として原子炉冷却に必要な流量を確保できる容量を有するものを下図のとおり1セット4台使用する。</p>	<p>なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時において, 炉心注水として原子炉冷却に必要な流量を確保できる容量を有するものを1セット3台使用する。保有数は1プラントあたり2セット6台で6号及び7号炉共用で4セット12台と, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計13台を分散して保管する。</p>	②(水源の運用変更に伴う変更)																																										
14	47-6	47-6-6	 <p>系統構成概要図</p>	—	⑤																																										

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
15	47-6	47-6-6	1. 容量 84m ³ /h(注1)／120m ³ /h(注2) 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量の要求値は, 原子炉停止後4時間後の崩壊熱除去に必要な注水量である84m ³ /h以上とする。 なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから, その規格上要求される120m ³ /h以上を容量の公称値とする。	1. 容量 45m ³ /h(注1)／120m ³ /h(注2) 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量は, 原子炉停止後8時間後の崩壊熱除去に必要な注水量として45m ³ /h以上とする。 これを上回るものとして, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから, その規格上要求される性能である120m ³ /h以上を容量の公称値とする。	①(TBP対応に伴う変更) ⑤
16	47-6	47-6-7	2. 吐出圧力 1.26MPa(注1)／0.85MPa(注2) 6号及び7号炉の複数ある接続口のうち, 使用するホース直線敷設の圧損, ホース湾曲による影響, 機器及び配管・弁類圧損等を考慮した結果, 最も保守的となる, 7号炉原子炉建屋北側の接続口へ接続した場合の必要吐出圧力を以下に示す。	6号及び7号炉の複数ある接続口のうち, 使用するホース直線敷設の圧損, ホース湾曲による影響, 機器及び配管・弁類圧損等を考慮し, 最も保守的となる, 7号炉原子炉建屋東側の接続口へ接続した場合の揚程を以下に示す。	⑤
17	47-6	47-6-7	【7号炉(北側)】 <残留熱除去系(B)配管からの低圧代替注水> ・7号炉 MWC 接続口(北)の場合  合計 約 1.26 MPa ※1: ホースについては保守的な想定で評価したものである。 湾曲の評価については 47-6-12, 13 参照。 なお, 詳細設計においては, 作業性及び他設備の干渉を考慮し, ポンプ容量を変更しない範囲でホースの敷設場所を適切に選定する。	【7号炉(東側)】 <残留熱除去系(B)配管からの低圧代替注水> ・MWC 可搬式接続口(東)(屋内ホース引き回し)の場合  合計 約 1.47 MPa ※1: ホースについては保守的な想定で評価したものである。 湾曲の評価については 47-6-11, 12 参照。 詳細設計においては, 重大事故時のホースの取り回し, 作業性, 他設備の干渉を考慮し, ポンプ容量を変更しない範囲で適切に選定する。	⑤
18	47-6	47-6-7	以上より, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の吐出圧力の要求値は, 約1.26MPa以上とする。 なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから, その規格上要求される 0.85MPa以上を吐出圧力の公称値とする。	以上より, 低圧代替注水系(可搬型)を用いる場合に必要となる吐出圧力は約1.47MPaとなるが, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから, 公称値は規格値の0.85MPaとする。	⑤
19	47-6	47-6-8	<接続口側 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)> 図3より, ポンプの必要回転数は, 低圧代替注水系(可搬型)を用いる場合に必要となる流量(84m ³ /h)及び吐出圧力(1.26MPa)を満足する2800rpmとする。	<接続口側 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)> 低圧代替注水系(可搬型)を用いる場合に必要となる流量(45m ³ /h)及び揚程(1.47MPa)から, ポンプの必要回転数を3000rpmとする。	①(TBP対応に伴う変更) ⑤
20	47-6	47-6-9	2800rpmにおいて, 必要流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は, 図4の水頭に余裕を見込み, □mとする。	この回転数において, 所定の流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は, 図4の水頭に余裕を見込み, □mとする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
21	47-6	47-6-9	<p>有効NPSHは, 下記のとおり算出する。 $\text{有効NPSH} = H_a + H_n + H_s - H_l - h_s \quad \dots \textcircled{1}$</p> <p>ここで, H_a: 大気圧 <input type="text"/> H_n: 上流側可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) 吐出圧 H_s: 吸込揚程 (上流側可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) との高低差) H_l: 吸込圧損 h_s: 飽和蒸気圧水頭 (0.8m (0.01MPa): 水源温度 40℃と想定) とする。</p> <p>①式に以下の値を代入し, 有効NPSHを算出すると有効NPSHは10.3mとなる。 $H_n =$ <input type="text"/> $H_s =$ <input type="text"/> $H_l =$ <input type="text"/></p> <p>なお, 吸込圧損を考慮したとしても, 有効NPSHが必要NPSHを十分に上回る <input type="text"/> <input type="text"/> となるよう, H_nを設定した。 この時, 有効NPSH (<input type="text"/> m) > 必要NPSH (<input type="text"/> m) となることから, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p>	<p>一方, 有効NPSHは, 水源となる防火水槽の設置条件から, 下記のとおり算出する。 $\text{有効NPSH} = H_a + H_s - H_l - h_s$</p> <p>ここで, H_a: 元車からの吐出圧力 H_s: 揚程 H_l: 吸込圧損 h_s: 飽和蒸気圧水頭</p> <p>ポンプにおいてキャビテーションの発生を防ぐため, 有効NPSH > 必要NPSHとなる H_aを設定すると, H_aは0.15MPaとなる。</p>	⑤
22	47-6	47-6-10	<p><中継用 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) > 図3より, ポンプの必要回転数は, 接続口側 可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) に必要となる流量及び吐出圧力を満足する 2200rpm とする。2200rpm において, 必要流量を確保するためのNPSH (必要NPSH) は, 図4の水頭に余裕を見込み, <input type="text"/> m とする。</p> <p>①式に以下の値を代入し, 有効NPSHを算出すると有効NPSHは <input type="text"/> m となる。 $H_n =$ <input type="text"/> $H_s =$ <input type="text"/> $H_l =$ <input type="text"/></p> <p>なお, 吸込圧損を考慮したとしても, 有効NPSHが必要NPSHを十分に上回る <input type="text"/> <input type="text"/> となるよう, H_nを設定した。 この時, 有効NPSH (<input type="text"/> m) > 必要NPSH (<input type="text"/> m) となることから, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p>	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
23	47-6	47-6-10	<p><淡水貯水池側 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)> 図3より, ポンプの必要回転数は, 中継車 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に必要となる流量及び吐出圧力を満足する 2200rpm とする。2200rpm において, 必要流量を確保するための NPSH (必要 NPSH) は, 図4の水頭に余裕を見込み \square m となる。</p> <p>①式に基づき有効 NPSH を算出すると, 有効 NPSH は \square m となる。</p> $H_n = \square$ $H_s = \square$ $H_l = \square$ <p>この時, 有効 NPSH (\square m) > 必要 NPSH (\square m) となることから, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転が可能である。</p> <p>なお, 大容量送水車 (海水取水用) から直接, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) へ送水する場合については, 大容量送水車 (海水取水用) の吐出圧が可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の吸込口に加わることにより, 上記 NPSH 評価のうち吸込揚程が, 淡水貯水池から取水する場合よりも大きくなることから, 淡水貯水池から取水する場合の可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の NPSH 評価に包絡される。</p>	<p><防火水槽側 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)> 接続口側 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に必要となる流量 (22.5m³/h/台) 及び揚程 (0.15MPa) から, ポンプの必要回転数を 2200rpm とする。この回転数において, 所定の流量を確保するための NPSH (必要 NPSH) は, 図4の水頭に余裕を見込み, \square m とする。</p> <p>一方, 有効 NPSH は, 水源となる防火水槽の設置条件から, 下記のとおり算出する。</p> $\begin{aligned} \text{有効 NPSH} &= H_a' + H_s' - H_l' - h_s' \\ &= 10.3 - 4.6 - \square - 0.8 \\ &= \square \text{ m} \end{aligned}$ <p>ここで, H_a': 大気圧 H_s': 吸込揚程 H_l': 吸管圧損 h_s': 飽和蒸気圧水頭</p> <p>これらの算出結果から, 有効 NPSH (\square m) > 必要 NPSH (\square m) を満足するため, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p> <p>なお, 淡水貯水池及び, 大容量送水車 (海水取水用) から直接, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) へ送水する場合の NPSH 評価は, 淡水貯水池の水頭圧又は, 大容量送水車 (海水取水用) の吐出圧が可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の吸込口に加わることにより, 上記 NPSH 評価のうち H_s' (吸込揚程) が防火水槽から取水する場合よりも大きくなることから, 防火水槽から取水する場合の可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の NPSH 評価に包絡される。</p>	⑤
24	47-6	47-6-10	<p>3. 最高使用圧力 2.0MPa 低圧代替注水系 (可搬型) に必要となる吐出圧力は 1.26MPa 以上であるが, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) を用いた注水先への注水シナリオのうち, 吐出圧が最大となるのは格納容器下部注水系 (可搬型) にて要求される吐出圧力 (1.67MPa) であり, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の最高使用圧力は 1.67MPa を上回る圧力として 2.0MPa とする。</p>	<p>3. 最高使用圧力 1.76MPa 低圧代替注水系 (可搬型) に必要となる吐出圧力は 1.47MPa であるが, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) を用いた注水先への注水シナリオのうち, 吐出圧が最大となるのは格納容器下部注水系 (可搬型) にて要求される吐出圧力 (1.76MPa) であり, 低圧代替注水系 (可搬型) に要求される圧力を上回ることから, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の最高使用圧力は 1.76MPa とする。</p>	⑤
25	47-6	47-6-11	<p>4. 最高使用温度 60℃ 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の最高使用温度は, 水源である淡水の温度が常温程度であるため, 60℃ とする。</p>	<p>4. 最高使用温度 40℃ 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の最高使用温度は, 水源である淡水の温度が常温程度であるため, 40℃ とする。</p>	⑤
26	47-6	47-6-11	<p>5. 原動機出力 100kW/台 低圧代替注水系 (可搬型) として使用する可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の原動機については, 必要な性能 (消防法に基づく技術上の規格) を発揮する出力を有するものとして 100kW とする。</p>	<p>5. 原動機出力 約 110kW/台 低圧代替注水系 (可搬型) として使用する可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の原動機については, 必要な性能 (消防法に基づく技術上の規格) を発揮する出力を有するものとして 約 110kW とする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

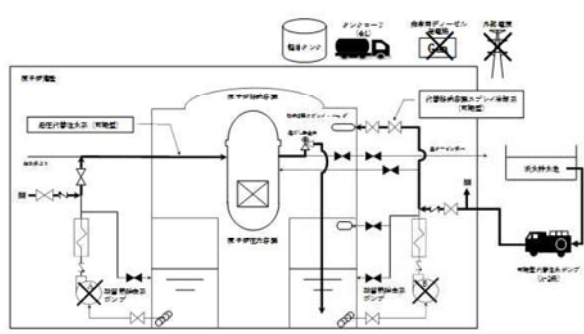
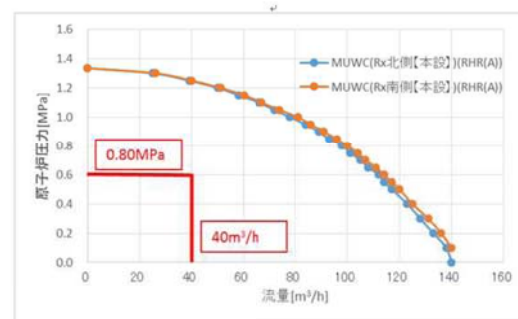
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由				
27	47-6	47-6-14	<p>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)の同時使用について</p> <p>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)は, 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への低圧代替注水と同時に進行することを想定している。全交流動力電源喪失+主蒸気逃がし安全弁閉固着のシナリオ時に代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)を使用する場合において, 原子炉停止後約9時間後から80m³/hで原子炉格納容器内にスプレイし, 同時に低圧代替注水系(可搬型)により40m³/hで原子炉圧力容器への低圧代替注水することで重大事故等を防止できることが評価結果より確認されている。</p> <p>したがって, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)は表1のとおり同時に注水することを考慮している。系統図を図1~2に示すが, いずれの系統も可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いるため, 表1で示すとおりに代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)を同時に実施する能力があることを評価により確認する。評価に当たっては, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)を同時に使用する全交流動力電源喪失+主蒸気逃がし安全弁閉固着のシナリオの条件を用いる。したがって, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)80m³/hと低圧代替注水系(可搬型)の同時注水の成立性を確認するために, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の特性と代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)及び低圧代替注水系(可搬型)の系統圧力損失を考慮して注水特性評価を実施した。注水特性評価結果は図3のとおりであり, 原子炉格納容器圧力が1Pd(310kPa[gage])及び原子炉圧力0.8MPaの場合に代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の流量が80m³/h, 低圧代替注水系(可搬型)は40m³/hで原子炉圧力容器へ注水できることが確認できた。</p> <p>よって, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)の同時注水について, 各々の必要流量が確保可能であることを確認した。</p>	—	①(TBP対応に伴う変更)				
28	47-6	47-6-14	<p>表1□代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型), 低圧代替注水系(可搬型)の必要流量</p> <table border="1"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)</td> </tr> <tr> <td>80m³/h</td> <td>40m³/h</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)	低圧代替注水系(可搬型)	80m ³ /h	40m ³ /h	—	①(TBP対応に伴う変更)
代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)	低圧代替注水系(可搬型)								
80m ³ /h	40m ³ /h								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
29	47-6	47-6-15	 <p>図1□「全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+SRV再開失敗」の重大事故等対策の概略系統図（原子炉注水及び原子炉格納容器冷却）</p>		①(TBP対応に伴う変更)
30	47-6	47-6-15	 <p>図2□原子炉圧力容器への注水特性（代替格納容器スプレィ80m³/h同時注水時）</p>		①(TBP対応に伴う変更) ②(水源の運用変更に伴う変更)
31	47-7	47-7-1	図1 接続図(淡水貯水池から接続口)		②(水源の運用変更に伴う変更)
32	47-7	47-7-2	図2 接続図(防火水槽から接続口)	図1 接続図(防火水槽から接続口)	⑤
33	47-8	47-8-1	図1 保管場所図(位置的分散)	図1 保管場所図(位置的分散)	①(K5緊対への変更)
34	47-8	47-8-2	図2 保管場所図(機器配置)	図2 保管場所図(機器配置)	①(TBP対応に伴う変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																																														
35	47-8	47-8-3	図3 保管場所図(ホース保管場所 6号炉原子炉建屋地上1階)	—	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
36	47-8	47-8-4	図4 保管場所図(ホース保管場所 7号炉原子炉建屋地上1階)	—	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
37	47-9	47-9-1	図1 保管場所及びアクセスルート図	図1 保管場所およびアクセスルート図	①(K5緊対への変更)																																																																																																																																																																																																																																																																														
38	47-9	47-9-2	図2 地震・津波発生時のアクセスルート図	図2 地震・津波発生時のアクセスルート図	①(K5緊対への変更)																																																																																																																																																																																																																																																																														
39	47-9	47-9-3	図3 森林火災発生時のアクセスルート図	図3 森林火災発生時のアクセスルート図	①(K5緊対への変更)																																																																																																																																																																																																																																																																														
40	47-9	47-9-4	図4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	図4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	①(K5緊対への変更)																																																																																																																																																																																																																																																																														
41	47-11	47-11-1	<p>表1 機器名称一覧に記載の弁名称と、正式名称・弁番号の関係について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>統一名称</th> <th>弁名称</th> <th>弁番号</th> <th>統一名称</th> <th>弁番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000A</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000A</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000B</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000B</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000C</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000C</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000D</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000D</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000E</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000E</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000F</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000F</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000G</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000G</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000H</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000H</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000I</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000I</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000J</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000J</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000K</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000K</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000L</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000L</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000M</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000M</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000N</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000N</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000O</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000O</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000P</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000P</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Q</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Q</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000R</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000R</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000S</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000S</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000T</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000T</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000U</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000U</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000V</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000V</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000W</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000W</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000X</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000X</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Y</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Y</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Z</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Z</td> </tr> </tbody> </table>	統一名称	弁名称	弁番号	統一名称	弁番号	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z	<p>表1 機器名称一覧に記載の弁名称と、正式名称・弁番号の関係について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>統一名称</th> <th>弁名称</th> <th>弁番号</th> <th>統一名称</th> <th>弁番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000A</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000A</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000B</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000B</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000C</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000C</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000D</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000D</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000E</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000E</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000F</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000F</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000G</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000G</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000H</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000H</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000I</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000I</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000J</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000J</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000K</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000K</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000L</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000L</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000M</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000M</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000N</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000N</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000O</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000O</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000P</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000P</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Q</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Q</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000R</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000R</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000S</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000S</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000T</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000T</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000U</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000U</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000V</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000V</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000W</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000W</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000X</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000X</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Y</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Y</td> </tr> <tr> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Z</td> <td>機器名称(正式名称)</td> <td>E11-WP-P000Z</td> </tr> </tbody> </table>	統一名称	弁名称	弁番号	統一名称	弁番号	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y	機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z	①(TBP対応に伴う変更)
統一名称	弁名称	弁番号	統一名称	弁番号																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z																																																																																																																																																																																																																																																																															
統一名称	弁名称	弁番号	統一名称	弁番号																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000A																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000B																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000C																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000D																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000E																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000F																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000G																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000H																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000I																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000J																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000K																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000L																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000M																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000N																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000O																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000P																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Q																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000R																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000S																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000T																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000U																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000V																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000W																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000X																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Y																																																																																																																																																																																																																																																																															
機器名称(正式名称)	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z	機器名称(正式名称)	E11-WP-P000Z																																																																																																																																																																																																																																																																															

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 48条 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	48-1	48-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	⑤
2	48-1	48-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	⑤
3	48-1	48-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
4	48-1	48-1-4	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
5	48-1	48-1-5	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
6	48-1	48-1-6	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
7	48-2	48-2-1	図48-2-1 代替原子炉補機冷却系 単線結線図(6号炉(7号炉も同じ))	図48-2-1 代替原子炉補機冷却系 単線結線図(6号炉(7号炉も同じ))	⑤
8	48-2	48-2-2	図48-2-2 耐圧強化ベント系 単線結線図(6号炉)	図48-2-2 耐圧強化ベント系 単線結線図(6号炉)	②(第二GTGの自主化に伴う修正)
9	48-2	48-2-3	図48-2-3 耐圧強化ベント系 単線結線図(7号炉)	図48-2-3 耐圧強化ベント系 単線結線図(7号炉)	②(第二GTGの自主化に伴う修正)
10	48-3	48-3-1	-(欠番)	48-3	⑤
11	48-4	48-4-2	図48-4-2 6号炉原子炉建屋地上中3階	図48-4-2 6号炉原子炉建屋地上中3階	⑤
12	48-4	48-4-3	図48-4-3 6号炉原子炉建屋地上3階	図48-4-3 6号炉原子炉建屋地上3階	⑤
13	48-4	48-4-4	図48-4-4 6号炉原子炉建屋地上2階	図48-4-4 6号炉原子炉建屋地上2階	⑤
14	48-4	48-4-8	図48-4-8 6号炉原子炉建屋地下3階	図48-4-8 6号炉原子炉建屋地下3階	⑤
15	48-4	48-4-9	図48-4-9 6号炉タービン建屋地上1階	図48-4-9 6号炉タービン建屋地上1階	⑤
16	48-4	48-4-10	図48-4-10 6号炉タービン建屋地下1階	図48-4-10 6号炉タービン建屋地下1階	⑤
17	48-4	48-4-12	図48-4-12 7号炉原子炉建屋地上中3階	図48-4-12 7号炉原子炉建屋地上中4階	⑤
18	48-4	48-4-13	図48-4-13 7号炉原子炉建屋地上3階	図48-4-13 7号炉原子炉建屋地上3階	⑤
19	48-4	48-4-14	図48-4-14 7号炉原子炉建屋地上2階	図48-4-14 7号炉原子炉建屋地上2階	⑤
20	48-4	48-4-19	図48-4-19 7号炉タービン建屋地下1階	図48-4-19 7号炉タービン建屋地下1階	⑤
21	48-4	48-4-20	図48-4-20 6/7号炉コントロール建屋地下2階	図48-4-20 6/7号炉コントロール建屋地下2階	⑤
22	48-4	48-4-21	図48-4-21 代替原子炉補機冷却系 接続口配置図(6/7号炉)	図48-4-21 代替原子炉補機冷却系 接続口配置図(6/7号炉)	⑤
23	48-4	48-4-22	図48-4-22 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 1/4	図48-4-22 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 1/3	⑤
24	48-4	48-4-23	図48-4-23 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 2/4	図48-4-23 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 2/3	⑤
25	48-4	48-4-24	図48-4-24 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 3/4	図48-4-24 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 3/3	⑤
26	48-4	48-4-25	図48-4-25 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(6号炉) 4/4	-	⑤
27	48-4	48-4-26	図48-4-26 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 1/4	図48-4-25 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 1/4	⑤
28	48-4	48-4-27	図48-4-27 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 2/4	図48-4-26 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 2/4	⑤
29	48-4	48-4-28	図48-4-28 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 3/4	図48-4-27 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 3/4	⑤
30	48-4	48-4-29	図48-4-29 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 4/4	図48-4-28 格納容器圧力逃がし装置, 及び耐圧強化ベント系の弁操作位置図(7号炉) 4/4	⑤
31	48-4	48-4-30	図48-4-30 6/7号炉 真空破壊弁 設置位置図	図48-4-29 6/7号炉 真空破壊弁(S/C→D/W)設置位置図	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
32	48-5	48-5-2	27 換気空調補機非常用冷却水系降水管(A)タイライン止め弁 図48-5-5 耐圧強化ベント系 概略構成図	27 サージタンク(A)換気空調補機非常用冷却水系側出口弁 図48-5-3 耐圧強化ベント系 概略構成図	⑤
33	48-5	48-5-11			①(二次隔離弁バイパス弁の電動化、遠隔空気駆動弁操作設備のSA設備
34	48-6	48-6-1	図48-6-1 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(熱交換器ユニット(その1))	図48-6-1 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(6号炉)	⑤
35	48-6	48-6-2	図48-6-2 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(その1)	図48-6-2 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(6号炉)	⑤
36	48-6	48-6-3	図48-6-3 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(熱交換器ユニット(その2))	図48-6-3 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(7号炉)	⑤
37	48-6	48-6-4	図48-6-4 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(その2)	図48-6-4 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(7号炉)	⑤
38	48-6	48-6-6	図48-6-6 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(6号炉A系)	図48-6-6 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(6号炉A系)	⑤
39	48-6	48-6-7	図48-6-7 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(6号炉B系)	図48-6-7 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(6号炉B系)	⑤
40	48-6	48-6-8	図48-6-8 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(7号炉A系)	図48-6-8 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(7号炉A系)	⑤
41	48-6	48-6-9	図48-6-9 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(7号炉B系)	図48-6-9 代替原子炉補機冷却系 運転性能検査(7号炉B系)	⑤
42	48-7	48-7-7	全揚程、 m、 <input type="text"/> 以上(注1)(75(注2))	全揚程、 m、 <input type="text"/> 以上(注1)(75(注2))	⑤
43	48-7	48-7-7, 9	配管・機器圧力損失 : 約 <input type="text"/> m	配管・機器圧力損失 : 約 <input type="text"/> m	⑤
44	48-7	48-7-9	全揚程、 m、 <input type="text"/> 以上(注1)(75(注2))	全揚程、 m、 <input type="text"/> 以上(注1)(75(注2))	⑤
45	48-7	48-7-11	1.容量の設定根拠 大容量送水車(熱交換器ユニット用)の容量は、保守性を有した評価による原子炉停止48時間経過後の崩壊熱(約23MW)を除去するために必要な流量を840m ³ /hとし、900m ³ /hとする。 なお、大容量送水車(熱交換器ユニット用)の容量を上記のように設定することで、代替原子炉補機冷却系を使用する有効性評価「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」のシナリオで、事故発生20時間後に代替原子炉補機冷却系を用いた残留熱除去系によるサブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード運転で冷却効果が確認されている。具体的には、図48-7-1に有効性評価シナリオ「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失した場合)」のサブプレッション・チェンバ・プール水温を示すように、代替原子炉補機冷却系を使用したサブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード運転を開始した後に、温度上昇が抑制されていることが確認できている。	1.容量の設定根拠 大容量送水車(熱交換器ユニット用)の容量は、保守性を有した評価による原子炉停止48時間経過後の崩壊熱(約23MW)を除去するために必要な流量を840m ³ /hとし、900m ³ /hとする。 なお、大容量送水車(熱交換器ユニット用)の容量を上記のように設定することで、代替原子炉補機冷却系を使用する有効性評価「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失)」のシナリオで、事故発生20時間後に代替原子炉補機冷却系を用いた残留熱除去系によるサブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード運転で冷却効果が確認されている。具体的には、図48-7-1に有効性評価シナリオ「崩壊熱除去機能喪失(取水機能が喪失)」のサブプレッション・チェンバ・プール水温を示すように、代替原子炉補機冷却系を使用したサブプレッション・チェンバ・プール水冷却モード運転を開始した後に、温度上昇が抑制されていることが確認できている。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
46	48-7	48-7-12,13	<p>〈大容量送水車のNPSH評価〉 大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、取水路に投入した取水ポンプにより、取水される海水を送水ポンプを用いて送水する構造となっている。使用状態での各機器の配置イメージを図48-7-6に示す。この場合における海面は、通常時の平均海面では送水ポンプの約13.4m下位、津波時の引き波と干潮との重畳を考慮した海面では送水ポンプの約17.2m下位となる。また、取水ポンプは、キャビテーションの発生を防止するために、海面から0.5m以上水没させて使用する必要がある。これを踏まえ、取水ポンプの吐出部のホースの長さが23mであることから、ホースを最も伸ばした状態で取水ポンプを海中に設置する。これにより、海面が最も低い状態になった場合(大容量送水車から約17.2m下位)でも、ポンプ位置を調整することなく海水を取水することが可能である。 上記の設置状況に基づき、必要流量840 m³/hを確保した場合における揚程である31mに対し、必要揚程が約19mであること、また、取水ポンプの吐出部のホース長が23mであるのに対し、最も海面が低い状態になった場合の高低差が約17.2mであることから、吐出部のホースを最も伸ばした状態で取水ポンプを設置することにより、設置高さを調整することなく、必要な揚程を確保することが可能である。</p>	<p>〈大容量送水車のNPSH評価〉 大容量送水車(熱交換器ユニット用)は、取水路に投入した取水ポンプにより、取水される海水を送水ポンプを用いて送水する構造となっている。取水ポンプは、送水ポンプ設置高さより約17.6m下の取水路から取水し、吐出揚程20m以上で送水ポンプに送水可能であり、送水ポンプは十分に吸込み揚程を確保可能であることからキャビテーションが発生する恐れはない。 〈取水ポンプのNPSH評価〉 取水ポンプは空気を吸い込まない水位まで投入して水を押し上げる構造の水の中ポンプであり、必要NPSHの代替として、運転必要最低水位を確保するように投入することで、キャビテーションを防止する設計となっている。取水ポンプの運転必要最低水位は水面から-0.5mであり、海水取水時には水面から-1.0m程度の位置まで取水ポンプを吊り下げることからキャビテーションが発生する恐れはない。</p>	①(大容量送水車の取水性能の説明見直し)
47	48-7	48-7-13	図48-7-6 大容量送水車(熱交換器ユニット用)概要図	図48-7-6 大容量送水車(熱交換器ユニット用)概要図	①(大容量送水車の取水性能の説明見直し)
48	48-7	48-7-16	<p>○上記(i)(ii)より、1湾曲(90°)あたりの圧力損失を求める。 $h_c = f_c \times v^2 / (2g)$より、重力加速度9.8[m/s²]を用いて $h_c = 0.068 \times (3.415^2 / (2 \times 9.8))$ $= 0.04046[m]$</p>	<p>○上記(i)(ii)より、1湾曲(90°)あたりの圧力損失を求める。 $h_c = f_c \times v^2 / (2g)$より、重力加速度9.8[m/s²]を用いて $h_c = 0.068 \times (3.145^2 / (2 \times 9.8))$ $= 0.04046[m]$</p>	⑤
49	48-8	48-8-1	図48-8-1 代替原子炉補機冷却系(可搬設備)配置図	図48-8-1 代替原子炉補機冷却系(可搬設備)配置図	⑤
50	48-9	48-9-1	図48-9-1 屋外保管場所配置図(代替原子炉補機冷却系)	図48-9-1 屋外保管場所配置図(代替原子炉補機冷却系)	⑤
51	48-10	48-10-1	図48-10-1 保管場所およびアクセスルート図	図48-10-1 保管場所およびアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)
52	48-10	48-10-2	図48-10-2 地震・津波発生時のアクセスルート図	図48-10-2 地震・津波発生時のアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)
53	48-10	48-10-3	図48-10-3 森林火災発生時のアクセスルート図	図48-10-3 森林火災発生時のアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)
54	48-10	48-10-4	図48-10-4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	図48-10-4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
55	48-11	48-11-2	図48-11-3 代替原子炉補機冷却系 系統概要図	図48-11-3 代替原子炉補機冷却系 系統概要図	⑤
56	—	—	—	<p>2. 格納容器圧力逃がし装置、耐圧強化ベント系の空気駆動弁駆動用ポンベの整備</p> <p>格納容器圧力逃がし装置並びに耐圧強化ベント系に設置される空気駆動弁(一次隔離弁(サブプレッション・チェンバ側, ドライウエル側), フィルタ装置入口弁, 耐圧強化ベント弁)については、遠隔手動弁操作設備を設置し、人力による駆動が可能な設計としているが、駆動源の多様化により操作の信頼性を向上させる目的で、これらの空気駆動弁を駆動させるための高圧窒素ガスを供給する空気駆動弁駆動用ポンベを設置する。</p> <p>なお、空気駆動弁の駆動部に高圧窒素ガスを供給するラインは、図48-11-5のに示す通り、駆動空気切替用電磁弁の排気ポートからも、高圧窒素ガスを供給できる構成となっている。これにより、電源喪失等により電磁弁に開信号を印可することができない場合においても、電磁弁の排気ポート側から空気駆動弁駆動部に高圧窒素ガスを供給し、空気駆動弁を操作することができる設計となっている。</p>	①(遠隔空気駆動弁操作設備のSA設備化)
57	48-12	48-12-1	図48-12-1 熱交換器ユニットの保管場所における転倒防止措置のイメージ	—	⑤
58	48-12	48-12-1	図48-12-2 転倒防止措置を考慮したタイムチャート(代替原子炉補機冷却系による補機冷却水確保)の内訳	—	⑤
59	48-13	48-13-1	表48-13-1 機器名称覧に記載の弁名称と、正式名称・弁番号の関係について	表48-12-1 機器名称覧に記載の弁名称と、正式名称・弁番号の関係について	⑤
60	48-13	48-13-4	表48-13-2 機器名称覧に記載の弁名称と、正式名称・弁番号の関係について	表48-12-2 機器名称覧に記載の弁名称と、正式名称・弁番号の関係について	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 49条 原子炉格納容器内の冷却等のための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	49-1	49-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
2	49-1	49-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬型)	—	⑤
3	49-1	49-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
4	49-1	49-1-4	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	—	⑤
5	49-1	49-1-5	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び8号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
6	49-1	49-1-6	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び9号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	—	⑤
7	49-2	49-2-1	図1 単線結線図(6号炉)	図1 単線結線図(6号炉)	②(第2GTG自主化)
8	49-2	49-2-2	図2 単線結線図(7号炉)	図2 単線結線図(7号炉)	②(第2GTG自主化)
9	49-3	49-3-6	図6 配置図(6号炉 原子炉建屋地下2階)	—	①(TBP対策の追加)
10	49-3	49-3-7	図7 配置図(7号炉 原子炉建屋地下2階)	—	①(TBP対策の追加)
11	49-4	49-4-1	図1 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) 系統概要図(6号炉)	図1 代替格納容器スプレイ冷却系 系統概要図(6号炉)	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
12	49-4	49-4-2	図2 代替格納容器スプレイ冷却系(常設) 系統概要図(7号炉)	図2 代替格納容器スプレイ冷却系 系統概要図(7号炉)	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
13	49-4	49-4-3	図3 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) 系統概要図(6号炉)	—	①(TBP対策の追加)
14	49-4	49-4-4	図4 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型) 系統概要図(7号炉)	—	①(TBP対策の追加)
15	49-5	49-5-2	図2 構造図(可搬型代替注水ポンプ(A-2級))	—	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
16	49-5	49-5-3	図3 代替格納容器スプレイ冷却系運転性能検査系統図(6号炉)	図2 代替格納容器スプレイ冷却系運転性能検査系統図(6号炉)	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
17	49-5	49-5-4	図4 代替格納容器スプレイ冷却系運転性能検査系統図(7号炉)	図3 代替格納容器スプレイ冷却系運転性能検査系統図(7号炉)	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
18	49-5	49-5-5	図5 運転性能検査系統図(6号及び7号炉 可搬型代替注水ポンプ(A-2級))	—	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
19	49-6	49-6-1	代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として使用する復水移送ポンプは, 設計基準事故対処設備が有する原子炉格納容器内の冷却機能が喪失した場合において原子炉格納容器内の圧力及び温度を低下させ炉心の著しい損傷を防止するために設置する。	代替格納容器スプレイ系として使用する復水移送ポンプは, 設計基準事故対処設備が有する原子炉格納容器内の冷却機能が喪失した場合において原子炉格納容器内の圧力及び温度を低下させ炉心の著しい損傷を防止するため使用する。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
20	49-6	49-6-1	なお, 重大事故等対処設備の代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として使用する復水移送ポンプは, 1基あたり3台設置しており, このうち必要台数は最大で2台であり, 1台を予備として確保する。	なお, 重大事故防止設備の代替格納容器スプレイ系として使用する復水移送ポンプは, 1基あたり3台設置しており, このうち必要台数は最大で2台であり, 1台を予備として確保する。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
21	49-6	49-6-3	以上より, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として使用する場合の復水移送ポンプの揚程は6号炉で96m, 7号炉で93mである。	以上より, 代替格納容器スプレイ冷却系として使用する場合の復水移送ポンプの揚程は6号炉で96m, 7号炉で93mである。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
22	49-6	49-6-3	また, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)は, 格納容器下部注水系(常設)と同時に使用することがあるため, 同時使用時に各々の必要流量が確保できることを添付(1)「格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の同時使用について」で示す。	また, 代替格納容器スプレイ冷却系は, 格納容器下部注水系と同時に使用することがあるため, 同時使用時に各々の必要流量が確保できることを添付(1)「格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイ冷却の同時使用について」で示す。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
23	49-6	49-6-3	設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの最高使用温度は, 水源の復水貯蔵槽の最高使用温度に合わせ66℃としており, 重大事故等時に代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として原子炉格納容器内にスプレイする場合の温度もこれと同様である。	設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの最高使用温度は, 水源の復水貯蔵槽の最高使用温度に合わせ66℃としており, 重大事故等時に代替格納容器スプレイ冷却系として原子炉に注入する場合の温度もこれと同様である。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
24	49-6	49-6-4	(6号炉) 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として使用する復水移送ポンプの容量70m ³ /h, 揚程98mのときの必要軸動力は, 以下のとおり約 <input type="text"/> kWとなる。	(6号炉) 代替格納容器スプレイ冷却系として使用する復水移送ポンプの容量70m ³ /h, 揚程98m, のときの必要軸動力は, 以下のとおり約 <input type="text"/> kWとなる。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
25	49-6	49-6-5	(7号炉) 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として使用する復水移送ポンプの容量70m ³ /h, 揚程95mのときの必要軸動力は, 以下のとおり約 <input type="text"/> kWとなる。	(7号炉) 代替格納容器スプレイ冷却系として使用する復水移送ポンプの容量70m ³ /h, 揚程95m, のときの必要軸動力は, 以下のとおり約 <input type="text"/> kWとなる。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)
26	49-6	49-6-5	以上より, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)として使用する復水移送ポンプの軸動力は, 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの原動機出力の公称値55kW/台以下であることから, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設として使用する場合の原動機出力は, 設計基準対象施設として使用する場合と同様の55kW/台とする。	以上より, 設計基準対処施設として使用する復水移送ポンプの原動機出力の公称値は55kW/台であり, 代替格納容器スプレイ冷却系として使用する復水移送ポンプの揚程はこの内数であることから同様の55kW/台とする。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)

まとめ資料変更箇所リスト


【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																					
27	49-6	49-6-6	格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の同時使用について	格納容器下部注水と代替格納容器スプレイ冷却の同時使用について	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)																					
28	49-6	49-6-6	格納容器下部注水(常設)は, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)による格納容器スプレイと同時に進行することを想定している。格納容器下部注水(常設)を行う場合において, 原子炉圧力容器の破損前は, 格納容器下部注水系により90m ³ /hで格納容器下部に注水し水位2mの水張りを実施し, 同時に代替格納容器スプレイ冷却系(常設)により70m ³ /hで原子炉格納容器内にスプレイすることで原子炉格納容器温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。	格納容器下部注水は, 代替格納容器スプレイ冷却系による格納容器スプレイと同時に進行することを想定している。格納容器下部注水を行う場合において, 原子炉圧力容器の破損前は, 格納容器下部注水系により90m ³ /hで格納容器下部に注水し水位2mの水張りを実施し, 同時に代替格納容器スプレイ冷却系により70m ³ /hで原子炉格納容器内にスプレイすることで原子炉格納容器温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)																					
29	49-6	49-6-6	また, 原子炉圧力容器の破損後は, 格納容器下部注水系(常設)により崩壊熱相当(注水開始時期を考慮すると最大50m ³ /h)の注水を行い, 原子炉格納容器圧力が465kPa[gage]に到達した時点で代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の流量を130m ³ /h以上にすることにより, 原子炉格納容器圧力及び温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。	また, 原子炉圧力容器の破損後は, 格納容器下部注水系(常設)により崩壊熱相当(注水開始時期を考慮すると最大50m ³ /h)の注水を行い, 原子炉格納容器圧力が465kPa[gage]に到達した時点で代替格納容器スプレイ冷却系の流量を130m ³ /h以上にすることにより, 原子炉格納容器圧力及び温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)																					
30	49-6	49-6-6	したがって, 格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ冷却系(常設)は表1のとおり同時に実施することを考慮している。系統図を図1~2に示すが, いずれの系統も復水移送ポンプを用いるため, 表1で示すとおり格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ(常設)を同時に実施する能力があることを評価により確認する。評価に当たっては, 格納容器圧力が高く注水特性評価が保守的となる原子炉圧力容器の破損後のケースを用いる。したがって, 格納容器下部注水50m ³ /hと代替格納容器スプレイ130m ³ /hの同時注水の成立性を確認するために, 復水移送ポンプ特性と格納容器下部注水系(常設)及び代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の系統圧力損失を考慮して注水特性評価を実施した。注水特性評価結果は図3のとおりであり, 格納容器下部注水が50m ³ /hである場合, 原子炉格納容器圧力が2Pd(620kPa[gage])時においても, 代替格納容器スプレイ(常設)は130m ³ /hでスプレイできることが確認できた。	従って, 格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイは表1の通り同時に注水することを考慮している。注水系統図を図1~2に示すが, いずれの系統も復水移送ポンプを用いるため, 表1で示す通りに格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイを同時に注水する能力があることを評価により確認する。評価にあたっては, 格納容器圧力が高く注水特性評価が保守的となる原子炉圧力容器の破損後のケースを用いる。従って, 格納容器下部注水50m ³ /hと代替格納容器スプレイ130m ³ /hの同時注水の成立性を確認するために, 復水移送ポンプ特性と格納容器下部注水系及び代替格納容器スプレイ系の系統圧力損失を考慮して注水特性評価を実施した。注水特性評価結果は図3の通りであり, 格納容器下部注水が50m ³ /hである場合, 原子炉格納容器圧力が2Pd(620kPa[gage])時においても, 代替格納容器スプレイは130m ³ /hでスプレイできることが確認できた。	①(TBP対応に伴う代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の追加)																					
31	49-6	49-6-9	<table border="1"> <tr> <td>名□□□称</td> <td colspan="2">可搬型代替注水ポンプ(A-2級)</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>m³/h/台</td> <td>80(注1), (120(注2))</td> </tr> <tr> <td>吐出圧力</td> <td>MPa[gage]</td> <td>0.71(注1), (0.85(注2))</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPa[gage]</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>原動機出力</td> <td>kW/台</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>機器仕様に関する注記</td> <td colspan="2">注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す</td> </tr> </table>	名□□□称	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)		容量	m ³ /h/台	80(注1), (120(注2))	吐出圧力	MPa[gage]	0.71(注1), (0.85(注2))	最高使用圧力	MPa[gage]	2.0	最高使用温度	℃	80	原動機出力	kW/台	100	機器仕様に関する注記	注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す		—	①(TBP対策の追加)
名□□□称	可搬型代替注水ポンプ(A-2級)																									
容量	m ³ /h/台	80(注1), (120(注2))																								
吐出圧力	MPa[gage]	0.71(注1), (0.85(注2))																								
最高使用圧力	MPa[gage]	2.0																								
最高使用温度	℃	80																								
原動機出力	kW/台	100																								
機器仕様に関する注記	注1: 要求値を示す 注2: 規格値を示す																									

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
32	49-6	49-6-9	<p>【設定根拠】 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時に以下の機能を有する。</p> <p>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 設計基準事故対処設備が有する原子炉格納容器内の冷却機能が喪失した場合において原子炉格納容器内の圧力及び温度を低下させ炉心の著しい損傷を防止するために設置する。</p> <p>また, 炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉格納容器の破損を防止するため, 原子炉格納容器内の圧力及び温度並びに放射性物質の濃度を低下させるために設置する。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 複数の代替淡水源(淡水貯水池又は防火水槽)を水源として原子炉建屋外壁に設置されている複数の接続口に接続し, 復水補給水系, 残留熱除去系を經由して, 原子炉格納容器へスプレイすることにより炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止する設計とする。</p> <p>なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時において, 原子炉格納容器内冷却に必要なスプレイ流量を確保できる容量を有するものを下图のとおり1セット4台使用する。</p>	—	①(TBP対策の追加)
33	49-6	49-6-9	 <p>系統構成概要図</p>	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト


【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
34	49-6	49-6-10	<p>1. 容量 80m³/h(注1)／120m³/h(注2) 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量の要求値は、原子炉停止後9時間後の崩壊熱除去に必要なスプレイ流量である80m³/h以上とする。 なお、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は、消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから、その規格上要求される120m³/h以上を容量の公称値とする。</p> <p>2. 吐出圧力 0.71MPa(注1)／0.85MPa(注2) 原子炉格納容器にスプレイする場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の吐出圧力は、淡水を原子炉格納容器にスプレイする場合、水源とスプレイ先の圧力差(大気開放である淡水貯水池等とスプレイ先の圧力差)、静水頭、ホース直線敷設の圧損、ホース湾曲による影響、機器及び配管・弁類圧損を基に設定する。 6号及び7号炉の複数ある接続口のうち、使用するホース直線敷設の圧損、ホース湾曲による影響、機器及び配管・弁類圧損等を考慮した結果、最も保守的となる、7号炉原子炉建屋北側の接続口へ接続した場合の必要吐出圧力を代表として以下に示す。</p>	—	①(TBP対策の追加)
35	49-6	49-6-10	<p>【7号炉(東側)】 <残留熱除去系(B)配管からの代替格納容器スプレイ> ・MUWC接続口(北)の場合</p> <p>最終吐出端必要圧力…約 MPa 静水頭… MPa ホース圧損… MPa※1 ホース湾曲による影響… MPa※1 機器及び配管・弁類圧損… MPa</p> <p>合計…約 0.71 MPa</p> <p>※1：ホースについては保守的な想定で評価したものである。 湾曲の評価については49-6-14,15参照。 □□ なお、詳細設計においては、作業性及び他設備との干渉を考慮し、ポンプ容量を変更しない範囲でホースの敷設場所を適切に選定する。</p>	—	①(TBP対策の追加)
36	49-6	49-6-10	<p>以上より、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の吐出圧力の要求値は、約0.71MPa以上とする。 なお、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから、その規格上要求される0.85MPa以上を吐出圧力の公称値とする。 図3に示すとおり、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)はポンプの回転数を変更することで、容量及び吐出圧力の要求値を満足することが可能である。</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】


- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
37	49-6	49-6-11	 <p>図3□可搬型代替注水ポンプ(A-2級)性能曲線</p>	—	①(TBP対策の追加)
38	49-6	49-6-11	<p>上記の吐出圧力の確認に加え、使用条件下においてポンプがキャビテーションを起こさないことを確認するため、NPSHの評価を行った。 なお、評価においては、接続口側の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の有効NPSHが必要NPSHを十分に上回るように、上流側の(淡水貯水池に近い側)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の運転条件を設定した。</p> <p><接続口側 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)> 図3より、ポンプの必要回転数は、代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)を用いる場合の必要流量(80m³/h)及び吐出圧力(0.71MPa)を満足する2400rpmとする。</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	49-6	49-6-12	 <p>図 4□可搬型代替注水ポンプ (A-2 級) NPSH</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
40	49-6	49-6-12,13	<p>2400rpmにおいて、必要流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は、図4の水頭に余裕を見込み、<input type="text"/>mとなる。</p> <p>有効NPSHは下記のとおり算出する。</p> $□□\text{有効NPSH} = H_a + H_n + H_s - H_1 - h_s \text{ ()}$ <p>□□□□ここで、H_a: 大気圧 <input type="text"/> □□□□□□H_n: 上流側可換型代替注水ポンプ(A-2級)吐出圧。 □□□□□□H_s: 吸込揚程(上流側可換型代替注水ポンプ(A-2級)との高低差)。 □□□□□□H_1: 吸込圧損。 □□□□□□h_s: 飽和蒸気圧水頭(0.8m(0.01MPa): 水源温度40℃と想定)。</p> <p>□□□□とする。</p> <p>□□□□式に以下の値を代入し、有効NPSHを算出すると有効NPSHは<input type="text"/>mとなる。 □□□□□□$H_a =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_n =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_s =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_1 =$ <input type="text"/></p> <p>なお、吸込圧損を考慮したとしても、有効NPSHが必要NPSHを十分に上回る<input type="text"/> <input type="text"/>となるよう、H_nを設定した。</p> <p>この時、有効NPSH(<input type="text"/>m) > 必要NPSH(<input type="text"/>m)となることから、ポンプは、キャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p> <p><中継用可換型代替注水ポンプ(A-2級)></p> <p>図3より、ポンプの必要回転数は、接続口側可換型代替注水ポンプ(A-2級)に必要な流量及び吐出圧力を満足する2200rpmとする。2200rpmにおいて、必要流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は、図4の水頭に余裕を見込み、<input type="text"/>mとなる。</p> <p>□□□□式に以下の値を代入し、有効NPSHを算出すると、有効NPSHは<input type="text"/>mとなる。 □□□□□□$H_a =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_n =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_s =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_1 =$ <input type="text"/></p> <p>なお、吸込圧損を考慮したとしても、有効NPSHが必要NPSHを十分に上回る<input type="text"/> <input type="text"/>となるよう、H_nを設定した。</p> <p>この時、有効NPSH(<input type="text"/>m) > 必要NPSH(<input type="text"/>m)となることから、ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p> <p><淡水貯水池側可換型代替注水ポンプ(A-2級)></p> <p>図3より、ポンプの必要回転数は、中継用可換型代替注水ポンプ(A-2級)に必要な流量及び吐出圧力を満足する2200rpmとなる。2200rpmにおいて、必要流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は、図4の水頭に余裕を見込み、<input type="text"/>mとなる。</p> <p>□□□□式に以下の値を代入し、有効NPSHを算出すると、有効NPSHは<input type="text"/>mとなる。 □□□□□□$H_a =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_n =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_s =$ <input type="text"/> □□□□□□$H_1 =$ <input type="text"/></p> <p>この時、有効NPSH(<input type="text"/>m) > 必要NPSH(<input type="text"/>m)となることから、ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
41	49-6	49-6-13	<p>なお, 大容量送水車(海水取水用)から直接, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)へ送水する場合については, 大容量送水車(海水取水用)の吐出圧が可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の吸込口に加わることにより, 上記NPSH評価のうち吸込揚程が淡水貯水池から取水する場合よりも大きくなることから, 淡水貯水池から取水する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)のNPSH評価に包絡される。</p> <p>3. 最高使用圧力 2.0MPa 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)に必要となる吐出圧力は0.71MPa以上であるが, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いた注水先への注水シナリオのうち, 吐出圧が最大となるのは格納容器下部注水系(可搬型)にて要求される吐出圧力(1.67MPa)であり, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の最高使用圧力は1.67MPaを上回る圧力として2.0MPaとする。</p> <p>4. 最高使用温度 60℃ 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の最高使用温度は, 水源である淡水の温度が常温程度であるため, 60℃とする。</p> <p>5. 原動機出力 100kW/台 低圧代替注水系(可搬型)として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の原動機については, 必要な性能(消防法に基づく技術上の規格)を発揮する出力を有するものとして100kWとする。</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
42	49-6	49-6-14	<p>ホースの湾曲による圧力損失に対する考え方について</p> <p>ホースの圧力損失の評価については、実際に配備するホースのメーカーが様々であること、また、今後のホース調達先や年式等の種別による個体差等を考慮し、最も一般的な仕様である、『新・消防機器便覧「消防水力学」(東京消防庁監修, 東京消防機器研究会編著)』における理論値を使用する。</p>	—	①(TBP対策の追加)
43	49-6	49-6-14	<p>ホースの湾曲による圧力損失への影響について</p> <p>図1 □想定されるホースの引き回しパターン (イメージ)</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
44	49-6	49-6-14.15	<p><1湾曲(90°)あたりの圧力損失h_c> $h_c = f_c \times v^2 / (2g)$</p> <p>○損失ヘッド$f_c$ ホースの湾曲による損失ヘッドは新・消防便覧に記載されている曲率半径1000mmにおける90°湾曲時の損失ヘッドである $f_c = 0.068 \dots [MPa](i)$ を引用する。</p> <p>○流速v $v = Q/A$ ・Q=流量について 流量は各使用条件に合わせた値を用いて評価を行う。 ここでは, 例示として, 90[m³/h]の場合の計算を示す。 ホース2ラインで送水した場合, 1ラインあたり $45[m^3/h] = 0.75[m^3/min]$となる。</p> <p>・$A$=管路の断面積について $A = \pi r^2$であることから, 75Aのホースを使用する場合 $r = 0.038[m]$となる。よって, $A = 0.00454[m^2]$</p> <p>・流速$v = Q/A$より $v = 165.1982[m/min]$ $= 2.7533[m/s] \dots(ii)$</p> <p>○上記(i)(ii)より, 1湾曲(90°)あたりの圧力損失を求める。 $h_c = f_c \times v^2 / (2g)$より, 重力加速度$9.8[m/s^2]$を用いて $h_c = 0.068 \times (2.75332 / (2 \times 9.8)) \times 3$ $= 0.079[m]$</p>	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

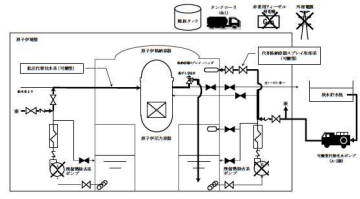
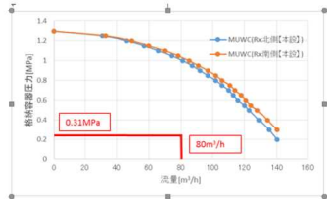
- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由				
45	49-6	49-6-16	<p>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)の同時使用について</p> <p>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)は, 低圧代替注水系(可搬型)による原子炉圧力容器への低圧代替注水と同時に進行することを想定している。全交流動力電源喪失+主蒸気逃がし安全弁閉固着のシナリオ時に代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)を使用する場合において, 原子炉停止後約9時間後から80m³/hで原子炉格納容器内にスプレイし, 同時に低圧代替注水系(可搬型)により40m³/hで原子炉圧力容器への低圧代替注水することで重大事故等を防止できることが評価結果より確認されている。</p> <p>したがって, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)は表1のとおり同時に注水することを考慮している。系統図を図1~2に示すが, いずれの系統も可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いるため, 表1で示すとおり代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)を同時に実施する能力があることを評価により確認する。評価に当たっては, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)を同時に使用する全交流動力電源喪失+主蒸気逃がし安全弁閉固着のシナリオの条件を用いる。したがって, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)80m³/hと低圧代替注水系(可搬型)の同時注水の成立性を確認するために, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の特性と代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)及び低圧代替注水系(可搬型)の系統圧力損失を考慮して注水特性評価を実施した。注水特性評価結果は図3のとおりであり, 原子炉格納容器圧力が1Pd(310kPa[gage])及び原子炉圧力0.8MPaの場合に代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)の流量が80m³/h, 低圧代替注水系(可搬型)は40m³/hで原子炉圧力容器へ注水できることが確認できた。</p> <p>よって, 代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)と低圧代替注水系(可搬型)の同時注水について, 各々の必要流量が確保可能であることを確認した。</p>	—	①(TBP対策の追加)				
46	49-6	49-6-16	<p>表1□代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型), 低圧代替注水系(可搬型)の必要流量</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)</td> <td>低圧代替注水系(可搬型)</td> </tr> <tr> <td>80m³/h</td> <td>40m³/h</td> </tr> </table>	代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)	低圧代替注水系(可搬型)	80m ³ /h	40m ³ /h	—	①(TBP対策の追加)
代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)	低圧代替注水系(可搬型)								
80m ³ /h	40m ³ /h								

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	49-6	49-6-17	 <p>図1 「全交流動力電源喪失（外部電源喪失+DG喪失）+SRV再閉失敗」の重大事故等対策の概略系統図 (原子炉注水及び原子炉格納容器冷却)</p>	—	①(TBP対策の追加)
48	49-6	49-6-17	 <p>図2 代替格納容器スプレイ注水特性（低圧代替注水40m³/h同時注水時）</p>	—	①(TBP対策の追加)
49	49-7	49-7-1	図1 接続図(淡水貯水池から接続口)	—	①(TBP対策の追加)
50	49-7	49-7-2	図2 接続図(防火水槽から接続口)	—	①(TBP対策の追加)
51	49-7	49-7-3	図3 接続図(建屋内接続 6号炉原子炉建屋地上1階)	—	①(TBP対策の追加)
52	49-7	49-7-4	図4 接続図(建屋内接続 6号炉原子炉建屋地上2階)	—	①(TBP対策の追加)
53	49-7	49-7-5	図5 接続図(建屋内接続 7号炉原子炉建屋地上1階)	—	①(TBP対策の追加)
54	49-7	49-7-6	図6 接続図(建屋内接続 7号炉原子炉建屋地上2階)	—	①(TBP対策の追加)
55	49-8	49-8-1	図1 保管場所図(位置的分散)	—	①(TBP対策の追加)
56	49-8	49-8-2	図2 保管場所図(機器配置)	—	①(TBP対策の追加)
57	49-8	49-8-3	図3 保管場所図(ホース保管場所 6号炉原子炉建屋地上1階)	—	①(TBP対策の追加)
58	49-8	49-8-4	図4 保管場所図(ホース保管場所 7号炉原子炉建屋地上1階)	—	①(TBP対策の追加)
59	49-9	49-9-1	図1 保管場所及びアクセスルート図	—	①(TBP対策の追加)
60	49-9	49-9-2	図2 地震・津波発生時のアクセスルート図	—	①(TBP対策の追加)
61	49-9	49-9-3	図3 森林火災発生時のアクセスルート図	—	①(TBP対策の追加)
62	49-9	49-9-4	図4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	—	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

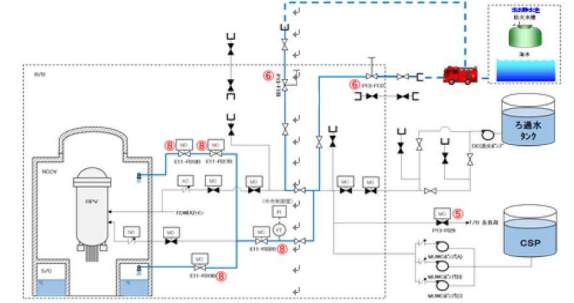
【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
63	49-10	49-10-2	—	<p>② 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)による代替格納容器スプレイ冷却の実施</p> <p>設計基準事故対処設備である残留熱除去系ポンプ(格納容器スプレイ冷却モード), 復水移送ポンプが喪失した場合, 炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため, 自主対策設備として可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いた格納容器スプレイ手段を整備している。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用いた格納容器スプレイ手段については, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)を用い, 残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード), 代替格納容器スプレイ冷却系とは異なる防火水槽又は淡水貯水池を水源として復水補給水系, 残留熱除去系を通じて格納容器スプレイを行う手順を整備している。</p>	①(TBP対策の追加)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】
 ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由																																																																																																																																																																																																																																																								
64	49-10	49-10-2	—	 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>操作場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>P13-MO-F029</td> <td>復水補給水系タンク種別負荷遮断弁</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>P13-F137</td> <td>注水弁(弁名称未定)</td> <td>原子炉建屋1階(管理区域)</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>P13-F133</td> <td>注水弁(弁名称未定)</td> <td>原子炉建屋2階(管理区域)</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>E11-MO-F032B</td> <td>蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁(B)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>E11-MO-F017B</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁(B)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>E11-MO-F018B</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁(B)</td> <td>中央制御室</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>E11-MO-F019B</td> <td>蒸留熱除去系S/PSライン注入隔離弁(B)</td> <td>中央制御室</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">図2 □消防車による格納容器スプレー□手順の概要図</p>	操作手順	弁番号	弁名称	操作場所	⑤	P13-MO-F029	復水補給水系タンク種別負荷遮断弁	中央制御室	⑥	P13-F137	注水弁(弁名称未定)	原子炉建屋1階(管理区域)	⑥	P13-F133	注水弁(弁名称未定)	原子炉建屋2階(管理区域)	⑧	E11-MO-F032B	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁(B)	中央制御室	⑧	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁(B)	中央制御室	⑧	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁(B)	中央制御室	⑧	E11-MO-F019B	蒸留熱除去系S/PSライン注入隔離弁(B)	中央制御室	①(TBP対策の追加)																																																																																																																																																																																																																								
操作手順	弁番号	弁名称	操作場所																																																																																																																																																																																																																																																										
⑤	P13-MO-F029	復水補給水系タンク種別負荷遮断弁	中央制御室																																																																																																																																																																																																																																																										
⑥	P13-F137	注水弁(弁名称未定)	原子炉建屋1階(管理区域)																																																																																																																																																																																																																																																										
⑥	P13-F133	注水弁(弁名称未定)	原子炉建屋2階(管理区域)																																																																																																																																																																																																																																																										
⑧	E11-MO-F032B	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁(B)	中央制御室																																																																																																																																																																																																																																																										
⑧	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁(B)	中央制御室																																																																																																																																																																																																																																																										
⑧	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁(B)	中央制御室																																																																																																																																																																																																																																																										
⑧	E11-MO-F019B	蒸留熱除去系S/PSライン注入隔離弁(B)	中央制御室																																																																																																																																																																																																																																																										
65	49-11	49-11-1	<p style="text-align: center;">表1 各号炉の弁名称及び弁番号</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">第一名称</th> <th colspan="2">1号炉</th> <th colspan="2">2号炉</th> </tr> <tr> <th>弁名称</th> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>弁番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)</td> <td>E11-MO-F017B</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)</td> <td>E11-MO-F017B</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)</td> <td>E11-MO-F018B</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)</td> <td>E11-MO-F018B</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系洗浄止め弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)</td> <td>E11-MO-F032B</td> <td>蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)</td> <td>E11-MO-F032B</td> </tr> <tr> <td>タービン凝縮器冷却水配管</td> <td>タービン凝縮器冷却水配管</td> <td>F13-MO-F150</td> <td>蒸水補給系タービン凝縮器冷却水配管</td> <td>F13-MO-F150</td> </tr> <tr> <td>復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第一止め弁</td> <td>F13-F011</td> <td>蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁</td> <td>F13-F019</td> </tr> <tr> <td>復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第二止め弁</td> <td>F13-F012</td> <td>蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁</td> <td>F13-F020</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)</td> <td>E11-MO-F010B</td> <td>蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)</td> <td>E11-MO-F010B</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F134</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F136</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F135</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F137</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F136</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F138</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F137</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F139</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F138</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F140</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F139</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F141</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F140</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F142</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F141</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F143</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F142</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F144</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F143</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F145</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F144</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F146</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F145</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F147</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F146</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F148</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F147</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F149</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F148</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F150</td> </tr> <tr> <td>復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>原子炉建屋外部蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>F13-F065</td> <td>蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>F13-F062</td> </tr> </tbody> </table>	第一名称	1号炉		2号炉		弁名称	弁番号	弁名称	弁番号	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系洗浄止め弁 (B)	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B	タービン凝縮器冷却水配管	タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150	蒸水補給系タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150	復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第一止め弁	F13-F011	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F019	復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第二止め弁	F13-F012	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F020	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F134	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F136	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F135	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F137	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F136	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F138	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F137	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F139	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F138	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F140	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F139	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F141	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F140	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F142	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F141	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F143	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F142	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F144	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F143	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F145	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F144	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F146	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F145	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F147	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F146	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F148	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F147	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F149	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F148	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F150	復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	原子炉建屋外部蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F065	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F062	<p style="text-align: center;">表1 □各号炉の弁名称及び弁番号</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">第一名称</th> <th colspan="2">1号炉</th> <th colspan="2">2号炉</th> </tr> <tr> <th>弁名称</th> <th>弁番号</th> <th>弁名称</th> <th>弁番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)</td> <td>E11-MO-F017B</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)</td> <td>E11-MO-F017B</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)</td> <td>E11-MO-F018B</td> <td>蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)</td> <td>E11-MO-F018B</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系洗浄止め弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)</td> <td>E11-MO-F032B</td> <td>蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)</td> <td>E11-MO-F032B</td> </tr> <tr> <td>タービン凝縮器冷却水配管</td> <td>タービン凝縮器冷却水配管</td> <td>F13-MO-F150</td> <td>蒸水補給系タービン凝縮器冷却水配管</td> <td>F13-MO-F150</td> </tr> <tr> <td>復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第一止め弁</td> <td>F13-F011</td> <td>蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁</td> <td>F13-F019</td> </tr> <tr> <td>復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第二止め弁</td> <td>F13-F012</td> <td>蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁</td> <td>F13-F020</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)</td> <td>E11-MO-F010B</td> <td>蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)</td> <td>E11-MO-F010B</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F134</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F136</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F135</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F137</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F136</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F138</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F137</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F139</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F138</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F140</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F139</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F141</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F140</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F142</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F141</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F143</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F142</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F144</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F143</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F145</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F144</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F146</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F145</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F147</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F146</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)</td> <td>F13-F148</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F147</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)</td> <td>F13-F149</td> </tr> <tr> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F148</td> <td>蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)</td> <td>F13-F150</td> </tr> <tr> <td>復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>原子炉建屋外部蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>F13-F065</td> <td>蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁</td> <td>F13-F062</td> </tr> </tbody> </table>	第一名称	1号炉		2号炉		弁名称	弁番号	弁名称	弁番号	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系洗浄止め弁 (B)	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B	タービン凝縮器冷却水配管	タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150	蒸水補給系タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150	復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第一止め弁	F13-F011	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F019	復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第二止め弁	F13-F012	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F020	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F134	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F136	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F135	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F137	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F136	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F138	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F137	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F139	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F138	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F140	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F139	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F141	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F140	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F142	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F141	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F143	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F142	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F144	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F143	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F145	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F144	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F146	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F145	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F147	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F146	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F148	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F147	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F149	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F148	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F150	復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	原子炉建屋外部蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F065	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F062	①(TBP対策の追加)
第一名称	1号炉		2号炉																																																																																																																																																																																																																																																										
	弁名称	弁番号	弁名称	弁番号																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系洗浄止め弁 (B)	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B																																																																																																																																																																																																																																																									
タービン凝縮器冷却水配管	タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150	蒸水補給系タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150																																																																																																																																																																																																																																																									
復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第一止め弁	F13-F011	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F019																																																																																																																																																																																																																																																									
復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第二止め弁	F13-F012	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F020																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F134	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F136																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F135	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F137																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F136	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F138																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F137	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F139																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F138	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F140																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F139	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F141																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F140	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F142																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F141	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F143																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F142	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F144																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F143	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F145																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F144	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F146																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F145	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F147																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F146	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F148																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F147	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F149																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F148	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F150																																																																																																																																																																																																																																																									
復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	原子炉建屋外部蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F065	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F062																																																																																																																																																																																																																																																									
第一名称	1号炉		2号炉																																																																																																																																																																																																																																																										
	弁名称	弁番号	弁名称	弁番号																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B	蒸留熱除去系格納容器冷却流量調節弁 (B)	E11-MO-F017B																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B	蒸留熱除去系格納容器冷却ライン隔離弁 (B)	E11-MO-F018B																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系洗浄止め弁 (B)	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B	蒸留熱除去系注入ライン洗浄止め弁 (B)	E11-MO-F032B																																																																																																																																																																																																																																																									
タービン凝縮器冷却水配管	タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150	蒸水補給系タービン凝縮器冷却水配管	F13-MO-F150																																																																																																																																																																																																																																																									
復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第一止め弁	F13-F011	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F019																																																																																																																																																																																																																																																									
復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	蒸水貯留槽排気弁, 非蒸気用給水管遮断ライン第二止め弁	F13-F012	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断管二次止め弁	F13-F020																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B	蒸留熱除去系プレッシャ・チャンバ・ブルームスプレー(注入設備)弁 (B)	E11-MO-F010B																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F134	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F136																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F135	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F137																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F136	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F138																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F137	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F139																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F138	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F140																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F139	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F141																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F140	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F142																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F141	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F143																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F142	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F144																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F143	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F145																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F144	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F146																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F145	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F147																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F146	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第一止め弁)	F13-F148																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F147	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第二止め弁)	F13-F149																																																																																																																																																																																																																																																									
蒸留熱除去系(1)外部隔離弁 (B)	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F148	蒸留熱除去系(1)外部隔離弁(第三止め弁)	F13-F150																																																																																																																																																																																																																																																									
復水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	原子炉建屋外部蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F065	蒸水補給系蒸気/非蒸気用遮断二次止め弁	F13-F062																																																																																																																																																																																																																																																									

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 50条 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	50-1	50-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
2	50-1	50-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
3	50-1	50-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
4	50-1	50-1-4	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
5	50-1	50-1-5	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(常設)	⑤
6	50-1	50-1-6	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	⑤
7	50-1	50-1-7	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性一覧(可搬型)	⑤
8	50-2	50-2-1	図50-2-1 格納容器圧力逃がし装置 単線結線図(6号炉)	図50-2-1 格納容器圧力逃がし装置及び代替格納容器圧力逃がし装置 単線結線図(6号炉)	②(代替循環冷却系設置に伴う代替格納容器圧力逃がし装置の記載削除による修正, 第二ガスタービン発電機の自主化に伴う修正)
9	50-2	50-2-2	図50-2-2 格納容器圧力逃がし装置 単線結線図(7号炉)	図50-2-2 格納容器圧力逃がし装置及び代替格納容器圧力逃がし装置 単線結線図(7号炉)	②(代替循環冷却系設置に伴う代替格納容器圧力逃がし装置の記載削除による修正, 第二ガスタービン発電機の自主化に伴う修正)
10	50-2	50-2-3	図50-2-3 代替循環冷却の単線結線図(代替交流電源設備から非常用電気設備経由で電源供給時)	図50-2-3 代替循環冷却の単線結線図(代替交流電源設備から非常用電気設備経由で電源供給時)	⑤
11	50-2	50-2-4	図50-2-4 代替循環冷却の単線結線図(代替交流電源設備から代替所内電気設備経由で電源供給時)	図50-2-4 代替循環冷却の単線結線図(代替交流電源設備から代替所内電気設備経由で電源供給時)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
12	50-2	50-2-5	図50-2-5 代替原子炉補機冷却系 単線結線図(6号炉(7号炉も同じ))	—	⑤
13	50-3	50-3-1	表50-3-1 格納容器逃がし装置 主要設備と計装設備の関係	表50-3-1 格納容器逃がし装置 主要設備と計装設備の関係	①(遠隔空気駆動弁操作ポンプの追加) ⑤
14	50-3	50-3-2	図50-3-1 格納容器圧力逃がし装置 計測制御系統図	図50-3-1 格納容器圧力逃がし装置 計測制御系統図	⑤
15	50-3	50-3-2	表50-3-2 格納容器逃がし装置の計測設備主要仕様	表50-3-2 格納容器逃がし装置の計測設備主要仕様	⑤
16	50-3	50-3-3	水位の検出信号は, 差圧式水位検出器からの電流信号を, 中央制御室の演算装置を経由し, 指示部にて水位信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置水位を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-2 「フィルタ装置水位の概略構成図」参照。)	フィルタ装置水位は, 重大事故等対処設備の機能を有しており, フィルタ装置水位の検出信号は, 差圧式水位検出器にて差圧を検出し, 演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置水位を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-3,4 「フィルタ装置水位の概略構成図」参照。)	⑤
17	50-3	50-3-3	図50-3-2 フィルタ装置水位の概略構成図	図50-3-3 フィルタ装置水位の概略構成図	⑤
18	50-3	50-3-3	フィルタ装置水位は, 重大事故等対処設備の機能を有しており, フィルタ装置水位の検出信号は, 差圧式水位検出器からの電流信号を, 中央制御室の指示部にて水位信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置水位を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-3 「フィルタ装置水位の概略構成図」参照。)	—	⑤
19	50-3	50-3-3	図50-3-3 フィルタ装置水位の概略構成図	図50-3-4 フィルタ装置水位の概略構成図	⑤
20	50-3	50-3-4	フィルタ装置入口圧力は, 重大事故等対処設備の機能を有しており, フィルタ装置入口圧力の検出信号は, 弾性圧力検出器からの電流信号を, 中央制御室の指示部にて圧力信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置入口圧力を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-4 「フィルタ装置入口圧力の概略構成図」参照。)	フィルタ装置入口圧力は, 重大事故等対処設備の機能を有しており, フィルタ装置入口圧力の検出信号は, 弾性圧力検出器にて圧力を検出し, 演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置入口圧力を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-5 「フィルタ装置入口圧力の概略構成図」参照。)	⑤
21	50-3	50-3-4	図50-3-4 フィルタ装置入口圧力の概略構成図	図50-3-5 フィルタ装置入口圧力の概略構成図	⑤
22	50-3	50-3-4	フィルタ装置出口圧力の検出信号は, 弾性圧力検出器からの電流信号を, 中央制御室の指示部にて圧力信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置出口圧力を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-5 「フィルタ装置出口圧力の概略構成図」参照。)	フィルタ装置出口圧力の検出信号は, 弾性圧力検出器にて圧力を検出し, 演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置出口圧力を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-6 「フィルタ装置出口圧力の概略構成図」参照。)	⑤
23	50-3	50-3-4	図50-3-5 フィルタ装置出口圧力の概略構成図	図50-3-6 フィルタ装置出口圧力の概略構成図	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
24	50-3	50-3-5	フィルタ装置出口配管圧力は、機械式圧力検出器にて圧力を検出し、フィルタ装置出口配管圧力を現場(原子炉建屋4階屋上)に指示する。(図50-3-6「フィルタ装置出口配管圧力の概略構成図」参照。)	フィルタ装置出口配管圧力の検出信号は、機械式圧力検出器にて圧力を検出し、フィルタ装置出口配管圧力を現場(原子炉建屋4階屋上)に指示する。(図50-3-7「フィルタ装置出口配管圧力の概略構成図」参照。)	⑤
25	50-3	50-3-5	図50-3-6 フィルタ装置出口配管圧力の概略構成図	図50-3-7 フィルタ装置出口配管圧力の概略構成図	⑤
26	50-3	50-3-5	フィルタ装置出口放射線モニタは、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置出口放射線モニタの検出信号は、電離箱からの電流信号を、前置増幅器で増幅し、中央制御室の指示部にて放射線量率信号に変換する処理を行った後、放射線量率を中央制御室に指示し、記録する。(図50-3-7「フィルタ装置出口放射線モニタの概略構成図」参照。)	フィルタ装置出口放射線モニタは、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置出口放射線モニタの検出信号は、電離箱にて線量当量率を電気信号に変換した後、前置増幅器で電気信号を増幅し、演算装置にて線量当量率信号に変換する処理を行った後、線量当量率を中央制御室に指示し、記録する。(図50-3-8「フィルタ装置出口放射線モニタの概略構成図」参照。)	⑤
27	50-3	50-3-5	図50-3-7 フィルタ装置出口放射線モニタの概略構成図	図50-3-8 フィルタ装置出口放射線モニタの概略構成図	⑤
28	50-3	50-3-6	フィルタ装置水素濃度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置水素濃度の検出信号は、熱伝導式水素検出器からの電流信号を前置増幅器にて増幅し、中央制御室の指示部にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、フィルタ装置水素濃度を中央制御室に指示し、記録する。(図50-3-8「フィルタ装置水素濃度 システム概要図」及び、図50-3-9「フィルタ装置水素濃度の概略構成図」参照。)	フィルタ装置水素濃度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置水素濃度の検出信号は、熱伝導式水素検出器にて水素濃度を検出し、演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後、フィルタ装置水素濃度を中央制御室に指示し、記録する。(図50-3-9「フィルタ装置水素濃度 システム概要図」及び、図50-3-10「フィルタ装置水素濃度の概略構成図」参照。)	⑤
29	50-3	50-3-6	図50-3-8 フィルタ装置水素濃度 システム概要図(出口配管側も同様)	図50-3-9 フィルタ装置水素濃度 システム概要図(出口配管側も同様)	⑤
30	50-3	50-3-6	図50-3-9 フィルタ装置水素濃度の概略構成図	図50-3-10 フィルタ装置水素濃度の概略構成図	⑤
31	50-3	50-3-7	フィルタ装置ドレン流量の検出信号は、電磁流量検出器からの電気信号を、フィルタベント現場制御盤の指示部にて流量信号へ変換する処理を行った後、フィルタ装置ドレン流量をフィルタベント現場制御盤(フィルタベント遮蔽壁附室内)に指示する。(図50-3-10「フィルタ装置ドレン流量の概略構成図」参照。)	フィルタ装置ドレン流量の検出信号は、電磁流量計検出器にて流量を検出し、演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後、フィルタ装置ドレン流量を現場(フィルタベント遮蔽壁附室内)に指示する。(図50-3-11「フィルタ装置ドレン流量の概略構成図」参照。)	⑤
32	50-3	50-3-7	図50-3-10 フィルタ装置ドレン流量の概略構成図	図50-3-11 フィルタ装置ドレン流量の概略構成図	⑤
33	50-3	50-3-7	図50-3-11 フィルタ装置スクラバ水pH システム概要図	図50-3-9 フィルタ装置水素濃度 システム概要図(出口配管側も同様)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
34	50-3	50-3-7	フィルタ装置スクラバ水pHは, 重大事故等対処設備の機能を有しており, pH検出器からの電流信号を, 中央制御室の指示部にてpH信号に変換する処理を行った後, フィルタ装置スクラバ水pHを中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-11 「フィルタ装置スクラバ水pHの概略構成図」及び, 図50-3-12 「フィルタ装置スクラバ水pHの概略構成図」参照。)	フィルタ装置スクラバ水pHは, 重大事故等対処設備の機能を有しており, pH検出器にてpHを検出し, 演算装置にて電気信号に変換する処理を行った後, フィルタ装置スクラバ水pHを中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-12 「フィルタ装置スクラバ水pHの概略構成図」及び, 図50-3-13 「フィルタ装置スクラバ水pHの概略構成図」参照。)	⑤
35	50-3	50-3-7	図50-3-12 フィルタ装置スクラバ水pHの概略構成図	図50-3-13 フィルタ装置スクラバ水pHの概略構成図	⑤
36	50-3	50-3-8	フィルタ装置金属フィルタ差圧は, 重大事故等対処設備の機能を有しており, フィルタ装置金属フィルタ差圧の検出信号は, 差圧式圧力検出器からの電流信号を, 中央制御室の指示部にて差圧信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置金属フィルタ差圧を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-13 「フィルタ装置金属フィルタ差圧の概略構成図」参照。)	フィルタ装置金属フィルタ差圧は, 重大事故等対処設備の機能を有しており, フィルタ装置金属フィルタ差圧の検出信号は, 差圧式圧力検出器にてフィルタ装置金属フィルタ差圧を検出し, 演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後, フィルタ装置金属フィルタ差圧を中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-14 「フィルタ装置金属フィルタ差圧の概略構成図」参照。)	⑤
37	50-3	50-3-8	図50-3-13 フィルタ装置金属フィルタ差圧の概略構成図	図50-3-14 フィルタ装置金属フィルタ差圧の概略構成図	⑤
38	50-3	50-3-8	ドレンタンク水位の検出信号は, フロート式水位検出器からの水位状態(ON-OFF信号)を, 中央制御室に指示し, 記録する。(図50-3-14 「ドレンタンク水位の概略構成図」参照。)	ドレンタンク水位の検出信号は, フロート式水位検出器にて所定の水位設定値に達した場合に, フロート式水位検出器の接点が動作することで水位を電気信号へ変換し, 中央制御室に表示し, 記録する。(図50-3-15 「ドレンタンク水位の概略構成図」参照。)	⑤
39	50-3	50-3-8	図50-3-14 ドレンタンク水位の概略構成図	図50-3-15 ドレンタンク水位の概略構成図	⑤
40	50-4	50-4-7	図50-4-9 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)1/4	図50-4-9 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)1/3	⑤
41	50-4	50-4-8	図50-4-10 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)2/4	図50-4-10 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)2/3	⑤
42	50-4	50-4-9	図50-4-11 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)3/4	図50-4-11 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)3/3	⑤
43	50-4	50-4-10	図50-4-12 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(6号炉)4/4	—	⑤
44	50-4	50-4-11	図50-4-13 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉)1/4	図50-4-12 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉)1/3	⑤
45	50-4	50-4-12	図50-4-14 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉)2/4	図50-4-12 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉)1/3	⑤
46	50-4	50-4-13	図50-4-15 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉)3/4	図50-4-13 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉)2/3	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	50-4	50-4-14	図50-4-16 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉) 4/4	図50-4-14 格納容器圧力逃がし装置の弁操作位置図(7号炉) 3/3	⑤
48	50-4	50-4-19	図50-4-21 機器配置図(7号炉原子炉建屋地下3階)	図50-4-19 機器配置図(7号炉原子炉建屋地下3階)	⑤
49	50-4	50-4-34	図50-4-36 機器配置図(6号炉タービン建屋地上1階)	図50-4-35 機器配置図(6号炉タービン建屋地下1階)	⑤
50	50-4	50-4-39	図50-4-41 機器配置図(6/7号炉コントロール建屋地下2階)	—	⑤
51	50-5	50-5-1	図50-5-1 格納容器圧力逃がし装置 概略構成図	図50-5-1 格納容器圧力逃がし装置 概略構成図	①(二次隔離弁バイパス弁の電動化, 遠隔空気駆動弁操作設備のSA設備化)
52	50-5	50-5-3	図50-5-2 代替循環冷却系 系統概要図(6号炉)	図50-5-3 代替循環冷却系 系統概要図(6号炉)	⑤
53	50-5	50-5-5	図50-5-3 代替循環冷却系 系統概要図(7号炉)	図50-5-4 代替循環冷却系 系統概要図(7号炉)	⑤
54	50-5	50-5-8	表50-5-4 代替原子炉補機冷却系 機器リスト(6号炉)	表50-5-5 代替原子炉補機冷却系 機器リスト(6号炉)	⑤
55	50-5	50-5-10	表50-5-5 代替原子炉補機冷却系 機器リスト(7号炉)	表50-5-6 代替原子炉補機冷却系 機器リスト(7号炉)	⑤
56	50-6	50-6-5	図50-6-10 可搬型窒素供給装置構造図	図50-6-10 可搬型窒素供給装置構造図	⑤
57	50-6	50-6-8	図50-6-13 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(熱交換器ユニット(その1))	図50-6-13 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(6号炉)	⑤
58	50-6	50-6-9	図50-6-14 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(その1)	図50-6-14 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(6号炉)	⑤
59	50-6	50-6-11	図50-6-16 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(熱交換器ユニット(その2))	図50-6-16 代替原子炉補機冷却系熱交換器図(7号炉)	⑤
60	50-6	50-6-12	図50-6-17 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(その2)	図50-6-17 代替原子炉補機冷却水ポンプ図(7号炉)	⑤
61	50-6	50-6-14	図50-6-19 代替循環冷却系 弁動作試験	図50-6-19 代替循環冷却系 弁動作試験	⑤
62	50-6	50-6-15	図50-6-20 代替循環冷却系 系統性能検査(6号炉)	図50-6-20 代替原子炉補機冷却系 系統性能検査(6号炉)	⑤
63	50-6	50-6-16	図50-6-21 代替循環冷却系 系統性能検査(7号炉)	図50-6-21 代替原子炉補機冷却系 系統性能検査(7号炉)	⑤
64	50-6	50-6-17	図50-6-22 代替原子炉補機冷却系 系統性能検査(6号炉)	—	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
65	50-6	50-6-18	図50-6-23 代替原子炉補機冷却系 系統性能検査(7号炉)	—	⑤
66	50-7	50-7-5	今, フィルタ装置に流入する無機よう素量は, 0.53[mol]※2と評価している。そのため, この無機よう素を捕捉するため, 水酸化物イオン1.06[mol]が消費される。	今, フィルタ装置に流入する無機よう素量は, 5.22[mol]※2と評価している。そのため, この無機よう素を捕捉するため, 水酸化物イオン10.44[mol]が消費される。	③(無機よう素量変更に伴う再評価)
67	50-7	50-7-5	③ ベントガスに含まれる水蒸気の凝縮によるスクラバ水量の増加に伴う希釈 待機時のフィルタ装置には, スクラバノズル上端から1[m]まで水を張っており, 水量は23766[l]である。ベントガスの凝縮により, スクラバ水の最大水位はスクラバノズル上端から2.2[m]であることから, 水量は38846[l]へ増加する。そのため, スクラバの薬液濃度は23766/38846=0.61倍に希釈される。	③ ベントガスに含まれる水蒸気の凝縮によるスクラバ水量の増加に伴う希釈 待機時のフィルタ装置には, スクラバノズル上端から1[m]まで水を張っており, 水量は23670[l]である。ベントガスの凝縮により, スクラバ水の最大水位はスクラバノズル上端から2.2[m]であることから, 水量は38750[l]へ増加する。そのため, スクラバの薬液濃度は23670/38750=0.61倍に希釈される。	⑤
68	50-7	50-7-5	ここで, フィルタ装置待機時のスクラバ水薬液濃度は [] wt% であり, スクラバ水の初期量は 23766 [l] であるため, 添加する NaOH の量は 23766 × [] [kg] = [] [mol] となる。	ここで, フィルタ装置待機時のスクラバ水薬液濃度を [] wt% であり, スクラバ水の初期量は 23670[l] であるため, 添加する NaOH の量は 23670 × [] [kg] = [] [mol] となる。	⑤
69	50-7	50-7-5	上記の①及び②による水酸化物イオンの消費量は 330+1.06=331.06[mol] であるため, これらの反応後, 水酸化物イオンの残存量は [] 331.06 [mol] となる。一方, ③の最大水位におけるスクラバ水の量は 38846 [l] である。そのため, 水酸化物イオン濃度は [] /38846 [mol/l] となり, pH は [] となる。	上記の①及び②による水酸化物イオンの消費量は 330+10.44=340.44[mol] であるため, これらの反応後, 水酸化物イオンの残存量は [] 340.44 [mol] となる。一方, ③の最大水位におけるスクラバ水の量は 38750[l] である。そのため, 水酸化物イオン濃度は [] /38750 [mol/l] となり, pH は [] となる。	③(無機よう素量変更に伴う再評価)
70	50-7	50-7-7	表50-7-1 エアロゾル流入量	表50-7-1 エアロゾル流入量	③(Te2,UO2放出量評価の変更に伴う量再評価)
71	50-7	50-7-8	表50-7-2 水スクラバオーバーオールDF	表50-7-2 水スクラバオーバーオールDF	③(Te2,UO2放出量評価の変更に伴う量再評価)
72	50-7	50-7-9	表50-7-3 フィルタ装置金属フィルタに流入するエアロゾル量	表50-7-3 フィルタ装置金属フィルタに流入するエアロゾル量	③(Te2,UO2放出量評価の変更に伴う量再評価)
73	50-7	50-7-11	表50-7-5 実機運転範囲	表50-7-5 実機運転範囲	⑤
74	50-7	50-7-12	[]	[]	⑤
75	50-7	50-7-18	以上より, 代替循環冷却系として使用する復水移送ポンプの原動機出力の軸動力は, 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの原動機出力の公称値55kW/台以下であることから, 代替循環冷却系として使用する場合の原動機出力は, 設計基準対象施設として使用する場合と同様の55kW/台とする。	以上より, 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの原動機出力の公称値は55kWであり, 代替循環冷却系として使用する復水移送ポンプの揚程はこの内数であることから同様の55kWとする。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
76	50-7	50-7-19	容量(設計熱交換量) MW 約8.1(注1, 2)	容量(設計熱交換量) MW 約8(注1, 2)	⑤
77	50-7	50-7-19	設計基準対象施設としての熱交換量は、海水温度が30℃、サブプレッション・チェンバ・プール水温が52℃の場合において約8.1MWであるが、重大事故等対処設備として想定する熱交換量は、サブプレッション・チェンバ・プール水温が約160℃、残留熱除去系熱交換器への通水流量が、サブプレッション・チェンバ・プール側の流量約190m ³ /h、原子炉補機冷却系側の流量約470m ³ /hの場合において約17MWである。設計基準対象施設として想定する条件での必要伝熱面積は6号炉約□m ² 、7号炉約□m ² に対し、重大事故等対処設備として想定する条件での必要伝熱面積は6号炉約□m ² 、7号炉約□m ² となるため、残留熱除去系熱交換器の設計熱交換量は設計基準対象施設としての熱交換量約8.1MWとし、要求伝熱面積としては設計基準対象施設として使用する場合と同様、6号炉は約□m ² 、7号炉は約□m ² とする。	設計基準対象施設としての熱交換量は、海水温度が30℃、サブプレッション・チェンバ・プール水温が52℃の場合において約8MWであるが、重大事故等対処設備として想定する熱交換量は、サブプレッション・チェンバ・プール水温が約160℃、残留熱除去系熱交換器への通水流量が、サブプレッション・チェンバ・プール側の流量約190m ³ /h、原子炉補機冷却系側の流量約470m ³ /hの場合において約17MWである。設計基準対象施設として想定する条件での必要伝熱面積は6号炉約□m ² 、7号炉約□m ² に対し、重大事故等対処設備として想定する条件での必要伝熱面積は6号炉約□m ² 、7号炉約□m ² となるため、残留熱除去系熱交換器の設計熱交換量は設計基準対象施設としての熱交換量約8MWとし、要求伝熱面積としては設計基準対象施設として想定する条件での必要伝熱面積に余裕を見込み、6号炉は約□m ² 、7号炉は約□m ² とする。	⑤
78	50-7	50-7-26	・(参考) 熱交換器ユニット伝熱面積 : 約□m ²	・(参考) 熱交換器ユニット伝熱面積 : □m ²	⑤
79	50-7	50-7-27	全揚程 : m □以上(注1)(75(注2))	全揚程 : m □以上(注1)(75(注2))	⑤
80	50-7	50-7-28	配管・機器圧力損失 : 約□m	配管・機器圧力損失 : 約□m	⑤
81	50-7	50-7-30	全揚程 : m □以上(注1)(75(注2))	全揚程 : m □以上(注1)(75(注2))	⑤
82	50-7	50-7-31	配管・機器圧力損失 : 約□m	配管・機器圧力損失 : 約□m	⑤
83	50-7	50-7-33	吐出圧力 MPa[gage] 0.46以上(注1)(1.25(注2))	吐出圧力 MPa[gage] 0.47以上(注1)(1.25(注2))	⑤
84	50-7	50-7-34	①熱交換器ユニット内の圧力損失 : 約□MPa ②ホース直接敷設の圧損 : 約□MPa ③ホース湾曲の影響 : 約□MPa ④機器類の圧力損失 : 約□MPa ①～④の合計 : 約□MPa	①熱交換器ユニット内の圧力損失 : 約□MPa ②ホース直接敷設の圧損 : 約□MPa ③ホース湾曲の影響 : 約□MPa ④機器類の圧力損失 : 約□MPa ①～③の合計 : 約□MPa	⑤
85	50-7	50-7-34	上記から、大容量送水車(熱交換器ユニット用)の必要吐出圧力は0.46MPa[gage]以上とし、1.25MPa[gage]とする。	上記から、大容量送水車(熱交換器ユニット用)の必要吐出圧力は0.47MPa[gage]以上とし、1.25MPa[gage]とする。	⑤
86	50-7	50-7-34	図50-7-19 大容量送水車(熱交換器ユニット用)送水ポンプ性能曲線	図50-7-19 大容量送水車(熱交換器ユニット用)送水ポンプ性能曲線	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
87	50-7	50-7-35	<p>大容量送水車(熱交換器ユニット用)は,取水路に投入した取水ポンプにより,取水される海水を送水ポンプを用いて送水する構造となっている。使用状態での各機器の配置イメージを図50-7-20に示す。この場合における海面は,通常時の平均海面では送水ポンプの約13.4m下位,津波時の引き波と干潮との重畳を考慮した海面では送水ポンプの約17.2m下位となる。また,取水ポンプは,キャビテーションの発生を防止するために,海面から0.5m以上水没させて使用する必要がある。</p> <p>これを踏まえ,取水ポンプの吐出部のホースの長さが23mであることから,ホースを最も伸ばした状態で取水ポンプを海中に設置する。これにより,海面が最も低い状態になった場合(大容量送水車から約17.2m下位)でも,ポンプ位置を調整することなく海水を取水することが可能である。</p> <p>上記の設置状況に基づき,必要流量840 m³/hを確保した場合における揚程である31mに対し,必要揚程が約19mであること,また,取水ポンプの吐出部のホース長が23mであるのに対し,最も海面が低い状態になった場合の高低差が約17.2mであることから,吐出部のホースを最も伸ばした状態で取水ポンプを設置することにより,設置高さを調整することなく,必要な揚程を確保することが可能である。</p>	<p>大容量送水車(熱交換器ユニット用)は,取水路に投入した取水ポンプにより,取水される海水を送水ポンプを用いて送水する構造となっている。取水ポンプは,送水ポンプ設置高さより約17.6m下の取水路から取水し,吐出揚程20m以上で送水ポンプに送水可能であり,送水ポンプは十分に吸込み揚程を確保可能であることからキャビテーションが発生する恐れはない。</p> <p>〈取水ポンプのNPSH評価〉 取水ポンプは空気を吸い込まない水位まで投入して水を押し上げる構造の水中ポンプであり,必要NPSHの代替として,運転必要最低水位を確保するように投入することでキャビテーションを防止する設計となっている。取水ポンプの運転必要最低水位は水面から-0.5mであり,海水取水時には水面から-1.0m程度の位置まで取水ポンプを吊り下げることからキャビテーションが発生する恐れはない。</p>	①(大容量送水車の海水取水性能について)
88	50-7	50-7-35	図50-7-20 大容量送水車(熱交換器ユニット用)概要図	図50-7-20 大容量送水車(熱交換器ユニット用)概要図	⑤
89	50-8	50-8-1	図50-8-1 格納容器圧力逃がし装置の可搬設備配置図	図50-8-1 格納容器圧力逃がし装置の可搬設備配置図	⑤
90	50-9	50-9-1	図50-9-1 屋外保管場所配置図(代替循環冷却系)	図50-9-1 屋外保管場所配置図(代替循環冷却系)	⑤
91	50-9	50-9-2	図50-9-2 屋外保管場所配置図(格納容器圧力逃がし装置)	図50-9-2 屋外保管場所配置図(格納容器圧力逃がし装置)	⑤
92	50-10	50-10-1	図50-10-1 保管場所及びアクセスルート図	図50-10-1 保管場所及びアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)
93	50-10	50-10-2	図50-10-2 地震・津波発生時のアクセスルート図	図50-10-2 地震・津波発生時のアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)
94	50-10	50-10-3	図50-10-3 森林火災発生時のアクセスルート図	図50-10-3 森林火災発生時のアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)
95	50-10	50-10-4	図50-10-4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	図50-10-4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	②(3号緊対から5号緊対への変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
96	50-11	50-11-2	薬液は原子炉格納容器内の上部ドライウエル, 下部ドライウエル, サプレッション・チェンバへそれぞれ均等に注入するが, それらは連通孔やベント管等で接続されており, 最終的にはサプレッション・チェンバのプール水に流入する。その場合, サプレッション・チェンバのプール水の水酸化ナトリウム濃度は最大で約 [] [wt%], pH は約 [] となる。また各箇所へ所定量の薬液を注入した後は, 薬液を含まない復水貯蔵槽の水をそれぞれの箇所へ継続して注水するため, 薬液が局所的に滞留・濃縮することはない。	薬液は原子炉格納容器内の上部ドライウエル, 下部ドライウエル, サプレッション・チェンバへそれぞれ均等に注入するが, それらは連通孔やベント管等で接続されており, 最終的にはサプレッション・プールに流入する。その場合, サプレッション・プール水の水酸化ナトリウム濃度は最大で約 [] [wt%], pH は約 [] となる。また各箇所へ所定量の薬液を注入した後は, 薬液を含まない復水貯蔵槽の水をそれぞれの箇所へ継続して注水するため, 薬液が局所的に滞留・濃縮することはない。	⑤
97	50-11	50-11-8	代替循環冷却系の使用開始は事故後約22.5時間後であり, LOCA後のブローダウン等の事故発生直後のサプレッション・チェンバ内の攪拌は十分に静定しており, 大部分の粒子状異物は底部に沈着している状態であると考えられる。	代替循環冷却の使用開始は事故後約20時間後であり, LOCA後のブローダウン等の事故発生直後のサプレッション・プール内の攪拌は十分に静定しており, 大部分の粒子状異物は底部に沈着している状態であると考えられる。	③(作業時間積み上げの変更)
98	50-11	50-11-11	図50-11-10 残留熱除去系吸込ストレーナ逆洗操作の系統構成について	図50-11-10 残留熱除去系吸込ストレーナ逆洗操作の系統構成について	⑤
99	50-11	50-12-4	表50-12-2 機器名称覧に記載の弁名称と, 正式名称・弁番号の関係について (代替循環冷却)	表50-12-2 機器名称覧に記載の弁名称と, 正式名称・弁番号の関係について (代替循環冷却)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

資料名 : 重大事故等対処設備について(補足説明資料)
 章/項番号: 51 条 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための設備

枠囲みの内容は機密事項に属しますので公開できません。

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
 ④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
1	51-1	51-1-1	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉SA 設備基準適合性 一覧表(常設)	⑤
2	51-1	51-1-2	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(可搬型)	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA 設備基準適合性 一覧表(可搬型)	⑤
3	51-1	51-1-3	柏崎刈羽原子力発電所 6号及び7号炉 SA設備基準適合性 一覧表(常設)	—	⑤
4	51-2	51-2-1	図1 単線結線図(6号炉)	図1 単線結線図(6号炉)	②(第二GTGの自主化)
5	51-2	51-2-2	図2 単線結線図(7号炉)	図2 単線結線図(7号炉)	②(第二GTGの自主化)
6	51-3	51-3-6	図6 配置図(6号炉 原子炉建屋地上1階)	—	⑤
7	51-3	51-3-7	図7 配置図(7号炉 原子炉建屋地上1階)	—	⑤
8	51-3	51-3-8	図8 配置図(6号炉 原子炉建屋地上2階)	—	⑤
9	51-3	51-3-9	図9 配置図(7号炉 原子炉建屋地上2階)	—	⑤
10	51-3	51-3-10	図10 配置図(6/7号炉 原子炉格納容器)	図6 配置図(6/7号炉 原子炉格納容器)	⑤
11	51-4	51-4-1	図1 格納容器下部注水系(常設)の系統概要図(6号炉)	図1 原子炉格納容器下部注水系(常設)の系統概要図(6号炉)	⑤
12	51-4	51-4-2	図2 格納容器下部注水系(可搬型)の系統概要図(6号炉)	図2 原子炉格納容器下部注水系(可搬)の系統概要図(6号炉)	⑤
13	51-4	51-4-3	図3 格納容器下部注水系(常設)の系統概要図(7号炉)	図3 原子炉格納容器下部注水系(常設)の系統概要図(7号炉)	⑤
14	51-4	51-4-4	図4 格納容器下部注水系(可搬型)の系統概要図(7号炉)	図4 原子炉格納容器下部注水系(可搬)の系統概要図(7号炉)	⑤
15	51-5	51-5-6	図2 運転性能検査系統図(格納容器下部注水常設)(6号炉))	図2 運転性能検査系統図(格納容器下部注水系(常設)(6号炉))	⑤
16	51-5	51-5-7	図3 運転性能検査系統図(格納容器下部注水系(常設)(7号炉))	図3 運転性能検査系統図(格納容器下部注水系(常設)(7号炉))	⑤
17	51-5	51-5-8	図4 運転性能検査系統図(可搬型代替注水ポンプ(A-2級)(6号及び7号炉))	図4 運転性能検査系統図(6号炉可搬型代替注水ポンプ(A-2級))	⑤
18	51-5	—	削除	図5 運転性能検査系統図(7号炉可搬型代替注水ポンプ(A-2級))	⑤
19	51-6	51-6-1	復水移送ポンプ(格納容器下部注水系常設)	復水移送ポンプ	⑤
20	51-6	51-6-1	m ³ /h /台	m ³ /h	⑤
21	51-6	51-6-1	MPa[gage]	MPa	⑤
22	51-6	51-6-1	kW/台	kW	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
23	51-6	51-6-1	6号炉 <input type="checkbox"/> 以上, 7号炉 <input type="checkbox"/> 以上 (注1)。 (55 (注2))。	6号炉 <input type="checkbox"/> 以上, 7号炉 <input type="checkbox"/> 以上 (注1)。 (55 (注2))。	⑤
24	51-6	51-6-2	1.容量 90 m3/h(注1)(125 m3/h(注2)) 格納容器下部注水する場合の復水移送ポンプの容量は、格納容器破損防止の重要事故シーケンスのうち、高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付資料十)において、有効性が確認されている原子炉格納容器下部への注入流量が約2時間で180m3であることから、1時間あたり90m3/h必要とする。 したがって、設計基準対象施設で使用する復水移送ポンプの公称値125m3/hの内数であることから、原子炉格納容器下部へ注水する場合の公称値も同様に125m3/hとする。 なお、高圧溶融物放出／格納容器雰囲気直接加熱に係る有効性評価解析において、原子炉格納容器の破損前の0.62MPa(2Pd)を超える前に、原子炉格納容器下部には2mの水位を確保することとしている。	1.容量 90 m3/h以上(注1) (125 m3/h(注2)) 格納容器下部注水する場合の復水移送ポンプの容量は、運転中の原子炉における重大事故シーケンスのうち、溶融炉心・コンクリート相互作用に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付資料十)において、有効性が確認されている原子炉格納容器下部への注入流量が約2時間で180m3であることから、1時間あたり90m3/h必要とする。 したがって、設計基準対象施設で使用する復水移送ポンプの公称値125m3/hの内数であることから格納容器下部注水する場合の公称値も同様に125m3/hとする。 なお、溶融炉心・コンクリート相互作用に係る有効性評価解析において、原子炉格納容器破損前の0.62MPa(2Pd)を超える前に、格納容器下部には2mの水位を確保することとしている。	③(有効性評価変更)
25	51-6	51-6-2	2.揚程 6号炉:82m, 7号炉:74m(注1)(85(注2)) 原子炉格納容器下部へ注水する場合の復水移送ポンプの揚程は、水源と移送先の圧力差(大気開放である復水貯蔵槽と原子炉格納容器の圧力差)、静水頭、機器圧損、配管・及び弁類圧損を基に設定する。	2.揚程6号炉:82m, 7号炉:74m(注1) (85(注2)) 原子炉格納容器下部注水する場合の復水移送ポンプの揚程は、水源と移送先の圧力差(大気開放である復水貯蔵槽と原子炉格納容器の圧力差)、静水頭、機器圧損、配管・及び弁類圧損を基に設定する。	⑤
26	51-6	51-6-3	以上より、原子炉格納容器下部へ注水する場合の復水移送ポンプの揚程は6号炉で82m, 7号炉で74mである。	以上より、格納容器下部注水する場合の復水移送ポンプの揚程は6号炉で82m, 7号炉で74mである。	⑤
27	51-6	51-6-3	3.最高使用圧力 1.37MPa。 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの最高使用圧力は、ポンプ締め切り運転時の揚程約 <input type="checkbox"/> m (約 <input type="checkbox"/> MPa) に静水頭約 <input type="checkbox"/> m (約 <input type="checkbox"/> MPa) を加えた約 <input type="checkbox"/> MPa を上回る圧力として 1.37 MPa としており、重大事故等時に格納容器下部注水系(常設)として原子炉格納容器に注入する場合の圧力もこれと同等である。	3.最高使用圧力 1.37MPa。 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの最高使用圧力は、ポンプ締め切り運転時の揚程約 <input type="checkbox"/> m (約 <input type="checkbox"/> MPa) に静水頭約 <input type="checkbox"/> m (約 <input type="checkbox"/> MPa) を加えた約 <input type="checkbox"/> MPa を上回る圧力として 1.37 MPa としており、重大事故時に原子炉格納容器下部注水系として原子炉に注入する場合の圧力もこれと同等である。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗、設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充、適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
28	51-6	51-6-3	<p>4.最高使用温度 66℃ 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの最高使用温度は、水源の復水貯蔵槽の最高使用温度に合わせ66℃としており、重大事故等時に格納容器下部注水系として原子炉格納容器に注入する場合の温度もこれと同様である。</p> <p>また、格納容器下部注水系(常設)は、代替格納容器スプレイ系(常設)と同時に使用する可能性があるため、同時使用時に各々の必要流量が確保できることを添付(1)「格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の同時使用について」で示す。</p>	<p>4.最高使用温度 66℃ 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの最高使用温度は、水源の復水貯蔵槽の最高使用温度に合わせ66℃としており、重大事故等時に原子炉格納容器下部注水系として原子炉に注入する場合の温度もこれと同様である。</p> <p>また、格納容器下部注水系は、代替格納容器スプレイ系と同時に使用する可能性があるため、同時使用時に各々の必要流量が確保できることを添付(1)「格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイ冷却の同時使用について」で示す。</p>	⑤
29	51-6	51-6-4	<p>5.原動機出力 6号炉：□kW以上、7号炉：□kW以上(注1)(55kW(注2)) 【6号炉】。</p> <p>格納容器下部注水系(常設)として使用する復水移送ポンプの容量90m³/h、揚程94mのときの必要軸動力は、以下のとおり約□kWとなる。</p> $P = 10^{-(3)} \times \rho \times g \times ((Q/3,600) \times H) / (\eta / 100)$ $= 10^{-(3)} \times 1,000 \times 9.80665 \times ((90/3,600) \times 94) / (\square / 100)$ $= \square \text{ kW} \approx \square$ <p>P : 必要軸動力 (kW)。 ρ : 流体の密度 (kg/m³) = 1,000。 g : 重力加速度 (m/s²) = 9.80665。 Q : ポンプ容量 (m³/h) = 90。 H : ポンプ揚程 (m) = 94。 η : ポンプ効率 (%) (設計計画値) = 約 63 (図 1 参照)</p>	<p>5.原動機出力 6号炉：□kW以上、7号炉：□kW以上(注1)(55kW(注2)) 【6号炉】。</p> <p>格納容器下部注水系として使用する復水移送ポンプの容量90m³/h、揚程82mのときの必要軸動力は、以下のとおり約□kWとなる。</p> $P = 10^{-(3)} \times \rho \times g \times ((Q/3,600) \times H) / (\eta / 100)$ $= 10^{-(3)} \times 1,000 \times 9.80665 \times ((90/3,600) \times 82) / (\square / 100)$ $= \square \text{ kW} \approx \square$ <p>P : 必要軸動力 (kW)。 ρ : 流体の密度 (kg/m³) = 1,000。 g : 重力加速度 (m/s²) = 9.80665。 Q : ポンプ容量 (m³/h) = 90。 H : ポンプ揚程 (m) = 82。 η : ポンプ効率 (%) (設計計画値) = 約 64 (図 1 参照)。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
30	51-6	51-6-5	<p>【7号炉】 格納容器下部注水系（常設）として使用する復水移送ポンプの容量90m³/h, 揚程93mのときの必要軸動力は, 以下のとおり約 <input type="text"/> kWとなる。</p> $P = 10^{(-3)} \times \rho \times g \times ((Q/3,600) \times H) / (\eta/100)$ $= 10^{(-3)} \times 1,000 \times 9.80665 \times ((90/3,600) \times 93) / 100)$ $= \text{ kW} \approx \text{ kW}$ <p>P : 必要軸動力 (kW) ρ : 流体の密度 (kg/m³) = 1,000 g : 重力加速度 (m/s²) = 9.80665 Q : ポンプ容量 (m³/h) = 90 H : ポンプ揚程 (m) = 93 η : ポンプ効率 (%) (設計計画値) = 約 <input type="text"/> (図2参照)</p>	<p>【7号炉】 格納容器下部注水系として使用する復水移送ポンプの容量90m³/h, 揚程74m, のときの必要軸動力は, 以下のとおり約 <input type="text"/> kWとなる。</p> $P = 10^{(-3)} \times \rho \times g \times ((Q/3,600) \times H) / (\eta/100)$ $= 10^{(-3)} \times 1,000 \times 9.80665 \times ((90/3,600) \times 74) / 100)$ $= \text{ kW} \approx \text{ kW}$ <p>P : 必要軸動力 (kW) ρ : 流体の密度 (kg/m³) = 1,000 g : 重力加速度 (m/s²) = 9.80665 Q : ポンプ容量 (m³/h) = 90 H : ポンプ揚程 (m) = 74 η : ポンプ効率 (%) (設計計画値) = 約 <input type="text"/> (図1参照)</p>	⑤
31	51-6	51-6-5	<p>以上より, 格納容器下部注水系(常設)として使用する復水移送ポンプの軸動力は, 設計基準対象施設として使用する復水移送ポンプの原動機出力の公称値55kW/台以下であることから, 格納容器下部注水系(常設)として使用する場合の原動機出力は, 設計基準対象施設として使用する場合と同様の55kW/台とする。</p>	—	⑤
32	51-6	51-6-6	吐出圧力 MPa[gage]	吐出圧力 MPa	⑤
33	51-6	51-6-6	最高使用圧力 MPa[gage] 2.0	最高使用圧力 MPa 1.74	⑤
34	51-6	51-6-6	最高使用温度 °C 60	最高使用温度 °C 40	⑤
35	51-6	51-6-6	原動機出力 kW 100	原動機出力 kW 110	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
36	51-6	51-6-6	<p>【設定根拠】 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時に以下の機能を有する。</p> <p>格納容器下部注水系(可搬型)として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉格納容器の破損を防止するため, 溶融し, 原子炉格納容器の下部に落下した炉心を冷却するために設置する。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 複数の代替淡水源(淡水貯水池又は防火水槽)を水源として原子炉建屋外壁に設置されている複数の接続口に接続し, 復水補給水系配管及び格納容器下部注水系配管を経由して原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心を冷却することで, 溶融炉心・コンクリート相互作用(MCCI)を抑制し, 溶融炉心が拡がり原子炉格納容器バウンダリに接触することを防止する設計とする。</p> <p>なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時において, 原子炉格納容器下部への注水に必要な流量を確保できる容量を有するものを下図のとおり1セット4台使用する。</p>	<p>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時に以下の機能を有する。</p> <p>格納容器下部注水系(可搬)として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉格納容器の破損を防止するため, 溶融し, 原子炉格納容器の下部に落下した炉心を冷却するために必要な重大事故対処設備を設置する。</p> <p>可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 防火水槽を水源として原子炉建屋外壁に設置されている複数の接続口に接続し, 復水補給水系配管及び格納容器下部注水系配管を経由して原子炉格納容器下部に落下した溶融炉心を冷却することで, 溶融炉心・コンクリート相互作用(MCCI)を抑制し, 溶融炉心が拡がり原子炉格納容器バウンダリに接触することを防止する設計とする。</p> <p>なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 重大事故等時において, 格納容器下部注水に必要な流量を確保できる容量を有するものを1セット3台使用する。保有数は1基あたり2セットで6号炉及び7号炉を合わせて12台, また, 故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1台(共用)の合計13台を分散して保管する。</p>	⑤
37	51-6	51-6-6	<p>系統構成概要図</p>	—	⑤
38	51-6	51-6-7	<p>1. 容量 90 m³/h(注1) (120 m³/h(注2)) 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量の要求値は, 運転中の発電用原子炉における重要事故シナリオのうち, 高圧溶融物放出/格納容器雰囲気直接加熱に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付資料十)において, 有効性が確認されている原子炉格納容器下部への必要な注入流量である90m³/h以上とする。</p> <p>なお, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから, その規格上要求される120m³/h(注2)以上を容量の公称値とする。</p>	<p>1. 容量 90 m³/h(注1) (120 m³/h(注2)) 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の容量は, 運転中の原子炉における重大事故シナリオのうち, 溶融炉心・コンクリート相互作用に係る有効性評価解析(原子炉設置変更許可申請書添付資料十)において, 有効性が確認されている原子炉格納容器下部への注入流量が90m³/hである。</p> <p>これを上回るものとして, 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は, 消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから, その規格上要求される性能である120m³/h(注2)以上とする。</p>	③(有効性評価変更)

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
39	51-6	51-6-7	<p>2. 吐出圧力 6号炉:1.67MPa(注1) / (0.85MPa(注2)) 格納容器下部注水系(可搬型)として使用する場合の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の吐出圧力は、淡水又は海水を原子炉格納容器に注水する場合の、水源と注水先の圧力差(大気開放である淡水貯水池等と注水先の圧力)、静水頭、ホース直線敷設の圧損、ホース湾曲による影響、機器及び配管・弁類圧損を基に設定する。</p> <p>6号炉及び7号炉の複数ある接続口のうち、使用するホース直線敷設の圧損、ホース湾曲による影響、機器及び配管・弁類圧損等を考慮した結果、最も保守的となる、6号炉原子炉建屋東側の接続口へ接続した場合の必要吐出圧力を以下に示す。</p>	<p>2. 吐出圧力 6号炉:1.74 MPa(注1) (0.85(注2)) 格納容器下部注水系として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の揚程は、淡水又は海水を原子炉に注入する場合の、水源と移送先の圧力差(大気開放である防火水槽等と移送先の圧力の圧力差)、静水頭、ホース圧損、配管及び弁類圧損を基に設定する。</p> <p>6号炉及び7号炉の複数ある接続口のうち、使用する消防ホースの圧損、ホース湾曲の影響、建屋内配管圧損等を考慮し、最も保守的となる、6号炉原子炉建屋東側の接続口へ接続した場合の揚程を以下に示す。</p>	⑤
40	51-6	51-6-7	<p>【6号炉(東側)】 ＜格納容器圧力が約2Pd(約0.62MPa)＞ ・MUWC可搬式接続口(東)(屋内ホース引き回し)の場合、</p> <p>最終吐出端必要圧力 約 <input type="text"/> MPa 静水頭 約 <input type="text"/> MPa ホース圧損 約 <input type="text"/> MPa※1 ホース湾曲による影響 約 <input type="text"/> MPa※1 機器類圧損 約 <input type="text"/> MPa</p> <p>合計 約 1.67 MPa</p> <p>※1 ホースについては保守的な想定で評価したものである。 湾曲の評価については51-6-12, 13参照。 なお、詳細設計においては、作業性及び他設備との干渉を考慮し、ポンプ容量を変更しない範囲でホースの敷設場所を適切に選定する。</p>	<p>【6号炉(東側)】 ＜格納容器圧力が約2Pd(約0.62MPa)＞ ・MUWC可搬式接続口(東)(屋内ホース引き回し)の場合、</p> <p>最終吐出端必要圧力 約 <input type="text"/> MPa 静水頭 約 <input type="text"/> MPa ホース圧損 約 <input type="text"/> MPa※1 ホース湾曲による影響 約 <input type="text"/> MPa※1 機器類圧損 約 <input type="text"/> MPa</p> <p>合計 約 1.74 MPa</p> <p>※1 ホースについては保守的な想定で評価したものである。 湾曲の評価については51-6-11, 12参照。 詳細設計においては、重大事故時のホースの取り回し、作業性、他設備の干渉を考慮し、ポンプ容量を変更しない範囲で適切に選定する。</p>	⑤
41	51-6	51-6-8	<p>以上より、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の吐出圧力の要求値は約1.67MPa以上とする。 なお、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから、その規格上要求される0.85MPa以上を吐出圧力の公称値とする。</p> <p>図3に示すとおり、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)はポンプの回転数を変更することで、容量及び吐出圧力の要求値を満足することが可能である。</p>	<p>以上より、格納容器下部注水する場合に必要な吐出圧力は約1.74MPaとなるが、可搬型代替注水ポンプ(A-2級)は消防法に基づく技術上の規格を満足するものを採用していることから、公称値は規格値の0.85MPaとする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
42	51-6	51-6-8	図3 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)性能曲線	図3 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)性能曲線	⑤
43	51-6	51-6-8	上記の吐出圧力の確認に加え, 使用条件下においてポンプがキャビテーションを起こさないことを確認するため, NPSHの評価を行った。 なお, 評価においては, 接続口側の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の有効NPSHが必要NPSHを十分に上回るように, 上流側の(淡水貯水池に近い側)の可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の運転条件を設定した。	上記の揚程の確認に加え, 使用条件下においてポンプがキャビテーションを起こさないことを確認するため, NPSHの評価を行った。	⑤
44	51-6	51-6-9	<p><接続口側 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)> 図3より, ポンプの必要回転数は, 格納容器下部注水系(可搬)を用いる場合の必要流量(90m³/h)及び吐出圧力(1.67MPa)を満足する3200rpmとする。</p> <p>3200rpmにおいて, 必要流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は, 図4の水頭に余裕を見込み, []mとする。</p> <p>有効NPSHは下記のとおり算出する。</p> $\text{有効NPSH} = H_a + H_n + H_s - H_i - h_s \quad \dots \textcircled{1}$ <p>ここで, H_a: 大気圧 [] H_n: 上流側可搬型代替注水ポンプ(A-2級)吐出圧 H_s: 吸込揚程(上流側可搬型代替注水ポンプ(A-2級)との高低差) H_i: 吸込圧損 h_s: 飽和蒸気圧水頭(0.8m(0.01MPa): 水源温度40℃と想定)</p> <p>とする。</p> <p>①式に以下の値を代入し, 有効NPSHを算出すると有効NPSHは []</p> <p>H_a: [] H_n: [] H_s: [] H_i: []</p> <p>なお, 吸込圧損を考慮したとしても, 有効NPSHが必要NPSHを十分に上回る [] []となるよう, H_aを設定した。</p> <p>この時, 有効NPSH([]m) > 必要NPSH([]m)となることから, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p>	<p><接続口側可搬型代替注水ポンプ> 格納容器下部注水に必要な流量(90m³/h)及び揚程(1.74MPa)から, ポンプの必要回転数を3200rpmとする。この回転数において, 所定の流量を確保するためのNPSH(必要NPSH)は, 図4の水頭に余裕を見込み, []mとする。</p> <p>一方, 有効NPSHは, 水源となる防火水槽の設置条件から, 下記のとおり算出する。</p> $\text{有効NPSH} = H_a + H_s - H_i - h_s$ <p>ここで, H_a: 元車からの吐出圧力 H_s: 揚程 H_i: 吸込圧損 h_s: 飽和蒸気圧水頭</p> <p>ポンプにおいてキャビテーションの発生を防ぐため, 有効NPSH > 必要NPSHとなるH_aを設定すると, H_aは0.37MPaとなる。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
45	51-6	51-6-10	<p><中継用 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)></p> <p>図3より, ポンプの必要回転数は, 接続口側 可搬型注水ポンプ (A-2級) に必要となる流量及び吐出圧力を満足する2200rpmとする。2200rpmにおいて, 必要流量を確保するためのNPSH (必要NPSH) は, 図4の水頭に余裕を見込み, []mとなる。</p> <p>①式に以下の値を代入し, 有効NPSHを算出すると, 有効NPSHは []mとなる。</p> <p>H_a: [] H_s: [] H_l: []</p> <p>なお, 吸込圧損を考慮したとしても, 有効NPSHが必要NPSHを十分に上回る []となるよう, H_sを設定した。</p> <p>この時, 有効NPSH ([]m) > 必要NPSH ([]m) となることから, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p> <p><淡水貯水池側 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)></p> <p>図3より, ポンプの必要回転数は, 中継用 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) に必要となる流量及び吐出圧力を満足する2200rpmとする。2200rpmにおいて, 必要流量を確保するためのNPSH (必要NPSH) は, 図4の水頭に余裕を見込み, []mとする。</p> <p>①式に以下の値を代入し, 有効NPSHを算出すると有効NPSHは []mとなる。</p> <p>H_a: [] H_s: [] H_l: []</p> <p>この時, 有効NPSH ([]m) > 必要NPSH ([]m) となることから, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p> <p>なお, 大容量送水車 (海水取水用) から直接, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) へ送水する場合については, 大容量送水車 (海水取水用) の吐出圧が可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の吸込口に加わるにより, 上記NPSH評価のうち吸込揚程が, 淡水貯水池から取水する場合よりも大きくなることから, 淡水貯水池から取水する場合の可搬型代替注水ポンプ (A-2級) のNPSH評価に包絡される。</p>	<p><防火水槽側可搬型代替注水ポンプ></p> <p>接続口側可搬型代替注水ポンプに必要な流量 (45m³/h/台) 及び揚程 (0.37MPa) から, ポンプの必要回転数を2200rpmとする。この回転数において, 所定の流量を確保するためのNPSH (必要NPSH) は, 図4の水頭に余裕を見込み, []mとする。</p> <p>一方, 有効NPSHは, 水源となる防火水槽の設置条件から, 下記のとおり算出する。</p> <p>有効NPSH = $H_a' + H_s' - H_l' - h_s'$ $= 10.3 - 4.6 - [] - 0.8$ $= []$m</p> <p>ここで, H_a': 大気圧 H_s': 吸込揚程 H_l': 吸管圧損 h_s': 飽和蒸気圧水頭</p> <p>これらの算出結果から, 有効NPSH ([]m) > 必要NPSH ([]m) を満足するため, ポンプはキャビテーションを起こすことなく運転することが可能である。</p> <p>なお, 淡水貯水池及び, 大容量送水車 (海水取水用) から直接, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) へ送水する場合のNPSH評価は, 淡水貯水池の水頭圧又は, 大容量送水車 (海水取水用) の吐出圧が可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の吸込口に加わるにより, 上記NPSH評価のうちH_s' (吸込揚程) が防火水槽から取水する場合よりも大きくなることから, 防火水槽から取水する場合の可搬型代替注水ポンプ (A-2級) のNPSH評価に包絡される。</p>	⑤
46	51-6	51-6-10	<p>3. 最高使用圧力 2.0MPa</p> <p>原子炉格納容器下部への注水に必要な吐出圧力は1.67MPa以上であり, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) を用いた注水先への注水シナリオのうち, 吐出圧が最大となることから, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の最高使用圧力は1.67MPaを上回る圧力として2.0MPaとする。</p>	<p>3. 最高使用圧力 1.37MPa</p> <p>格納容器下部注水に必要な吐出圧力は1.74MPaであり, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) を用いた注水先への注水シナリオのうち, 吐出圧が最大となることから, 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の最高使用圧力は1.74MPaとする。</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
47	51-6	51-6-10	4. 最高使用温度 60℃ 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の最高使用温度は, 水源である淡水の温度が常温程度であるため, 60℃とする。	4. 最高使用温度 40℃ 可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の最高使用温度は, 水源である淡水及び海水の温度が常温程度であるため, 40℃とする。	⑤
48	51-6	51-6-11	5. 原動機出力 100kW/台 格納容器下部注水系(可搬)として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の原動機については, 必要な性能(消防法に基づく技術上の規格)を発揮する出力を有するものとして100kWとする。	5. 原動機出力 約110kW/台 原子炉格納容器下部注水系(可搬)として使用する可搬型代替注水ポンプ(A-2級)の原動機については, 必要な性能(消防法に基づく技術上の規格)を発揮する出力を有するものとして約110kWとする。	⑤
49	51-6	51-6-14	格納容器下部注水(常設)は, 代替格納容器スプレイ冷却系(常設)による格納容器スプレイと同時に行われることを想定している。格納容器下部注水(常設)を行う場合において, 原子炉圧力容器の破損前は, 格納容器下部注水系により90m ³ /hで格納容器下部に注水し水位2mの水張りを実施し, 同時に代替格納容器スプレイ冷却系(常設)により70m ³ /hで原子炉格納容器内にスプレイすることで原子炉格納容器温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。 また, 原子炉圧力容器の破損後は, 格納容器下部注水系(常設)により崩壊熱相当(注水開始時期を考慮すると最大50m ³ /h)の注水を行い, 原子炉格納容器圧力が465kPa[gage]に到達した時点で代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の流量を130m ³ /h以上にすることにより, 原子炉格納容器圧力及び温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。	格納容器下部注水は, 代替格納容器スプレイ冷却系による格納容器スプレイと同時に行われることを想定している。格納容器下部注水を行う場合において, 原子炉圧力容器の破損前は, 格納容器下部注水系により90m ³ /hで格納容器下部に注水し水位2mの水張りを実施し, 同時に代替格納容器スプレイ冷却系により70m ³ /hで原子炉格納容器内にスプレイすることで原子炉格納容器温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。 また, 原子炉圧力容器の破損後は, 格納容器下部注水系(常設)により崩壊熱相当(注水開始時期を考慮すると最大50m ³ /h)の注水を行い, 原子炉格納容器圧力が465kPa[gage]に到達した時点で代替格納容器スプレイ冷却系の流量を130m ³ /h以上にすることにより, 原子炉格納容器圧力及び温度の上昇を抑制できることが評価結果より確認されている。	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
50	51-6	51-6-14	<p>したがって、格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ冷却系(常設)は表1のとおり同時に実施することを考慮している。系統図を図1~2に示すが、いずれの系統も復水移送ポンプを用いるため、表1で示すとおりに格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ(常設)を同時に実施する能力があることを評価により確認する。評価に当たっては、格納容器圧力が高く注水特性評価が保守的となる原子炉圧力容器の破損後のケースを用いる。したがって、格納容器下部注水50m³/hと代替格納容器スプレイ130m³/hの同時注水の成立性を確認するために、復水移送ポンプ特性と格納容器下部注水系(常設)及び代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の系統圧力損失を考慮して注水特性評価を実施した。注水特性評価結果は図3のとおりであり、格納容器下部注水が50m³/hである場合、原子炉格納容器圧力が2Pd(620kPa[gage])時においても、代替格納容器スプレイ(常設)は130m³/hでスプレイできることが確認できた。</p> <p>よって、原子炉格納容器下部への注水時に必要となる格納容器下部注水系(常設)と代替格納容器スプレイ冷却系(常設)の同時注水について、各々の必要流量が確保可能であることを確認した。</p>	<p>従って、格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイは表1の通り同時に注水することを考慮している。注水系統図を図1~2に示すが、いずれの系統も復水移送ポンプを用いるため、表1で示す通りに格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイを同時に注水する能力があることを評価により確認する。評価にあたっては、格納容器圧力が高く注水特性評価が保守的となる原子炉圧力容器の破損後のケースを用いる。従って、格納容器下部注水50m³/hと代替格納容器スプレイ130m³/hの同時注水の成立性を確認するために、復水移送ポンプ特性と格納容器下部注水系及び代替格納容器スプレイ系の系統圧力損失を考慮して注水特性評価を実施した。注水特性評価結果は図4の通りであり、格納容器下部注水が50m³/hである場合、原子炉格納容器圧力が2Pd(620kPa[gage])時においても、代替格納容器スプレイは130m³/hでスプレイできることが確認できた。</p> <p>よって、格納容器下部注水時に必要となる格納容器下部注水系と代替格納容器スプレイ系の同時注水について、各々の必要流量が確保可能であることを確認した。</p> <p>なお、代替循環冷却による熔融炉心冷却及び原子炉格納容器除熱も可能であり、図3に注水系統図を示す。この場合、代替循環冷却ラインの循環流量は、原子炉格納容器上部に約140m³/h、原子炉格納容器下部に約50m³/hでそれぞれ連続スプレイ及び連続注水する必要があり、これらの流量についても注水可能な設計とする。</p>	⑤
51	51-6	51-6-15	<p>図1 格納容器破損モード「高圧熔融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」時の重大事故等対処設備の概略系統図 (原子炉圧力容器の破損前の原子炉減圧, 原子炉格納容器冷却及び格納容器下部注水)</p>	<p>図1 格納容器破損モード「高圧熔融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」時の重大事故等対処設備の概略系統図 (原子炉圧力容器破損前の原子炉減圧, 原子炉格納容器冷却及び格納容器下部注水)</p>	⑤
52	51-6	51-6-15	<p>図2 格納容器破損モード「高圧熔融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」時の重大事故等対処設備の概略系統図 (原子炉圧力容器の破損後の原子炉減圧, 原子炉格納容器冷却及び格納容器下部注水)</p>	<p>図2 格納容器破損モード「高圧熔融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」時の重大事故等対処設備の概略系統図 (原子炉圧力容器破損後の原子炉減圧, 原子炉格納容器冷却及び格納容器下部注水)</p>	⑤
53	51-6	51-6-16	<p>図3 格納容器破損モード「高圧熔融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」時の重大事故等対処設備の概略系統図 (代替循環冷却による熔融炉心冷却, 原子炉格納容器除熱)</p>	<p>図3 格納容器破損モード「高圧熔融物放出/格納容器雰囲気直接加熱」時の重大事故等対処設備の概略系統図 (代替循環冷却による熔融炉心冷却, 原子炉格納容器除熱)</p>	⑤
54	51-6	51-6-16	<p>図4 ドライウェルスプレイ注水特性(ペDESTAL50m³/h同時注水時)</p>	<p>図4 D/Wスプレイ注水特性(ペDESTAL50m³/h同時注水時)</p>	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
55	51-7	51-7-1	図1 接続図(淡水貯水池から防火水槽)	図1 接続図(防火水槽から接続口)	②(水源運用変更)
56	51-7	51-7-2	図2 接続図(防火水槽から接続口)	—	②(水源運用変更)
57	51-7	51-7-3	図3 接続図(建屋内接続図 6号炉原子炉建屋地上1階)	図2 接続図(建屋内接続図 6号炉原子炉建屋地上1階)	②(水源運用変更)
58	51-7	51-7-4	図4 接続図(建屋内6号炉原子炉建屋 地上 2階)	図3 接続図(建屋内接続図 6号炉原子炉建屋地上2階)	②(水源運用変更)
59	51-7	51-7-5	図5 接続図(建屋内7号炉原子炉建屋 地上 1階)	図4 接続図(建屋内接続図 7号炉原子炉建屋地上1階)	②(水源運用変更)
60	51-7	51-7-6	図6 接続図(建屋内7号炉原子炉建屋 地上 2階)	図5 接続図(建屋内接続図 7号炉原子炉建屋地上2階)	②(水源運用変更)
61	51-8	51-8-1	図1 保管場所図(位置的分散)	図1 保管場所図(位置的分散)	①(K5緊対への変更)
62	51-8	51-8-2	図2 保管場所図(機器配置)	図2 保管場所図(機器配置)	①(K5緊対への変更)
63	51-9	51-9-1	図1 保管場所及びアクセスルート図	図1 保管場所およびアクセスルート図	①(K5緊対への変更)
64	51-9	51-9-2	図2 地震・津波発生時のアクセスルート図	図2 地震・津波発生時のアクセスルート	①(K5緊対への変更)
65	51-9	51-9-2	図3 森林火災発生時のアクセスルート図	図3 森林火災発生時のアクセスルート	①(K5緊対への変更)
66	51-9	51-9-3	図4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート図	図4 中央交差点が通行不能時のアクセスルート	①(K5緊対への変更)
67	51-11	51-11-1	原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための自主対策設備として、以下を整備する。	—	⑤
68	51-11	51-11-1	消火系による原子炉格納容器下部への注水は、炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉格納容器の破損を防止するため、ディーゼル駆動消火ポンプ等を用い、全交流動力電源が喪失した場合でも、代替交流電源設備からの給電により、中央制御室から遠隔で弁操作し、ろ過水タンクを水源として、消火系及び復水補給水系配管を経由して原子炉格納容器下部へ注水し、溶融炉心を冷却する機能を有する。	消火系による原子炉格納容器下部への注水は、炉心の著しい損傷が発生した場合において原子炉格納容器の破損を防止するため、ディーゼル駆動消火ポンプ等を用い、全交流動力電源が喪失した場合でも、高台に配備した代替交流電源設備からの給電により、中央制御室から遠隔で弁操作し、ろ過水タンクを水源として、消火系配管を経由して原子炉格納容器下部へ注水し、溶融炉心を冷却する機能を有する。	⑤
69	51-11	51-11-1	図1 消火系による原子炉格納容器下部への注水手順の概要図(7号炉の例)	図1 消火系によるデブリ冷却手順の概要図(柏崎刈羽原子力発電所7号炉の例)	⑤

まとめ資料変更箇所リスト

【変更理由の類型化】

- ①指摘事項対応による変更・修正 ②設計進捗, 設備変更による変更・修正 ③評価進捗による変更・修正
④前提条件変更による修正 ⑤記載の拡充, 適正化

No.	章番号	ページ番号	変更後	変更前	変更理由
70	51-11	51-11-1	<p>No 弁名称 状態の変化 操作方法 操作場所</p> <p>① 復水補給水系消火系第1連絡弁 弁閉→弁開 スイッチ操作 中央制御室</p> <p>② 復水補給水系消火系第2連絡弁 弁閉→弁開 スイッチ操作 中央制御室</p> <p>③ 下部ドライウェル注水流量調節弁 弁閉→弁開 スイッチ操作 中央制御室</p> <p>④ 下部ドライウェル注水ライン隔離弁 弁閉→弁開 スイッチ操作 中央制御室</p> <p>⑤ タービン建屋負荷遮断弁 全開→弁閉 スイッチ操作 中央制御室</p>	—	⑤